

實例判例文例人事法總覽

第二十八條 戶籍ノ記載ヲ爲スニハ略字又ハ符號ヲ用キス字畫明瞭ナルコトヲ要ス

年月日ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ文字ヲ用ウルコトヲ要ス
文字ハ之ヲ改竄スルコト得ス若シ訂正挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ市町村長之ニ認印シ其削除ニ係ル文字ハ尙ホ明カニ讀得ヘキ爲メ字體ヲ存スルコトヲ要ス

【實例】

◎時ノ記載ト壹、貳、參、拾ノ文字及番地ノ記載ノ場合

1、時ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ文字ヲ用ウルコトヲ要スルモ番地ノ記載ニ付テハ其ノ必要ナシ

(大正三年四月三十日山口縣熊毛郡室積町戶籍吏代理助役伺
同年十二月二十八日民第八九三號法務局長回答)

【時ニ付同趣旨】

(大正三年五月二十日大阪市北區戶籍吏伺
同年十二月二十八日民第一九九四號法務局長回答)

◎屆書及戶籍ノ記載ト「インキ」ノ使用

1、屆書、戶籍又ハ戶籍ノ謄本若ハ抄本ノ記載ヲ爲スニハ「インキ」ヲ使用セシムヘカラス

(大正四年五月六日福井區裁判所監督判事問合
同年七月七日民第六三八號法務局長回答)

2、後ニ汚損ヲ來ス虞ナキ程度ノ「インキ」ヲ用ヒテ記載シタル屆書類ハ受理差支ナキコトニ省議變更セラレタリ

異ル文字又ハ書體ヲ用キタルトキハ原戶籍ノ記載ニ從フヘキハ勿論トス

(大正七年六月七日山口區裁判所監督判事問合
同年九月七日民第一九五四號法務局長回答)

(大正十年十二月二十七日民事第二四四九號
民事局長回答)

3、戶籍ノ謄抄本作製ニ付テモ同様「インキ」ノ使用差支ナキコトニ省議變更セラレタリ

(大正十一年七月五日民事第二三七九號
民事局長回答)

◎屆書ニ炭酸紙ノ使用ト一旦其屆書ヲ受理シ送付ヲ受ケタル場合

1、戶籍ニ關スル屆書ニ炭酸紙ヲ使用スルコトハ差許ササルモノトス唯一且受理シタル屆書ニ在リテハ其ノ送付ヲ受ケタル原籍地役場ニ於テ之ヲ受理セサルヘカラサルハ不得已モノトス領事館ニ於テモ右ノ趣旨ニ從ヒ炭酸紙ヲ使用シタル屆書ハ之ヲ受理セサルヲ可トス

(大正五年九月四日外務省通商局長問合
同年九月十三日民第一三三〇號法務局長回答)

【注意】

2、青色、赤色ヲ除キ黒色ノ炭酸紙ハ之ヲ使用シ差支ナキコトニ省議變更セラレタリ

(大正九年五月十五日鳥取縣高部郡本郷村長問合
同年五月二十七日民事第一六九八號民事局長回答)

◎氏名ノ記載方

1、戶籍ニ氏名ヲ記載スルニハ男子ハ總テ楷書ヲ用ウヘク女子ノ名ニ付テハ變體假名ヲ以テ屆書ノ記載ヲ爲シタルトキハ戶籍ノ記載モ亦變體假名ヲ用ウヘキモノトス但シ原戶籍ニ之ト

第一編 戶籍法規 第三章 戶籍ノ記載手續 第二十八條

實例判例文例人事法總覽

第二十九條 戶籍ノ記載ヲ爲ス毎ニ市町村長ハ其文字ニ認印スルコ

トヲ要ス

【實例】

○施行細則第十四條第二項、第十五條、第十七條ニ依ル移記事項ノ文末ト認印

1、戶籍法施行細則第十四條第一項第十五條、第十七條ニ移記シタル事項文末ニハ市町村長ノ認印ヲ要ス

(大正三年十一月十二日熊本區裁判所監督判事問合)

(大正四年一月十五日民第一七一七號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正四年一月二十七日高知區裁判所監督判事問合)

(同年二月十九日民第一五六號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正四年五月十日下關區裁判所監督判事問合)

(同年七月一日民第六九一號法務局長回答)

2、戶籍法施行細則第十四條第二項第十五條第十七條ニ依リ基本タル戶籍ニ記載アル事項ヲ新戶籍ニ移記シタル事項文末ニハ市町村長ノ認印ヲ要ス

(大正四年三月十五日熊本區裁判所監督判事問合)

(同年三月二十三日民第三九九號法務局長回答)

【參照】

3、戶籍法施行細則第十四條第二項第十五條第十七條ノ場合ニ

於テ基本タル戶籍ニ記載アル事項ヲ新戶籍等ニ記載スルニハ記載例(八十、九十九)ノ例ニ依リ何レノ戶籍ヨリ移記シタルヤ一々記載シ認印スルヲ要スルヤト云フニ認印ヲモ要セス(認印ノ點省略變更セリ)

4、戶籍法施行細則第十四條第二項第十五條第十七條ニ依リ移記シタル事項ノ文末ニハ市町村長ノ認印ヲ要スルヤ否ヤト云フニ移記ノ事由ヲ記載スルニ及ハサルモ認印ヲ要ス

(大正四年三月十三日上野區裁判所判事問合)

(同年一月二十日民第五五號法務局長回答)

(大正四年三月十八日敦賀區裁判所判事問合)

(同年七月六日民第四二〇號法務局長回答)

(大正四年六月十二日愛媛縣西宇和郡千丈村長問合)

(同年七月十六日民第九四號法務局長回答)

(大正五年四月十二日福島市長問合)

(同年五月十一日民第五六九號法務局長回答)

(大正五年四月二十七日延岡區裁判所判事問合)

(同年六月七日民第六七二號法務局長回答)

【同趣旨】

新ニ戶籍ヲ編製スヘキ事由及家族トナリタル事由(假令ハ家督相續届出事由ノ文末若クハ分家者ノ家族トナリタル事由ノ文末ノ如キモノ等新戶籍ノ事由文末ニ認印シタルモノヲ包含ス)ノ文末ニ市町村長ノ認印ヲ要ス又該副本力數葉ニ渉ルトキハ職印ヲ以テ每葉ノ綴目ニ契印ヲ要ス

○戶籍法施行細則第五條第一項ニ依リ區裁判所へ送付スヘキ戶籍ノ文末ト認印及契印

1、戶籍法施行細則第五條第一項ニ依リ區裁判所へ送付スヘキ戶籍副本ニハ除籍事由若クハ抹消事由ノ文末ニ市町村長ノ認印ヲ要ス尙契印スヘキモノナレハ新戶籍法施行前ノ戶籍ノ副本ト施行後ノ戶籍ノ副本トニ付差異アリ

(大正四年三月十八日仙臺區裁判所監督判事問合)

(同年七月一日民第四〇四號法務局長回答)

2、戶籍法施行細則第五條第一項ニ依リ區裁判所ニ送付スヘキ戶籍副本モ一ノ戶籍ナルヲ以テ其事項欄記載ノ文末ニハ一事毎ニ總テ副本作成者タル市町村長ノ認印ヲ要ス

(大正六年二月二十一日大館區裁判所監督判事問合)

(同年三月六日民第四〇五號法務局長回答)

【注意】

3、前段各事項ノ文末ニハ認印ヲ要セサルコトニ省議變更セラ

○戶籍法第十二條ニ依リ區裁判所ニ送付スヘキ戶籍副本ノ文末ト認印及七契印

1、戶籍法第十二條ニ依リ區裁判所へ送付スヘキ戶籍副本ニハ

第一編 戶籍法規 第三章 戶籍ノ記載手續 第二十九條

○改製戶籍ノ文末ト認印

1、改製戶籍ニハ戶主ノ事項欄最終ニ「司法大臣ノ命ニ依リ年月日本戶籍ヲ改製ス」トノ記載認印スヘク原戶籍戶主事項欄ニハ「年月日改製ニ付本戶籍ヲ抹消ス」ト記載認印シ除籍ノ手續ヲ爲スヘク各氏名ノ事項欄ニハ改製又ハ抹消事由ヲ記載スルニ及ハス

(大正四年三月十九日大阪區裁判所監督判事問合)

(同年七月六日民第四一六號法務局長回答)

5、戶籍法第五十四條ニ依ル届書ノ記載及ヒ第百八十四條第一項但書ニ依リ身分登記ニ基キ記載シタル事項竝ニ戶籍法施行細則第十四條第二項第十五條及第十七條ニ依リ移記シタル事項ノ文末ニハ市町村長ノ認印ヲ要ス

(大正五年四月十八日廣島縣青島郡福相村長代理助役問合)

(同年十月二十一日民第六二九號法務局長回答)

2、改製シタル戶籍ノ事項欄ノ記載ニ付テハ移記シタル事項ノ末尾ニ市町村長ノ認印ヲ要ス

(大正四年三月六日青森區裁判所監督判事問合)

(同年四月二十六日民第三三三號法務局長回答)

實例判例文例人事法總覽

レタリ但シ後段除籍事由又ハ抹消事由ノ文末ニ認印ヲ要スル
ハ勿論ナリ

(大正九年十二月七日京都府綾部郡八幡町長稟伺
大正十年一月二十五日民事第四三三九號民事局長回答)

第三十條 戶籍用紙中ノ一部分ヲ用キ盡シタルトキハ掛紙ヲ爲スコ

トヲ得此場合ニ於テハ市町村長ハ職印ヲ以テ掛紙ト本紙トニ契印
ヲ爲スコトヲ要ス

第一編 戶籍 第三章 戶籍ノ記載手續 第三十條

第三十一條 届出事件ノ本人ノ本籍カ一ノ市町村ヨリ他ノ市町村ニ

轉屬スル場合ニ於テハ届出ヲ受理シタル市町村長ハ户籍ノ記載ヲ

爲シタル後遲滯ナク届書ノ一通ヲ他ノ市町村長ニ送付スルコトヲ

要ス

参考ニ市制一條、町村制一條。

【實例】

◎單ニ他ノ市町村長ノミカ户籍ノ記載ヲ爲スヘキ場合ト本籍ノ轉屬ナキ場合ニ於テ届書ヲ受理シタル市町村長及他ノ市町村長カ共ニ户籍ヲ爲スヘキトキ

1、第三十二條 (大正三年十月十四日山口區裁判所監督判事代理判事問合) (大正三年十一月十七日民第一五九九號法務局長回答)

参照

◎私生子ヲ父母ノ婚姻届書ニ嫡出子タル身分ヲ取得スル庶子トシテ記載シタルモノノ取扱方

1、甲村ノ甲男ト乙村ノ乙女トノ婚姻届書ヲ(該婚姻届書ニハ乙女ノ實家ニ在ル乙女ノ私生子丙ヲ父母ノ婚姻ニ因リ嫡出子

タル身分ヲ取得スル庶子トシテ記載シアリ) 甲村户籍吏ニ提出シタルヲ以テ甲村户籍吏ハ右届書ニ基キ乙及丙ノ入籍ノ手續ヲ爲シ届書副本及ヒ入籍通知書ヲ乙村户籍吏ニ送付セシ所丙ハ甲ヨリ通知セラレ居ラストノ理由ニテ返戻セリ依テ甲男ニ錯誤ノ通知ヲ爲シタルモ甲男ハ補正ノ手續ヲ爲ササル前死亡シ乙女ハ所在不明トナリ何人ヨリモ補正ノ手續ヲ爲サス届書ハ正副共ニ紛失セリ斯ル場合ハ甲村長ハ職權ヲ以テ丙ノ入籍事項ノ記載ヲ訂正スヘク而テ乙村長ハ甲村長ヨリ婚姻届出事項ノ記載アル户籍謄本ノ送付ヲ受ケ之ニ基キテ户籍ノ記

載ヲ爲スコトヲ得

(大正五年五月三日平戸區裁判所判事問合) (同年十月二十五日民第七〇九號法務局長回答)

◎大正十年七月一日以前ニ内地ノ女ト朝鮮人ト婚姻届ヲ女ノ本籍地ニ届出テ女ノ户籍ニノミ婚姻事項ノ記載シアル

1、大正十年七月一日以前ニ於テ内地ノ女カ朝鮮人トノ婚姻届ヲ女ノ本籍地ニ届出テ女ノ户籍ニノミ婚姻事項ノ記載シアルモノハ共通法第三條及同年朝鮮總督府令第九十九號第十一條ノ趣旨ニ從ヒ女ノ本籍地村長ニ於テ户籍法第四十二條ノ二第三十一條及ヒ第五十六條ニ依リ婚姻届書ノ謄本ヲ作り夫ノ本籍地府尹又ハ面長ニ送付シ其入籍通知ヲ俟テ女ヲ户籍ヨリ除クヘキ義ナリ

(大正十一年六月五日下午關區裁判所監督判事問合) (同年六月十三日民事第二四四號民事局長回答)

2、前項ノ女カ其夫トノ間ニ擧ケタル男子ヲ女ヨリ其本籍地ニ出生届出ヲ爲シタルモ廣島區裁判所監督判事ニ對スル大正五年十二月十六日民第一八四六號回答ニ依リ户籍ニ記載セラレシテ無籍ト爲リ居レルモノアリ右出生子ハ出生届ヲ受ケ居レル村長ニ於テ該出生届書ノ謄本ヲ作り父ノ本籍地府尹又ハ面長ニ送付スヘキ義ナリ

(大正十一年六月五日下午關區裁判所監督判事問合) (同年六月十三日民事第二四四號民事局長回答)

第三十二條

前條ノ場合ヲ除ク外他ノ市町村長カ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ必要アル場合ニ於テハ届出ヲ受理シタル市町村長ハ遲滯ナク届書ノ一通ヲ他ノ市町村長ニ送付スルコトヲ要ス

【實例】

◎單ニ他ノ市町村長ノミカ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ場合ト本籍ノ轉屬ナキ場合ニ於テ届書ヲ受理シタル市町村長及他ノ市町村長カ共ニ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキトキ

1、第三十二條ハ單ニ他ノ市町村長ノミカ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ場合ヲ規定シタルモノニ非ラスシテ本籍ノ轉屬ナキ場合ニ於テ届書ヲ受理シタル市町村長及他ノ市町村長カ共ニ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキトキノ取扱方ヲ包含スルモノトス而シテ此ノ場合ニ於テハ第五十六條第一項及第三項ヲ適用スヘク其ノ他本籍地外ニ於テ届出ヲ爲シタル場合及問合書例示ノ場合ノ如ク他ノ市町村長ノミカ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキトキハ同條第二項及第三項ヲ適用スヘキモノトス

◎夫ノ本籍地ニ於テ離婚届ヲ受理シ妻ノ實家ニ其ノ届書ヲ送付シ

(大正三年十月十四日山口區裁判所監督判事代理判事問合) 同年十一月十七日民第一五九九號法務局長回答)

タルニ其届出受理前實家ハ既ニ轉籍ヲ爲シタル爲實家ノ本籍地ヨリ右届書ノ返戻ヲ受ケタル所其ノ當時夫カ既ニ他ニ轉籍セル場合ノ手續

1、離婚届前既ニ妻ノ實家ノ本籍地ニ變更アルモ戸籍ノ記載ニ影響ナキヲ以テ戸籍訂正ノ手續ニ依ルコトヲ要セス乙町村長ハ戸籍法施行細則第十六條ニ從ヒ届書ニ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添附シ之ヲ丙町村長ニ送付スヘキナリ然ルニ既ニ之ヲ甲町村ニ返戻シタル以上ハ甲町村長ニ於テ届書ニ其ノ事由及夫ハ離婚届出後丁町村ニ轉籍シ當時在籍者ニアラサル旨ヲ記載シタル書面ヲ添付シテ更ニ丙町村ニ送附スヘシ

(大正四年五月十一日五條區裁判所監督判事問合) 同年五月十九日民第六九三號法務局長回答)

◎職權訂正又ハ職權記載ノ場合他ノ市町村長ニ於テモ同一ノ訂正又ハ記載ヲ爲スヘキトキ第三十二條ノ準用

1、戸籍法第三十九條第二項第六十四條第三項ニ因リ戸籍ノ訂

正又ハ記載ヲ爲シタル場合ニ於テ他ノ市町村長モ亦同一ノ訂正又ハ記載ヲ爲スノ必要アルトキハ第三十二條ニ準シ許可書ノ謄本ヲ他ノ市町村長ニ送付スルノ要アリ

(大正三年七月七日福岡地方裁判所長問合) 大正四年一月十六日民第一一八四號法務局長回答)

◎私生子ヲ父母ノ婚姻届書ニ嫡出子タル身分ヲ取得スル庶子トシテ記載シタルモノノ取扱方

1、第三十一條(大正五年五月三日平戶區裁判所判事問合) 同年十月二十五日民第七〇九號法務局長回答)參照

第三十三條 本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ニ付キ届出ヲ受理シタル後其者ノ本籍カ分明ト爲リタル旨又ハ其者カ本籍ヲ有スルニ至リタル旨ノ届出アリタル場合ニ於テハ前二條ノ規定ハ其届書及ヒ前ニ受理シタル届書ニ付キ之ヲ適用ス

【實例】

◎單ニ他ノ市町村長ノミカ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ場合ト本籍ノ轉屬ナキ場合ニ限リ届書ヲ受理シタル市町村長及他ノ市町村長カ共ニ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキトキ

1、第三十二條(大正三年十月十四日山口區裁判所監督判事代理判事問合) 同年十一月十七日民第一五九九號法務局長回答

参照

第三十四條 前三條ノ規定ハ届書ニ非サル書面ニ因リ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テハ市町村長ハ其受附ケタル書面ノ謄本ヲ作り其謄本ヲ送付スルコトヲ要ス

第三十五條

届出事件ノ本人ノ本籍カ他ノ市町村ニ轉屬スル場合ニ於テハ入籍地ノ市町村長ハ戶籍ノ記載ヲ爲シタル後除籍地ノ市町村長ニ入籍ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ爲スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

【實例】

◎第三十五條第二項ノ規定ト注意的ノ規定

1、改正戶籍法第三十五條第二項ノ規定ハ疑ヲ避クルカ爲メノ注意的規定ト心得ラルヘシ

(大正三年六月二十六日山口區裁判所監督判事問合
同年十二月二十八日民第一二二五號法務局長回答)

◎離婚届ヲ受理シタル後妻ノ除籍前妻ノ實家並ニ夫ノ本籍カ變更シタル場合ト入籍通知ノ取扱方

1、夫本籍地タル甲町村長ニ於テ離婚届ヲ受理シ妻實家本籍地

タル乙町村長ニ届書ヲ送付セシニ妻實家ハ右離婚届受理前既ニ丙町村ニ轉籍シ依テ届書ヲ甲町村ニ返戻セリ然ルニ夫ハ離婚届出後直チニ丁町村ニ轉籍セシヲ以テ離婚届返戻ヲ受ケタル當時甲町村ニ在籍セス此ノ場合ニ於テ甲町村長ハ前記事由ヲ以テ届書ヲ夫ノ新本籍地タル丁町村長ニ送付シ丁町村長ハ戶籍法第三十九條ニヨリ届出人ニ對シ錯誤ノ通知ヲ發シ戶籍訂正ノ申請ヲ待チ其ノ訂正申請書副本(職權訂正ヲ爲シタル

時ハ裁判所許可書謄本)ト共ニ届書ヲ甲町村長ニ返送シ甲町村長ハ更ニ妻實家新本籍地タル丙町村長ニ轉送シ丙町村長ハ

右届書及戶籍訂正申請書ニ依リ戶籍ノ記載ヲ爲スヘキヤト云

フニ離婚届前既ニ妻ノ實家ノ本籍地ニ變更アルモ戶籍ノ記載

ニ影響ナキヲ以テ戶籍訂正ノ手續ニ依ルコトヲ要セス乙町村

長ハ戶籍法施行細則第十六條ニ從ヒ届書ニ其ノ事由ヲ記載シ

タル書面ヲ添附シ之ヲ丙町村長ニ送付スヘキナリ然ルニ既ニ

之ヲ甲町村ニ返戻シタル以上ハ甲町村長ニ於テ届書ニ其ノ事

由及夫ハ離婚届出後丁町村ニ轉籍シ當時在籍者ニ非サル旨ヲ

記載シタル書面ヲ添附シテ更ニ丙町村ニ送付スヘシ

(大正四年五月十一日五條區裁判所監督判事問合
同年五月十九日民第六九三號法務局長回答)

2、前項ニ於テ丙町村長ヨリ甲町村長ニ入籍通知アリタル時ハ

甲町村長ハ其ノ儘何等ノ手續ヲ爲サス(受付帳ヘ記載セス)丁

町村長ニ轉送スヘキヤト云フニ丙町村長ハ妻ノ入籍手續ヲ了

シ丁町村ニ直接入籍通知アリタル場合ニ在リテハ丁町村長ニ

轉送スヘキモノトス

(大正四年五月十一日五條區裁判所監督判事問合
同年五月十九日民第六九三號法務局長回答)

◎舊法ニ依リ改製セサリシ戶籍ニ屬スル届出アリタル場合ト直ニ其ノ戶籍ニ新法所定ノ記載

第一編 戶籍法規 第三章 戶籍ノ記載手續 第三十五條

第三十五條

届出事件ノ本人ノ本籍カ他ノ市町村ニ轉屬スル場合ニ於テハ入籍地ノ市町村長ハ戶籍ノ記載ヲ爲シタル後除籍地ノ市町村長ニ入籍ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス但入籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ市町村長カ一家創立ノ届出ニ因リ除籍ヲ爲スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

【實例】

◎第三十五條第二項ノ規定ト注意的ノ規定

1、改正戶籍法第三十五條第二項ノ規定ハ疑ヲ避クルカ爲メノ注意的規定ト心得ラルヘシ

(大正三年六月二十六日山口區裁判所監督判事問合
同年十二月二十八日民第一二二五號法務局長回答)

◎離婚届ヲ受理シタル後妻ノ除籍前妻ノ實家並ニ夫ノ本籍カ變更シタル場合ト入籍通知ノ取扱方

1、夫本籍地タル甲町村長ニ於テ離婚届ヲ受理シ妻實家本籍地

タル乙町村長ニ届書ヲ送付セシニ妻實家ハ右離婚届受理前既ニ丙町村ニ轉籍シ依テ届書ヲ甲町村ニ返戻セリ然ルニ夫ハ離婚届出後直チニ丁町村ニ轉籍セシヲ以テ離婚届返戻ヲ受ケタル當時甲町村ニ在籍セス此ノ場合ニ於テ甲町村長ハ前記事由ヲ以テ届書ヲ夫ノ新本籍地タル丁町村長ニ送付シ丁町村長ハ戶籍法第三十九條ニヨリ届出人ニ對シ錯誤ノ通知ヲ發シ戶籍訂正ノ申請ヲ待チ其ノ訂正申請書副本(職權訂正ヲ爲シタル

1、戶籍法第百八十四條ニ依レハ舊法ノ規定ニ依ル戶籍ハ本法

ノ規定ニ依ル戶籍トシテ其效力ヲ有ス云々トアルヲ以テ其反

面解釋トシテ現行法ノ下ニ編製若ハ改正セラレサリシ戶籍ハ

新法實施ト同時ニ新法ノ所謂戶籍トシテ其效力ヲ有セサルモ

ノトス

2、前項ノ場合ニ現行法ニ依リ改製セラレサル戶籍ニ屬スヘキ

出生、離婚等ノ届出アリタル場合ニ於テハ直ニ其戶籍ニ新法

所定ノ記載ヲ爲シテ差支ナキモノトス

(大正三年十二月二十二日福島地方裁判所長問合
同年十二月二十八日民第一八六四號法務局長回答)

◎戶籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノノ解

1、戶籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノトハ主トシテ戶籍

ノ記載ヲ爲スヘカラサル事件ニ付戶籍ノ記載ヲ爲シタル場合

ヲ云フ例ヘハ外國人又ハ非本籍人ニ付キ戶籍ノ記載ヲ爲シタ

ルカ如キ是レナリ

(大正三年五月十八日大阪市東區戶籍吏問
同年十二月二十八日民第九九九號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正三年五月二十日大阪市東區戶籍吏問
同年十二月二十八日民第一九九四號法務局長回答)

◎入籍通知ト種類番號記載ノ要否

實例判例文例人事法總覽

1、本條ノ規定ニ依ル入籍通知ハ受付帳ニ記載スルコトヲ要スルモ種類番號ハ記載スルニ及ハス

(大正六年三月三日民第一三四六號法務局長回答)

◎甲町ノ甲男ト乙町ノ乙女トノ婚姻届ヲ丙町ニ爲シタルニ其ノ届出前ノ甲男ハ丙町ヘ分家シタル場合ト除籍手續

1、甲町ノ甲男ト乙町ノ乙女ト婚姻ヲ爲シ其届出ヲ丙町ニ提出シ丙町長ハ其届出ヲ受理シ甲乙丙町ニ送付セリ然ルニ甲男ハ婚姻届出前既ニ丙町ヘ分家ヲ爲シ丙町ノ本籍人ナルヲ以テ甲町ハ其事由ヲ記載シタル書面ヲ添ヘ届書ヲ丙町長ニ返戻セリ依テ丙町長ハ戶籍法第三十九條第三項ニ依リ乙町長ニ對シ夫ノ本籍記載ニ錯誤アル旨ノ通知ヲ爲シタリ此ノ場合乙町長ハ戶籍法第三十九條第一項ニ依リ届出人ニ對シ通知スヘキハ勿論ナルモ乙女ノ除籍ヲ爲スニ付テハ丙町ハ最初非本籍人トシテ受理シタルモノナルモ其後本籍人ナルコトヲ發見シ戶籍法第三十九條第三項ノ通知ヲ爲シタルモノナレハ乙女ヲ入籍シタルモノナルコトヲ確實ナリト認ムルコトヲ得ヘシ故ニ戶籍法第三十五條第一項ニ依リ入籍地ノ町長カ受理シタルモノトシテ直ニ除籍スルコトヲ妨ケス

(大正十三年四月三十日香川縣大川郡志河町長票伺
同年五月二十七日民事第七四七八號民事局長回答)

第三十六條

戶籍ノ記載手續ヲ完了シタルトキハ届書其他受理シタル書類ハ本籍人及ヒ非本籍人ニ區別シ本籍人ニ關スルモノハ戶籍編綴ノ順序ニ從ヒテ之ヲ編綴シ非本籍人ニ關スルモノハ事件ノ種類ニ依リ各別ニ之ヲ編綴シ且各目錄ヲ附スルコトヲ要ス
戶籍ノ記載ヲ要セサル事項ニ付キ受理シタル書類ハ之ヲ合綴シ且目錄ヲ附スルコトヲ要ス日本ノ國籍ヲ有セサル者ニ關スル事項ニ付キ受理シタル書類亦同シ

參考ニ戶籍法三七條。

【實例】

◎戶籍簿カ戶番號ト地番號ト混シテ編綴シアル場合ノ届書ノ編綴方

1、本籍人ニ關スル届書ハ現ニ戶籍カ編綴シアル順序ニ從ヒテ編綴シ非本籍人ニ關スル届書ハ事件ノ種類ニ從ヒテ之ヲ編綴

第一編 戶籍法規 第三章 戶籍ノ記載手續 第三十六條

スヘシ

◎第三十六條第一項ノ「非本籍人ニ關スルモノ」ノ解

1、第三十六條第一項ニ所謂戶籍ノ記載手續中ニハ届書類ノ送

(大正三年四月三十日新潟區裁判所監督判事問合
同年五月十九日民第七九三號法務局長回答)

實例判例文例人事法總覽

付手續ヲモ包含ス從テ同項ノ非本籍人ニ關スル書類トハ同條
第二項ノ書類ヲ除クノ外非本籍地市町村長ニ於テ受理シタル
一切ノ屆書類ヲ謂フ

(大正三年七月二十九日長岡區裁判所監督判事問合)
(同年十一月十七日民第一二七二號法務局長回答)

◎本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ノ死亡屆書等ハ第三十六條
第二項ノ書類ニ非ス

1、本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ノ死亡屆書若クハ死亡
報告書又ハ婚姻屆書ノ如キ書類ハ改正戸籍法第三十六條第二
項ノ書類ニ包含セズ

(大正三年十月十四日山口區裁判所監督判事代理判事問合)
(同年十一月十七日民第一五九九號法務局長回答)

◎屆書類ノ編綴方法及分綴ノ可否

1、戸籍ノ記載手續ヲ完了シタルトキハ屆書其他受理シタル書
類ハ本籍人及非本籍人ニ區別シ本籍人ニ關スルモノハ戸籍編
綴ノ順序ニ從ヒ編綴ヲ要スヘク規定セラレタリ右戸籍編綴ノ
順序ニ從フトハ戸籍カ地番號ノ順序ニ從ツテ編綴セララルト
同様ニ屆書モ亦地番號ノ順序ニ從ヒ之ヲ編綴スルノ謂ヒナリ
但シ事務取扱多キニ上ルトキハ分綴スルハ妨ケナシ

(大正三年五月十八日大阪市東區戸籍吏問合)
(同年十二月二十八日民第九九九號法務局長回答)

◎本籍人ト非本籍人トニ關スル事件ノ屆書類ノ編綴方法及屋番號ト

地番號トニ關スル事件ノ書類ノ編綴方

1、本籍人ト非本籍人トニ關スル事件トハ例ヘハ本籍人男ト非
本籍人女トノ婚姻ノ如キヲ謂フモノトセハ其ノ屆書ハ本籍人
ノ部ニ編綴スヘシ

(大正三年六月二十六日山口區裁判所監督判事問合)
(同年十二月二十八日民第一二五號法務局長回答)

◎第三十六條ノ書類ト入籍通知書及ヒ種痘符號ノ通知書

1、第三十六條第一項前段ニハ入籍通知書ヲ包含スルモ種痘符
號通知書ヲ包含セズ

(大正三年五月二十日大阪市北區戸籍吏問合)
(同年十二月二十八日民第一九九四號法務局長回答)

◎監督區裁判所ニ屆書ヲ送付シタル翌月入籍通知書到着シタルト
キト到着ノ月ノ部ニ編綴方

1、翌月監督區裁判所ヘ送付後入籍通知書到着ノトキハ到着セ
シ月ノ部ニ編綴スヘキモノトス

(大正三年五月二十日大阪市北區戸籍吏問合)
(同年十二月二十八日民第一九九四號法務局長回答)

◎胎兒認知屆書ノ處理

1、胎兒認知屆ハ第三十六條第二項ノ規定ニ依リ取扱フヘキモ
ノニシテ監督區裁判所ニ送付スヘキニ非ス(戸籍法施行細則
第四十五條第二項前段參照)

(大正三年六月五日群馬縣利根郡利南村長問合)
(大正四年一月九日民第一〇九號法務局長回答)

◎目錄ノ調製方

1、戸籍法第三十六條第一項ノ目錄ハ一ヶ月分ノ屆書類ヲ戸籍
編綴ノ順序ニ從ヒテ編綴シタル後之ヲ付スヘキモノトス而シ
テ轉籍其ノ他戸籍ヲ戸籍簿ヨリ除クヘキ事項ニ關スル屆書類
ハ元戸籍ノ編綴セラレタル順序ニ從ヒ編綴スヘシ

(大正三年十二月八日金澤區裁判所監督判事問合)
(大正四年一月十三日民第一八三〇號法務局長回答)

◎第三十六條第二項ノ書類ノ解

1、本籍ナキ者又ハ本籍分明ナラサル者ニ付テモ戸籍ノ記載ヲ
必要トセサル事項ノ届出ナシト謂フヲ得ス例ヘハ本籍不分明
ノ母ノ胎内ニ在ル子ヲ認知スル場合ノ届出ノ如キ是ナリ

(大正三年十一月二十四日岡山縣小田郡笠岡町長問合)
(大正四年一月十八日民第一七五六號法務局長回答)

◎附籍者ノ分籍、脱籍ニ關スル屆書類ノ保存

1、附籍者ノ分籍又ハ脱籍ハ便宜從來ノ手續ニ據ルヘキモノト
ス

(大正四年二月十八日高田區裁判所監督判事問合)
(同年三月三日民第二七九號法務局長回答)

2、前項ノ場合ニ依然從來ノ手續ニ據ルヘキモノナレハ

(イ)分籍届(即チ別立届)脱籍届ハ戸籍受付帳ニ記載スヘキモ
種類番號ハ記載ヲ要セズ

(ロ)其屆書保管ノ場所、保存期限ハ戸籍法ニ依ル屆書類ニ準

第一編 戸籍法規 第三章 戸籍ノ記載手續 第三十六條

シ取扱フ

(ハ)附籍者ノ戸籍カ附籍主ノ戸籍ト同一用紙中ニ記載アルモ
ノニシテ附籍主ノ戸籍ヲ家督相續其他ニ因リ除籍スル場合
ニハ附籍者ノ戸籍ヲ新ニ編綴シ除籍ノ手續ヲ爲スヘシ若シ
附籍者カ家族トシテ實家ノ戸籍ニ記載シアル場合ニ於テハ
附籍ハ脱籍ノ手續ニ因リ抹消スヘク脱籍ノ手續ヲ爲サ、ル
トキハ附籍主ノ戸籍ハ之ヲ抹消シ附籍者ノ戸籍ハ其ノ儘ニ
爲シ置キ戸籍ノ欄外ニ脱籍ノ手續ヲ爲ササルニ因リ抹消セ
サル旨ヲ記載シ戸籍ヲ除籍簿ニ移スヘシ

(大正四年二月十八日高田區裁判所監督判事問合)
(同年三月三日民第二七九號法務局長回答)

◎舊法施行前ノ失踪者ノ分明届又ハ復歸届ノ處理方

1、舊戸籍法施行前ノ届出ニ依リ戸籍ニ記載アル失踪ニ關スル
事項ニ新ニ戸籍ヲ編綴スル場合ニハ移記ヲ要セサルモノト
ス

2、前項ノ記載事項ヲ抹消セントスルニハ復歸又ハ分明届出ヲ
爲サシメタル上戸籍ノ記載ヲ移記スヘシ

(大正四年二月十八日高田區裁判所監督判事問合)
(同年三月三日民第二七九號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正四年六月十九日大阪區裁判所監督判事問合)
(同年七月六日民第九八二號法務局長回答)

◎各種類ノ届出ニ付入籍通知ナキ爲除籍ノ手續ヲ爲サ、ル場合ト
届書類ノ處理方

1、戸籍法第三十六條第一項ノ書類中左記ニ該當シ完全ニ戸籍ノ記載ヲ完了セサルトキハ其ノ完了ヲ待テ第三十七條ニヨリ監督區裁判所ヘ送付スルヲ相當トス
「各種類ノ届出ニツキ入籍通知ナキ爲メ除籍ノ手續ヲ爲ササル場合」
(大正四年五月十二日愛媛縣西宇和郡真穴村長伺
同年六月十二日民第七〇四號法務局長回答)

◎追完催告中ノ事件ニシテ其ノ月中ニ追完ヲ爲サル場合ト届書類ノ處理方

1、欠缺アル届書ト追完届書ト月ヲ異ニシテ受附タルトキハ各受附ノ月ノ部ニ編綴シテ監督區裁判所ニ送付スヘシ
(大正四年五月十二日愛媛縣西宇和郡真穴村長伺
同年六月十二日民第七〇四號法務局長回答)

◎非本籍人トシテ出生届ヲ爲シタルモノニ付後日本籍人ナルコトヲ發見シ追完届ヲ爲シタル場合ノ届書類ノ處理

1、非本籍人トシテ出生届ヲ爲シタルモノ後日本籍人ナルコトヲ發見シ追完届ヲ爲シタルトキハ戸籍法施行細則第九條第二項ニ依リテ定メタル種目ノ番號ヲ附スヘク其ノ他ノ場合ハ追完届ヲ以テ受附最初受附タル種類番號本籍人ノ部及本籍ナ更

正シ備考欄ニ第何號受附參照ト記載シ取扱フヘキモノナリ
(大正四年八月十日小倉區裁判所監督判事問合
同年九月四日民第一三八四號法務局長回答)

2、尙右ニ關スル戸籍事項記載方及届書整理方法ハ左ノ例ニ依ルヘク
「何郡何村何番地ニ於テ出生父何某届出大正何年何月何日受附」
日受附」
「父何某本籍追完届出大正何年何月何日受附入籍」
届書類ノ整理方法ニ付テハ前ニ受理シタル出生届及追完届ハ戸籍法第三十六條第一項ノ規定ニ依リ戸籍編綴ノ順序ニ從ヒテ之ヲ編綴スヘシ
(大正四年八月十日小倉區裁判所監督判事問合
同年九月四日民第一三八四號法務局長回答)

◎分家、廢家絶家、再興ヲ爲シ其家ヲ廢シテ縁組婚姻等ニ依リ他家ニ入りタル者カ縁組離婚ノ爲メ届書ニ復籍スヘキ家ニ付分家又ハ廢絶家再興前ノ本家戸主ヲ表示シ届出タルモノヲ復籍スヘキ家ノ市町村長ニ送付シタルニ他ノ市町村長ヨリ返戻セラレタル場合其ノ届書類ノ處理方
1、分家ヲ爲シ又ハ廢絶シタル本家分家廢家其他親族ノ家ヲ再興シタル者カ其家ヲ廢シテ養子縁組婚姻等ニ依リ他家ニ入りタル後離縁離婚ノ場合復籍スヘキ家ヲ分家又ハ廢絶家再興前

◎假令ハ左ノ如キモノノ其届書類一方ノ甲市町村カ受理シ戸籍ノ記載ヲ了シテ乙市町村長ニ其一通ヲ送附シタル場合乙市町村長ハ絶對ニ之ヲ受理スルコトヲ得ス
甲 法定ノ推定家督相續人ヲ離婚シタル届出
乙 法定ノ推定家督相續人カ分家他家相續廢絶家再興又ハ親族入籍ヲ爲シタル届出
丙 戸主又ハ法定代理人ノ同意ヲ缺ク分家廢絶家再興又ハ親族入籍ノ届出
丁 當事者カ届出ノ當時既ニ死亡シ居リタルコトノ明ナル分家、廢絶家再興等ノ届出
而シテ其届書類ハ之ヲ送付シタル甲市町村長ニ返戻シ甲市町村長ハ返戻ヲ受タル届書類届出人ニ差戻スヘキモノ他ノ一通ノ届書類ハ之ニ因リテ甲市町村ノ戸籍ノ記載ヲ爲シタルモノナルニ付之ヲ差戻スコトヲ得ス
(大正四年十月十九日下關區裁判所監督判事問合
大正五年三月二十三日民第四一三號法務局長回答)

◎内地人タル女ト朝鮮人タル男ト婚姻後子ノ出生アリタル場合ト
嫡子出生ニ關スル記載ト戸籍法第三十六條第二項ノ手續
1、内地人女ト朝鮮人男トカ戸籍法ニ依リ婚姻ヲ爲シタル後子女ヲ擧ケタルトキ女ノ本籍地ニ於テ嫡子出生ノ届出アリタ

◎他市町村長ヨリ受理スヘカラサルモノトシテ返戻セラレタル届書類ノ處理

ノ本家戸主ヲ表示シタル届書類受理届書類一通ヲ當該村ニ送付スルニ民法第七百四十條ニ依リ一家創立又ハ實家再興スヘキ旨ヲ以テ届書類返戻セラレタルトキ當事者カ追完訂正同時ニ一家創立又ハ廢家再興ヲ爲シタルトキハ返戻届書類ノ整理ハ如何ニナスヤト云フニ養子又ハ妻タリシ者ハ當然一家ヲ創立シタルモノナルニ付戸籍法第四百二十二條ノ規定ニ依リ一家創立ノ届出ヲ爲サシムヘク返戻セラレタル届書類ハ其ノ儘保存スルカ又届出人ニ差戻スヘキヤ便宜ノ處分ニ任ス
(大正四年十一月二十五日北海道空知郡岩見澤町長伺
大正五年三月二十三日民第三九一號法務局長回答)

1、本年七月二十日栃木區裁判所監督判事問合ニ對スル同年八月二日民第一二三七號中三項ノ轉籍届ハ届出人ニ差戻スヘシトアリ右ハ届書類返戻ヲ受ケタル轉籍地市町村長ハ其返戻ヲ受ケタル届書類ミチ届出人ニ差戻スヘキ趣旨ナリ
(大正四年十月十九日下關區裁判所監督判事問合
同五年三月二十三日民第四一三號法務局長回答)

本年七月二十日栃木區裁判所監督判事ノ問合ニ對スル同年八月二日民第一二三七號四項中回答ニ所謂本來受理スルコトヲ得サル届出トハ届出ニ因リ效力ノ生スル行爲ニ關スルモノ

實例判例文例人事法總覽

ル場合ハ市町村長ハ其ノ届出ヲ受理スルニ止メ女ノ戸籍ニ嫡
出子出生ノ記載ヲ爲サス戸籍法第三十六條第二項ノ手續ヲ爲
スヘシ

(大正五年十一月十四日廣島區區裁判所監督判事問合)
(同年十二月十六日民第一八四六號法務局長回答)

◎大正六年訓令第一號ノ認證謄本交付ノ手續及手数料並ニ請求書
ノ保存

1、亞米利加合衆國ニ在住スル本邦人ト婚姻シタル者カ同國ニ
渡航スル爲メ婚姻届書ノ謄本ヲ市町村長ニ請求シタル場合ニ
於ケル取扱方ハ

- 一 市町村長カ監督區裁判所ヨリ届書謄本ノ送付ヲ受ケタル
トキハ其送付ヲ受ケタル謄本ヲ本人ニ交付スヘキモノナリ
- 二 市町村長カ届書謄本ヲ下附スルニ付テハ送付ニ要スル實
費ノ外手数料ヲ徵集スルコトヲ得サルモノトス
- 三 訓令中「請求書ヲ區裁判所ニ送付シ」トアルハ謄本ノ請求
者ヨリ其書面ヲ徴シ廻送スルモノニシテ該書面ハ監督區裁
判所ニ保存スヘキモノトス

(大正六年六月十五日安濃津區區裁判所監督判事問合)
(同年七月十四日民第一八八九號法務局長回答)

◎他市町村ニ在ル父母ノ婚姻ニ因リ嫡出子ノ身分ヲ取得スヘキ庶
子ニ付父母ノ婚姻届ノ送付ヲ受ケタル場合ノ手續

2、第三十六條第二項ノ書類ハ監督區裁判所ニ送付スヘカラス
(大正三年四月三十日山口縣縣毛郡室積町戸籍吏代理助役何)
(同年十二月二十八日民第八九三號法務局長回答)

◎欠缺アル届書ト其ノ追完ヲ了ラサル前ト雖之ヲ區裁判所ニ送付

- 1、市町村長カ欠缺アル届書ヲ受理シタルトキハ先ツ之ニ基キ
欠缺ノ儘爲シ得ル戸籍ノ記載ヲ完了シ其届書ハ監督區裁判所
ニ送付シ置キ其ノ他ノ記載ハ追完アリタルトキ之ヲ爲スヘク
若追完ノ催告ヲ爲スモ届出義務者カ遂ニ追完ヲ爲ササル場合
ニ於テハ第六十四條第三項ノ規定ニ依リ職權ヲ以テ戸籍ノ記
載ヲ爲スヘキモノトス

(大正三年六月五日群馬縣利根郡利南村長問合)
(大正四年一月九日民第一〇〇九號法務局長回答)

◎第三十六條、第三十七條ノ書類ニ付裁判所、豫審判事ノ命令若
ハ檢事局ノ照會アリタルトキト送付

- 1、戸籍法第三十六條、第三十七條ノ書類ニ付キ裁判所又ハ豫
審判事ノ命令若クハ檢事局ノ照會アリタルトキハ送付スルコ
トヲ得

(大正三年十一月十二日熊本區區裁判所監督判事問合)
(大正四年一月十五日民第一七一七號法務局長回答)

【檢事局ノ照會ニ付同趣旨】

(大正四年九月八日根室區區裁判所監督判事問合)
(同年九月九日民第一五〇二號法務局長回答)

◎戸籍ニ關スル届書類ト裁判所ニ送付ノ途中紛失シタル場合

第一編 戸籍法規 第三章 戸籍ノ記載手續 第三十六條

1、甲村甲ノ庶子女乙婚姻ニ因リ乙村ニ入籍シタル後其實家ニ
於テ父母婚姻シ嫡出子ノ身分ヲ取得シタルニ付該事項ヲ記載
シタル婚姻届ヲ甲村ヨリ乙村ニ送付シ來リシ場合届出事件ハ
婚姻事件ノ本人ハ父母ニシテ乙女ハ届出事件ノ本人ニアラス
其父母カ婚姻ヲ爲シタル結果身分ニ變更ヲ生スルニ過キサレ
モノナレハ乙村ニ於テハ非本籍人婚姻トシテ受理シ受附帳届
出事件ノ本人氏名欄及ヒ本籍欄ニハ父母ノ氏名本籍ヲ記載シ
備考欄ニ乙女ノ本籍氏名ヲ記載シ且嫡出子ノ身分取得ノ爲メ
婚姻届書ニ基キ乙女ノ戸籍事項欄ニ戸籍記載例四十八ノ振合
ニ依リ記載ヲ爲シ尙届書送付者ノ職氏名送付年月日ヲ記載シ
又其届書ハ戸籍法第三十六條ニ依リ非本籍人ノ部ニ編綴スヘ
キモノトス

(大正四年四月十二日愛知縣額田郡岡崎町長問合)
(同年四月二十一日民第五〇三號法務局長回答)

◎第三十六條第二項ノ書類ノ保存ノ場所

1、新法第三十六條第二項戸籍記載ヲ要セサル事項ニ付受理シ
タル書類ハ本籍人タルト非本籍人タルトヲ問ハス合綴目錄ヲ
付シ役場ニ保存ス其ノ他ハ戸籍法施行細則ニ依リ了知セラレ
ヘシ

(大正三年七月二十九日長岡區區裁判所監督判事問合)
(同年十一月十七日民第一二七二號法務局長回答)

1、市町村役場ニ於テ戸籍法第三十六條第一項ノ戸籍ニ關スル
戸書類ヲ同法第三十七條ニ依リ當區裁判所ニ送付ノ途中紛失
シタル場合ニハ受附帳ニ依リ取調書ヲ作製スヘシ
前項ノ場合ニ於テハ再製スルコトヲ要セス

(大正四年十一月十二日水戸區區裁判所監督判事問合)
(同年十一月二十六日民第一七六九號法務局長回答)

◎市町村長カ區裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍ノ全部ヲ抹消シタル場合
ト其ノ副本ノ送付並ニ許可書其ノ他ノ關係書類ノ送付

戸籍法第三十九條第二項ニ依リ市町村長カ裁判所ノ許可ヲ
得テ戸籍全部ヲ抹消シタルトキハ細則第五條ニ依リ其ノ戸籍
ノ副本ヲ監督區裁判所ニ送付スヘキハ勿論ナルヘキモ許可書
其他關係書類ハ戸籍法第三十六條第一項ノ受理書類トシテ同
第三十七條ニ依リ送付スヘキモノトス
前項許可書ハ右三十六條ノ書類ニ包含スルトセハ一戸一件ト
シテ受附帳ニ記載スヘキモノトス

(大正四年十月十六日岡山區區裁判所監督判事問合)
(大正五年三月十一日民第三三三號法務局長回答)

◎同一事件ニ付數人ノ届出義務者ヨリ届出ト前後ノ届出ノ相違

1、同一事件ニ付數人ノ届出義務者ヨリ各別ニ出生届出ヲ爲シ
タル場合ニ於テ後ニ受理シタル届出ニ因リテ爲シタル戸籍ノ
記載カ前ニ受理シタル届書ト相違スル場合ハ前ニ受理シタル

實例判例文例人事法總覽

届書ニ基キ戸籍ノ訂正ヲ爲スヘキコトハ戸籍法第四十條ニ規定アルモ前後ノ届出カ相違セサル場合ノ規定ナシ右ノ場合ニ於テハ戸籍法記載例百三十一ノ例ニ準スルノ要ナシ

(大正七年十月二十八日鹿兒島市長問合)
(大正七年十二月二十一日民部第二四三六號法務局長回答)

2、前項戸籍ノ記載ヲ要セサルカ故ニ前ニ受理シタル届書ハ戸籍法第三十六條第一項ノ書類ニ該ラサルモノトシテ監督區裁判所ニ送付ヲ要セス

(大正七年十月二十八日鹿兒島市長問合)
(同年十二月二十一日民部第二四三六號法務局長回答)

◎戸籍ニ關スル届書類カ區裁判所ニ送付ノ途中紛失シタル場合ノ手續

1、戸籍法施行後ノ戸籍ニ關スル届書類ヲ市町村役場ヨリ區裁判所ヘ送付スル途中ニ於テ紛失シタルトキハ受附帳ニ依リ取調書ヲ作製スヘシ

(大正四年二月十九日奈良區裁判所監督判事問合)
(同年三月十一日民部第三二四號法務局長回答)

【参照】

2、身分登記簿ニ就キ届書ノ紛失シタル部分ノ登記事件ノ數、其種類、被登記者ノ氏名等ヲ調査シ之ニ以上ノ登記ニ關スル届書ハ何年何月何日ヨリ何月何日マテノ間ニ郵送中又ハ戸籍役場ニ於テ紛失シタル旨ヲ記載シタル取調書ヲ徴シ其保存セ

ル届書中適宜ノ場所ニ編綴シ置ク等届書ノ紛失シタルコトハ表示スルニ必要ナル手續ヲ爲サシム

(明治三十三年一月二十五日大分地方裁判所長代理部長判事問合)
(明治三十三年二月十五日民部第一二五號民刑局長回答)

第三十七條 前條第一項ノ書類ハ一箇月毎ニ遲滯ナク之ヲ監督區裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

【實例】

◎胎兒認知届書ト裁判所ニ送付

1、胎兒認知アリシモノ出生シ庶子出生届アリシ場合ニハ改正戸籍法第十八條第十四號ニ依リ胎兒認知ノ事項ニ付テモ記載ヲ要ス而シテ庶子出生届ニ依リ出生子ヲ記載スル際ニ胎兒認知ノ事項ヲ記載スヘキモノトス

前項ノ場合ニ胎兒認知届書ハ庶子出生届出後ト雖モ第三十七條ニ依リ監督區裁判所ニ送附スヘキモノニ非ス

(大正三年四月三十日新潟區裁判所監督判事問合)
(同年五月十九日民部第七九三號法務局長回答)

2、胎兒認知届ハ第三十六條第二項ノ規定ニ依リ取扱フヘキモノニシテ監督區裁判所ニ送付スヘキモノニ非ス(戸籍法施行細則第四十五條第二項前段參照)

◎第三十六條第三十七條ノ書類ニ付裁判所發審判事ノ命令若クハ檢事局ノ照會アリタルトキト送付

第一編 戸籍法規 第三章 戸籍ノ記載手續 第三十七條

1、第三十六條(大正三年十一月十二日熊本區裁判所監督判事問合)參照

◎各種類ノ届出ニ付入籍通知ナキ爲除籍ノ手續ヲ爲ササル場合ト届書類ノ處理方

1、第三十六條(大正四年五月十二日愛媛縣西宇和郡真穴村長問合)參照

◎市町村長カ區裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍ノ全部ヲ抹消シタル場合ト其ノ戸籍ノ副本ノ送付並ニ許可書其ノ他ノ關係書類ノ送付

1、第三十六條(大正四年十月十六日岡山區裁判所監督判事問合)參照

◎民法施行前ノ失踪者ト復歸シタル場合ノ手續

1、民法施行前ノ失踪者ニ付復歸届ヲ爲シタル場合復歸届ハ戸籍法ニ依ル届書類ニ準シ取扱フヘキヲ以テ同法第三十七條ノ規定ニ依リ送付ヲ爲スヘシ

(大正五年四月十八日廣島縣鹽田郡福相村長代理助役問合)
(同年十月二十一日民部第六二九號法務局長回答)

◎家督相續届・分家届書類ノ保存

1、家督相續届分家届ノ如キ新ナル戸籍ヲ作りタル届書ハ戸籍

實例判例文例人事法總覽

法第三十七條ニ依リ監督區裁判所ニ送付スヘキモノニシテ市町村役場ニ於テ保存スヘキモノニアラス

(大正八年六月十七日廣島縣廣品郡福相村長稟例) 同年八月一日民事第二一五號民事局長回答

◎同一事件ニ付數人ノ届出義務者ヨリ届出ト前後ノ届出ト相違

1、第三十六條(大正七年十一月二十八日鹿兒島市長問合) 大正七年十二月二十一日民事第二四三六號法務局長回答

参照

第三十八條 第三十六條ノ書類ノ保存期間ハ司法大臣之ヲ定ム

参考||明治三十五年司法省令第三號身分登記戶籍及寄留ニ關スル書類保存規程

【實例】

◎附籍者ノ分籍、脱籍ニ關スル届書類ノ保存

1、分籍届(即チ別立届)脱籍届ノ保管ノ場所保存期限ハ戶籍法ニ依ル届書類ニ準シ取扱フモノトス

(大正四年二月十八日高田區裁判所監督判事問合) 同年三月三日民事第二七九號法務局長回答

第一編 戶籍法規 第三章 戶籍ノ記載手續 第三十八條

第三十九條

戶籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノナルコト又ハ其記載ニ錯誤若クハ遺漏アルコトヲ發見シタル場合ニ於テハ市町村長ハ遲滯ナク届出人又ハ届出事件ノ本人ニ其旨ヲ通知スルコトヲ要ス但其錯誤又ハ遺漏カ市町村長ノ過誤ニ出テタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ通知ヲ爲スコト能ハサルトキ又ハ通知ヲ爲シタルモ戶籍訂正ノ申請ヲ爲ス者ナキトキハ市町村長ハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ戶籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得前項但書ノ場合亦同シ
裁判所其他ノ官廳、檢事又ハ吏員カ其職務上戶籍ノ記載ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク届出事件ノ本人ノ本籍地ノ市町村長ニ其旨ヲ通知スルコトヲ要ス

參考 戶籍法一六四條、一六六條。

【實例】

◎婚姻(縁組)届ヲ婚家(養家)ノ町村長ニ於テ受理シ其届書ヲ妻(養子)ノ實家ノ町村長ニ送付シタルニ實家ハ其ノ届出受理前既ニ轉籍シタル場合ノ手續

1、婚姻又ハ養子縁組届ヲ婚家又ハ養家ノ本籍地町村長ニ於テ受理シ其ノ届書ノ一通ヲ妻又ハ養子ノ實家ノ本籍地町村長ニ送付セシ處其實家ハ右届受理前既ニ他町村ニ轉籍セシ趣ヲ以テ届書ノ返戻ヲ受ケタルトキハ婚家又ハ養家ノ本籍地町村長ハ戶籍法第三十九條ニ依リ届出人ニ錯誤ノ通知ヲ爲シ戶籍訂正ノ申請ヲ待テ其ノ申請書ノ副本ト共ニ前ニ受理シタル届書ヲ實家ノ新本籍地町村長ニ送付シ實家ノ新本籍地町村長ハ其ノ届書及申請書ニ基キ戶籍ノ記載ヲ爲スヘキヤト云フニ實家ノ原籍地市町村長ヨリ返戻セシタル届書ハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添付シ直チニ實家ノ新本籍地市町村長ニ送付シ同市町村長ハ之ニヨリテ除籍ノ手續ヲ爲スヘク戶籍訂正ノ申請ヲサシムルノ必要ナシ

(大正四年五月六日五條區裁判所監督判事問合 同年五月二十二日民第六五三號法務局長回答)

◎舊戶籍法施行前甲村ヨリ乙村ヘ轉籍シタル旨甲村除籍簿ニ記載アルモ乙村ニハ之カ戶籍ヲ編製セス無籍者ト爲リ居ル者ノ就籍

手續

1、舊戶籍法施行前甲村ヨリ乙村ヘ轉籍シタル旨甲村除籍簿ニ記載アルモ乙村ニハ之カ戶籍編製ナク無籍者トナリ居レリ此ノ場合ニハ甲村長ヨリ届書ニ代ルヘキ書類トシテ除籍簿本ノ送付ヲ受ケ之ニ基キ戶籍ヲ編製スヘキモノトス

(大正五年五月十七日熊本區裁判所監督判事問合 同年十月二十六日民第八〇四號法務局長回答)

◎被離籍者一家創立前所在地ニ於テ出生届ヲ爲シタル場合ノ手續

1、民法第七百四十九條第三項ニヨリ離籍セラレタル父所在地市町村長ヘ離籍前ノ本籍戶主トノ續柄ヲ記載シ長男出生届ヲナシタルニ付キ(但シ長男出生ハ離婚後ニ係ル)所在地市町村長ハ出生届ノ一通ヲ本籍地町村長ヘ送付セシニ本籍地市町村長ヨリ父既ニ離籍セラレ一家創立ノ手續前ナル旨ヲ以テ届書返戻ニ付キ所在地市町村長ハ戶籍法第六十五條ノ追完催告ヲナシタリ然ルニ届出人ハ追完手續ヲ爲サス此ノ場合ニ於ケル所在地市町村長カ既ニ受理シタル出生届書ハ如何ニ處理ス可キモノナリヤト云フニ出生届ハ本籍分明ナラサル者ノ届出ニ該當スルヲ以テ其ノ届出人ノ本籍定マルヲ待テ本籍地ノ市町村長ニ送付スヘキモノトス而シテ離籍セラレタル者カ一家創立ノ手續ヲ爲ササルトキハ本籍地市町村長ニ於テ戶籍法第六

實例判例文例人事法總覽

十四條第三項同第三十九條第二項ノ規定ニ從ヒ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ者ノ戶籍ヲ編製シ所在地市町村長ヨリ出生屆書ノ再送ヲ受ケ出生子ノ戶籍記載ヲ爲スヘシ

(大正七年五月二十四日民部第二〇一號法務局長回答)

2. 戶籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノトハ主トシテ戶籍ノ記載ヲ爲スヘカラサル事件ニ付戶籍ノ記載ヲ爲シタル場合ヲ謂フ例ヘハ外國人又ハ非本籍人ニ付戶籍ノ記載ヲ爲シタルカ如キ是ナリ

(大正三年五月十八日大坂市北區戶籍吏向
同年十二月二十八日民部第九九號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正三年五月二十日大坂市北區戶籍吏向
同年十二月二十八日民部一九四號法務局長回答)

◎「戶籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノ」ト「戶籍ノ記載ニ錯誤若クハ遺漏アルモノ」トノ差異

1. 改正戶籍法第三十九條及ヒ第六十四條ニ依ル「戶籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノ」ト「戶籍ノ記載ニ錯誤若クハ遺漏アルモノ」トノ區別
一 戶籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノトハ法律上全然戶籍法ノ支配ヲ受ケサル事項ニ付爲シタル記載ヲ云フ假令ハ寄留、兵役、學事ニ關シ爲シタル記載又ハ外國人ニ付キ

作リタル戶籍ノ如キモノヲ云フ

二 戶籍ノ記載ノ錯誤トハ市町村長ノ錯誤ニ係ルモノハ勿論屆書ノ記載ニ誤謬アリシ爲メ生シタル錯誤ヲ云フノ外一ノ事實ニ屬スル事件ニシテ届出ノ無効又ハ錯誤ナリシ爲メ記載モ亦錯誤ニ係ルモノ及ヒ届出ニ因リテ效力ヲ生スヘキ事件ナリト雖モ行爲自體ノ無効ニ非スシテ届出ノ錯誤ナリシ爲メ記載モ亦錯誤ニ係ルモノヲ云フ假令ハ左ノ屆書ニ基キ爲シタル記載ヲ發見シタル如キ場合ハ法文ニ所謂記載ニ錯誤アルコトヲ發見シタル場合ニ該當スルモノト云フコトヲ得ヘシ但(ト)號ハ記載ニ遺漏アルモノト云フヘシ

(イ)法定ノ推定家督相續人アルモノニ付其相續人以外ノ者ヨリ爲シタル相續届

(ロ)生存者ヲ死亡者ナリトシテ爲シタル死亡届

(ハ)他人ノ子ヲ自己ノ子トシテ爲シタル出生届

(ニ)戶主以外ノ者ヨリ爲シタル轉籍届

(以上事實ニ屬スル事件ニシテ届出ノ錯誤無効ニ係ルモノトス)

(ハ)直系尊屬又ハ傍系親ヲ分家者ニ從ヒテ其家ニ入ルヘキモノトシテ爲シタル分家届

(大正六年一月十七日最手縣下伊都郡織笠村長稟向
同年二月十六日民部第一四〇號法務局長回答)

【注意】

2. 除籍副本ニ限リ其ノ抹消事由又ハ除籍事由ノ文末ニ市町村長認印ヲ爲シタル上ハ各記載事項ノ文末ニ認印セサルモ差支ナキコトニ先例變更セラレタリ

(大正十年一月二十五日民事第四三三九號民事局長回答)

◎法律上許スヘカラサル記載及錯誤ノ記載ノ例示

1. 左記ノ場合ハ戶籍法第三十九條ニ所謂法律上許スヘカラサルモノトス但シ(ニ)ノ二例ハ本則トシテ民法第九百六十六條ノ回復裁判ニ因リ届出ヲ爲スヘキ場合ニ該ルモ相續届出人自ラ訂正ノ申請ヲ爲ス此場合ハ法律上許スヘカラサル記載トス

(イ)規定ナキ届出ニ基ク記載

例 父カ子ニ對スル親權ニ關スル事項ノ記載

家督相續人選定ニ關スル事項ノ記載

(ロ)規定上不要ノ記載

例 被指定者ノ戶籍ニ爲シタル家督相續人指定ニ關スル事項ノ記載

脱兒認知ニ關スル事項ノ記載

◎除籍副本ノ文末認印

1. 除籍副本ノ事項文末ニ現村長認印ヲ要スルモノトス

第一編 戶籍法規 第三章 戶籍ノ記載手續 第三十九條

◎移記事項ノ文末ニ認印ヲ爲スヘキ場合ノ解

1. 新編製戶籍ニ移記シタル事項文末認印ニ付キ本年一月十五日民部第一七一七號及ヒ同月二十日民部第五五號ノ回答ハ左ノ事項文末ニモ之ヲ要スヘキ趣旨ナリ

一 基本タル戶籍ノ記載其儘ヲ移記(轉寫)シタル事項

一 基本タル戶籍ニ記載シアルモノヲ移記ノ際新法ノ例ニ準シ(身分登記ニ依リ補足シタル事項ナシ)記載シタル事項

(大正四年七月六日福岡地方裁判所長問合
同年七月十七日民部第一三九號法務局長回答)

◎除籍副本ノ文末認印

1. 除籍副本ノ事項文末ニ現村長認印ヲ要スルモノトス

第一編 戶籍法規 第三章 戶籍ノ記載手續 第三十九條

實例判例文例人事法總覽

(ハ)無効ノ届出ニ基ク記載

例 届出義務者ニアラサル者カ爲シタル届出ニ基ク記載偽造變造ノ届出ニ基ク記載

(ニ)違法ノ届出ニ基ク記載

例 裁判所ノ許可ヲ受ケスシテ爲シタル届出ニ基ク廢家ニ關スル事項ノ記載

例 正當相續人ニアラサル者カ届出ヲ爲シタル家督相續ニ關スル事項ノ記載

2、左ノ場合ハ錯誤ノ記載ニ屬ス

(イ)届出ニ基カサル記載

例 婿養子縁組ノミニヨリ爲シタル婿養子婚姻ニ關スル事項ノ記載

項ノ記載

離婚届ノミニ因リ編製シタル絶家再興ノ戸籍ノ記載

(ロ)虚偽ノ届出ニ基ク記載

例 他人ノ子ヲ自己ノ子トシテ出生届出ヲ爲シタルニ基ク記載

死亡セサル者ノ死亡届出ヲ爲シタルニ基ク記載

3、左記ハ戸籍法第六十五條ニ依ルヘキモノ

(イ)届出ニ因リ效力ヲ生スヘキ行爲ニ關シ無効ノ行爲ニ基キ

届出ヲ爲シタルニ因ル記載

例 人違ノ婚姻又ハ縁組ニ關スル事項ノ記載

法定推定家督相續人アル者ノ家督相續人指定ニ關スル事項ノ記載

4、左記ハ戸籍法第六十七條ノ手續ヲ爲スヘキモノ

(イ)届出ニ因リ效力ヲ生スヘキ行爲ニ關シ取消シ得ヘキ行爲ニ基キ届出ヲ爲シタルニ因ル記載

例 重婚又ハ年長者ヲ養子トスル縁組ニ關スル事項ノ記載

裁判所ノ許可ヲ受ケスシテ爲シタル隱居ニ關スル事項ノ記載

(大正三年七月七日福岡地方裁判所長問合)

(大正四年一月十六日民第一一八四號法務局長回答)

◎附籍者ノ分籍及脱籍ノ手續

1、附籍者ノ分籍又ハ脱籍ハ便宜從來ノ手續ニ依ルヘシ

(大正四年二月十八日高田區裁判所監督判事問合)

(同年三月三日民第二七七號法務局長回答)

◎舊法施行前ノ失踪ニ關スル事項抹消方

1、舊法施行前ノ届出ニ依リ戸籍ニ記載アル失踪ニ關スル記載事項ヲ抹消セントスルニハ便宜復歸又ハ分明届出ヲ爲シシメタル上戸籍ノ抹消ノ手續ヲナスヘシ

(大正四年二月十八日高田區裁判所監督判事問合)

(同年三月三日民第二七七號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正四年三月十五日奈良區裁判所監督判事問合)

(同年六月二十二日民第四一三號法務局長回答)

1、舊法ノ規定ニ依リ改製セサリシ戸籍ニ「年月日失踪」ト記載セルモノアリ右ハ新ニ戸籍ヲ編製スル迄ハ失踪ノ記載ハ其ノ儘ニ爲シ置クヘシ但シ本人ノ所在カ分明ナルトキハ便宜復歸又ハ分明ノ届出ヲ爲サシメタル上戸籍ノ記載ヲ抹消スヘシ

(大正四年五月十七日五條區裁判所監督判事問合)

(同年六月十二日民第七五二號法務局長回答)

◎臺灣ニ居住スル者ヨリ認知届ヲ郵送シ本籍地村長之ヲ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後認知者ノ死亡届ヲ受理シタル場合其ノ死亡ノ日カ認知届ノ受理前ナルトキノ手續

1、私生子認知ハ民法第八百二十九條第二項ノ場合ヲ除ク外同條第一項ニ依リ市町村長ニ届出ツルニ依リ其ノ效力ヲ生スヘキモノナリ而シテ臺灣ニ居住スル者ヨリ認知届ヲ郵送シ本籍地村長ニ於テ之ヲ受理シ戸籍ノ記載手續ヲ爲シタル後認知者ノ死亡届ヲ受理シタル處其死亡ノ日ハ認知届受理前即チ認知届郵送ノ途中ニ繋リ此ノ場合ニ於テハ認知者カ認知ヲ爲ス意思ヲ以テ認知届ヲ發送シタル以上ハ其届書カ本籍地村長ニ到達スル前ニ認知者カ死亡シタルトキト雖モ村長ノ受理ニ因リテ認知ノ效力ヲ生スヘシ從テ戸籍ノ記載ハ其儘ニ爲シ置クヲ

第一編 戸籍法規 第三章 戸籍ノ記載手續 第三十九條

相當トス

(大正四年六月二日丸龜區裁判所監督判事問合)

(同年六月十五日民第九〇二號法務局長回答)

◎身分登記ニ錯誤アリ之ニ基ク戸籍ノ記載ニ錯誤アル場合ト戸籍訂正ノ申請

1、新戸籍法ニハ身分登記ノ變更ニ關スル規定ナク戸籍ノ訂正ニ關スル規定アルノミナルヲ以テ本登記ニ錯誤アリ隨テ戸籍記載ニ錯誤アル場合ハ本法第六十四條ニ依リ戸籍ノ訂正ヲ申請セハ足ルモノトス

(大正四年三月六日秋田區裁判所監督判事問合)

(同年六月十一日民第三五四號法務局長回答)

◎戸籍法第三十九條第一項本文ト同條但書ニ規定セル錯誤又ハ遺漏ノ區別ノ標準

1、戸籍法第三十九條第一項本文ノ錯誤遺漏ト同條第一項但書市町村長ノ過誤ニヨル錯誤遺漏トノ區別ノ標準ハ錯誤又ハ遺漏カ届出ニ基キテ生シタルモノナリヤ或ハ市町村長ノ過誤ニ因リテ生シタルモノナリヤニ依リテ決定スルノ外ナシ

(大正六年八月十七日宇都宮市代理助役問合)

(大正七年五月二十四日民第一一〇一號法務局長回答)

◎甲市町村ノ本籍人カ乙市町村ニ於テ其ノ子ノ出生届ヲ爲シ之ヲ甲市町村長カ送付ヲ受ケタル場合ニ届書中錯誤又ハ遺漏アル場合ノ手續

實例判例文例人事法總覽

1、甲市町村ニ本籍ヲ有スルモノカ乙市町村ニ於テ其ノ子ノ出生届出ヲ爲シ甲市町村長カ其ノ届書ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テハ届書中錯誤又ハ遺漏アルモ(戸籍面上顯カナルトキ)其ノ儘戸籍記載ノ手續ヲ爲スヘシ但シ戸籍法第三十九條第一項ノ手續ヲ爲スヲ要セス

(大正三年十一月二十四日岡山縣小田郡笠岡町長伺) (大正四年一月十八日民部第一七五六號法務局長回答)

○戸籍法第三十九條第二項中「申請ヲ爲ス者ナキトキ」トアルハ「申請ヲ爲ササル」場合ヲ包含ス

1、戸籍法第三十九條第二項中ノ通知ヲ爲シタルモ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ス者ナキトキトアルハ通知ヲ爲シタルモ訂正ノ申請ヲ爲ササル場合ヲモ包含スルモノトス

(大正四年四月十二日愛知縣額田郡岡崎町長伺) (同年四月二十一日民部第五〇三號法務局長回答)

○夫ノ本籍地ニ於テ離婚届ヲ受理シ妻ノ實家ニ其ノ届書ヲ送付シタルニ其ノ届出受理前實家ハ既ニ轉籍ヲ爲シタル爲メ實家ノ本籍地ヨリ右届書ノ返戻ヲ受ケタル處其ノ當時夫カ既ニ他ニ轉籍セル場合ノ手續

1、夫本籍地タル甲市町村長ニ於テ離婚届ヲ受理シ妻實家本籍地タル乙市町村長ニ届書送付セシ處妻實家ハ右離婚届受理前既ニ丙市町村ニ轉籍ノ趣ヲ以テ届出ヲ甲市町村ニ返戻セリ然ルニ夫ハ

離婚届出後直チニ丁市町村ニ轉籍セシヲ以テ離婚届書返戻ヲ受ケタル當時甲市町村ニ在籍セス此ノ場合ニ於テ甲市町村長ハ前記事由ヲ以テ届書ヲ夫ノ新本籍地タル丁市町村長ニ送付丁市町村長ハ戸籍法第三十九條ニヨリ届出人ニ對シ錯誤ノ通知ヲ發シ戸籍訂正ノ申請ヲ待チ其ノ訂正申請書副本(職權訂正ヲ爲シタル時ハ裁判所許可書謄本)ト共ニ届書ヲ甲市町村長ニ返送シ甲市町村長ハ更ニ妻實家本籍地タル丙市町村長ニ轉送シ丙市町村長ハ右届書及戸籍訂正申請書副本ニ依リ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキヤト云フニ離婚届前既ニ妻ノ實家ノ本籍地ニ變更アルモ戸籍ノ記載ノ影響ナキヲ以テ戸籍訂正ノ手續ニ依ルコトヲ要セス乙市町村長ハ戸籍法施行細則第十六條ニ從ヒ届書ニ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添附シ之ヲ丙市町村長ニ送付スヘキナリ然ルニ既ニ之ヲ甲市町村長ニ返戻シタル以上ハ甲市町村長ニ於テ届書ニ其ノ事由及夫ハ離婚届出後丁市町村ニ轉籍シ當時在籍者ニ非サル旨ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ更ニ丙市町村長ニ送付スヘシ

(大正四年五月十五日五條區裁判所監督判事問合) (同年五月十九日民部第六九三號法務局長回答)

○婚姻(縁組)届ヲ婚家(養家)ノ町村長ニ於テ受理シ其ノ届書ヲ妻(養子)ノ實家ノ町村長ニ送付シタルニ實家ハ其届出受理前既ニ轉籍シタル場合ノ手續

1、婚姻又ハ養子縁組届ヲ婚家又ハ養家ノ本籍地町村長ニ於テ受理シ其ノ届書ノ一通ヲ妻又ハ養子ノ實家ノ本籍地町村長ニ送付セシ處其實家ハ右届書受理前既ニ他市町村ニ轉籍セシ趣ヲ以テ届書ノ返戻ヲ受ケタリ此ノ場合實家ノ原籍地市町村長ヨリ返戻セラレタル届書ハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ添附シ直チニ實家ノ新本籍地市町村長ニ送付シ同市町村長ハ之ニ依リテ除籍ノ手續ヲ爲スヘク戸籍訂正ノ申請ヲ爲サシムルノ必要ナシ

(大正四年五月六日五條區裁判所監督判事問合) (同年五月二十二日民部第六五三號法務局長回答)

○第三十九條ニ所謂市町村長ト戸籍ノ存スル地ノ市町村長トハ戸籍法第六十五條、第六十四條、第三十九條ニ所謂市町村長トハ戸籍ノ存スル地ノ市町村長ヲ指モノトス

1、届出事件ノ本人ノ本籍カ甲市町村ヨリ乙市町村へ移轉スルトキニ於テ乙市町村長ハ其ノ送付ヲ受ケタル届書中本人ノ生年月日戸主トノ續柄等ニ錯誤又ハ遺漏アル場合ト雖モ其ノ儘戸籍記載ノ手續(除籍)ヲ爲シシテ其ノ錯誤又ハ遺漏カ戸籍

(大正四年六月十日島根縣邑智郡川本村長伺) (同年七月七日民部第一〇〇八號法務局長回答)

○除籍地市町村長ニ於テ送付ヲ受ケタル届書中出生年月日、戸主トノ續柄等ニ錯誤又ハ遺漏アル場合ノ手續

1、届出事件ノ本人ノ本籍カ甲市町村ヨリ乙市町村へ移轉スルトキニ於テ乙市町村長ハ其ノ送付ヲ受ケタル届書中本人ノ生年月日戸主トノ續柄等ニ錯誤又ハ遺漏アル場合ト雖モ其ノ儘戸籍記載ノ手續(除籍)ヲ爲シシテ其ノ錯誤又ハ遺漏カ戸籍

(大正四年六月十日島根縣邑智郡川本村長伺) (同年七月七日民部第一〇〇八號法務局長回答)

第一編 戸籍法規 第三章 戸籍ノ記載手續 第三十九條

○裁判所、檢事其ノ他ノ吏員カ法律上許スヘカラサル戸籍ノ記載ヲ知りタルトキト市町村長ニ其ノ通知

1、裁判所其他ノ官廳、檢事又ハ吏員カ戸籍ノ記載ニ錯誤遺漏

面上顯カナルトキハ甲市町村長へ通知スヘシ

(大正三年十一月二十四日岡山縣小田郡笠岡町長伺) (同年一月十八日民部第一七五六號法務局長回答)

○甲村ノ男ト乙村ノ女トノ婚姻届出ヲ爲シ甲村ニ於テハ既ニ戸籍ノ記載ヲ了リ届書ヲ乙村ニ送付シタルニ乙村ハ妻ニ關スル事項ニ誤記アル爲其ノ届書ヲ甲村ニ返戻シタル場合ノ手續

1、甲村ノ男ト乙村ノ女ト婚姻シタルカ如ク一ノ届出ニシテ兩村ノ戸籍ニ記載セラルヘキ場合ニ甲村ハ已ニ戸籍ノ記載ヲ了リ届書ヲ乙村ニ送付シタルニ乙村ハ妻ノ地番又ハ生年月等ノ如キ部分ニ誤記アル爲メ戸籍ノ記載ヲ爲スコト能ハストノ理由ヲ以テ届書ヲ甲村ニ返戻スルコト屢々アリ此場合甲村ハ已ニ戸籍ノ記載ヲ了リタル故戸籍訂正ノ手續ニ依ルニアラサルハ訂正スルコトヲ得ス但シ妻ノ本籍地タル乙村長ハ妻ニ人違ナキコト明ナル以上甲村長ヨリ送付ヲ受ケタル届書ニ其キ直チニ妻ノ除籍ヲ爲スヘキモノナルヲ以テ届書ヲ乙村長ニ再送スヘシ

(大正四年六月十日島根縣邑智郡川本村長伺) (同年七月七日民部第一〇〇八號法務局長回答)

實例判例文例人事法總覽

アルコトヲ知リタルトキハ第三十九條末項ニ其旨ヲ市町村長ニ通知スヘキ旨規定セラレアルモ戸籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノナルコトヲ知リタルトキニ就テノ通知ニ關シ何等規定ナキモ裁判所若シクハ檢事其他ノ吏員カ知リタルトキモ亦錯誤遺漏ノ場合ニ準シ通知ヲ爲スヘキモノトス

(大正三年七月七日福岡地方裁判所長問合)
(大正四年一月十六日民第一八四號法務局長問合)

◎母ノ家ニ在ル庶子カ母ト共ニ父ノ家ニ入ルヘキ旨ノ婚姻届書ノ送付ヲ受ケタル場合ノ手續

1、嫡出子ノ身分ヲ取得スル庶子カ母ト共ニ父ノ家ニ入ヘキ旨ノ記載アル婚姻届書ノ送付ヲ受ケタル場合ニ庶子ヲ除籍スヘキモノニアラサルカ故ニ單ニ父母ノ婚姻ニヨリ嫡出子タル身分ヲ取得シタル旨ノ記載ヲ爲スニ止メ一面夫ノ本籍地市町村長ニ對シ戸籍法第三十九條第三項ニ依リ庶子ヲ父ノ家ニ入籍セシメタルハ錯誤ナル旨ノ通知ヲ爲セハ可ナリ

(大正七年一月二十五日大阪市東區長問合)
(大正七年五月三十一日民第二八〇號法務局長問合)

◎裁判所カ戸籍ノ記載ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタル場合ニ於ケル手續

1、大正四年五月十二日下關區裁判所監督判事問合ニ對スル同年七月一日民第六九一號回答ノ計可ハ必ラス書面ニ依ルコト

ヲ相當トス

(大正七年六月二十一日宇都宮區裁判所監督判事問合)
(同年十一月十一日民第三三八九號法務局長問合)

◎第三十九條第二項ノ監督區裁判所ノ許可ト行政監督上ノ許可ト並ニ許可ノ申請書ト印紙ノ貼用

1、第三十九條第二項ノ監督區裁判所ノ許可ハ非訟事件手續法ニ依ル裁判ヲ以テスル許可ニ非ラスシテ行政監督上ノ許可ナリトス故ニ同項ニ依ル許可ノ申請書ニハ印紙ヲ貼用スヘキモノニ非ラス

(大正三年四月三十日新潟區裁判所監督判事問合)
(同年五月十九日民第七九三號法務局長問合)

◎市町村長カ戸籍ノ記載ニ錯誤遺漏アル旨ノ通知ヲ爲スモ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ササル場合ノ手續

1、市町村長ハ戸籍ノ記載ニ錯誤遺漏アルコトヲ發見シ届出人又ハ届出事件ノ本人ニ其旨ヲ通知スルモ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ササルトキハ第三十九條第二項ノ規定ニ依リ市町村長ハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ職權ヲ以テ戸籍ノ訂正ヲ爲スヘキ許可ノ裁判ヲ受クヘキモノニ非ス而シテ其ノ許可ハ戸籍ノ記載ニ錯誤若ハ遺漏アルコトヲ明ナラシムル爲メ關係届書類及戸籍ノ寫等ヲ添ヘテ之ヲ求ムヘシ

(大正三年五月十八日大阪市東區戸籍吏問合)
(同年十二月二十八日民第九九九號法務局長問合)

◎職權訂正ヲ爲スヘキ場合ノ例示

1、市町村長限戸籍訂正ヲ爲シ得ヘキ事項ニ關シテハ大正六年十二月十三日山口縣厚狹郡須惠村長問合大正七年五月十一日民第六一三號回答アルモ此外仍ホ左記ノ如キ市町村長ノ過誤ニ出テタル戸籍記載ノ錯誤又ハ遺漏ヲ發見シタル場合訂正ヲ爲スコトヲ得

(イ)事項欄ノ記載中届出人ノ資格氏名又ハ届出受附ノ年月日ノ錯誤又ハ遺漏

(但當該事件ノ届書監督區裁判所ニ發送前之ニ依リ明瞭ナル場合ナリトス尤モ受附ノ年月日ハ受附帳ニヨリ明瞭ナル場合ハ届書ノ存否ヲ問ハス)

(ロ)戸主トノ続柄ノ錯誤又ハ家族トノ続柄ノ遺漏

(但其戸籍總體ノ記載ニヨリ又ハ當該事件ノ届書監督區裁判所ニ發送前之ニ依リ明瞭ナル場合)

(ハ)同一市町村内ノ甲乙兩家ノ戸籍ニ關連スル事件ニ付テノ其ノ一方ノ家ノ戸籍ノ記載又ハ一家ノ戸籍中夫妻双方ノ事項欄ニ爲スヘキ婚姻若クハ離婚事項ニ付テノ其ノ一方ノ記載ノ錯誤、又ハ遺漏

(但當該事件ノ届書監督區裁判所ニ發送前之ニ依リ明瞭ナル

第一編 戸籍法規 第三章 戸籍ノ記載手續 第三十九條

【注意】

3、前項例示(ハ)ノ場合ハ市町村長限リ訂正ヲ爲スコトヲ得ル趣旨ニ變更セラレタリ

(大正十一年六月二日廣島縣深安郡平城村長問合)
(同年五月十六日民第二五〇一號民事局長問合)

◎第三十九條第二項ニ依ル職權訂正後他ノ市町村長ヨリ届出人ノ提出シタル訂正申請書ノ送付ヲ受ケタル場合ノ手續

1、戸籍法第三十九條第二項ニ因ル職權訂正ハ固ト便宜上ノ處分ニ過キサカカ故ニ其訂正ヲ爲シタル後他ノ市町村長ヨリ正當届出人カ提出シタル訂正申請書ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ受理シ且ツ職權訂正ト訂正申請書ノ記載ト符號セサルトキハ申請書ニ基キ更ニ訂正ヲ施スヘキモノナリ

(大正三年七月七日福岡地方裁判所長問合)
(大正四年一月十六日民第一八四號法務局長問合)

◎新戸籍法施行後舊戸籍ヨリ移記シタル事項ニ誤記又ハ脱漏アル

實例判例文例人事法總覽

場合ノ訂正

1、舊戶籍法施行ノ當時身分登記ニ基キ戶籍ノ記載ヲ爲スニ當リ誤記又ハ脱漏シタルモノハ市町村長限リ之カ訂正ヲ爲スコトヲ得ヘク新戶籍法施行後ニ於テ舊戶籍ヨリ移記シタル事項ノ誤記又ハ脱漏ハ戶籍法第三十九條第二項後段ノ規定ニ依リ市町村長監督區裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職權ヲ以テ戶籍ノ訂正ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年一月十一日青森地方裁判所長問合)
(同年一月十九日民第六九號法務局長回答)

◎親權ニ服スル子カ成年ニ達シタルトキ市町村長職權ヲ以テ其ノ記載ヲ抹消

1、戶籍法第七條ノ規定ニ依ル届出ニ基キ親權事項ヲ戶籍ニ記載セラレアル者カ成年ニ達シタルトキハ市町村長ヲシテ戶籍法第三十九條ニ依リ職權訂正ノ手續ニ從ヒ隨時其記載ヲ抹消セシムル趣旨ナリ

(大正四年一月二十日大阪區裁判所監督判事問合)
(同年一月二十三日民第一一六號法務局長回答)

◎事實ノ調査ヲ要スル場合ト市町村長ノ職權訂正並ニ事實調査ニ要スル費用ノ支出ト一般行政事務ニ關スル費用ノ支出

1、監督區裁判所カ戶籍法第三十九條第二項ノ許可ヲ爲スヘキ場合ハ事實調査ヲ要セサルモノニ限ルヲ得サルモ記載ノ誤謬

ノ有無ニ付必シモ今直チニ調査スルヲ要セス而シテ其ノ調査費用ノ支出ハ一般ノ行政事務ニ關スル費用ノ支出ト同様ニ取扱フヘキモノトス

(大正四年一月二十五日若松區裁判所監督判事問合)
(同年二月十五日民第一三八號法務局長回答)

◎父ノ家ニ入ラサル私生子ノ認知届出アリタルニ誤テ除籍ノ手續ヲ爲シタル爲無籍者ト爲リタル者ノ訂正

1、父ノ家ニ入ルコトヲ得サルニヨリ母ノ家ニ在籍ノ儘私生子ノ認知届出アリタルニ誤テ私生子除籍ノ手續ヲ爲シタル爲目下無籍ノ状態トナリタリ此ノ場合ニ於テハ職權訂正ノ手續ヲ要スルハ勿論ナルモ既ニ除籍セラレタルモノナレハ復活ノ手續ヲ要スヘク而シテ復活ノ方法ハ被除籍者ノ戶籍記載ヲ轉記シ事項欄ニ何某家籍ニ入籍ノ記載ハ過誤ニ付「何年何月何日附何區裁判所ノ許可ニ因リ何月何日認知ノ記載中除籍ニ關スル記載抹消」ト記載スヘシ

(大正四年五月六日五條區裁判所監督判事問合)
(同年五月二十二日民第六五三號法務局長回答)

◎轉籍届ニ添付セル戶籍謄本ノ記載錯誤アル爲新戶籍ノ記載カ原戶籍ノ記載ト符合セサル場合ノ手續

1、戶籍法第五十八條第二項ノ場合ニ於テ新本籍地ノ市町村長カ轉籍届ニ添付シタル戶籍ノ謄本ニ基キ戶籍ヲ編製シタル

ニ其戶籍謄本ノ記載ニ錯誤アリタル爲メ原本籍地ノ戶籍ノ記載ト符合セサル戶籍ノ記載ヲ生シタル場合ニハ新本籍地ノ戶籍ニ付キ戶籍法第六十四條ノ規定ニ依リ戶籍訂正ノ手續ヲ爲スヘキモノナルモ其錯誤カ戶籍法施行細則第十五條ニ依リ記載シタル死亡婚姻其他ノ事由ニ依リ戶籍ヲ除カレタル者ニ關スルモノト雖モ尙該規定ニ依リ戶籍訂正ノ手續ヲ爲スヘキモノナリ而シテ此ノ場合ニ於テ戶籍訂正ノ手續ヲ爲スヘキモ利害關係人ナキカ爲第三十九條第二項ノ通知ヲ爲スコト能ハストセハ市町村長ハ區裁判所ノ許可ヲ得職權ヲ以テ訂正ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年三月二十三日大阪區裁判所監督判事問合)
(同年六月二十四日民第四二八號法務局長回答)

◎甲家ノ戸主ノ死亡届ヲ受理シ市町村長ノ過誤ニ依リ乙家ノ戸主ノ事項欄ニ死亡事項ヲ記載シ且抹消シタル場合ノ訂正

1、甲家ノ戸主ノ死亡ノ届出ヲ受理シナカラ市町村長ノ過誤ニ因リ乙家ノ戸主ノ事項欄ニ死亡届出事項ヲ記載シ且ツ其戸主ノ氏名ヲ抹消シタル場合ニ於テ之カ戶籍訂正ノ手續ヲ爲サントスルニハ當該市町村長ヨリ戶籍訂正許可ノ請求ヲ爲スヘキモノナルモ之カ許可ヲ受ケ抹消セラレタル乙家ノ戸主ノ氏名ヲ回復スルニハ如何ナル方法ニ依ルヘキモノナルヤト云フニ

第一編 戶籍法規 第三章 戶籍ノ記載手續 第三十九條

乙家戸主ノ事項欄ニ爲シタル死亡ニ關スル記載ハ市町村長戶籍法第三十九條第二項但書ノ許可ヲ得テ同法施行細則第二十一條ニ依リ抹消スヘク別ニ新戶籍ヲ編製シ又ハ戸主ヲ戶籍ノ末尾ニ記載スヘキモノニ非ス

(大正四年三月二十三日大阪區裁判所監督判事問合)
(同年六月二十四日民第四二八號法務局長回答)

◎市町村役場ヨリ監督區裁判所ニ送付ノ戶籍法第三十七條ノ屆書、戶籍謄本、除籍謄本又ハ親族會招集申請書等ニ添附ノ戶籍謄本ニ依リ或ハ戶籍事務監督ノ爲監督判事又ハ監督書記ノ巡回等ニ依リ戶籍ノ記載ニ市町村長ノ過誤ニ因ル錯誤遺漏アルコトヲ發見シタル場合ノ訂正手續

1、市町村役場ヨリ監督區裁判所ニ送付ノ戶籍法第三十七條ノ屆書、戶籍謄本又ハ親族會招集申請書等ニ添付ノ戶籍謄本ニ依リ或ハ戶籍事務監督ノ爲メ監督判事又ハ監督書記ノ市町村役場巡回等ニ因リテ戶籍ノ記載ニ市町村長ノ過誤ニ因ル錯誤遺漏アルコトヲ發見スル場合決シテ尠カラズ而シテ此ノ場合戶籍法第三十九條末項ノ通知ハ之ヲ訂正ノ要件ト爲ササルニ付監督判事又ハ單獨判事ハ同條第三項ノ許可ヲ與ヘ訂正ヲ爲サシムルコトヲ得ヘキハ勿論ナリ

(大正四年五月十二日下關區裁判所監督判事問合)
(同年七月一日民第六九一號法務局長回答)

實例判例文例人事法總覽

2、大正四年五月十二日下關區裁判所監督判事問合ニ對スル同年七月一日民第六九一號回答ノ許可ハ必ラス書面ニ依ルコトヲ要ス

(大正七年六月二十一日宇都宮區裁判所監督判事問合)

3、前項書面ニ依テ戸籍ノ訂正ヲ爲シタル場合ニ於テハ他ノ市町村長モ亦同一ノ訂正ヲ爲ス必要アルトキハ書面ノ一通又ハ其ノ謄本ヲ他ノ市町村長ニ送附スヘキモノナリ

(大正七年六月二十一日宇都宮區裁判所監督判事問合)

◎現戸籍ノ記載カ除カレタル戸籍ニ依リ誤記ノ顯カナル場合ノ訂正

1、現戸籍ノ記載カ除カレタル戸籍ニ依リ誤記ノ顯カナル場合ニハ戸籍法第三十九條第二項後段ノ規定ニ依リ市町村長ハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職權ヲ以テ戸籍ノ訂正ヲ爲スヘシ

(大正四年六月十四日福井區裁判所監督判事問合)

◎繼子ト記載スヘキ者ヲ長男ト記載シ以下二、三男ト記載シタルモノノ訂正ト職權

1、入夫ト妻ノ先夫ノ子又ハ養子トハ長二男女ト稱スヘキコトハ明治三十六年一月十日民刑第七三四號埼玉縣成田村ニ對スル回答ナレトモ其後明治四十一年五月二日民刑第一五六二號

廣島地方裁判所長ニ對スル回答ニ依リ繼子男女ト稱スルコト

ト省議變更セラレタリ爾後ハ該省議ニ變更ナシ而シテ明治四十一年以前ニ於テ繼子長男ト記シ以上順次夫妻間所生ノ子チ二男三男ト記載シタル戸籍ヲ今日訂正セントスルニハ戸籍法第三十九條第二項後段ノ場合ニ準シ職權訂正ノ手續ニ依ラシムルヲ相當トス

(大正四年八月二十三日大森區裁判所判事問合)

◎第百六十五條ニ依リ戸籍ノ訂正ヲ申請スル者ナキ場合ノ手續

1、戸籍法第百六十五條ノ規定ニ依リ戸籍ノ訂正ヲ申請スル者ナキ以上ハ婚姻養子縁組ノ如キ其ノ行爲無効ニ付確定判決ヲ必要トスルモノハ其ノ判決ニ基キ同第六十七條ノ規定ニ依リ戸籍訂正ノ申請ヲ爲スヘキ其ノ他ハ市町村長ニ於テ職權ニ依リ訂正シ得ヘキモノトス

(大正四年九月十一日小倉市長稟伺)

◎行政區劃變更ノ虛無ノ番地ニ本籍ヲ置キタルモノノ取扱方

1、町名番地ノ改正ニ因リ甲町甲番地ヲ甲町ヨリ分割シ乙町ト爲シ若クハ甲町ヲ廢シ丙丁兩町ニ併合等ヲ爲シタル場合ニ於テ當事者ノ誤信ニヨリ事實虛無ノ番地ニ本籍ヲ置キタルモ地番變更ノ當時當事者ノ所在不明ニシテ本籍トシテ定メタル場

所ヲ知ル事能ハサル場合ニ於テ戸籍法第三十九條第二項前段ノ規定ニ依リ市町村長職權ヲ以テ虛無ノ番地ノ記載ヲ抹消スヘシ

(大正四年十月十二日小樽區長稟伺)

2、甲町ヲ廢シ丙丁兩町ニ併合シタルトキハ丙丁何レニ編入ス

ヘキヤハ便宜ニ依ルモノトス

(大正四年十月二十七日小樽區長稟伺)

◎地番號ノ變更アリタルモ舊法ニ依リ其ノ更正ヲ爲サザリシモノヲ新法ニ依リテ更正シタル後本籍ノ相違セルコト明ナルニ至リタルトキト職權ヲ以テ地番號ノ訂正

1、舊戸籍法施行中地番號ニ變更アリタルトキハ戸籍ニ記載シタル番號ハ當然之ヲ改正シタルモノト看做シ戸籍ノ記載ヲ更正セス戸籍ノ謄抄本作成又ハ本籍記載ヲ要スル各種事件ノ届書類處理上土地臺帳ヲ参照スル事特ニ注意ヲ拂ハサレハ本籍ノ記載ニ錯誤ヲ醸スノ虞レアル場合ニ現行法ノ規定ニ準シ戸籍ノ記載ヲ更正スルハ差支ナシ但シ戸籍ノ記載更正方ハ假令ハ一番地ノ土地ヲ五筆ニ分筆シ一番地ノ一ヨリ五マテト爲リタル場合ニ於テハ「一番地」トアルヲ「一番地ノ一乃至五」ト更正シ(一番地ニ在籍者アルモ同番地ニハ家屋ナク又ハ他人

所有ノ家屋アルモ現住セス何レモ所在不明ニテ何レノ地番ヲ本籍ト定ムルカ實際戸主ノ意思ヲ知ルコト不能ナルモノ等)タル場合ノ更正方ハ事實調査ノ上一番地ノ何レノ部分ニ本籍ヲ定メタルヤチ決定スヘキ其ノ明ナラサルモノニ付テハ戸籍ノ記載ハ之ヲ其ノ儘ニ爲シ置クノ外ナシ更正ノ事由ノ記載方ハ(何年何月何日地番號變更ニ付キ本籍欄中ノ「何地番」チ「何番地ノ一」ニ更正)ノ例ニ依ルヘシ(戸籍法施行細則附録戸籍記載例第二十八參照)

(大正四年十二月十四日小倉市長稟伺)

◎未成年戸主自カラ爲セル轉籍届ヲ受理シタル場合ノ取扱方

1、本年七月二十日栃木區裁判所監督判事問合ニ對スル同年八月二日民第一二三七號回答(法曹記事第二十五卷第八號一五〇頁乃至一五二頁)ニ轉籍届ハ未成年者自ラ爲スコトヲ得スト本來單純ノ事實ニ關スル届出ニ非スシテ其違法ハ戸籍法第百六十五條ニ所謂行爲ノ無効ニ該當スルモノトシテ其未成年者自身ノ届出ニ基キ既ニ轉籍地市町村長ノ編製シタル戸籍ハ右法條ニ依リ後見人ヨリ訂正ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年十月十九日下關區裁判所監督判事問合)

2、前號ノ通りナリトセハ後見人カ死亡シタルトキ若クハ初メ

第一編 戸籍法規 第三章 戸籍ノ記載手續 第三十九條

實例判例文例人事法總覽

ヨリ後見人無キトキ又ハ後見人アルモ訂正手續ヲ爲ササル場
合利害關係人ヨリ爲スコトヲ得ルヤト云フニ利害關係人ヨリ
戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得ス若シ法定代理人ナク又ハ法定代
理人ニ於テ訂正手續ヲ爲ササルトキハ市町村長ハ戸籍法第三
十九條第二項ノ手續ヲ爲スコトヲ得

【注意】
(大正四年十月十九日下關區裁判所監督判事問合)
(大正五年三月二十三日民第四一三號法務局長回答)

3、意思能力ヲ有スル未成年戸主ハ自ラ轉籍届ヲ爲スコトヲ得
ル趣旨ニ省議變更セラレタリ

(大正七年七月十九日大阪區裁判所監督判事問合)
(同年十一月二十六日民第一六八五號法務局長回答)

◎届書添付ノ途中紛失シタル場合ノ取扱方

1、届出事項ノ記載アル戸籍謄本ヲ送付シ之ニ基キ戸籍ノ記載
ヲ爲スヘキモノトス

(大正五年三月十七日高梁區裁判所判事問合)
(同年四月二十六日民第四二〇號法務局長回答)

◎私生子認知ノ結果他ノ者ノ續柄ニ變更ヲ生シタル場合普通ノ認
知届出ヲ爲シタルトキト戸籍法第四十七條第二項ノ事項ノ追完
若シクハ追完ヲ爲ササルトキト職權更正

1、長二三男ヲ有スル父カ婚姻届出前ノ妻ノ私生子ヲ認知シ戸
籍法第四十七條第二項ニヨリ届出タル時ハ市町村長ハ其續柄

長二三男ヲ二三四男ニ逐次更正スヘキハ勿論ナルモ普通ノ認
知届出ノミナシタル時ハ市町村長ハ戸籍法第四十七條第二項
ノ其他ニ身分ノ變更ヲ生スル者アル場合ナルニ付同法第六十
五條ニヨリ追完ヲ爲サシムヘキモノナルモ其追完ノ催告ニモ
應セサル時ハ父ノ認知ノ結果其續柄ニ變更ヲ來スヘキモノナ
ルニヨリ從來ノ長二三男ヲ逐次二三四男ト職權ヲ以テ更正ス
ヘキモノトス

【注意】
(大正五年四月二十八日高梁區裁判所判事問合)
(同年六月七日民第九七一號法務局長回答)

◎婚姻成立後二百日以内ニ出生シタル子ニ付父ノミヨリ届出ヲ爲
シタル後母カ認知ヲ爲サシテ死亡シタルトキト庶子男ノ訂正
及父死亡ノ爲母ヨリ届出子出生ノ届出ヲ爲シタルトキト私生子
ト訂正

1、現行戸籍法施行後ニ於テ婚姻成立後二百日以内ニ子カ出生シ
タル場合ニ父一名ヨリ届出子出生ノ届出ヲ爲シ既ニ其記載ヲ爲
シタルモノニ對シテハ更ニ母ヨリ認知届ヲ爲サシムルコト
(大正四年十二月十四日久留米區裁判所監督判事問合)
シ同五年二月三日民第一八九七號回答) 右之場合ニ於テハ民
法第八百三十六條第二項ノ規定ニヨリ其ノ子ハ母ノ認知シタ
ル日ニ初メテ届出子タル身分ヲ取得スヘキモノトス母ノ認知

シタル子カ長男ニシテ其認知前既ニ二男ノ出生シ居ル場合ハ
民法第九百七十條第二項ノ規定ニ依リ相續權ハ長男ニアラス
シテ二男ニ在リトス但シ胎兒認知ノ届出ノ有無ヲ調査スルコ
トヲ忘ルヘカラス

(大正五年六月十三日鹿兒島市長問)
(同年七月十一日民第九六五號法務局長回答)

2、前項ノ場合ニ於テ母カ認知前死亡シタル場合ハ絶對ニ届出
子タル身分ヲ取得セシムルコト能ハサル次第ナルニ付キ長男
トアルモノハ之ヲ庶子男ニ戸籍ヲ訂正セシムヘク又婚姻成立
後二百日以内ニ生レタル子ニシテ父死亡ノ爲メ母一名ヨリ届出
子出生ノ届出ヲ爲シ既ニ戸籍ノ記載ヲ爲シ居ル者ニ對シテハ之
ヲ私生子ニ戸籍ヲ訂正セシムヘキモノトス

(大正五年六月十三日鹿兒島市長問)
(同年七月十一日民第九六五號法務局長回答)

【注意】

3、大正六年十月十五日福岡市長問ニ對スル大正七年五月三十
日民第一一五九號法務局長回答ニ依リ父母ノ婚姻後二百日内
ニ出生シタル子ト雖母カ明ナル上ハ父ノミヨリ届出子出生ノ
届出ヲ爲シ得ルコトニ省議變更セラレタリ

◎復本籍ヲ有スル者カ家督相續ヲ爲シタル場合ニ於ケル除籍ノ手
續

1、小倉市大字堺町五十六番地ノ四戸主甲野義太郎及其家族全
部復本籍ノ故ヲ以テ何レモ戸籍記載全部ヲ抹消スヘキ戸籍訂
正申請ヲ受理シ別紙戸籍謄本ノ通戸籍ノ記載ヲ爲セリ然ルニ
戸主義太郎ニ關スル戸籍ノ記載全部ヲ抹消シタルニ付テハ前
戸主甲野トリノ戸籍ヲ復活スルコトヲ要スヘク其戸籍ヲ復活
スルニハ新戸籍用紙ニトリニ關スル戸籍ノ記載ノ全部ヲ轉寫
シタル上其事項欄ニ「甲野義太郎ノ家督相續ニ關スル戸籍ノ
記載抹消ニ付年月日附小倉區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ何某
戸籍訂正申請年月日受附本戸籍ヲ編製ス」トシ又職權訂正ノ
トキハ「甲野義太郎ノ家督相續ニ關スル戸籍ノ記載ヲ抹消シ
タルモ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ス者ナキニ付年月日附小倉區裁判
所ノ許可ニ因リ同月何日本戸籍ヲ編製ス」ノ例ニ依リ記載
(抹消シタル義太郎櫻子ニ關スル記載ハ轉寫セス)スヘキモノ
トス

(大正五年八月十八日小倉市長問)
(同年九月二十一日民第一三〇八號法務局長回答)

2、前項ノ通り甲野トリノ戸籍ヲ復活タル上トリノ隠居及他
家ヘ入籍事項ヲ抹消スヘキ戸籍訂正ノ手續ヲ要ス

(大正五年八月十八日小倉市長問)
(同年九月二十一日民第一三〇八號法務局長回答)

第一編 戸籍法規 第三章 戸籍ノ記載手續 第三十九條

實例判例文例人事法總覽

本籍		福岡縣小倉市大字堺町五拾六番地ノ四	
前戸主		甲野ト	
戸主		甲野太郎	
前戸主ノ柄		甲野ト	
父		亡 甲野仁助	
母		ト	
長男		甲野太郎	
出生		明治貳拾六年拾月拾五日	
前戸主ノ柄		甲野ト	
父		亡	
母		ト	
長女		ト	
出生		明治參拾年拾月拾五日	

第一編 戶籍法規 第三章 戶籍ノ記載手續 第三十九條

本籍		福岡縣小倉市大字堺町五拾六番地ノ四	
前戸主		甲野ト	
戸主		甲野太郎	
前戸主ノ柄		甲野ト	
父		亡 甲野仁助	
母		ト	
長男		甲野太郎	
出生		明治貳拾六年拾月拾五日	
前戸主ノ柄		甲野ト	
父		亡	
母		ト	
長女		ト	
出生		明治參拾年拾月拾五日	

明治四拾五年貳月參日母トリ分家シタルニ因リ入籍

明治四拾五年五月拾七日親權ヲ行フ者ナキニ因リ後見開始大正貳年拾月拾四日後見人戸主甲野義太郎就職ニ付キ届出大正四年拾月五日受附

復本籍ヲ有スルニ付キ大正五年八月九日附小倉區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ丁野梅子戸籍訂正申請同日拾四日受附櫻子ニ關スル戸籍ノ記載全部抹消

明治四拾五年五月拾七日小倉市大字京町二拾八番地内野五郎方入家届出同日受附除籍

明治四拾五年參月八日裁判所ノ許可ヲ得テ隱居同日拾參日届出同日受附

分家届出同日受附

明治四拾五年五月拾七日小倉市大字京町二拾八番地戸主平民内野義二郎養母

◎舊戶籍法施行前甲村ヨリ乙村へ轉籍シタル旨甲村除籍簿ニ記載アルモ乙村ニハ之カ戸籍ヲ編製セス無籍者ト爲リ居ル者ノ就籍ノ手續

1、舊戶籍法施行前甲村ヨリ乙村へ轉籍シタル旨甲村除籍簿ニ記載アルモ乙村ニハ之カ戸籍編製ナク無籍者トナリ居レリ今之カ就籍方法トシテ乙村長ハ戶籍法第三十九條第一項但書及ヒ第二項ニヨリ（甲乙兩村何レカ錯誤ニ出テタルヤ不明ナルモ届出人ニ錯誤ノ事實ナキヲ以テ）事件本人ニ通知ヲ爲サス直チニ監督區裁判所ノ許可ヲ受ケ戸籍編製スヘキモノニアラス甲村長ヨリ届書ニ代ルヘキ書類トシテ除籍簿本ノ送付ヲ受ケ之ニ基キ戸籍編製スヘキモノトス

（大正五年五月十七日熊本區裁判所監督判事問合）
（同年十月二十六日民第八〇四號法務局長回答）

◎甲女ノ私生子ヲ乙男ニ於テ認知シ入籍ノ手續ヲ爲シタル後同一私生子ニ付他男丙ニ於テ認知ノ届出ヲ爲シタル場合ノ訂正

1、甲女ノ私生子ヲ乙男カ認知シ庶子トシテ入籍ノ手續ヲ爲シタル後同一私生子ニ對シ丙男ニ於テ更ニ私生子認知ノ届出ヲ爲シタルニ依リ之ヲ受理シタル市町村長ハ其届出ニ基ク戸籍記載ヲ完了シタル處母ノ本籍地ヨリ該私生子ハ既ニ乙男ニ認知セラレアル旨ヲ以テ届書ノ返戻ヲ受ケタリ此場合ニ於テハ

認知者タル丙男ハ無効ノ届出ナリトシテ戸籍法第六十五條ニ依リ戸籍訂正ヲ爲スコトヲ得ヘシ
右ノ場合ニ於テ届出人タル丙男カ自ラ戸籍訂正ノ申請ヲ爲サルトキハ市町村長ハ職權ヲ以テ戸籍訂正ヲ爲シ認知ニ關スル戸籍ノ記載ヲ抹消スルコトヲ得ヘキモノトス

（大正五年九月二日大阪區裁判所監督判事問合）
（同年十一月二日民第一三三一號法務局長回答）

1、認知セラレヘキモノハ私生子ニ限リ庶子ニ對シテハ更ニ他ノ男子ニ於テ認知スルヲ得サルコトハ民法第八百二十七條ノ規定ニ依リ明ナルヲ以テ若シ他ノ男子ニ於テ其子カ自己ノ子ナルコトヲ主張セントセハ同第八百三十四條ニ依リ訴ノ方法ヲ以テ反對ノ事實ヲ主張シ其身分關係ヲ確定セシムヘク更ニ認知ヲ爲スカ如キハ法律ノ許サ、ル處ナレハ當然無効ノ届ナリトシテ戸籍訂正ノ方法ニ依ルコトヲ得ヘキハ勿論認知者カ自ラ戸籍訂正ノ申請ヲ爲サ、ルトキハ市町村長ハ戶籍法第三十九條ニ所謂戸籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノトシテ職權ヲ以テ戸籍訂正ヲ爲シ得ヘシ

（大正五年九月二日大阪區裁判所監督判事問合）
（同年十一月二日民第一三三一號法務局長回答）

◎戸籍ノ記載カ偽造ニ係ル爲沒收ノ判決アリタル場合ノ訂正

1、戸籍ノ記載カ偽造ニ係ル爲其ノ沒收ノ判決アリタルトキハ其ノ記載ハ即チ錯誤ノ記載ニ外ナラサルニ付市町村長カ沒收

ノ通知ヲ受ケタルトキハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職權

ヲ以テ戸籍ノ訂正ヲ爲シ養子ノ除籍及廢家戸籍ノ復活ノ手續ヲ爲スモノトス

（大正六年二月六日高松區裁判所監督判事問合）
（同年二月二十六日民第三五二號法務局長回答）

◎舊法施行前家督相續ニ因リ戸主ト爲リタル者ノ戸籍ニ付改寫ヲ爲ササリシモノヲ發見セル場合ノ手續

1、舊法施行前家督相續ニ因リ戸主ト爲リタル者ノ戸籍ニ付當時其ノ改寫ヲ爲ササリシモノハ戶籍法第三十九條第二項ノ規定ニ依リ市町村長監督區裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ戸籍ヲ新ニ編製スヘシ而テ之カ改寫ニ付テハ新用紙ヲ用フヘク新舊戸籍ニ記載スヘキ事由ハ「何年何月何日附何區裁判所ノ許可ニ因リ氏名ノ家督相續ニ因ル戸籍ヲ編製シタルニ付キ何年何月何日本戸籍ヲ抹消ス」家督相續ニ因ル新戸籍編製漏ニ付キ何年何月何日附何區裁判所ノ許可ニ因リ何年何月何日本戸籍ヲ編製ス」ノ例ニ依ルヘシ

（大正六年二月十五日東京市京橋區長問）
（同年五月十一日民第六五六號法務局長回答）

【同趣旨】

（大正六年四月十四日熊本縣阿蘇郡白水村長問）
（同年五月二十八日民第八二六號法務局長回答）

◎口頭ニテ出生届ヲ爲シタル場合誤リテ他人ノ子トシテ他人ノ戸

籍ニ記載シタルモノノ訂正

1、本籍ヲ有スル甲ナルモノアリ而シテ非本籍人即チ入寄留者ニ乙ナルモノアリ前記甲口頭ヲ以テ出生届出ノ際誤ツテ後者タル（入寄留者）乙ノ出生子トナシ該手續終了シタル後ニ至リ其誤謬タルコトヲ發見シタリ右ノ場合ニ於ケル訂正方ハ戶籍法第三十九條第二項但書ノ規定ニ從ヒ市町村長監督區裁判所ノ許可ヲ得テ同法施行細則第二十一條ニ依リ乙ノ本籍地ノ戸籍ニ記載シタル出生事項ヲ抹消シ甲ノ戸籍ニ出生事項ノ記載ヲ爲スヘキモノトス

（大正六年五月三日神奈川縣中郡高野區長問）
（同年五月二十九日民第八五四號法務局長回答）

【同趣旨】

（大正六年十月十三日法曹會決議）
（法曹記事二七卷一〇號五六頁）

◎本家ノ家督相續開始前又ハ之ト同時ニ分家地ニ於テ分家届ヲ受理シタル場合ニ於ケル本家ノ新戸籍ニ記載シタル分家者ノ事項抹消方

1、本家ノ家督相續開始前又ハ之レト同時ニ分家地ノ市町村長カ受理シタル分家届ノ送附ヲ受ケタルトキハ前戸主ノ除カレタル戸籍ニ其記載ヲ爲スヘキモ此場合ニ於テ既ニ本家ノ新戸籍ニ記載シタル分家者ヲ抹消スルニハ戶籍法第三十九條第二

實例判例文例人事法總覽

項後段ノ場合ニ準シ市町村長ノ職權ヲ以テ新戶籍中分家者ノ記載ヲ左ノ例ニ依リ抹消スヘシ

何某(新戶主ノ氏名)ノ家督相續前ニ分家ヲ爲シタルニ付キ何年何月何日附何區裁判所ノ許可ニ因リ何月何日抹消

(大正六年五月三日靜岡區裁判所監督判事問合) 同年七月十三日民第五三號法務局長回答)

◎認知届出アリタルニ拘ハラス戸籍ニ入除籍漏ト爲レル場合ノ訂正

1、大正二年七月三十日甲村何番屋敷戸主農所在地何縣何郡何町何番地甲ナル者乙村番地不詳戸主乙姉丙ノ私生子男丁同私生子女戊ノ兩名ヲ認知スルニ當リ舊戶籍法第五十二條ニヨリ各認知者毎ニ届書ニ通差出スヘキヲ誤リテ一通宛ヲ同封ニテ郵送シ甲村長ハ之ヲ丁ニ對スル認知届ノ正副ナリト誤信シ丁ニ關スル身分登記戸籍ノ記載ヲ爲シ戊ノ認知届ヲ丁ノ認知届ノ副本トシテ舊戶籍法第三十三條第二項第百八十八條ノ取扱ヲ爲シ之ヲ乙村長ニ送付シタリ依テ甲村ニテハ戊ノ認知入籍ナク乙村ニテハ戊ハ認知除籍ト爲リシモ丁ノ認知除籍ヲ爲スコトナカリシモノナリ以上ノ錯誤ヲ發見シタル場合ニハ乙村長ハ戶籍法第三十九條第二項ノ規定ニ從ヒ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ除籍ノ手續ヲ爲スヘシ

(大正六年九月十四日大森區裁判所判事問合) 同年十月三日民第一八〇三號法務局長回答)

◎新戶籍編製後其ノ戸籍ノ記載ニ過誤アリタル場合ノ訂正

1、轉籍又ハ相續届出ニ依リ新戶籍編製後其ノ戸籍ノ記載ニ過誤アリタル場合ハ市町村長ハ職權ニ因リ訂正許可ノ手續ヲ履踐セシムルコトヲ要ス

(大正七年三月七日和歌山地方裁判所判事問合) 同年四月四日民第五三五號法務局長回答)

2、轉籍、分家又ハ家督相續届出ニ依リ編製シタル戸籍ノ記載ニ錯誤遺漏アル場合ハ市町村長ハ身分登記又ハ登記目録ニ基キ過誤ヲ訂正スルト同様何時ニテモ基本タル戸籍又ハ除籍ニ基キ錯誤遺漏ヲ訂正シ差支ナキヤト云フニ右例示ノ場合ニ於テハ監督區裁判所ノ許可ヲ得タル上市町村長ニ於テ訂正ノ手續ヲ爲スヘキモノトス大正六年五月十一日民第六一三號回答ハ基本タル戸籍ニ於テ錯誤又ハ遺漏アル事項ヲ其儘新戶籍ニ移記シタル場合ノ取扱方ニ係リ同年四月四日附民第五三五號回答第二項ハ新戶籍ヲ記載スルニ當リテ市町村長ノ過誤ニ因リ錯誤又ハ遺漏ヲ生シタル場合ノ取扱方ニ關シ各場合ヲ異ニス

(大正七年十二月二日大阪府東成郡鶴岡町長稟例) 大正八年一月十七日民第二八〇七號法務局長回答)

◎轉籍ノ際名ニ誤リアルモノノ訂正方

1、甲村ヨリ乙村ヘ分家シタル者ノ父ノ名「左工門」ヲ「右工門」ト本人ノ名「ウメ」ヲ「うめ」ト戸籍ニ誤記セラレタル儘丙村ニ轉籍スルニ付本家ノ戸籍謄本ヲモ添付シタルトキハ丙村ニ於テハ轉籍届ニ添付シタル本家ノ戸籍謄本ニ基キ直ニ正シキ名ヲ記載スヘク別ニ事由ヲ記載スヘキニ非ス但シ原戸籍ノ記載ハ市町村長監督區裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職權ヲ以テ之ヲ訂正シ置クヘシ

(大正七年三月十九日宇都宮區裁判所監督判事問合) 同年五月十一日民第五九七號法務局長回答)

◎町村長ノ過誤トシテ職權訂正ヲ爲スヘキ場合ノ例解

1、戸籍ノ記載ニ付キ町村長ノ過誤トシテ職權訂正ヲ爲スヘキ場合ハ届出ハ完全ナルニ町村長ニ於テ戸籍ノ記載ヲ爲スニ當リ錯誤ヲ生シタルカ如キヲ言ヒ届出カ錯誤ニ出テタル爲メ戸籍ノ記載ニ錯誤ヲ生シタル場合假令ハ左ノ場合ノ如キハ直チニ職權訂正ヲ爲スヘキニアラス
(イ) 父母兄弟等ヲ分家ノ家族ト爲ルヘキ者トシテ届出テタル爲メ誤テ之レカ入除籍ヲ爲シタルカ如キ
(ロ) 未成年戸主ノ母カ入夫婚姻届ヲ爲シタル爲メ町村長ニ於テモ母ノ夫ヲ未成年戸主ノ家族トシテ入籍シタルカ如キ

(大正七年三月十九日宇都宮區裁判所監督判事問合) 同年五月十一日民第五九七號法務局長回答)

第一編 戶籍法規 第三章 戶籍ノ記載手續 第三十九條

2、前項(イ)ノ場合ニ於ケル分家ノ戸籍ヲ抹消シ本家ノ戸籍ヲ復活スル記載例(ロ)ノ場合ニ於ケル夫ニ付未成年戸主ノ戸籍ヲ抹消スル記載
(イ) 何年何月何日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ何某戸籍訂正申請何月何日受附除籍(分家ノ戸籍中父母兄弟ノ事項欄ニ記載ス)
何年何月何日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ何某戸籍訂正申請何月何日受附入籍(本家ノ戸籍中父母兄弟ノ事項欄ニ記載ス)

(ロ) 何年何月何日附何區裁判所ノ許可ノ裁判ニ因リ何某戸籍訂正申請何月何日受附除籍

(大正七年三月十九日宇都宮區裁判所監督判事問合) 同年五月十一日民第五九七號法務局長回答)

◎未成年戸主ノ母入夫婚姻ヲ爲シタルヲ受理登記シタルモノノ訂正

1、未成年戸主アリ其ノ母入夫ヲナシ得サルニ入夫婚姻届ヲナシ戸籍吏誤ツテ之ヲ受理登記シタリ而シテ未成年戸主死亡家督相續人選定ニ付本件ノ錯誤ヲ發見セリ此場合訂正方ニ付キテハ戶籍法第三十九條第一項本文及第二項ニ依リ處理スヘシ

(大正六年八月十七日宇都宮市長代理助役問合) 大正七年五月二十四日民第一一〇一號法務局長回答)

◎婚姻前又ハ婚姻後二百日内ノ出生子ヲ庶子トシテ取扱ヒタルモノハ嫡出子ニ訂正ス

1、婚姻前又ハ婚姻後二百日内ノ出生子ト雖モ父一人ヨリ嫡出子トシテ届出ヲ爲シ得ルコトニ先例變更セラレタル處大正五年六月五日民第三九二號回答(法曹記事第二十六卷)ニ依リ從來庶子トシテ取扱ヒ來リタルモノハ戶籍法第三十九條第一項ノ所謂市町村長ノ過誤ニ出テタルモノトシテ同條第二項ニ依リ許可ヲ得テ庶子ヲ嫡出子ニ訂正スヘキモノトス

(大正八年六月四日山口區裁判所監督判事問合) (同年六月三十日民事第一七〇九號民事局長回答)

◎違法相續ニ基キ編成シタル戶籍ハ本人ニ於テ異議ナキニ於テハ市町村長職權ニ依リ訂正スルコトヲ得ルモ本人ノ訂正申請ニ基キテ訂正スルヲ妥當トス

1、正當相續人ニアラサル者カ家督相續ヲ爲シ誤テ之ヲ受理シ新戶籍ヲ編成シタル場合相續人自ラ訂正スル場合ハ錯誤ト解釋シ戶籍訂正手續ニ依リ右戶籍ヲ抹消スルコトヲ得ルハ勿論ナルモ右届出人ニ於テ戶籍訂正申請ハ爲サ、ルモ市町村長ニ於テ職權ヲ以テ訂正スルコトニ異議ナキ場合ハ市町村長ニ於テ許可ヲ得テ戶籍ヲ抹消スルコトヲ得本人ニ於テ訂正ニ異議ナキ以上本人ヲシテ訂正ノ申請ヲ爲サシムルヲ妥當トス

(大正八年六月十七日廣島縣廣品郡福相村長問合) (同年八月二日民事第二二五號民事局長回答)

◎士族ノ單身戸主死亡シタル場合相續ニ付延期出願ノ手續ヲ爲サル場合ニ其ノ族籍消滅セサルモノトシテ戶籍ニ記載セルモノノ訂正

1、從來單身戸主死亡後五十日ヲ過キタルモ六ヶ月以内ハ族籍廢絶セサルモノトシ取扱ヒタルモノニ付テハ本人ニ於テ異議ノ有無ニ拘ラス市町村長ハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ士族ノ族稱ノ記載ヲ抹消スヘキモノナルヤト云フニ既ニ士族ト記載シタルモノハ其ノ儘ニ爲シ置クヘシ

(大正八年六月十六日廣島縣安芸郡山本村長問合) (同年八月二十八日民事第三七七三號民事局長回答)

◎失踪宣告ノ判決ニ因リ戶籍ニ其ノ旨記載シタルモノ現ニ生存スル場合ト失踪宣告取消ヲ請求セサル場合ト市町村長ノ其ノ記載抹消

1、失踪宣告ノ判決ニ因リ戶籍ニ死亡ト看做サルル其旨記載セラレタル者現ニ生存スルニ拘ハラズ其本人又ハ利害關係人カ失踪宣告取消ヲ請求セスシテ漫然經過スル場合市町村長ノ職權ヲ以テ失踪記載ヲ抹消スルコトヲ得サルモノトス

(大正八年十二月二日山口區裁判所監督判事問合) (同年十二月十六日民事第五三五七號民事局長回答)

◎戶籍改寫漏ノ結果無籍ト爲リタル者ト職權ニ因ル戶籍ノ編製

サル前死亡シ乙女ハ所在不明トナリ何人ヨリモ補正ノ手續ヲ爲サス届書ハ正副共ニ紛失セリ斯ル場合ニ於テハ甲村長ハ職權ヲ以テ丙ノ入籍事項ノ記載ヲ訂正スヘク而シテ乙村長ハ甲村長ヨリ婚姻届出事項ノ記載アル戶籍副本ノ送付ヲ受ケ之ニ基キテ戶籍ノ記載ヲ爲スコトヲ得

(大正五年五月三日平戶區裁判所判事問合) (同年十月二十五日民事第七〇九號法務局長回答)

◎監督區裁判所ノ許可ヲ得スシテ爲スコトヲ得ル職權訂正

1、左ノ場合ニ於テハ市町村長限リ戶籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得ル旨省議決定セリ

- 一、同村内ノ甲家ヨリ乙家ニ入りタルモノニシテ乙家ノ戶籍ニ誤記アルモノ
- 二、同村内ノ甲家ヨリ乙家ニ入りタルモノニシテ一方ノ戶籍ニ記載アルモノ他ノ一方ニ記載ヲ脱漏シタルモノ
- 三、右二項カ甲村ヨリ乙村ニ入籍シタル場合ニ係リ村長カ他ノ村長ヨリ正シキ記載アル戶籍謄本ノ送付ヲ受ケタル場合

(大正十一年四月二十六日愛知縣知多郡八幡町長問合) (同年五月十六日民事第二五〇一號民事局長回答)

◎身分登記ニ誤記ナキモ其ノ登記ニ基ク戶籍ノ記載ニ誤記アル場合ノ訂正

1、甲村生甲女ナル者數年以前ヨリ乙町ニ現住セリ然ルニ同人ハ明治五年ノ戶籍編製ノ際ハ其出生地甲村役場ニ於テ編製セラレタル別紙添付甲村長認證ノ舊戶籍謄本寫ノ通りナルニ爾後如何ナル場合ニ脱漏シタルヤハ不明ナルモ現今ニ於テハ無籍ト成居ル場合ニハ舊戶籍ノ存スル甲村長ニ於テ戶籍法第三十九條第二項ノ規定ニ依リ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ改寫漏ト爲リタル戶籍ヲ新ニ編製スヘク戶籍法第六十條ニ依ル就籍ノ手續ヲ爲スヘキモノニ非ス

(大正七年九月十七日愛媛縣越智郡今治町長問合) (同年十一月五日民事第二一〇四號法務局長回答)

◎認知セラレサル私生子ヲ父母ノ婚姻ニ因リ嫡出子ノ身分ヲ取得スルモノトシテ記載シタル届出ニ基キ戶籍ノ記載ヲ爲シタル場合届出人ニ通知ヲ爲スコト能ハサルトキノ手續

1、甲村ノ甲男ト乙村ノ乙女トノ婚姻届書ニ(該婚姻届書ニハ乙女ノ實家ニ在ル乙女ノ私生子丙ヲ父母ノ婚姻ニ因リ嫡出子タル身分ヲ取得スル庶子トシテ記載シアル)甲村戶籍吏ニ提出シタルヲ以テ甲村戶籍吏ハ右届書ニ基キ乙及丙ノ入籍手續ヲ爲シ届書副本及入籍通知書ヲ乙村戶籍吏ニ送付セシ所丙ハ甲ヨリ認知セラレ居ラストノ理由ニテ返戻セラレタルヲ以テ甲男ニ錯誤ノ通知ヲ爲シタルモ甲男ハ補正ノ手續ヲ爲サ

實例判例文例人事法總覽

1、從來ノ身分登記ニハ誤記ナキモ其身分登記ニ基ク戸籍ノ記載ニ誤記アルトキハ市町村長限リ戸籍ノ訂正ヲ爲シ得ルモトス

(大正三年六月九日大阪區裁判所監督判事問合)

【同趣旨】

(大正四年一月十四日民第一〇二〇號法務局長回答)

2、舊戸籍法施行ノ當時身分登記ニ基キ戸籍ノ記載ヲ爲スニ當リ誤記又ハ脱漏ヲ爲シタルモノハ市町村長限リ之カ訂正ヲ爲スコトヲ得ヘク新戸籍法第三十九條第二項後段ノ規定ニ依リ市町村長監督區裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職權ヲ以テ戸籍ノ訂正ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年一月十一日青森地方裁判所長問合)

(同年一月十九日民第六九號法務局長回答)

◎舊法ニ依ル戸籍ニシテ未タ補記ヲ爲ササルモノヲ基本トシテ新ニ編製シタル戸籍ハ身分登記ニ依リテ直ニ其ノ記載ヲ爲スコトヲ得

1、戸籍法第八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ整理ノ手續ヲ爲スト否トハ實際ニ臨ミ事態ノ輕重必要ノ緩急等ニ鑑ミ市町村長ノ自由裁量ニ一任スヘキ法意ナルヘキモ新法ノ規定ニ依リ戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ舊法ノ規定ニ依ル戸籍ニ記載

項ニ準シ整理セシメ差支ナキモノトス

(大正四年一月二十八日福岡地方裁判所長問合)

(同年二月十九日民第一八三號法務局長回答)

◎民法第七百三十條第二項ノ規定ニ依リ養親ノ續柄消滅シタル場合ノ抹消

1、養親ヲ戸籍ニ記載シタル場合ニ於テ民法第七百三十條第二項ノ事實ヲ生シタルトキハ戸籍法第四十七條第二項ノ趣旨ニ鑑ミ續柄ノ消滅ニ關スル事項ハ届書ニ記載アルモノトシ其届出書ニ依リテ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ儀トス

(大正四年二月二日丸龜區裁判所監督判事問合)

(同年二月二十四日民第二四一號法務局長回答)

◎新戸籍編製後身分登記ニ依リ更正ヲ爲ス場合ハ監督區裁判所ノ許可ヲ要セス

1、戸籍法第八十四條第一項但書ノ規定ハ新戸籍編製ノ前後ヲ問ハス其適用アリ而シテ家督相續ノ場合ニ於テハ舊戸籍ノ記載ヲ更正セスシテ直ニ新戸籍ニ其記載ヲ爲スコトヲ得ルモノナリ新戸籍編製後隨時身分登記ニヨリ更正ヲ爲ス場合ニ於テハ監督區裁判所ノ許可ヲ要セス

(大正四年三月十七日八戸區裁判所監督判事問合)

(同年四月二十六日民第四二七號法務局長回答)

◎舊法施行時代ニ於テ非本籍地ニ於テ届書ヲ受理登記シ其ノ正本ヲ本籍地ニ送付シタル途中紛失シタル爲戸籍ニ記載セラレザリ

第一編 戸籍法規 第三章 戸籍ノ記載手續 第三十九條

◎他家ニ在ル長男ヲ入籍シ又ハ弟ヲ長男ト訂正シタル場合前ノ長ニ男ノ續柄ニ變更ヲ生シタル場合ノ記載例

コトヲ得

(大正四年三月十八日敦賀區裁判所判事問合)

(同年七月六日民第四二〇號法務局長回答)

◎戸籍訂正ニ依リ二男ヲ長男トシタル結果他ノ者ノ續柄ニ變更ヲ生シタル場合ノ訂正

1、戸籍訂正ニヨリ二男ヲ長男ニ訂正スヘキ場合ニ於テ二男ト爲ルヘキ三男アルトキハ本來戸籍法第四十七條第二項ニ依ルヘキモノナレトモ其ノ身分ノ變更戸籍上顯著ナルヲ以テ同條ノ手續ヲ俟タズ市町村長ハ職權ヲ以テ戸籍記載ノ訂正ヲ爲スコトヲ得

【同趣旨】

(大正四年七月三十日栃木區裁判所監督判事問合)

(同年八月二日民第二二七號法務局長回答)

シコトヲ新法施行後發見シタル場合ノ手續

1、舊法施行時代ニ於テ非本籍地役場ニ於テ出生届書ヲ受理シ身分登記ノ記載ヲ爲シ届書正本ヲ本籍地役場ニ送付シタルニ途中ニ於テ紛失シタル爲メ戸籍ニ記載セラレザルコトヲ數年後ノ新法時代ニ發見シタル場合ニハ更ニ身分登記ノ謄本ノ送付ヲ受ケ之ニ因リテ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年四月十四日青森區裁判所監督判事問合)

(同年五月四日民第五〇八號法務局長回答)

2、舊法ノ規定ニ依ル戸籍ハ前項ノ方法ニ因リ整理ヲ爲スコトヲ得ヘシト雖モ未タ其整理ヲ爲サル前ノ戸籍ヲ基本トシテ新ニ編製シタル戸籍ハ如何ニシテ之ヲ整理スヘキヤ戸籍訂正ノ途ニ據ルノ外ナシト論スルモノアリ然レ共戸籍法第八十四條第一項但書ニ準シ舊身分登記ニ依リ直チニ之カ記載ヲ爲シ得ルコト、セハ頗ル便宜ニシテ又些少ノ弊害ナシ從テ同條

(大正四年一月二十八日福岡地方裁判所長問合)

(同年二月十九日民第一八三號法務局長回答)

實例判例文例入事法總覽

1、他家ニ在ル長男ヲ入籍シ又ハ弟ヲ長男ト訂正シタル等ノ場合ニ於テ前ノ長二男ノ額書及其者ノ父母トノ續柄又ハ家族トノ續柄ノ記載ヲ市町村長ニ於テ訂正スルニハ左ノ振合ニ依リ其事由ヲ記載ス

「年月日長男某入籍シタルニ因リ（弟某ト父母トノ續柄長男ト訂正ニ因リ）同日父母トノ續柄ヲ二男ト訂正ス」

（大正五年十月十一日靜岡區裁判所監督判事問合）
（同年十一月十三日民第九五五號法務局長回答）

◎舊戶籍法施行前ノ登記目錄ニ記載アルモノニシテ戶籍記載ノ遺漏若ハ錯誤アルモノ舊戶籍法施行ノ前後又ハ現行戶籍法施行後新ニ編製シタル戶籍中基本戶籍ヨリ移記シタルモノノ誤記ハ市町村長限リ戶籍ヲ訂正スルコトヲ得

1、身分登記ニハ誤記ナキモ之ニ基ク戶籍ノ記載ニ錯誤アルトキ及ヒ舊戶籍法施行前甲村ヨリ乙村ニ轉籍セシモノニシテ乙村ニ戶籍ノ編製ナキトキ市町村長限リ戶籍ヲ訂正又ハ編製シテ差支ナキコトハ大正四年一月十四日民第一〇二〇號及ヒ大正五年十月二十六日民第八〇四號ニ依リ回答セリ而シテ左ノ錯誤ヲ發見シタルトキモ亦市町村長限リ戶籍ヲ訂正シ差支ナシ

(イ) 舊戶籍法施行前ノ登記目錄ニ記載アルモノニシテ戶籍ニ

記載遺漏ノモノ（假令ハ出生死亡ノ知シ）又ハ登記目錄ニハ誤記ナキモ之ニ基ク戶籍ノ記載ニ錯誤アルモノ

(ロ) 舊戶籍法施行ノ前後又ハ現行戶籍法施行後相續分家ニ因リ新ニ編製セラレタル戶籍中基本戶籍ヨリ移記ニ係ル事項誤記ノモノ

（大正六年十二月十三日山口縣厚狹郡須賀村長問合）
（大正七年五月十一日民第六一三號法務局長回答）

◎職權訂正又ハ職權記載ノ場合他ノ市町村長ニ於テモ同一ノ訂正又ハ記載ヲ爲スヘキトキ第三十二條ノ準用

1、第三十二條（大正三年七月七日福岡地方裁判所長問合）
（大正四年一月十六日民第一一八四號法務局長回答） 參照

◎夫ノ本籍地ニ於テ離婚届ヲ受理シ妻ノ實家ニ其ノ届出ヲ送付シタルニ其届出受理前實家ハ既ニ轉籍シタル爲メ實家ノ本籍地ヨリ右届書ノ返戻ヲ受ケタル所其ノ當時夫カ既ニ他ニ轉籍セル場合ノ手續

1、第三十二條（大正四年五月十一日五條區裁判所監督判事問合）
（同年五月十九日民第六九三號法務局長回答） 參照

◎市町村長限リ戶籍ヲ訂正シ得ル場合

1、左ノ場合ニ於テハ市町村長限リ戶籍ヲ訂正スルコトヲ得
(イ) 身分登記ニハ誤リナキモ身分登記ニ基ク戶籍ノ記載ニ錯誤アル場合
(ロ) 舊戶籍法施行前ノ登記目錄ニ記載アルモノニシテ戶籍ニ

4、前2中丙ノ場合戶籍副本ハ戶籍受籍受附帳ニ記載シ届書ニ準シ監督區裁判所ニ送付スヘキモノナリ

（大正十年六月二日廣島縣深安郡手城村長問合）
（大正十一年五月十六日民第二五〇一號民事局長回答）

◎本籍本戸主ノ嫡出子ノ出生届ト死亡届ヲ同時ニ受理シ本籍地ニ送付シタルニ未タ婚姻ナキ場合ト既ニ他ニ出立シ所在不明ナル場合ト此ノ場合ノ記載方

1、甲村ニ於テ非本籍人戸主ノ嫡出子出生届ト死亡届ヲ同時ニ受理シ之ヲ乙籍ニ送付シタルニ乙本籍地ヨリ右出生子ノ父母ハ未タ婚姻セサルモノナリ從テ嫡出子出生並ニ其ノ死亡届ハ共ニ受理シ難シトテ戶籍記載ヲ爲サス返戻シタルニヨリ甲村ニ於テ右届出人ニ對シ追完セシメントスルモ届出人ハ一時ノ滞在者ナルヲ以テ既ニ他ニ出立シ所在不明追完ノ途ナキモノアリ此ノ場合ニ於テハ再ヒ届書ヲ乙村ニ送付シ乙村ニ於テハ右届出人ニ追完方催告シ若シ届出人本籍地ニ歸リ來ラス催告ノ途ナキ時ハ右届書ニ依リ母戶籍及氏不明庶子出生ノ記載ト右庶子死亡ノ記載ハ死亡ノ事實ハ診斷書ニヨリ）チナスノ外ナシ此場合ニ監督區裁判所ノ許可ヲ受ケル必要ナキモノトス
（大正十一年五月二日龍ヶ崎區裁判所判事問合）
（同年五月十九日民事第一七四〇號民事局長回答）

◎非本籍地市町村長ヨリ死亡届ノ送付ヲ受ケタル場合ト其ノ前ニ

第一編 戶籍法規 第三章 戶籍ノ記載手續 第三十九條

3、前項ノ場合裁判所ニ納付シアル戶籍副本ト相違ナ來スヲ以テ訂正シタル現在ノ副本ヲ作り監督區裁判所ニ送付スヘキモノナリ但シ前ニ送付ヲ受ケタル副本ハ新ニ送付ヲ受ケタル副本ト差替ヘ適宜之ヲ廢棄シ差支ナシ

（大正四年六月八日廣島縣廣品郡福相村助役問合）
（同年七月十三日民第九五二號法務局長回答）

2、左ノ場合ニ於テモ市町村長限リ戶籍ヲ訂正スルコトヲ得
(甲) 同村内ノ甲家ヨリ乙家ニ入籍セルモノニシテ乙家ノ戶籍ニ誤記アルモノ
(乙) 同村内ノ甲家ヨリ乙家ニ入籍セルモノニシテ其一方ハ戶籍ノ記載アルモ他ノ一方ニハ全然記載ナキ場合
(丙) 右甲乙ノ二項カ甲村ヨリ乙村ニ入籍セル場合ニシテ誤リアル市町村長カ正シキ記載アル市町村長ヨリ戶籍謄本ノ送付ヲ受ケタル場合

（大正四年六月八日廣島縣廣品郡福相村助役問合）
（同年七月十三日民第九五二號法務局長回答）

(ハ) 舊戶籍法施行ノ前後又ハ現行戶籍施行後相續分家ニ因リ新タニ戶籍ヲ編製シタルモ該戶籍中基本戶籍ヨリ移記ニ係ル事項ノ誤記アルモノ

記載漏ノモノ

失踪宣告ヲ受ケ除籍セラレタル場合ノ受理方法ニ記載ノ手續

1、市町村長カ非本籍地市町村長ヨリ死亡届ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テ其死亡者カ死亡前失踪宣告ヲ受ケ除籍セラレタル場合ト雖モ本籍地市町村長ハ之ヲ受理セサルヘカラサルモノトス此ノ場合市町村長ハ之ニ基キ死亡ノ記載ヲ爲スヘシ但シ失踪ノ記載ハ市町村長利害關係人ニ對シ戸籍ノ記載ニ錯誤アル旨ヲ通知シ利害關係人ヲシテ失踪宣告取消ノ判決ニ基ク戸籍訂正ノ申請ヲ爲サシメテ之ヲ抹消スヘシ

(大正九年四月三十日大阪府東成郡黒江村長伺
同年五月三十一日民事第一五五三號民事局長回答)

2、前項其失踪宣告後五年ノ期間ヲ經過シ失踪宣告ニ對スル不服ノ訴ヲ提出スルヲ得サルニ至リタルモノナルトキハ如何ニスヘキヤト云フニ失踪宣告後五年ノ期間ヲ經過シ其宣告ニ對スル不服ノ訴ヲ提起スルヲ得サルニ至リタルトキハ死亡ノ記載ヲ爲スコトヲ得ス

(大正九年四月三十日大阪府東成郡黒江村長伺
同年五月三十一日民事第一五五三號民事局長回答)

甲町甲男ト乙町乙女トノ婚姻届ヲ丙町ニ爲シタルニ其ノ届出前甲男ハ丙町ヘ分家シタル場合ト除籍手續

1、甲町ノ甲男ト乙町ノ乙女ト婚姻ヲ爲シ其届出ヲ丙町ニ提出シ丙町長ハ其届出ヲ受理シ甲乙兩町ニ送付セリ然ルニ甲男ハ

婚姻届出前既ニ丙町ヘ分家ヲ爲シ丙町ノ本籍人ナルヲ以テ甲町ハ其事由ヲ記載シタル書面ヲ添ヘ届書ヲ丙町長ニ返戻セリ

依テ丙町長ハ戸籍法第三十九條第三項ニ依リ乙町長ニ對シ夫ノ本籍記載ニ錯誤アル旨ノ通知ヲ爲シタリ此ノ場合乙町長ハ戸籍法第三十九條第一項ニ依リ届出人ニ對シ通知スヘキハ勿論ナルモ乙女ノ除籍ヲ爲スニ付キテハ丙町ハ最初非本籍人トシテ受理シタルモノナルモ其後本籍人ナルコトヲ發見シ戸籍法第三十九條第三項ノ通知ヲ爲シタルモノナレハ乙女ヲ入籍シタルモノナルコトハ確實ナリト認ムルコトヲ得ヘシ故ニ戸籍法第三十五條第一項ニ依リ入籍地ノ町長カ受理シタルモノトシテ直ニ除籍スルコトヲ防ケス

(大正十三年四月三十日香川縣大川郡志度町長稟伺
同年五月二十七日民事第七四七號民事局長回答)

第四十條 同一ノ事件ニ付キ數人ノ届出義務者ヨリ各別ニ届出アリ

タル場合ニ於テ後ニ受理シタル届出ニ因リテ戸籍ノ記載ヲ爲シタルトキハ前ニ受理シタル届出ニ基キ其戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ要ス

【實例】

◎前後ノ届出カ同日ナル場合ト訂正前後ノ届出カ同日ニ非サルトキト届出ノ日訂正

1、改正戸籍法第四十條ニ依レハ前ニ受理シタル届出ニ基キ其戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ要ストアルモ同日ノ届出ニ付テハ其前後ヲ知ルコト能ハサル場合多キモ如此場合戸籍ヲ訂正スルノ要ナン但シ前後ノ届出カ同日ニ非サル場合ニハ届出ノ日ハ常ニ相違スヘク此場合ハ同法第二十一條第一號ノ規定アルニ因リ届出ノ日ノ訂正ヲ要スルコト勿論ナリ

(大正三年六月二十六日山口區裁判所監督判事問合
同年十二月二十八日民事第一二二五號法務局長回答)

【注意】

2、(本條中ノ前ニ受理シタル届書ニ依リ戸籍ノ訂正ト其ノ訂

正事項ニ限り届出ノ年月日ノ届出人ノ氏名ノ訂正ノ要否母ノ爲シタル出生届事項ト父ノ爲シタル同事項ト異ナル場合ノ訂正方参照)

◎出生ノ届出義務者カ法定ノ順序ニ互シ其ノ届出ヲ爲シタル場合第四十條ノ適用アリ

1、出生ノ届出ニ付テハ戸籍法第四十條ノ適用アルモノトス

(大正三年十二月十五日愛媛縣西宇和郡千丈戸籍吏伺
同年十二月二十八日民事第一九六二號法務局長回答)

◎第四十條ノ解

1、第四十條ハ數人ノ届出義務者ヨリ同一事項ニ付各別ニ届出アリタル場合ニ於テ後ニ受理シタル届出ニ因リテ爲シタル戸籍ノ記載ヲ全然無効ト爲ササルノ趣旨ナリトス

實例判例文例人事法總覽

2、左ノ例ノ如キ場合ニモ亦適用ス

出生届「婚姻死亡等亦同シ」ヲ本籍及所在地双方へ届出テ本籍地受理ノ後非本籍地ヨリ届書ノ送付アリ此場合ニ届書ノ内容「出生日生子名」カ符合スルアリ符合セサルアリ届出人カ同一ナルト異ナルアリ其ノ受理カ双方同日ナルト否ラサルアリ右ノ場合非本籍地ニ於ケル届出受理ノ時カ本籍地ニ於ケル届出受理ノ時ヨリ前ナルニ於テハ總テ同條ノ適用アリ

(大正三年五月二十日大阪市北區戸籍吏問答) (同年十二月二十八日民第一九四號法務局長問答)

◎前ニ受理シタル届書ニ依リ戸籍ノ訂正ト其ノ訂正事項ニ限リ届出ノ年月日届出人ノ氏名ノ訂正ノ要旨

1、第四十條ニ依リ前ニ受理シタル届書ニ因リ戸籍ノ記載ヲ訂正スルニハ止タ其訂正事項ニ限リ届出ノ年月日届出人ノ氏名等ハ之ヲ訂正スヘキ要ナシ

(大正三年十二月八日金澤區裁判所監督判事問合) (大正四年一月十三日民第一八三〇號法務局長問答)

【注意】

2、本條中、「前後ノ届出カ同日ナル場合ト訂正前後ノ届出カ同日ニ非ラサルトキト届出ノ日訂正」母ノ爲シタル出生届出事項ト父ノ爲シタル同事項ト異ナル場合ト訂正方」ノ參照

◎母ノ爲シタル出生届出事項ト父ノ爲シタル同事項ト異ナル場合

ノ訂正方

1、甲村在籍者タル父甲野義太郎乙村ニ在留シ大正四年四月一日乙村長ニ出生届ヲ爲シタリ然ルニ甲村ニ在ル母ハ其届出濟ノコトヲ知ラサル爲メ同月五日甲村長ニ出生届ヲ爲シタル處甲村長ハ父ヨリノ届書到達前ナルヲ以テ之ヲ受理シテ子ノ戸籍事項欄ニ「本籍ニ於テ出世母甲野梅子届出大正四年四月五日受附入籍」ト記載セリ然ル處父カ爲シタル出生届同月十日ニ至リ甲村長ニ到達セルニ因リ右ノ記載ヲ訂正スヘキ場合ノ記載例ハ左ノ振合ニ依ルヘシ

「父氏名出生届出何年月何日乙村長氏名受附何年月何日送付何々ナ「何々」ト訂正ス」

(大正四年五月十二日下關區裁判所監督判事問合) (同年七月一日民第六二號法務局長問答)

◎同一人カ二個ノ役場ニ届出ヲ爲シタル場合ト第四十條ニ基キ戸籍ノ記載

1、戸籍法第四十條ハ數人ノ届出義務者ヨリ同一事項ニ付キ各別ニ届出アリタル場合ニ限ルモノニアラス同一人カ二個ノ役場ニ届出ヲ爲シタル場合ニ於テモ該法條ノ適用アルモノト解ス假令ハ當管内本籍ノ者寄留地ナル東京府下大井町ニ於テ嫡出子出生ノ旨ヲ以テ母ヨリ(父ハ航海中ナリ)本年一月十七日

大井町役場ニ届出テ同役場ノ送付ニ係ル届書ニ基キ戸籍記載ヲ了シタルニ其後數日ヲ經テ同一母ヨリ同時刻同名ノ出生子ニシテ本郷區ニ於テ生レタル旨ノ記載ヲ爲シ同年一月十五日付ニテ本郷區役所ニ届出テ同區長ヨリ送付ヲ受ケタル場合ニ於テモ既ニ記載シタル戸籍事項欄ノ出生届出事由ヲ訂正スヘキモノトス

(大正六年三月二十二日古川區裁判所監督判事問合) (同年四月十八日民第五二二號法務局長問答)

◎戸主入營中轉籍届出ヲ爲シ除隊後更ニ同一ノ届出ヲ爲シタル場合ニ於ケル取扱方

1、甲村在籍戸主丙野丁治郎入營中乙村へ轉籍届出タルニ因リ之レヲ受理シ甲村へ送附セルニ戸主不在中轉籍不可能ノモノナル故ヲ以テ返戻シ甲村ノ戸籍ニ記載ヲ爲サス然ルニ丙野ハ除隊トナリ甲村へ歸郷シ更ニ轉籍届ヲ爲シ甲村ニ於テ之レヲ受理シ乙村へ送附セリ其後乙村ニテ受理シタルモノハ違法ニアラサル旨ヲ以テ届書再送シ茲ニ同一事件ニ付キ同一届出義務者ノ各別ニ届出アリタルコトトナリタルヲ以テ甲村ニ於テハ戸籍法第四十條ノ趣旨ニ因リ取扱フモノトス

(大正八年六月二日北海道十川郡愛別村長稟問答) (同年六月十一日民第一七二〇號民事局長問答)

◎父ヨリ本籍地ニ嫡出子出生届出ヲ爲シ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後

母ヨリモ其所在地タル非本籍地ニ同一ノ届出ヲ爲シタル場合ノ取扱方

1、嫡出子出生ニ因リ父ヨリ本籍地ニ其届出ヲ爲シ戸籍ノ記載ヲ了シタル以後ニ於テ尙母ヨリモ其所在地タル非本籍地ニ重テ同一ノ届出(既ニ父ヨリ届出済ナルコトヲ知ラス)ヲ爲シ該届書ノ送付ヲ受ケタル場合本籍地市町村長ハ不用届書トシテ其事由ヲ付シ之ヲ返付シ其返付ヲ受ケタル非本籍地市町村長ハ届出人ニ返戻スヘキモノトス

(大正八年十二月十日香川縣三豊郡比地二村長問合) (同年十二月二十六日民第五六七三號民事局長問答)

◎同一事件ニ付數人ノ届出義務者ヨリ届出ヲ爲シタルモ前後ノ届出カ相違セサル場合ノ手續

1、同一事件ニ付キ數人ノ届出義務者ヨリ各別ニ出生届出ヲ爲シタル場合ニ於テ後ニ受理シタル届出ニ因リテ爲シタル戸籍ノ記載カ前ニ受理シタル届書ト相違スル場合ハ前ニ受理シタル届書ニ基キ戸籍ノ訂正ヲ爲スヘキコトハ戸籍法第四十條ニ規定アリ而シテ前後ノ届出カ相違セサル場合ニ於テモ左ノ例示ノ記載ヲ爲スノ要ナシ

「父甲野義太郎出生届出年月日何村長受付同月何日送付」

(大正七年十月二十八日鹿兒島市長問合) (同年十二月二十一日民第二四三六號法務局長問答)

實例判例文例人事法總覽

第四十一條 行政區畫又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ戶籍ノ記

載ハ訂正セラレタルモノト看做ス但其記載ヲ更正スルコトヲ妨ケ
ス

地番號ノ變更アリタルトキハ戶籍ノ記載ヲ更正スルコトヲ要ス

參考 府縣制三條。市制三條。町村制三條。

【實例】

◎地番號ノ變更アリタルトキ市町村長ノ訂正其ノ事由ト細則第二十二條

1、改正戶籍法第四十一條第二項ノ場合ハ市町村長ニ於テ其ノ變更事由ヲ戶籍ニ記載シ訂正スルモノナリ而シテ其ノ事由ノ記載方ハ戶籍法施行細則第二十二條ニ依リ了知セラレヘシ

(大正三年四月三十日山口縣熊毛郡室積町戶籍吏代理助役何
同年十二月二十八日民部省第一七九號法務局長回答)

◎戶籍事項欄ノ地番號ノ記載ト訂正

1、改正戶籍法第四十一條第二項ノ規定ハ假令ハ甲村一番地ニ本籍ヲ有スル戶主ノ二三男カ同村又ハ他村内ノ他家ニ入りタ

ル後甲村戶主ノ本籍カ二番地ニ變更シタル場合地番ノ訂正ハ本籍欄ノ記載ニ止マリ事項欄ノ地番ノ記載ハ訂正スヘキ限ニ非ス

(大正三年六月二十六日山口區裁判所監督判事問合
同年十二月二十八日民部省第一二二五號法務局長回答)

◎個人カ土地ノ分合ヲ爲シタル場合ト地番號ノ變更アリタルトキト戶籍ノ訂正

1、戶籍法第四十一條第二項ニ依リ地番號ノ訂正ヲ爲スハ行政區畫又ハ土地ノ名稱ノ變更ニ伴ヒ地番號ノ變更アリタル場合ノミニ限ルモノニアラス個人カ土地ノ分合ヲ爲シタル結果地

番號ニ變更アリタル如キ場合モ凡テ地番號ニ變更アリタルトキハ戶籍ノ記載ヲ訂正スヘキモノトス

(大正四年一月十六日愛媛縣西宇和郡宮内村長何
同年二月十日民部省第一七九號法務局長回答)

◎町村ノ區畫改正ノ場合ト戶籍ノ屋敷番號ヲ地番ニ更正

1、區畫改正ニ伴ヒ地番號ヲ改正區畫ノ變更ヲ生セスシテ地番號而已變更ヲ生シタル場合戶籍法第八十五條ノ戶籍ニ記載シタル屋敷番號ヲ戶籍法第四十一條第二項ニ準シ地番ニ其記載ヲ更正シ得ルモノトス

(大正四年五月一日米子區裁判所監督判事問合
同年五月三日民部省第六〇七號法務局長回答)

◎地番號ノ變更アリタルモ舊法ニ依リ其ノ更正ヲ爲サザリシモノノ更正手續

1、舊戶籍法施行中ハ地番號ニ變更アリタルトキハ戶籍ニ記載シタル番號ハ當然之ヲ改正シタルモノト看做シ戶籍ノ記載ヲ更正セス戶籍ノ謄抄本作成又ハ本籍記載ヲ要スル各種事件ノ屆書類處理上土地臺帳ヲ参照スル等特ニ注意ヲ拂ハサレハ本籍ノ記載ニ錯誤ヲ醸スノ虞レアル場合現行法ノ規定ニ準シ戶籍ノ記載ヲ更正スルハ差支ナシ但シ戶籍ノ記載更正方ハ假令ハ一番地ノ土地ヲ五筆ニ分筆シ一番地ノ一ヨリ五マテト爲リタル場合ニ於テハ「一番地」トアルナ「一番地ノ一乃至五」ト更

第一編 戶籍法規 第三章 戶籍ノ記載手續 第四十一條

正シ「一番地」ニ在籍者アルモ同番地ニハ家屋ナク又ハ他人所有ノ家屋アルモ現住セス何レモ所在不明ニテ何レノ地番ヲ本籍ト定ムルカ實際戶主ノ意見ヲ知ルコト不能ナルモノ等「場合」ノ更正方ハ事實調査ノ上一番地ノ何レノ部分ニ本籍ヲ定メタルヤヲ決定スヘク其ノ明ナラサルモノニ付テハ戶籍ノ記載ハ之ヲ其ノ儘ニ爲シ置クノ外ナシ更正ノ事由ノ記載方ハ(何年何月何日地番號變更ニ付キ本籍欄中「何番地」ナ「何番地ノ一」ニ更正)例ニ依ルヘシ(戶籍法施行細則附錄戶籍記載例百二十八參照)

(大正四年十二月十四日小倉市長何
大正五年三月十五日民部省第一二二號法務局長回答)

◎舊戶籍法施行前ニ無番又ハ番地記載ナキ場合又ハ施行後地番ヲ稱セス編製セラレタル場合ト土地名稱變更又ハ町分割ノ場合ニ於ケル町名地番更正ノ記載方

1、舊戶籍法施行前ニ無番又ハ番地記載方ナキ場合又施行後戶番ニ編製セラレタル場合ニ土地分割ニヨリ町名ノ變更其他ノ場合ニ戶番ヲ地番號ニ改メタルトキハ戶籍ニ其事由記載ヲ要ス之ノ場合ノ記載例ハ左ノ如シ
「何年何月何日戶主(家族)何某ノ申出ニヨリ本籍欄中地番ナ「何番」ト記載ス」

實例判例文例人事法總覽

「何年何月何日戸主(家族)ノ申出ニ因リ本籍欄中「何町何番戸」ヲ「何町何番地」ニ更正」

(大正十三年三月六日靜岡市長稟伺
同年四月十六日民事第四八二二號民事局長回答)

2、前項ノ場合ニ於テ市長ニ於テ町名番地ノ更正ヲ爲ス場合ハ
戸籍記載例百二十八ノ例ニ依ルヘシ

(大正十三年三月六日靜岡市長稟伺
同年四月十六日民事第四八二二號民事局長回答)

◎舊戸籍施行前ニ不現住者ノ戸籍ニ無番又ハ番地ノ記載ナキ場合
ト土地ノ分割又ハ名稱ノ變更ト訂正方

1、舊戸籍法施行前(明治三十一年七月十六日以前)ニ不現住
者ニ付編製セラレタル戸籍ニ無番又ハ番地ノ記載ナキモノア
ル場合土地ノ名稱變更ニヨリ數町ニ分割セラルヘキ場合ハ現
在住居ナキヲ以テ戸主又ハ家族ヲシテ本籍ト定ムヘキ町名番
地ヲ申出シメ之ニ依リ戸籍ニ町名番地ヲ記載スヘシ此等ノ者
ヨリ申出ヲ爲ササル場合從前ノ町名ヲ襲フ町アルトキハ戸籍
ヲ其ノ儘町戸籍簿ノ末尾ニ編綴スヘク從前ノ町名ヲ襲フモノ
ナキトキハ市長ニ於テ適當ト認メタル町名ニ戸籍ノ記載ヲ更
正シタル上其ノ町戸籍簿ノ末尾ニ編綴シ置クヘシ

(大正十三年三月六日靜岡市長稟伺
同年四月十六日民事第四八二二號民事局長回答)

◎舊戸籍施行前ノ戸番ト土地名稱變更又ハ分割ト地番號ニ更正シ

ササルトキハ市長ニ於テ適當ト認メタル町名ニ戸籍ノ記載ヲ
更正シタル上其ノ町戸籍簿ノ末尾ニ編綴シ置クヘシ

(大正十三年三月六日靜岡市長稟伺
同年四月十六日民事第四八二二號民事局長回答)

2、舊戸籍法施行前ノ戸番及施行後或期間内地番號ヲ稱セス戸
番ヲ以テ編製セラレタル戸籍カ土地ノ名稱變更ニヨリ數町ニ
分割セラルル場合ニシテ且住居ナキ時ハ戸番號ニ相當スル地
番號明ナルトキハ市長ニ於テ町名番地ノ更正ヲ爲スヘク地番
號ヲ申出シメ之ニ依リ戸籍ニ地番號ヲ記載シタル上相當町ノ
戸籍簿ニ編綴スヘシ若シ申出ヲ爲ササルトキハ市長ニ於テ適
當ト認メタル町名ニ戸籍ノ記載ヲ更正シタル上其ノ町戸籍簿
ノ末尾ニ編綴シ置クヘシ前項ノ場合住居ナキ者モ同様ノ振合
ニ依ルヘシ

(大正十三年三月六日靜岡市長稟伺
同年四月十六日民事第四八二二號民事局長回答)

◎數番ニ跨ル本籍又ハ寄留ト土地ノ分割ト地番選定方

1、數番ニ跨リ本籍又ハ寄留ノ場所ヲ有スル者ノ一町全部カ分
割ニヨリ二以上ノ町ニ編入セラルル場合其本籍又ハ寄留ノ場
所モ亦二以上ノ町ニ分割編入セラルヘキ場合ハ本人ノ意思ニ
ヨリ本籍又ハ寄留ノ場所ノ地番號ヲ選定セシメ其屬スヘキ町
ニ編入スルヲ相當トス

第一編 戸籍法規 第三章 戸籍ノ記載手續 第四十一條

タル場合ノ記載方

1、舊戸籍施行前ノ戸番及施行後或期間内地番號ヲ稱セス戸番
ヲ以テ編製セラレタル戸籍カ土地ノ名稱變更ニヨリ數町ニ分
割セラレタル等ノ場合ニ於テ地番號ニ改メ更正記載シタル上
ハ戸籍ニ其ノ事由ヲ記載スルヲ要シ記載例左ノ如シ

何年何月何日戸主(家族)何某ノ申出ニ因リ本籍欄中地番ヲ
「何番」ト記載ス

何年何月何日戸主(家族)ノ申出ニヨリ本籍欄中「何町何番
戸」ヲ「何町何番地」ニ更正市長ニ於テ町名番地ノ更正ヲ爲
ス場合ハ戸籍記載例百二十八ノ例ニ依ルヘシ

(大正十三年三月六日靜岡市長稟伺
同年四月十六日民事第四八二二號民事局長回答)

◎戸番號ヲ以テ編製セラレタル戸籍ト一町全部ノ分割ト町名及地
番ノ訂正方

1、戸番號ヲ以テ編製セラレタル戸籍カ一町全部ノ分割ニヨリ
二以上ノ町ニ編入セラルル場合住居ノ事實ニヨリ戸番ノ儘相
當町ニ編入スヘキヤハ戸番號ニ相當スル地番號明ナルトキハ
市長ニ於テ町名番地ノ更正ヲ爲スヘク地番號明ナラサルトキ
ハ戸主又ハ家族ヲシテ地番號ヲ申出シメ之ニ依リ戸籍ニ地番
號ヲ記載シタル上相當町ノ戸籍簿ニ編綴スヘシ若シ申出ヲ爲

(大正十三年三月五日靜岡市長稟伺
同年四月十六日民事第四八二二號民事局長回答)

實例判例文例人事法總覽

第四十二條 市町村ノ區域ノ變更アリタルトキハ戶籍及ヒ之ニ關スル
書類ハ之ヲ當該市町村ニ引繼クコトヲ要ス

第四十二條ノ二 第三十一條乃至第三十四條及ヒ第三十五條第一項
ノ規定ハ共通法第三條ノ規定ニ依リテ内地ノ家ヲ去リタル者及ヒ
他ノ地域ノ家ヲ去リテ内地ノ家ニ入りタル者ノ戶籍ノ記載手續ニ
付之ヲ準用ス(大正十年法律四八號本條追加)

參考 大正七年法律三九號改正大正十二年三月法律二五號共通法三條。

【實例】

◎朝鮮人カ内地ニ居住スル場合ト非訟事件ノ申請ノ管轄

1、朝鮮人カ内地ニ居住スル場合ニ於テ其ノ非訟事件ニ關スル
申請ハ裁判所ノ土地ノ管轄カ住所ニ依リテ定ムルトキハ内地
ニ於ケル管轄裁判所ニモ亦之ヲ爲スコトヲ得ルモノトス
(大正十一年一月十五日和歌山地方裁判所管内戶籍及寄留事務協議會報
同十二年六月九日民事第二二四一號民事局長通牒)

◎内地ノ女ト朝鮮人トノ婚姻届ヲ女ノ本籍地ニ届出女ノ戶籍ノミ
ニ記載シアル場合ト女ノ除籍ノ手續

1、大正十年七月十日以前ニ於テ内地女カ朝鮮人トノ婚姻届ヲ
女ノ本籍地ニ届出テ女ノ戶籍ニノミ婚姻事項ノ記載シアルモ

ノハ共通法第三條及同年朝鮮總督府令第九十九號第十一條ノ
趣旨ニ從ヒ女ノ本籍地村長ニ於テ戶籍法第四十二條ノ二第三
十一條及第五十六條ニ依ル婚姻届書ノ謄本ヲ作り夫ノ本籍地
府尹又ハ面長ニ送付シ其入籍通知ヲ俟テ女ヲ戶籍ヨリ除クハ
キモノトス
(大正十一年六月五日下午關區裁判所監督判事問合
同年六月十三日民事第二二四五號民事局長回答)

2、前項ノ女カ其夫トノ間ニ擧ケタル男子ヲ女ヨリ其本籍地ニ
出生届ヲ爲シタルモ戶籍ニ記載セラレスシテ無籍ト爲リ居レ
リ右ノ場合ハ出生届ヲ受ケ居タル村長ニ於テ該出生届ノ謄本

第一編 戶籍法規 第三章 戶籍ノ記載手續 第四十二條ノ二

實例判例文例人事法總覽

ヲ作り父ノ本籍地府尹又ハ面長ニ送付スヘキモノトス

(大正十一年六月五日下午關區裁判所監督判事問合)

◎内地人ハ朝鮮人ノ養子トナルコトヲ得ス

1、内地人ハ朝鮮人ヲ養子ト爲スコトヲ得ルモ朝鮮人ノ養子ト爲ルコトヲ得ス

(大正十年十月二十五日關區裁判所監督判事問合)

(同年十二月二十八日民事第四〇三〇號民事局長回答)

◎共通法第三條第一項ト身分變更ノ結果ニ依リ其者ノ本籍ノ轉居スル場合

1、共通法第三條第一項ハ身分變更ノ結果ニ依リ其者ノ本籍ノ轉居スル場合ヲ規定シタルモノニシテ分家、轉籍、就籍、一家創立、廢絶家再興等ノ如ク一ノ地域ノモノカ他ノ地域ニ其家籍ヲ轉シ又ハ家籍ヲ定ムル場合ヲ包含セス

(大正十年十月二十五日關區裁判所監督判事問合)

(同年十二月二十八日民事第四〇三〇號民事局長回答)

◎内地ノ女ト朝鮮人ト婚姻届ヲ女ノ本籍地ニ届出女ノ戸籍ニノミ記載シアル場合ト離婚ノ届出

1、大正十年七月一日以前ニ於テ内地ノ女カ朝鮮人トノ婚姻届ヲ女ノ本籍地ニ届出テ女ノ戸籍ニノミ婚姻事項ノ記載アルモノハ共通法第三條及同年朝鮮總督府令第九十九號第十一條(同令ハ後ニ廢止セラレ朝鮮戸籍令第三百三十一條ニ同趣旨ノ

規定設ケラル)ノ趣旨ニ從ヒ女ノ本籍地市町村長ニ於テ戸籍

法第四十二條ノ二第三十一條及第五十六條ニ依リ婚姻届書ノ

謄本ヲ作り夫ノ本籍地府尹又ハ面長ニ送付シ其入籍通知ヲ俟

テ女ヲ戸籍ヨリ除クヘキコトハ大正十一年六月十六日付民事

第二二四五號下關區裁判所監督判事問合ニ依リ明カナルモ未

タ此除籍ノ手續ヲ爲ササルモノ今般協議上ノ離婚ヲ爲サント

スルトキハ之ヲ府尹又ハ面長ニ届出ヲ要スルモノナリ又右朝

鮮人カ内地ニ寄留シ居ルトキト雖モ夫ノ所在地タル内地市町

村長ニモ届出ヲ爲スコトヲ得ルモノナリ

(大正十三年一月三十一日伊丹區裁判所判事問合)

(同年三月五日民事第二三四號民事局長回答)

◎内地ノ女ト朝鮮人ト婚姻届ヲ女ノ本籍地ニ届出未タ除籍手續未了中離婚届アル場合ノ手續

1、前項ノ場合ニ除籍ノ手續ヲ爲サス離婚届ニ基キ直ニ婚姻事項ノ次行ニ離婚事項ヲ記載スヘキヤ或ハ除籍ノ上ニアラサルハ離婚届ハ受理スヘカラスヤト謂フニ離婚ノ届出ハ之ヲ受理シ置キ大正十一年六月十六日民事第二二四五號下關區裁判所監督判事問合ニ對スル民事局長回答ノ趣旨ニ基キ婚姻ニ依ル入除籍ノ手續ヲ了シタル上離婚ニ基ク入籍ノ手續ヲ爲スヘ

◎離婚ニ關スル朝鮮ノ慣例ト其證明

1、離婚ニ關スル朝鮮ノ慣習ハ當事者ヲシテ之ヲ證明セシムルカ又ハ市町村長職權ヲ以テ之カ調査ヲ爲シタル上處理スヘシ

(大正十三年一月三十一日伊丹區裁判所判事問合)

(同年三月五日民事第二三四號民事局長回答)

◎朝鮮、關東州、臺灣及樺太ニ居住スル内地人ト戸籍法ニ依ル届出

1、朝鮮、關東州、臺灣及樺太ニ居住スル内地人ノ戸籍法ニ依ル届出ヲ該地ノ警察官署ニ於テ便宜處理シ之ヲ本籍地ノ市町村長ニ送付シタルトキハ其ノ届出ヲ受理スヘシ

(大正九年一月十二日民事第五四八號)

(市町村役場、裁判所宛民事局長通牒)

◎朝鮮、關東州、臺灣及樺太ニ居住スル内地人ト戸籍法ニ依ル届出期間經過後市町村役場ニ到着シタル場合

1、朝鮮、關東州、臺灣及樺太ニ居住スル内地人ト戸籍法ニ依ル届出ヲ該地ノ警察官署ニ於テ便宜受理シタル場合ニ該届書カ届出期間ヲ經過シタル後ニ市町村役場ニ到達シタルトキト雖モ警察官署カ届出期間内ニ届出ヲ受附ケタルモノナルトキハ戸籍法施行細則第四十二條ノ通知ヲ爲スニ及ハス

(大正九年一月十二日民事第五四八號)

(市町村役場、裁判所宛民事局長通牒)

第四章 届 出

第一節 通 則

【學 說】

◎廢除ノ判決確定前ト婚姻届ノ效力

1、推定家督相續人ハ其ノ廢除ノ判決確定以前ニ於テハ婚姻ニ因リ他家ニ入ルコトヲ得サルモ町村長誤テ其ノ届出ヲ受理シタルトキハ婚姻ハ無効トナルコトナシ

(大正十一年五月三十日法曹會議決議)

【實 例】

◎意思能力ヲ有スル未成年者ノ轉籍届ト法定代理人ノ同意

1、他管轄ノ意思能力ヲ有スル女戸主甲女(明治三十五年六月生)ヨリ轉籍届アリタニヨリ届書ヲ舊本籍地ヘ向ケ送付シタルニ假令意思能力ヲ有スルモノト雖モ未成年者ノ轉籍届ハ法定代理人ノ同意ヲ要スル旨ヲ以テ届書返送セラレタリ右ノ場合ニ於ケル取扱如何ト云フニ意思能力ヲ有スル未成年者カ轉籍ヲ爲スニハ法定代理人ノ同意ヲ得ルコトヲ要スルニ付返送ヲ受ケタル届書ハ法定代理人ノ同意書ヲ追徴シタル上其ノ同意書ヲ添ヘ舊本籍地市町村長ヘ再送スヘシ

(大正八年十二月八日愛媛縣總督部令治町長問合)
(大正八年十二月九日民事第五二六號民事局長回答)

◎意思能力ノ有無ト判別ノ標準

1、意思能力ノ有無ハ個々ノ人ニ付之ヲ決スヘキモノニシテ一概ニ年齢ヲ以テ其ノ標準ヲ定ムル事ヲ得スト雖モ大體ニ於テ自己ノ爲ス事柄ヲ了知スルコトヲ得ヘキ程度ニ智能ノ發達シタル者ト認ムルコトヲ得ル場合ニ於テハ意思能力ヲ有スル者ト認メテ取扱ヒ差支ナシ

(大正六年十二月十二日山口縣厚狭郡須惠村長問合)
(大正七年五月十一日民事第六一三號法務局長回答)

◎届出ノ過誤處理ト戸籍ノ訂正

第一編 戶籍法規 第四章 届出 第一節 通則

1、口頭届出ノ際取扱者ニ於テ届書ノ記載ヲ誤リタルモノアルトキハ戸籍法第三十九條第二項ニ基キ訂正ヲナスコトヲ得

(大正五年十二月九日敦賀區裁判所判事問合)
(大正六年一月二十日民事第一九九七號法務局長回答)

◎届書ノ紛失ト處理

1、市町村長カ戸籍ニ關スル届書ヲ他ノ市町村長ニ送付ノ途中紛失シタル場合ニ於テ其ノ一通ハ既ニ監督區裁判所ヘ送付シタル後ナルトキハ市町村長ニ於テ監督區裁判所ニ出頭シ又ハ裁判所ヨリ届書ノ送付ヲ受ケ之ニ基キテ届書ノ謄本ヲ製作スヘキモノトス

(大正五年十二月九日敦賀區裁判所判事問合)
(大正六年一月二十日民事第一九九七號法務局長回答)

第四十三條 届出ハ届出事件ノ本人ノ本籍地又ハ届出人ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

【學說】

◎他村ニ關スル戸籍ノ届出ト戸籍謄本ノ不添附
1、他村ニ關スル戸籍ノ届出ハ戸籍謄本ノ添附ナキモ之ヲ受理スヘキモノトス

(大正十二年十一月七日法曹會議決議)

◎所在地市町村長誤テ家督相續届ヲ受理シ本籍地ニ送付シタル場

合ト届出ノ日

1、所在地市町村長誤テ家督相續届ヲ受理シ之ヲ本籍地ニ送付シタルトキハ本籍地市町村長ハ之ヲ送付ヲ受ケタル日ヲ以テ届出アリタルモノト爲シ處理スルヲ相當トス

(大正八年十一月八日法曹會議決議)

【實例】

◎私生子認知届、後見人及保佐人ノ就職、更迭届、家督相續人指定届、復籍拒絶届ニ對スル事件本人

1、私生子認知届、後見人及保佐人ノ就職、更迭届、家督相續人指定届、復籍拒絶届ノ届出事件本人ハ何人ナルヤト云フニ私生子認知ニ付テハ私生子、後見人及保佐人ニ關スル届出ニ付テハ後見人保佐人及被後見人準禁治産者、家督相續人ノ指定ニ付テハ被相續人及相續人、復籍拒絶ニ付テハ復籍拒絶者及復籍ヲ拒マレタル者ナリトス

(大正三年六月九日大阪區裁判所監督判事問合
大正四年一月十四日民第一〇二〇號法務局長回答)

2、私生子認知ノ事件本人ハ認知者ナリヤ被認知者ナリヤト云

フニ私生子認知ニ付テハ私生子ヲ以テ届出事件ノ本人ト爲スヘキコトニ省議決定シ居レリ

【參考】

(大正三年六月九日大阪區裁判所監督判事問合
大正四年一月十四日民第一〇二〇號法務局長回答)

◎胎兒認知届及死産届ニ對スル事件本人

1、戸籍法第八十二條ノ胎兒認知届及同法第八十六條ノ認知胎兒死産届ノ事件本人ハ何人ナリヤト云フニ戸籍法第八十二條ノ胎兒認知届及第八十六條ノ死産届ノ事件本人ハ胎兒トス

(大正四年六月二日大阪區裁判所監督判事問合
同年六月二十二日民第八四五號法務局長回答)

◎引入籍ノ場合ニ於ケル事件本人

1、民法第七百三十八條ノ引入籍ニ付テハ引入籍セシメントスル者ヲ事件本人トナスニアラス引入籍セシメラルル者ヲ事件本人ト爲スヘキモノトス

(大正四年六月二十九日下關區裁判所監督判事問合
同年七月十七日民第一〇五八號法務局長回答)

◎親權又ハ管理權喪失届、後見人更迭届、遺言ニ基ク後見人指定届、後見終了届、胎兒相續届、家督相續人廢除届、入籍届、離籍届、戸主家族ト共ニ爲ス轉籍届ノ事件本人

1、左ノ各場合ニ於ケルモノハ届出事件ノ本人トス但シ轉籍ノ場合ニ於テ受付帳ニ記載スヘキ届出事件ノ本人ノ氏名ハ戸主ノミヲ掲クルヲ以テ足ル

一、親權又ハ管理權喪失届ノ場合ニハ戸籍法第七條ノ趣旨ハ親權又ハ管理權ノ喪失ヲ届出シムルニ非スシテ母カ親權又ハ管理權ヲ行フ旨ヲ届出テシムルニ在リ而シテ此ノ届出ニ付テノ事件本人ハ母及子ナリ
二、後見人更迭届ノ場合ニハ届出事件ノ本人ハ前後ノ後見人及被後見人ナリ
三、遺言ニ基ク後見人指定届ノ場合ニハ戸籍法第一百一條ノ趣旨ハ後見人ノ指定ヲ届出テシムルニ非ラスシテ遺言ニ依リテ指定セラレタル後見人カ第九條ノ後見開始ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ届書ニ指定ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添附スヘキ旨ヲ定メタルモノトス而シテ後見開始ノ届出ニ付

◎家督相續人廢除ノ訴訟中被相續人死亡ト届出本人

1、長男次男ヲ有スル戸主長男ニ對シ家督相續人廢除ノ訴訟提起中裁判確定前死亡シタリ此ノ場合ニ於テ長男ヨリ家督相續届ヲ爲スコトヲ得若シ廢除ノ裁判確定後長男未タ相續届ヲ爲シ居ラサル場合ハ直ニ次男ヲシテ相續届ヲ爲サシムルヲ正當トス

(大正十二年六月三日島根縣瀨原郡久利村長稟伺
同年七月十日民事第三三〇〇號民事局長回答)

◎廢家届、入籍届ト市町村ヲ異ニシテ届出

1、廢家ノ上親族入籍、婚姻、養子縁組若クハ本家ノ家督相續ヲ爲ス場合等ニ於テハ廢家届ト入籍其他ノ届出トハ同時ニ同一市町村長ニ届出サルモ廢家届ヲ本籍地ナル甲市町村長ニ届出テ入籍届ハ入籍スヘキ地ノ乙市町村長ニ届出ツルモ差支ナキモノトス

(大正四年十月十九日福島地方裁判所長問合
同年十月二十二日民第一六七〇號法務局長回答)

◎本籍分明ナラス又本籍ナキ死亡者ニ付死亡ノ届出ヲ爲シタル届出人モ亦死亡シタル後死亡者ノ本籍分明ト爲リタル場合ノ取扱方

1、戸籍法第四十五條ニ依レハ本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ニ付キ届出アリタル後其者ノ本籍カ分明トナリタルトキ云々トアリ死亡ノ如キハ届出人ノ外本條ニ依リ届出ツルヲ得サレハ届出人死亡後ハ譬ヘ死亡者ノ親族ニ於テ本籍ヲ確認スルモ届出ノ途ナシ(殖民地ノ如キハ此ノ例尠カラス)右ノ場合ハ利害關係人ノ届書ヲ假ニ受理シ置キ之ニ基キ戸籍法第六十四條第三項ノ規定ニ依リ監督區裁判所ノ許可ヲ受ケタル上職權ヲ以テ戸籍ノ記載ヲ爲スヘシ

(大正四年十一月二十五日北海道空知郡普見澤町長伺)

(大正二年三月二十三日民部第三一九號法務局長回答)

◎入籍届ニ關シ入籍地カ届出當時實際届出人ノ所在地ナルニ於テハ所在地ノ記載ヲ脱漏スルモ入籍地市町村長ニ爲シタル届出ハ無効ト爲ラス

1、民法第七百三十七條ニ因ル入籍届ヲ入籍地村長ニ届出(入籍地ノ所在地ノモ届書ニ所)同村長ハ之ヲ受理シ戸籍ニ入籍ノ記載ヲ爲シ届書ノ一通ヲ本籍地役場ニ送付シタル處原籍地役場ヨリ「戸籍法第五十二條及第四十三條ニ該當セザル市町村長カ届出ヲ受付管轄市町村長ニ送付スルモ何等届出ノ效力ヲ發生セス管轄權ヲ有スル市町村長カ送付ヲ受ケ受付タル時初メテ效力ヲ發生スルモノナルコトハ大正五年三月二十三日民

第三一九號ニ依リ明カニ付別紙届出書類本送付候條右ニテ處理ノ上直ニ入籍通知相成度旨ヲ以テ先ニ送付シタル届書ノ謄本ヲ作り送付セラレタリ
右ノ場合ハ入籍地カ届出ノ當時實際届出人ノ所在地ナリシニ於テハ假令届書ニ所在地ノ記載ヲ脱漏スルモ爲ニ入籍地市町村長ニ爲シタル届出ハ無効ト爲ラス從テ本件ノ場合ニ於テ入籍ハ入籍地市町村長カ届出ヲ受理シタルトキニ於テ其ノ效力ヲ生シタルモノトス大正五年三月二十三日民部第三一九號法務局長回答ハ本來所在地ニ届出ツルコトヲ得サル事件ニ關スル届出ヲ誤テ所在地ニ爲シタル場合ノ取扱方ニ係リ本件ト其ノ場合ヲ異ニス依テ原籍地市町村長ヨリ送付シタル届書謄本ハ此ノ趣旨ニ基キ返戻スヘキモノトス

(大正八年十二月八日香川縣太田村長問合)

(同年十二月十九日民部第五四八三號民事局長回答)

◎認知届ト父ノ所在地タル本籍地市町村長ニ届出

1、別紙届書ノ私生子認知届出ハ戸籍法第四十三條同第五十二條ニヨリ受理シタルモノニシテ何等違法ナシ

私生子認知届(寫)

甲區町何番地戸主甲妹
寄留乙區何番地
母
寄留同上
私生子女
丙

戸二號(四二)

戸二號(四三)

明治三十二年九月二十一日生

右私生子認知候間此段及御届候也

大正六年七月二十一日

右届出人

乙區町何番地戸主仲立業

認知者

丁

明治八年一月二日生

乙區長何某殿

(大正六年九月十八日北海道小樽區長與伺)

(同年十月五日民部一八八四號法務局長回答)

◎朝鮮關東州臺灣及樺太ニ居住スル内地人ノ戸籍法ニ依ル届出所在地警察署ノ受理

1、朝鮮關東州臺灣及樺太ニ居住スル内地人ノ戸籍法ニ依ル届出ヲ該地ノ警察官署ニ於テ便宜受理シ之ヲ本籍地ノ市町村長ニ送付シタル時ハ其ノ届書ヲ受理スヘシ而シテ此ノ場合ニ於テ届出カ届出期間ヲ經過シタル後ニ市町村役場ニ到達シタルトキト雖モ警察官署カ届出期間ニ届出ヲ受付ケタルモノナルトキハ戸籍法施行細則第四十二條ノ通知ヲ爲スニ及ハス

(大正九年一月十二日民事第五四八號民事局長通牒)

2、樺太ニ居住スル内地人ノ戸籍ニ關スル届出ヲ支廳出張所ニ於テ受理シタル場合ハ本年一月十二日付民事第五四八號通牒ニ依リテ取扱フヘキモノトス

(大正九年一月二十四日拓殖局長官照會)

(同年三月二日民事第六九五號民事局長回答)

◎樺太ニ於ケル戸籍法ニ依ル届出受理方

1、樺太廳支廳又ハ支廳出張所ニ於テ受理シタル戸籍法ニ依ル届書類ノ送付ヲ受ケタル場合ノ取扱方ニ關シテハ大正九年民事第五四八號及民事第六五九號通牒アルモ來ル四月一日ヨリ樺太ノ一部ニ大正十年法律第四十七號(樺太町村制施行セラルルニ付テハ同法施行地域内ノ町村役場ニ於テ受理シタル届書類ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テモ前記通牒ノ趣旨ニ準シ取扱フヘシ

(大正十一年三月十日民事第七六九號民事局長通牒)

◎南洋諸島在留者ト戸籍法ニ依ル届出

1、日本政府ニ於テ管理ヲ爲ス南洋諸島在留者ニシテ南洋廳長又ハ支廳長ニ於テ受ケタル戸籍ニ關スル届書類ノ送付ヲ受ケタルトキハ朝鮮臺灣在住者ト同一ニ取扱フ爲スヘキモノトス

(大正十一年七月二十八日福岡地方裁判所長問合)

(同年八月七日民事第三〇五七號民事局長回答)

◎届書ノ發送到達以前當事者ノ死亡ト届出ノ效力

1、婚姻、離婚、縁組、離縁等ニ付キ當事者カ其ノ效力ヲ生セシメントスル意思ヲ以テ届書ヲ發送シタル以上ハ其ノ届書カ市町村長ニ到着スル前ト當事者ノ一方又ハ雙方死亡シタルトキト雖モ市町村長ノ受理ニ依リテ其ノ效力ヲ生スヘシ

(大正九年十月二十一日新潟縣北蒲原郡瀧川村長代理助役與伺)

(同年十一月十日民事第三五五號民事局長回答)

第四十四條 日本ノ國籍ヲ有セサル者ニ關スル届出ハ其寄留地又ハ

届出人ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス
所在地ノ市町村長カ届書ヲ受理シタルトキハ之ヲ寄留地ノ市町村
長ニ送付スルコトヲ要ス

【實例】

◎外國人間ノ婚姻又ハ外國人ト日本人トノ婚姻届出

1、外國人間ノ婚姻又ハ外國人ト日本人トノ婚姻届出アリタル
場合ニ市町村長ハ其ノ外國人ノ婚姻能力ノ有無同意ノ要否其
ノ他實質上ノ要件ニ欠缺ナキヤ否ヤ其者ノ本國法ヲ調査シタ
ル上ニアラサレハ受理スルヲ得サルヲ將タ戸籍法ノ規定ニ依
リ届書ノ形式ヲ具備スルニ於テハ其儘受理シ差支ナキヤ若シ
外國法ノ調査ヲ要ストセハ之カ證明ヲ爲サシムルモ妨ケナキ
ヤノ件ハ民法第七百七十六條本文ノ規定ニ依リ市町村長ハ外
國人カ婚姻能力同意其ノ他實質上ノ要件ニ欠缺ナキコトヲ認
メタル後ニ非サレハ其ノ届出ヲ受理スルコトヲ得ス但シ當事
者ヲシテ此等ノ事項ニ欠缺ナキコトヲ證明セシムヘシ
(大正八年四月四日大阪區裁判所監督判事問合)
(同年六月二十六日民事第八四一號民事局長回答)

戸二號(四五)

第四十五條 本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ニ付キ届出アリタ
ル後其者ノ本籍カ分明ト爲リタルトキ又ハ其者カ本籍ヲ有スルニ
至リタルトキハ届出人又ハ届出事件ノ本人ハ其事實ヲ知リタル日
ヨリ十日内ニ届出事件ヲ表示シテ届出ヲ受理シタル市町村長ニ其
旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

【實例】

◎本籍分明ナラサルモノ又ハ本籍ヲ有セサル者ノ届出ト戸籍ノ記

載
1、本籍分明ナラサルモノ又ハ本籍ヲ有セサル者カ婚姻又ハ養
子縁組等ニ因リ他家ニ入ルヘキ場合ノ届書ヲ受理シタルトキ
ハ戸籍法第四十五條ノ届出アルマテ本籍ノ記載ヲ爲スコトヲ
得サルモノニシテ直ニ記載スルコトヲ得ス
(大正三年十一月十二日熊本區裁判所監督判事問合)
(大正四年一月十五日民第一七一七號法務局長回答)

◎本籍分明ナラス又本籍ナキ死亡者ニ付死亡ノ届出ヲ爲シタル届
出人モ亦死亡シタル後死亡者ノ本籍分明ト爲リタル場合ノ取扱

方
1、戸籍法第四十五條ニ依レハ本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナ
キ者ニ付キ届出アリタル後其者ノ本籍カ分明トナリタルトキ
云々トアリ死亡ノ如キハ届出人ノ外本條ニ依リ届出ツルヲ得

サレハ届出人死亡後ハ譬ヘ死亡者ノ親族ニ於テ本籍ヲ確認ス
ルモ届出ノ途ナシ(殖民地ノ如キハ此例鈔カラス)右ノ場合ハ
利害關係人ノ届書ヲ假ニ受理シ置キ之ニ基キ戸籍法第六十四
條第三項ノ規定ニ依リ監督區裁判所ノ許可ヲ受ケタル上職權
ヲ以テ戸籍ノ記載ヲ爲スヘシ
(大正四年十一月二十五日北海道知事岩見澤町長問)
(大正五年三月二十三日民第三一九號法務局長回答)

◎無籍者又ハ本籍分明ナラサル者ニ付キ戸籍ニ關スル届書ヲ受理
シタル時ノ處分方

1、本籍ヲ有セサル者又ハ本籍分明ナラサル者ニ付キ戸籍ニ關ス
ル届出ヲ受理シタル時ハ戸籍法第四十五條ノ届出ヲ待タス直
ニ受附帳ニ非本籍人種類番號ヲ記載スヘキモノトス
(大正五年五月四日高知縣幡多郡下川口村長代理助役問)
(同年十月二十六日民第七八九號法務局長回答)

第四十六條 届出ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

【實例】

◎戸籍法第六十八條ノ適用ナキ届書

1、戸籍法第六十八條中「署名スルコト能ハス且印ヲ有セサルトキハ氏名ヲ代署セシメ押印スルヲ以テ足ル」ハ民法第七百七十五條及第八百一十一條ノ婚姻養子縁組離婚及離縁等ノ如ク民法ニ於テ特ニ署名アル書面ニ依ルコトヲ必要トシタル届出ハ代署シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

(大正五年三月二十八日愛知縣寶飯郡蒲郡町長稟伺) (同年六月七日民第百四十六號法務局長回答)

◎一ノ届出ニ付當事者ノ一人ハ口頭他ノ者ハ書面ニ依ル届出

1、前項ハ代署押印ヲ不可トセハ自署不能者ハ口頭届出ニ際シ當事者ノ一人ハ書面一人ハ口頭届出ニテ差支ナキヤト云フニ一ノ届出ヲ爲スニ當リ當事者ノ一人ハ口頭他ハ書面ニ依ルカ如ク形式ヲ二様ニスルコトヲ得ス

(大正五年三月二十八日愛知縣寶飯郡蒲郡町長稟伺) (同年六月七日民第百四十六號法務局長回答)

◎戸籍法第二條ノ場合ト代理者ノ宛名ノ記載

1、改正戸籍法第二條ノ戸籍事件ノ届書ノ宛名ハ代理者名義ト爲スヘキヤト云フニ戸籍法第二條ノ場合ニ於テハ市町村長自ラ届出ヲ受理スルコトヲ得サルモ届書ノ宛名ハ強テ代理者ヲ記載セシムルニ及ハス

(大正三年六月二十六日山口區裁判所監督判事問合) (同年十二月二十八日民第百二十五號法務局長回答)

2、戸籍法第二條ノ場合代理者カ届書ヲ受理スルトキ其宛名記載方ニ就キ(大正三年六月二十六日山口區裁判所監督判事問合、同年十二月二十八日民第一一二五號法務局長回答)強テ代理者ヲ記載セシムルニ及ハストアル回答ハ現行戸籍法ニ於ケル取扱方ニ外ナラサルナリ

(大正六年一月十七日巖手縣下閉伊郡織笠町長稟伺) (同年二月十六日民第一四〇號法務局長回答)

◎婚姻、縁組、離婚及離縁等ト代署シタル書面ノ届出

1、民法第七百七十五條婚姻届ハ口頭ニテ又ハ自ラ署名シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要シ代理人ヲ以テ口頭届出若クハ代署書面ヲ以テ届出ツルコトヲ許サ、ルナリ戸籍法第六十八條ハ書面ニテ婚姻届ノ場合ニ適用スヘキモノニ非スシテ口頭届出ノ場合ニ適用スヘキモノトス

(大正四年十二月二日北海道南龍郡秩父別村長稟伺) (大正五年二月四日民第一八五號法務局長回答)

◎被後見人タルヘキ家族數人アルトキハ一通ノ後見届書ニ連記

1、戸主後見人ト爲ル場合ニ於テ被後見人タルヘキ家族數人アルトキ又ハ引取入籍ヲ爲ス場合ニ入籍者數人アルトキハ一通ノ届書ニ連記スルモ差支ナキヤト云フニ前段ノ場合ハ一通ニテ差支ナシ又後段入籍者カ本籍サ同クスルトキモ同シ

(大正五年二月九日福井縣裁判所監督判事問合) (同年三月十五日民第二二六號法務局長回答)

◎届書ト炭酸紙謄寫版ノ使用

1、炭酸紙又ハ謄寫版ヲ用ヒタル届書カ文字鮮明ニシテ保存ニ耐ユルモノナルコトヲ認メ得ヘキ場合ニ於テハ之ヲ受理シ差支ナキモ青色等ノ炭酸紙ヲ用ヒテ記載シタル字體ハ短日時ニ於テ其ノ痕跡ヲ留メサルニ至ルヘキニ依リ此等ノ炭酸紙ニヨリ記載シタル届書ハ受理セサルヲ相當トス

(先例變更) (大正九年五月十九日廣島縣御調郡向島本村長稟伺) (同年五月二十七日民第一七九四號民事局長回答)

◎戸籍法ニ依ル届書類ノ作成方

1、戸籍法ノ規定ニ依ル届書類ノ作成ニ關シ炭酸紙又ハ謄寫版ヲ用ヒタル届書モ文字鮮明ニシテ保存ニ耐ユルモノト認メ得ヘキ場合ニハ受理シテ差支ナキ旨先例變更ノ處市町村長ノ作成スヘキ戸籍又ハ除カレタル戸籍ノ謄本抄本ニ付キテモ文字鮮明ニ記載スルニ於テハ炭酸紙(赤色青色ヲ除ク)ヲ使用シテ差支ナキモノトス

(先例變更) (大正九年七月七日福岡縣安曇郡長田村長稟伺) (大正十年三月三日民事第二四九一號民事局長回答)

◎届書及戸籍ノ記載ト「インキ」ノ使用

1、届書、戸籍又ハ戸籍ノ謄本若ハ抄本ノ記載ヲ爲スニハ「インキ」ヲ使用セシムヘカラス

(大正四年五月六日福井縣裁判所監督判事問合) (同年七月七日民第百三十八號法務局長回答)

2、戸籍ニ關スル届書ニハ「インキ」ヲ使用セシムルコトヲ得サル旨(大正四年七月七日民第百三十八號法務局長回答)アリ然ルニ近來萬年ペン流行シ來リ郵送シ來ル届書及他人ヲ以テ提出

スル届書等「インキ」ヲ使用スルモノ益々多ク之カ受理ヲ拒ム時ハ或ハ爲メニ届出期間ヲ失シ過科ノ處分ヲ受クルノ不幸ニ陥入ルモノアリ從テ後ニ汚損ヲ來ス虞ナキ程度ノ「インキ」ヲ用ヒテ記載シタル届書其他ノ書類ハ之ヲ受理スルコトヲ妨ケスト雖モ永ク保存スルヲ要スル場合アルヲ以テ特ニ注意スルコトヲ要ス

(先例變更) (大正十一年五月二十三日福岡縣福岡市長稟伺) (同年十二月二十七日民第二四四九號民事局長回答)

◎外國在留人ト「インキ」ヲ以テ認メタル届書

1、市町村長カ外國在留邦人ノ爲シタル戸籍ニ關スル届書ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ届出カ「インキ」ヲ以テ記載サレタルノ故ヲ以テ受理ヲ拒ムコトヲ得ス

(大正七年四月二十四日外務次官照會) (同年五月八日民第百八十四號司法次官回答)

◎ダイプライター「ヲ使用シテ作成シタル届書

1、邦文「ダイプライター」ヲ使用シ作成シタル戸籍ニ關スル届書ハ其ノ受理ヲ拒ムヘキモノニアラス

(大正七年十二月二日大阪府東成郡鶴橋町長稟伺) (大正八年一月十七日民第二八〇七號法務局長回答)

實例判例文例人事法總覽

第四十七條 届書ニハ左ノ事項ヲ記載シ届出人之ニ署名捺印スル事

ヲ要ス

一 届出事件

二 届出ノ年月日

三 届出人ノ出生ノ年月日及本籍

届出事件ニ因リ届出事件ノ本人ニ隨ヒテ家ヲ去リ他家ニ入り其他身分ニ變更ヲ生スル者アル場合ニ於テハ届書ニ其者ノ氏名出生ノ年月日竝ニ本籍及身分變更ノ事由ヲ記載スルコトヲ要ス

【學說】

◎死亡届ト診断書ヲ作ルヘキ者死亡又ハ書類ノ滅失ト死亡ノ事實ノ證明書類ノ添附

1、死亡届ヲ爲スニ際シ診断書ヲ作ルヘキ醫師及埋火葬ヲ行ヒタル神職僧侶死亡シ又檢察書若クハ檢死調書又ハ之ニ代ルヘキ書類滅失シタルトキハ死者ノ親族縁故者等死者ノ死亡ノ事實ヲ知レル者ノ證明書ヲ添附シテ死亡届ヲ爲スコトヲ得

(大正二年十一月七日法曹會決議)

【實例】

◎職業ノ記載ト別段ノ規定

1、事件本人等ノ職業等ハ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外戸籍ニ記載スルノ必要ナシ

(大正三年四月三十日山口縣熊毛郡室積町戸籍吏代理助役伺
同年十二月二十八日民部省第一九九二號法務局長回答)

◎職業ノ記載ヲ要セサル届書ト職業ノ記載

1、第五十四條ノ規定ハ届書ニ記載ヲ要スヘキ事項ニ關シ現行法第五十一條ノ如ク本法ニ定メタル事項以外ノ記載ハ届書ニ記載スヘカラサル規定ト正反對ナレハ證人ヲ要スル届書ニ證人ノ族稱職業ヲ記載セルモノ又ハ届出事件ノ本人竝ニ届出人ノ職業記載ヲ要セサル届書ニ族稱職業等ヲ記載シ届出タル場合之ヲ削除セシムルノ規定ナキニ付其儘受理スルモ差支ナキモノトス

(大正三年五月二十九日大坂市西區戸籍吏伺
同年十二月二十八日民部省第一九九二號法務局長回答)

◎戸籍法ノ規定ニ依リ婚姻離婚出生及死亡届書ト職業ノ種類ノ詳細記載方

1、戸籍法ノ規定ニ依リ婚姻離婚出生及死亡等ノ届書ニ職業ヲ記載セシムルハ統計上ノ必要ニ出テタルモノニシテ從來其ノ記載カ簡略ニ流レ單ニ農工商ノ汎稱又ハ會社員職工等ノ略稱ヲ記載スルモノ多ク從テ職業分類上支障ヲ來タス趣ヲ以テ内閣書記官長ヨリ照會モ有之爾後職業ノ種類ノ記載ハ大正九年十二月二十四日内閣訓令第一號職業分類中小分類ニ分類シ得

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第四十七條

ル程度ニ詳細記載セシムルコトニ勵行スヘシ

(大正十三年八月七日地方裁判所長宛民事第六七〇〇號民事局長通牒)

◎届書及戸籍ノ記載ト「インキ」ノ使用

1、届書戸籍又ハ戸籍ノ謄本若ハ抄本ノ記載ヲ爲スニハ「インキ」ヲ使用セシムヘカラス

(大正四年五月六日福井區裁判所宛管判事問合
同年七月七日民部省第六三八號法務局長回答)

2、戸籍ニ關スル届書ニハ「インキ」ヲ使用セシムルコトヲ得サル旨(大正四年七月七日民部省第六三八號法務局長回答)アリ然ルニ近來萬年ペン流行シ來リ郵送シ來ル届書及他人ヲ以テ提出スル届書等「インキ」ヲ使用スルモノ益々多ク之カ受理ヲ拒ム時ハ或ハ爲メニ届出期間ヲ失シ過料ノ處分ヲ受クルノ不幸ニ陥ルモノアリ從テ後ニ汚損ヲ來ス虞ナキ程度ノ「インキ」ヲ用ヒテ記載シタル届書其他ノ書類ハ之ヲ受理スルコトヲ妨ケスト雖モ永ク保存スルヲ要スル場合アルヲ以テ特ニ注意スルコトヲ要ス

(先例變更) (大正十一年五月二十三日福岡縣岡市長伺
同年十二月二十七日民部省第二四四九號民事局長回答)

◎出生届ト出生兒ノ名ヲ外國文字ニ片假名ノ記載

1、出生届ニ出生兒ノ名ヲ外國文字ニテ記載シ片假名ノ傍訓ヲ附シ(例) (イ) In Ma E Ra 又ハ Shi Zu. Hi Bu Shi 等ノ如シ) 届出タルトキハ受理シ差支ナキヤト云フニ戸籍ノ記載ヲ爲スニハ外國ノ文字ヲ使用セサルヲ相當トスヘキニ付氏名ノ記載

羅馬字ノミヲ使用シタル届書ハ之ヲ受理セサルヲ相當トスルモ例示ノ如ク羅馬字ト片假名トヲ併用シテ其ノ記載ヲ爲シタル届書ハ之ヲ受理シ戸籍ハ片假名ヲ以テ氏名ノ記載ヲ爲スヘキモノトス

(大正十二年一月二十四日京都區裁判所監督判事問合) 同年二月六日民事第三二八號民事局長回答

第四十七條第二項ノ場合ト父母ノ氏名及父母トノ續柄ノ記載

1、改正戸籍法第四十七條第二項中父母ノ氏名續柄ノ記載ノ要ナキヤト云フニ第十八條第七號及第五十四條ノ規定ニ依リ父母ノ氏名及父母トノ續柄ヲ記載スルコトヲ要ス

(大正三年四月三十日山口縣熊毛郡室積町戸籍吏代理助役問合) 同年十二月二十八日民事第八九三號民事局長回答

2、明治四十年一月十日福島縣河沼郡塔寺村外四ヶ村組合戸籍吏問合 同年四月四日民事第三三號民事局長回答(第六項七項)ハ大正三年四月三十日山口縣熊毛郡室積町戸籍吏代理助役稟問ニ對スル同年十二月二十八日民事第八九三號回答(第九項)ニヨリ變更セラレタルモノトス

(大正五年七月二十二日宮崎縣北諸縣郡城町長稟問) 同年八月二日民事第二九二號民事局長回答

【參照】

3、戸籍法第百二條第六號ニ該當スル婚姻届書ニ庶子ノ身分ニ係ル事項併記スルニハ所謂庶子カ身分變更ニ因ル事項ナリヤト云フニ戸籍法第百二條第六號ノ記載事項ハ庶子ノ身分變更ノ事項タルヲ勿論ナルモ元來該身分ハ戸籍吏ニ於テ婚姻届ヲ受理スルニヨリテ始メテ變更スルモノニシテ届書ニ記載シタ

ルニ因リテ效力ヲ生スルモノニアラス故ニ届書ニハ長男女ト記載スルコトヲ得スト雖モ届書ノ受理後ハ庶子ハ嫡出子ト爲ルニ因リ身分登記及戸籍記載ニハ長男女トスヘシ

(明治四十年一月十日福島縣塔寺村外四ヶ村組合戸籍吏問合) 同年四月四日民事第三三號民事局長回答

第四十七條第二項ノ身分ニ變更ヲ生スル場合ト戸主ノ氏名ノ記載

1、第四十七條身分ニ變更ヲ生スル場合例ハ父母ノ婚姻ニヨリテ他ノ市町村ニ在ル庶子カ嫡出子タル身分取得ノ場合ニ於テモ其ノ本籍氏名ノミヲ記載シ戸主氏名ノ記載ヲ要セサルヤト云フニ戸主ノ氏名ヲ記載セサルトキハ本籍地市町村長ニ於テ戸籍ノ記載ヲ爲スコト能ハサルヘキニ付第五十四條ニ依リテ記載スヘキモノトス

(大正三年五月二十九日大阪市西區戸籍吏問合) 同年十二月二十八日民事第八九三號民事局長回答

庶子カ嫡出子タル身分ヲ取得スヘキ場合ト婚姻届書ノ記載方

1、改正戸籍法第百條ニハ舊戸籍法第百二條第六號ニ該當スル條文ナキカ嫡出子タル身分取得ハ如何ナル手續ニ依リヤト云フニ第四十七條第二項ニ依リ嫡出子ノ身分ヲ取得スル庶子ニ關スル事項ヲ記載スヘキモノトス

(大正三年四月三十日山口縣熊毛郡室積町戸籍吏代理助役問合) 同年十二月二十八日民事第八九三號民事局長回答

2、父カ庶子出生届ヲナシ後日其ノ父母カ婚姻シ婚姻届書ニ其ノ庶子ノ身分取得事項ヲ記載シタルノミニテハ嫡出子ノ身分ヲ取得スルヲ得サルヤト云フニ庶子ハ父母ノ婚姻ニ因リ當然

嫡出子ノ身分ヲ取得スヘキニ付婚姻届ニ其ノ庶子カ嫡出子ノ身分ヲ取得スヘキコトヲ記載スヘシ

(大正五年五月四日東京府北多摩郡神代村長稟問) 同年十月二十一日民事第七一三號民事局長回答

戸主ト同居ヲ爲ササル相續人ノ戸主ノ死亡届ト届出人ノ資格

1、戸主ト同居ヲ爲ササル法定推定家督相續人カ其ノ戸主ノ死亡届出ヲ爲ス場合ニ於テ届書及戸籍ニ届出人ノ資格ヲ相續人ト記載スルヲ可トスヘシ

(大正九年十一月六日大阪市北區長問) 大正十年四月七日民事第一四二七號民事局長回答

戸籍法第二條ノ場合ト代理者ノ宛名ノ記載

長男ヨリ年長ノ私生子認知ノ結果長男ノ續柄ニ變更ヲ生シタル場合ト届書ノ記載方法及戸籍ノ訂正

(大正三年六月二十六日山口縣裁判所監督判事問合) 第四十六條參照 同年十二月二十八日民事第一二五號民事局長回答

1、第四十七條第二項ハ長男ヨリ年長ナル妻ノ私生子認知ノ結果長男タリシモノノ續柄變更スヘキ場合ヲ包含スルヤト云フニノ場合ハ第五十四條ニ依リ認知届書ニ父母トノ續柄ヲ記載スヘキヲ以テ之ニ因リテ長男ヲ二男ト改ムヘキモノトス

(大正三年五月二十日大阪市北區戸籍吏問合) 同年十二月二十八日民事第一九四號民事局長回答

2、婚姻中夫カ妻ノ私生子男ヲ認知シ其ノ者カ嫡出子(長男)トナリタル場合他ノ嫡出子ニ對スル續柄ハ之カ訂正方ハ戸籍法第四十七條及第五十四條ニ依リ認知届書ニ他ノ嫡出子ノ續柄ノ變更ノ事由ヲ記載スヘキヲ以テ之ニ依リテ其ノ續柄ヲ訂正スヘキモノナルモ其ノ事由ニシテ届書及戸籍ニ依リ自然明ナル以上ハ強テ之ヲ届書ニ明記セシムルヲ俟タス届書ノ趣旨ニ

依リテ戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得ヘキハ勿論ナリトス

(大正四年五月十四日大洲區裁判所判事問合) 同年五月二十一日民事第七一三號民事局長回答

私生子カ嫡出子タル身分ヲ取得シタル爲他ノ嫡出子ノ續柄ニ變更ヲ生シタル場合ノ訂正

1、民法第八百三十六條第二項ニ依リ私生子カ嫡出子タル身分ヲ取得シタル爲メ父ト他ノ嫡出子トノ續柄ニ變更ヲ來シタルトキハ戸籍法第四十七條第二項ニ依リ嫡出子ノ身分ヲ取得シタル者及他ノ者ノ續柄ヲ届書ニ記載セシメ之ニ因リテ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ戸籍訂正ノ申請ヲ爲スヘキモノトス

(大正三年十二月八日金澤區裁判所監督判事問合) 大正四年一月十三日民事一八三三號民事局長回答

出生届漏者ニ付出生届アリタル場合ト他ノ者ノ續柄ノ訂正

1、出生届漏ノ者ニ付出生届アリタルカ爲メ曾テ長二男女ト記載セラレアル者カ二三男女ト爲リタル場合戸籍中ノ他ノ家族又ハ戸主ノ父又ハ母ノ名或ハ戸主トノ續柄ハ市町村長限リ直チニ訂正スルコトヲ得ルヤト云フニ出生届漏ノ者ノ出生届ニ戸籍法第四十七條第二項及第五十四條ニ依リ他ノ嫡出子ノ續柄ノ變更ノ事由ヲ記載スヘキヲ以テ之ニ依リテ其ノ續柄ヲ訂正スヘキモノナルモ其ノ事由ニシテ届書及戸籍ニ依リ自然明ナル以上ハ強テ之ヲ届書ニ明記セシムルヲ俟タス届書ノ趣旨ニ依リテ戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得ヘキハ勿論ナリ

(大正四年五月十二日下關區裁判所監督判事問合) 同年七月一日民事第六九一號民事局長回答

婚姻解消後離縁ニヨリ實家ニ復籍スル場合ト離縁届ニ婚姻解消ノ事由記載

1、婿養子縁組婚姻ニ因リ他家ニ入りタルモノカ配偶者ノ死亡ニ因リ婚姻解消シタル後ニ離縁ニ依リ實家ニ復籍スル場合其ノ離縁届ノ送付ヲ受ケタル實家地役場ニ於テハ婚姻解消ノ事

實例判例文例人事法總覽

實ノ不明ナル爲メ離婚届ノ送付ナク又離婚届ニ妻ノ記載モナキチ以テ照會又ハ届書ノ返戻ヲ爲ス向アリ右ハ取扱上不便ナルニ付キ此ノ場合ニ於テハ離婚届ニ婚姻解消ノ事由ヲ記載セシムルモ差支ナシ

(大正十年二月二十五日 福岡區裁判所 監督判事 同) 同年四月十一日 民事第八四九號 民事局長 同答)

◎病院監獄其ノ他公務所ノ長ヨリ出生又ハ死亡ノ届出ヲ爲ス場合
第四十七條第一項第三號第四十八條第二項ノ記載ト省略

(大正四年七月二十七日 岡崎裁判所 監督判事 代理問合) 第四十八條參照
(同年八月六日 民事第一二九三號 法務局長 同答)

◎家督相續回復ト實家復籍
1、親族會ノ選定ニ依リテ他家ノ家督相續ヲ爲シタル者ニ對シ

家督相續回復ノ裁判確定シ其ノ回復届出アリタルニ因リ戶籍法第二十三條ニ因リ新ニ戶籍ヲ編製スヘキ場合ニ於テ戶主ノ名義ヲ有セシ者ヲ實家ヘ復籍セシメントスルニハ相續回復ノ届書ニ戶籍法第四十七條第一項ノ規定ニ從ヒ實家ニ入ルヘキ者ノ氏名等必要ナル事項ヲ記載セシムルコトヲ得

(大正五年九月十三日 福岡區裁判所 判事 同) 同年九月二十二日 民事第一三九(號) 法務局長 同答)

◎再届出ノ場合ト死亡ノ證明書添附ナキ届出ノ受理方

1、再届出ノ場合ニ當時ノ醫師死亡等ニ依リ診斷書ヲ添付スル能ハサルトキハ死亡ノ事實ヲ確認シ得ヘキ證明ヲ爲サシムルヲ相當トス

(大正十一年四月六日 佐賀區裁判所 監督判事 同) 同年四月二十九日 民事第一一七七號 民事局長 同答)

【判例】

◎戶籍届書ノ様式ト效力

1、戶籍法第四十七條第六十八條ハ其ノ規定ヲ遵守セサル届書ヲ絕對ニ無効トシテ戶籍吏カ之ヲ受理シテ爲シタル登記ヲモ當然無効ニ歸セシムル法意ニアラス

(宇都宮地方裁判所 大正七年七月十三日 判決) 法律新聞一四七六號一九頁

◎廢家ノ届出ト他家ニ入ル行爲ノ届出トハ不可分離ノ關係

1、廢家ト他家ニ入ルコトハ不可分離ノ關係ヲ有シ廢家セシテ他家ニ入リ他家ニ入ラスニテ廢家スルコトハ法律上許ス可ラサル所ナレハ兩者ハ同時ニ其ノ效力ヲ生スルヲ要シ從テ廢家ノ届出ト他家ニ入ルヘキ行爲ノ届出トハ同時ニ受理セラルルコトヲ要ス是故ニ廢家届書ノ提出ニ次テ他家ニ入ルヘキ行爲ノ届書ヲ提出セラレタル場合ニハ前者ハ後者ノ受理ト共ニ受理セラレタルモノト見ルヘク從テ此ノ場合ニ於テハ廢家ハ

其ノ届書ノ提出ニ因リ直チニ效力ヲ生スルモノニアラスシテ他家ニ入ルヘキ行爲ノ届書ノ受理ト共ニ其ノ效力ヲ生シ廢家者ハ此ノ時ニ於テ從來ノ本籍ヲ失フヘキカ故ニ他家ニ入ルヘキ行爲ノ届出ヲ爲スニ當リテ從來ノ本籍ヲ其ノ本籍トシテ其ノ届書ニ記載スルハ當然ノ事ナリト謂フヘシ被上告人ハ上告人ト養子縁組ヲ爲スタメ廢家ヲ爲サントシ先ツ廢家届ヲ爲シ之ニ次テ縁組届ヲ爲シタルトモ廢家届出當時ノ本籍ヲ其ノ本籍トシテ縁組届書ニ記載シタルハ前述べノ理由ニ依リ正當ラレハ之カ爲メ其ノ届出ヲ無効ナリト爲スヘキ理由ナシ然ラハ被上告人ハ養子縁組ニ因リテ上告人ノ家督相續人タル身分ヲ有シ上告人ノ隱居ハ家督相續人ナクシテ爲シタルモノニ非サルヲ以テ原判決ハ其ノ隱居ヲ無効ナラストシテ上告人ノ請求ヲ排斥シタルハ正當ナリ

(大審院 大正八年三月十四日 判決) 法律新聞一五四九號二二頁

◎戶主未定ノ場合ト戸主トノ續柄ノ記載

1、戶主死亡シ法定ノ家督相續人カ相續届ヲ爲ササル場合ニ於テ其ノ家族ニ關スル届出ニ付届書及戶籍ニ記載スヘキ戸主トノ續柄ハ該相續人ヲ戸主トシテ其者トノ續柄ヲ記載スヘキヤト云フニ戸主トノ續柄ハ之ヲ記載スルコトヲ要セス

(大正四年七月二十日 栃木區裁判所 監督判事 問合) 同年八月二日 民事第一二三七號 法務局長 同答)

◎病院監獄其他公設所ノ長ヨリ出生又ハ死亡ノ届出ヲ爲ス場合

第一編 戶籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第四十八條

第四十八條 届出人ト届出事件ノ本人ト異ナルトキハ届書ニ其續柄ヲ記載スルコトヲ要ス
届出人カ家族ナルトキハ届書ニ戶主ノ氏名及ヒ届出人ト戸主トノ續柄ヲ記載スルコトヲ要ス

【學說】

◎民法第七百七十六條但書ノ届出ト受理方

1、婚姻當事者カ戸主又ハ親族會ノ同意ヲ得ス戶籍吏ノ注意ニ拘ハラス強テ届出ヲ爲サントスルトキハ戶籍吏ハ其ノ届出ヲ

受理セサルヘカラサルモノトス

(大正九年九月二十五日 委員會) 第一科決議案第九一〇七號

【實例】

第四十七條第一項第三號、第四十八條第二項ノ記載ト省略

1、戶籍法第七十六條第二百三十三條ニ依リ病院監獄其他ノ公設所ノ長ヨリ出生又ハ死亡ノ届出ヲ爲ス場合ハ同法第四十七條第一項第三號及第四十八條第二項ノ記載ヲ省略シ差支ナキモノトス

(大正四年七月二十七日 福岡區裁判所 監督判事 代理問合) 同年八月六日 民事第一二九三號 法務局長 同答)

第四十九條

届出ヲ爲スヘキ者カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヲ以テ届出義務者トス但出生死亡其他單純ノ事實ニ關スル届出ハ未成年者又ハ禁治産者モ亦之ヲ爲スコトヲ得

親權ヲ行フ者又ハ後見人カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ届書ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 届出ヲ爲スヘキ者ノ氏名出生ノ年月日及ヒ本籍
- 二 無能力ノ原因
- 三 届出人カ親權ヲ行フ者又ハ後見人ナルコト

【學說】

◎親權者ナキ未成年者ト相續ノ届出ヲ爲スヘキ者

1、親權者ヲ有セサル未成年者カ家督相續ノ届出ヲ爲ササルトキハ親族會ヨリ選定セラレタル後見人ニ於テ之ヲ爲スヘキモノトス

(大正十年三月十九日法曹會議)

【實例】

◎民法第七百三十七條及同第七百三十八條ニ依ル入籍ト届出ヲ爲スヘキ者

1、民法第七百三十七條又ハ第七百三十八條ニ依ル届出ハ義務者トシテノ届出ニ非ス届出ニ因リテ效力ヲ生スヘキ事項ニ關スルヲ以テ届出義務者ニ關スル戸籍法第四十九條ヲ適用スヘキ限ニ在ラス從テ其ノ届出ハ第五十八條ニ依ル手續ヲ爲シ家族ト爲ラントスル者又ハ家族ト爲サントスル者ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

(大正四年三月九日北區區長知事署署長問答) 同年四月二十三日民第三九二號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正七年二月二十三日佐賀縣西松浦郡西山代村長問答) 同年三月二十一日民第四九二號法務局長回答) (大正七年五月二日愛知縣寶島郡郡長問答) 同年六月三日民第九六九號法務局長回答) (大正七年七月十九日大坂區裁判所裁判長問答) 同年十一月二十六日民第一六八五號法務局長回答)

◎意思能力ヲ有スル未成年者ノ轉籍届出

1、未成年者カ轉籍ヲ爲スニハ(明治四十四年六月三日旭川區裁判所監督判事問答)同年六月二十二日民第三一(一號)意思能力ヲ有スルニ非サレハ轉籍届ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

(大正四年六月八日愛媛縣西宇和郡八幡濱町長問答) 同年六月二十六日民第九四八號法務局長回答)

【同趣旨】

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第四十九條

第四十九條

届出ヲ爲スヘキ者カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヲ以テ届出義務者トス但出生死亡其他單純ノ事實ニ關スル届出ハ未成年者又ハ禁治産者モ亦之ヲ爲スコトヲ得

親權ヲ行フ者又ハ後見人カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ届書ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 届出ヲ爲スヘキ者ノ氏名出生ノ年月日及ヒ本籍
- 二 無能力ノ原因
- 三 届出人カ親權ヲ行フ者又ハ後見人ナルコト

【學說】

◎親權者ナキ未成年者ト相續ノ届出ヲ爲スヘキ者

1、親權者ヲ有セサル未成年者カ家督相續ノ届出ヲ爲ササルトキハ親族會ヨリ選定セラレタル後見人ニ於テ之ヲ爲スヘキモノトス

(大正十年三月十九日法曹會議)

【實例】

◎民法第七百三十七條及同第七百三十八條ニ依ル入籍ト届出ヲ爲スヘキ者

1、民法第七百三十七條又ハ第七百三十八條ニ依ル届出ハ義務者トシテノ届出ニ非ス届出ニ因リテ效力ヲ生スヘキ事項ニ關スルヲ以テ届出義務者ニ關スル戸籍法第四十九條ヲ適用スヘキ限ニ在ラス從テ其ノ届出ハ第五十八條ニ依ル手續ヲ爲シ家族ト爲ラントスル者又ハ家族ト爲サントスル者ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

(大正四年三月九日北區區長知事署署長問答) 同年四月二十三日民第三九二號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正七年二月二十三日佐賀縣西松浦郡西山代村長問答) 同年三月二十一日民第四九二號法務局長回答) (大正七年五月二日愛知縣寶島郡郡長問答) 同年六月三日民第九六九號法務局長回答) (大正七年七月十九日大坂區裁判所裁判長問答) 同年十一月二十六日民第一六八五號法務局長回答)

◎意思能力ヲ有スル未成年者ノ轉籍届出

1、未成年者カ轉籍ヲ爲スニハ(明治四十四年六月三日旭川區裁判所監督判事問答)同年六月二十二日民第三一(一號)意思能力ヲ有スルニ非サレハ轉籍届ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

(大正四年六月八日愛媛縣西宇和郡八幡濱町長問答) 同年六月二十六日民第九四八號法務局長回答)

【同趣旨】

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第四十九條

【參照】

3、大正七年五月十五日岐阜縣高山町長問答ニ對スル同年十月四日附民第一〇八二號「法定代理人ハ意思能力ヲ有セサル未成年者トシテ轉籍ヲ爲スコトヲ得」トノ回答ハ大正七年五月十七日民第八八五號回答ニ依リ自然變更セラレ意思能力ヲ有セサル未成年者トシテ轉籍ヲ爲スコトヲ得サルモノナリヤト云フニ大正七年七月二十六日附民第一六八五號法務局長回答ハ變更セラレタルモノニアラス即意思能力アル未成年者ハ自ら轉籍ノ届出ヲ爲スヘク未成年者カ意思能力ヲ有セ

(先例變更) (大正八年四月八日岡地方裁判所裁判長問答) 同年五月十七日民第八八五號民事局長回答)

(大正四年十月二十七日長岡區裁判所監督判事問答) 同年十一月八日民第一七〇八號法務局長回答) (大正四年七月二十七日靜岡區裁判所監督判事問答) 同年八月六日民第一二九三號法務局長回答) (大正七年三月二十日東京府在野郡大井町長問答) 同年四月六日民第六八四號法務局長回答)

2、意思能力アル未成年者ノ民法第七百三十七條ニ依ル入籍届ハ其ノ家族ト爲ラントスル未成年者自ラ之カ届出ヲ爲スコトヲ要スル旨大正七年七月十九日大坂區裁判所監督判事問答ニ對スル同年十一月二十六日民第一六八五號回答ナレトモ法定代理人ハ意思能力ヲ有セサル戸主ニ代リテ轉籍ヲ爲スコトヲ得

年者ハ自ら轉籍ノ届出ヲ爲スヘク未成年者カ意思能力ヲ有セ

サルトキハ法定代理人代リテ届出ヲ爲スコトヲ得ルノ趣旨ナリトス

(大正八年八月二十一日大阪區裁判所監督判事問合) 同年十月二日民事第三七二六號民事局長回答

◎未成年戸主カ自カラ爲シタル轉籍届又ハ意思能力ナキ未成年戸主ニ代リテ法定代理人ノ爲シタル轉籍届ノ受理方

1、未成年戸主カ戸籍法第四十九條第一項ニ依リ自ラ轉籍届ヲ爲シ得サルコトニ付テハ大正四年三月九日民第三一六號ヲ以テ廣島縣深安郡福山町長代理ノ稟伺ニ對シ回答ノ處意思能力アル未成年戸主ハ自ラ轉籍ヲ爲スコトヲ得ルヤト云フニ意思能力ヲ有スル未成年戸主ノ轉籍届ハ第四十九條第一項本文ノ規定ニ依リ親權者又ハ後見人ヨリ之ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年七月二十日栃木區裁判所監督判事問合) 同年八月二日民事第二三三七號民事局長回答

2、前項未成年戸主ハ自ラ轉籍届ヲ爲シ得サルモノトスルトキハ既ニ市町村長カ受理シタル未成年戸主ノ轉籍届ハ之ヲ無効ノモノトシテ處理スヘキモノトス

(大正四年七月二十日栃木區裁判所監督判事問合) 同年八月二日民事第二三三七號民事局長回答

3、前項未成年戸主ノ轉籍届カ無効ノモノナリトスル場合届出ヲ受理シタル轉籍地市町村長ヨリ一旦本籍地市町村長ニ送付シ不適法ナル理由ニテ返戻セラレタル届書ハ如何ニ處理スヘキヤト云フニ届出人ニ差戻スヘシ

(大正四年七月二十日栃木區裁判所監督判事問合) 同年八月二日民事第二三三七號民事局長回答

【注意】4、注意参照ノコト

4、意思能力ヲ有セサル未成年戸主ノ轉籍ヲ親權者ヨリ届出アリタルニ付キ之ヲ受理シ已ニ新戸籍編製濟ノ處原籍地ニ於テ旭川區裁判所ノ問合ニ對スル明治四十四年六月民事第三一號民事局長ノ回答ヲ援用シ該届出ハ受理スヘキモノニ非ストシ除籍ノ手續ヲ爲サ、ル爲メ茲ニ二箇ノ戸籍ヲ存在スルニ至レリ然レトモ右意思能力ヲ有セサル未成年戸主ノ轉籍ヲ許サ、ルモノト解釋スルヲ得ス且轉籍行爲ハ民法ニ所謂戸主權ノ行使ニ外ナラサルヲ以テ戸主カ意思能力ヲ有セサル未成年者ナルトキハ民法第八百九十五條ニ依リ親權者ニ代理權アルハ勿論他ニ之ヲ許サ、ル規定存セサルカ故、該届出ハ受理シ差支ナキモノナリヤト云フニ轉籍ハ戸主權ノ行使ト言フコトヲ得サルニ付未成年戸主カ意思能力ナキトキハ法定代理人ニ於テ轉籍ノ届出ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

(大正七年三月二十五日東京府府原郡大井町長稟伺) 同年四月六日民事第六八四號民事局長回答

【注意】

5、意思能力ヲ有スル未成年戸主ハ自ラ轉籍ヲ爲スコトヲ得意思能力ヲ有セサル未成年戸主ハ法定代理人ニ於テ轉籍ヲ爲スコトヲ得ルコトニ省議變更セラレタリ

(大正七年五月十九日岐阜縣大野郡高山町長問合) 同年十月四日民事第一〇八二號民事局長回答

(大正七年七月十九日大阪區裁判所監督判事問合) 同年十一月二十六日民事第一六八五號民事局長回答(参照)

◎保佐人ト事件本人ニ代リテ届出

1、保佐人ハ事件本人ニ代リテ届出ヲ爲スコトヲ得サルモノナリ

(大正三年四月三十日山口縣熊毛郡室積町代理助役問合) 同年十二月二十八日民事第八九三號民事局長回答

◎届出義務者ニ非サル者ト代理人ノ書面届出

1、届出人カ疾病其他ノ事故ニテ出頭スルコト能ハサルニヨリ代理人ヲ以テ届書ノ提出ヲ爲スコトヲ得ルハ明文ヲ俟タサル所ナレトモ届出義務者ニ非サル者カ代理人トシテ署名シ以テ書面ニ依ル届出ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

(大正三年五月十八日大阪府東區戸籍吏代理助役問合) 同年十二月二十八日民事第九九九號民事局長回答

◎第四十九條第一項ノ「單純ノ事實」ノ解

1、改正戸籍法第四十九條第一項但書中其他單純ノ事實トハ如何ナル事件迄ヲ單純ノ事實ト認メ可ナルヤト云フニ届出ニ因リ直接法律關係ニ影響ヲ及ボササルモノハ之ニ包含ス

(大正三年四月三十日山口縣熊毛郡室積町戸籍吏代理助役問合) 同年十二月二十八日民事第八九三號民事局長回答

2、第四十九條ニ所謂單純ノ事實トハ届出人ノ届出ヲ爲スニ付キ特別ノ智能判斷ヲ要セサル既生事實即チ左記「イ」乃至「ヘ」ノ類ニシテ「ト」乃至「ス」ノ類ハ之ニ該當セサルモノト解ス

- (イ)、法定推定家督相續人ノ家督相續届
- (ロ)、絶家届
- (ハ)、一家創立届
- (ニ)、復籍スヘキ家ナキ者ノ廢絶家再興届
- (ホ)、氏名、族稱變更届

- (ヘ)、就籍届
- (ト)、指定又ハ選定家督相續人ノ家督相續届
- (チ)、廢家届
- (リ)、入籍届
- (ヌ)、輔籍届

(大正三年七月七日福岡地方裁判所長問合) 大正四年一月十六日民事第一一八四號民事局長回答

◎法定ノ推定家督相續人ノ相續届ト未成年者自ラ届出

1、法定ノ推定家督相續人ノ家督相續届ニ限リ戸籍法第四十九條第一項但書中ニ包含スルモノトス

(大正四年九月一日八王子區裁判所監督判事代理判事問合) 同年九月九日民事第一四七四號民事局長回答

【参照】

◎單純ノ事實ニ關スル届出ニアラサル場合

1、戸籍法第四十九條第一項但書ニ所謂單純ナル事實トハ既ニ届出義務發生シタル既存ノ事實ニシテ而モ其ノ届出ヲ爲スニ付特別ノ智能判斷ヲ要セサル事實ヲ謂フ從テ分家轉籍家督相續人ノ指定廢絶家再興等ハ届出義務發生シタル既生ノ事實ニ非サルニ依リ又法定ノ推定家督相續人ノ家督相續ヲ除ク其他ノ家督相續ハ届出義務發生シタル既生ノ事實ナルモ其ノ届出ヲ爲スニ付特別ノ智能判斷ヲ要スル事實ナルヲ以テ孰レモ之ヲ單純ナル事實ト謂フコトヲ得サルモノトス

(大正二年三月十日山口縣山口町戸籍吏問合) 同年五月六日民事第二二四號民事局長回答

○未成年者力選定又ハ指定ニ因リ相續ヲ爲ス場合ト届出人

- 1、(大正四年五月六日... 第五十條參照)
2、未成年者カ他家ノ家督相續人ニ選定セラレ親權ヲ行フ父又ハ母カ代テ承認ヲ爲シタル場合ニ於テハ家督相續届ハ後見人ヨリ爲スヘキモノナルモ便宜上親權者ヨリモ届出ツルコトヲ得ヘシ

【同趣旨】

- 3、未成年者カ家督相續人ニ指定又ハ選定セラレテ爲ス家督相續届ハ戸籍法第四十九條第一項本文ニ定メタル者ヨリ之ヲ爲スヘキモノトス

(大正六年八月八日札幌區長稟伺)

(大正七年五月十一日山口縣厚狹郡須惠村長伺)

○分家、廢絶家再興、家督相續人ノ指定、入籍、轉籍ノ届出ト未成年者本人ノ届出

- 1、未成年者ノ分家廢絶家再興又ハ未成年者ノ家督相續人指定ノ届出モ未成年者自ラ爲スヘキモノナリ

【先例變更】

【同趣旨】

(大正七年七月十九日大阪區裁判所監督判事問合)

(大正八年四月二十九日名古屋南區長問合)

【參照】

- 1、未成年者カ家督相續人ノ指定ヲ爲シ又ハ廢家ヲ爲ス場合法定代理人ノ同意ヲ得ルコトヲ要ストノ明治三十八年五月十七日民刑第四八五號回答及明治三十七年十一月十五日香川縣宇多津町戸籍吏伺ニ對スル同年十二月二日回答ハ其後變更ナキモノトス

(大正六年五月十一日山口縣厚狹郡須惠村長伺)

- 2、前項ノ場合ニ法定代理人ノ同意ヲ要ストセンカ其ノ届出ハ戸籍法第四十九條ニ依ルヤト云フニ家督相續人ノ指定届ハ單純ノ事實ニ關スル届出ト云フコトヲ得ス而モ無能力者カ指定ヲ爲スニハ其ノ法定代理人ノ同意ヲ得ルコトヲ要スルニ付其ノ届出ハ戸籍法第五十條ニ依ルコトヲ得スシテ同法第四十九條第一項本文ニ定メタル者ヨリ之ヲ爲スヘキモノトス

(大正六年十二月十三日山口縣厚狹郡須惠村長伺)

○禁治產者ノ自ラ相續人ノ指定ト其届出

1、(大正五年一月十五日川内區裁判所監督判事問合) 第五十條參照

○入籍者ノ出生事項ト戸籍ノ記載

- 1、大正六年六月二十二日北海道空知郡岩見澤町長ノ伺ニ對スル同年七月二日附法務局長回答ノ趣旨ハ届出ノ通則トシテ届出ノ年月日及届出人ノ資格氏名及出生年月日等ハ届書ニ之ヲ記載スルコトヲ要スルモ出生ノ場所及出生届出人ノ資格氏名竝ニ出生届出ノ年月日等ヲ記載スル必要ナク從テ入籍者ノ出生事項ハ戸籍ニ記載スル必要ナキモノトス

(大正六年八月十日北海道空知郡栗原村長伺)

○意思能力ヲ有スル未成年者ノ轉籍届出ト本人ノ届出

- 1、親族入籍ノ届出ハ未成年者ト雖モ自ラ爲スヘキモノナルヲ以テ親族入籍ト同シク届出ニ因リ效力ヲ生スル轉籍届出モ亦未成年者本人ナシテ爲サシムヘキモノト解スヘキヤト云フニ意思能力アル未成年者ノ分家、廢絶家再興、家督相續人ノ指定、轉籍ノ如キ届出ニ付テハ未成年者自ラ此等ノ届出ヲ爲スコトヲ得ヘシ

【先例變更】

【同趣旨】

- 2、意思能力ヲ有スル未成年者ノ轉籍届ハ第四十九條第一項本文ノ規定ニ依リ親權者又ハ後見人ヨリ之ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年七月二十日栃木區裁判所監督判事問合)

(同年八月二日民第一三三七號法務局長回答)

第五十條 無能力者カ其法定代理人ノ同意ヲ得スシテ爲スコトヲ得

ヘキ行爲ニ付テハ無能力者之ヲ届出ツルコトヲ要ス

禁治產者カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ届書ニ届出事件ノ性質及ヒ效果ヲ理會スルニ足ルヘキ能力ヲ有スルコトヲ證スヘキ診斷書ヲ添

附スルコトヲ要ス

【實例】

【同趣旨】

- 3、未成年者ノ意思能力ヲ有セサル場合ニ於テハ自ラ轉籍ヲ爲スコト能ハサルヲ以テ法定代理人ニ於テ之ニ代ハリ轉籍ヲ爲スコトヲ得ルモノト解スヘク反之意思能力ヲ有スル場合ニ於テハ法定代理人ノ同意ヲ得テ自ラ轉籍ヲ爲スコトヲ得ヘシ

(大正四年七月二十七日靜岡區裁判所監督判事問合)

(同年八月六日民第一二九三號法務局長回答)

(大正四年二月二十四日廣島縣安部郡山町長代理助役伺)

(同年三月九日民第三一六號法務局長回答)

(大正四年五月十二日下關區裁判所監督判事問合)

(同年七月一日民第六九一號法務局長回答)

(大正四年十月十九日下關區裁判所監督判事問合)

(大正五年三月二十三日民第四一三號法務局長回答)

◎意思能力アル未成年者ト轉籍ノ届出

1、大正七年五月十五日附岐阜縣高山町長伺ニ對スル同年十月四日附民第一〇八二號「法定代理人ハ意思能力ヲ有セサル未成年戶主ニ代リテ轉籍ヲ爲スコトヲ得」トノ回答ハ大正七年五月十七日民事第八八五號回答ニ依リ自然變更セラレ意思能力ヲ有セサル未成年戶主ハ絕對ニ轉籍ヲ爲スコトヲ得サルモノナリヤト云フニ大正七年七月二十六日附民第一六八五號法務局長回答ハ變更セラレタルモノニアラス即意思能力アル未成年者ハ自ら轉籍ノ届出ヲ爲スヘク未成年者カ意思能力ヲ有セサルトキハ法定代理人代リテ届出ヲ爲スコトヲ得ルノ趣旨ナリトス

(大正八年八月二十一日大阪區裁判所監督判事問合) 同年十月一日民事第三七二六號民事局長回答)

◎未成年者カ選定又ハ指定ニ因リ相續ヲ爲ス場合ト届出人

1、意思能力無キ未成年者カ選定又ハ指定ニ因リ他家ヲ相續スル届出ハ其ノ實家ニ在ル親權者ヨリ届出ツヘキモノニシテ後見人ヲ選任シ後見人ヨリ届出ツヘキモノニアラス

(大正四年五月六日福井區裁判所監督判事問合) 同年七月七日民事第六三八號法務局長回答)

2、(大正六年八月八日札幌區長真伺) 第四十九條參照

◎分家、廢絶家再興、家督相續人ノ指定、入籍、轉籍届出ト未成年者自ラノ届出

1、(大正八年四月二十九日名古屋市南區長問合) 第四十九條參照

◎禁治産者ノ自ラ相續人ノ指定ト其ノ届出

1、禁治産者カ家督相續人ノ指定ヲ爲スニハ後見人ノ同意ヲ要セス
右指定届出ハ必ス後見人ヨリ爲スヘキモノニアラス禁治産者ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

(大正五年一月十五日川内區裁判所監督判事問合) 同年一月十九日民事第七九號法務局長回答)

◎意思能力ヲ有スル未成年戶主カ家督相續人ノ指定又ハ廢家ト法定代理人ノ同意

1、意思能力ヲ有スル未成年戶主カ家督相續人ノ指定又ハ廢家ヲ爲ス場合ニ於テ法定代理人ノ同意ヲ要スル(前者ニ就キテハ明治三十八年五月十八日民刑第四八二號後者ニ就テハ明治三十七年十二月二日附民刑局長ノ回答) 旨ノ省議ハ變更セラレタルコトナシ

【參照】

1、法曹會決議モ亦同意ヲ要セサル旨(法曹記事第二十五卷第二號)

(大正五年十二月十二日三重縣南牟婁郡龍巖村長真伺) 大正六年一月六日民事二〇五六號法務局長回答)

第五十一條 證人ヲ要スル事件ノ届出ニ付テハ證人ハ届書ニ出生ノ年月日及ヒ本籍ヲ記載シテ署名捺印スルコトヲ要ス

【實例】

◎職業ノ記載ヲ要セサル届書ト職業ノ記載方

1、證人ヲ要スル届書ニ證人ノ族稱職業ヲ記載セルモノ又ハ届出事件ノ本人竝ニ届出人ノ職業記載ヲ要セサル届書ニ族稱職業等ヲ記載シ届出タル場合之ヲ削除セシムルノ規定ナキニ付其ノ儘受理スルモ差支ナシ

(大正三年五月二十九日大阪市西區戶籍吏問合) 同年十二月二十八日民事第一九九二號法務局長回答)

第五十二條 届出人届出事件ノ本人又ハ證人カ本籍ニ在ラサルトキハ届書ニ其所在ヲ記載スルコトヲ要ス

【實例】

◎第五十二條ト届書ニ寄留地又ハ居所、現住等ノ記載

1、本法中寄留地「外國人ノ場合ヲ除ク」ノ文字ナシ仍テ本籍ニ在ラサル者届書ニ寄留地又ハ居所現在等ノ文字ヲ記載セシトキハ所在トシテ其ノ儘受理スルモ差支ナシ

(大正三年五月二十日大阪市北區戸籍吏長回答)

◎轉籍届ヲ轉籍地ニ爲ストキト新本籍ト所在トカ同一ナラサルト

1、新本籍ト所在トカ同一ナラサルトキ轉籍届ヲ轉籍地ノ市町村ニ差出ストキハ届出人ノ所在地ヲ記載セシムヘキモノトス

(大正四年一月二十三日廣島縣比婆郡東城町長回答)

◎戸籍法第五十二條ノ「所在」ハ戸籍法施行細則第四十三條ノ場合ノ外ハ寄留地ナル旨ヲ記載スルニ及ハス

1、戸籍法第五十二條中其ノ所在ヲ記載云々トアリ所在ニハ寄留ヲ包含スヘケレハ寄留者ナルトキハ寄留ト表示スヘキヤト云フニ戸籍法施行細則第四十三條ノ場合ノ外ハ強テ寄留地ナル旨ヲ記載セシムルニ及ハス

(大正四年八月十六日北海道空知郡岩見澤町長稟向)

◎夫ノ家ニ在ル妻ノ婚姻届書ノ所在地ノ記載ト夫ノ本籍ノ記載

1、戸籍法第五十二條ニヨリ届出人届出事件ノ本人又ハ證人カ本籍ニ在ラサル時ハ届書ニ所在ヲ記載スルコトヲ要スル處從

(大正四年九月二十日民部第一四二六號法務局長回答)

◎認届ト父ノ所在地タル本籍地市町村長ニ届出

1、(大正六年九月十八日北海道小樽長稟向) 第四十三條參照

來ノ甲村在籍ノ女子カ婚姻ニ因リ乙村在籍ノ夫ノ家ニ入り同居シ數月若クハ一ケ年以上ヲ經テ届出ヲ爲ス場合ハ妻ノ所在トシテ夫ノ本籍ヲ記載セシムヘキ者ナリ

(大正六年六月十四日北海道空知郡江部乙村長回答)

◎入籍届ニ關シ入籍地カ届出當時實際届出人ノ所在地ナルニ於テハ所在地ノ記載ヲ脱漏スルモ入籍地市町村長ニ爲シタル届出ハ無効ト爲ラス

1、入籍地カ届出ノ當時實際届出人ノ所在地ナリシニ於テハ假令届書ニ所在地ノ記載ヲ脱漏スルモ爲ニ入籍地市町村長ニ爲シタル届出ハ無効ト爲ラス從テ本件ノ場合ニ於テ入籍ハ入籍地市町村長カ届出ヲ受理シタルトキニ於テ其ノ效力ヲ生シタルモノトス大正五年三月二十三日民部第一九號法務局長回答

(大正八年十二月八日香川縣太田村長稟向)

届出ヲ誤テ所在地ニ爲シタル場合ノ取扱方ニ係リ本件ト其ノ場合ナ異ニス仍テ原籍地市町村長ヨリ送付シタル届書原本ハ此ノ趣旨ニ基キ返戻スヘキモノトス

(大正八年十二月十九日民部第五四八三號民事局長回答)

第五十三條 届書ニ記載スヘキ事項ニシテ存セサルモノ又ハ知レサルモノアルトキハ其旨ヲ記載スルコトヲ要ス但市町村長ハ特ニ重要ト認ムル事項ヲ記載セサル届書ヲ受理スルコトヲ得ス

【實例】

◎子ノ名未定ナル出生届出ノ受理ト子ノ名ノ追完

1、名未定ノ儘出生届ヲ爲ス場合ハ戸籍法第七十二條第三項ノ届出義務者ヨリ届出ツル場合(大正三年十月九日江差區裁判所判事問合同年十二月九日民部第一六八四號法務局長回答)ニシテ第七十二條第一項又ハ第二項ノ義務者ヨリ届出ツル場合ハ同第五十三條但書ニヨリ必ス其ノ氏名ヲ記載スヘク若シ記載ナキ届書ヲ提出シタルトキハ之ヲ受理セサルモ差支ナキヤト云フニ子ノ名ノ追完ヲ爲サシムヘキ場合ハ戸籍法第七十二條第三項ノ届出義務者ヨリ届出ヲ爲シタル場合ニ限ルヘキモノニ非ス其他ノ届出義務者ヨリ届出ヲ爲シタル場合ト雖モ子ノ名ノ記載ナキ届出ヲ受理シタル上ハ等シク追完ノ手續ヲ爲サシムヘキモノトス但シ子ノ名ノ記載ナキ届書ハ之ヲ受理セサルコトヲ得

(大正四年一月六日愛媛縣西宇和郡真穴村長稟向)

◎出生兒ノ名ト外國文字ニ片假名ヲ併用シタル届出

1、出生届ニ出生兒ノ名ヲ外國文字ニテ記載シ片假名ノ傍訓ヲ

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第五十三條

附シ(例) KUMIIEBU SHIZU HIROSHI 等ノ如ク)届出タルトキハ受理シ差支ナキヤト云フニ戸籍ノ記載ヲ爲スニハ外國ノ文字ヲ使用セサルヲ相當トスヘキニ付氏名ノ記載ニ羅馬字ノミヲ使用シタル届書ハ之ヲ受理セサルヲ相當トスルモ例示ノ如ク羅馬字ト片假名トヲ併用シテ其ノ記載ヲ爲シタル届書ハ之ヲ受理シ戸籍ハ片假名ヲ以テ氏名ノ記載ヲ爲スヘキモノトス

(大正十二年一月二十四日京都府裁判所監督判事問合)

◎兩親不明ナル英國人タル女ト米國ニ於テ私通シタル日本人カ歸國後本籍地ニ婚姻届及其ノ私生子ノ出生届ヲ爲ス場合ノ手續

1、本邦内地人ニシテ二十餘年前米國ニ渡航シ英國ハマゲータ場ニ於テ右マゲータ場ト婚姻届ヲ爲シ且子女ノ出生届ヲ爲サントス然ルニ右マゲータ場ノハ幼少ノ頃其ノ兩親ヲ喪ヒ處處々々流浪ノ果米國ニ居住シ居タルモノニシテ只生國ハ英國トノミニテ其他ハ更ニ判明セス右ノ場合ハ婚姻届ニ單ニ英國人マ

實例判例文例人事法總覽

ゲトシテ届出シメ其ノ子女ニ付テハ戶籍法第八十三條ニ因ル届出ヲ爲サシム但シ戶籍法第五十三條ノ規定ニ因ル知レサル事項ニ付テハ其ノ旨ヲ記載スルコトヲ要ス

(大正四年四月十四日高松區裁判所監督判事問合) 同年五月六日民部第五二九號法務局長回答

朝鮮人ハ内地ニ轉籍、就籍、分家、一家創立ヲ爲スコトヲ得ス

1、民籍簿ニ記載アル朝鮮人ハ内地ニ轉籍ノ手續ヲ爲スコトヲ得ルヤ又同簿ニ記載ナキ者ハ内地ニ就籍セシメ得ヘキヤト云フニ朝鮮人ハ内地ニ轉籍又ハ就籍ヲ爲スコトヲ得ス

(大正五年六月二十八日唐津區裁判所判事問合) 同年七月十一日民部第一〇六一號法務局長回答

2、朝鮮人ハ内地ニ分家スルコトヲ得ルヤト云フニ朝鮮人ハ内地ニ分家ヲ爲スコトヲ得ス

(大正五年七月十四日淵本區裁判所判事問合) 同年七月二十四日民部第一二七號法務局長回答

3、無籍ノ朝鮮人内地ニ於テ新ニ一家ヲ創立セントスル場合ハ直ニ一家創立ノ手續ヲ爲シ差支ナキヤハ朝鮮民籍法ニ基キ就籍ノト轉籍分家等ヲ爲スヘキモノナリヤ又朝鮮人ニシテ内地ニ分家其他ニ依リ新ニ一家ヲ創立セントスル場合實家ニ於ケル相續權、戸主ノ同意其他ニ付テハ日本民法ノ規定ノ如キ制限アリヤト云フニ朝鮮人其他新附ノ民ハ内地ニ轉籍、分家又ハ一家創立ヲ爲スコトヲ得ス從テ市町村長ハ此等ノ事項ニ關スル届出ヲ受理スルコトヲ得ス

(大正六年一月九日新潟市長問) 同年一月十八日民部第五八號法務局長回答

夫ノ原籍地不詳ト記載アル入夫婚姻届ノ送付ヲ受ケタル場合ト

受理方

1、夫ノ原籍地不詳ト記載アル入夫婚姻届ヲ妻ノ所在地ナル甲村長ニ於テ受理シ妻ノ本籍地乙村長ニ送付シタルモノアリ然ル處當事者ノ本籍地記載ノ如キハ各本人ノ身分關係確認上重要ナル事項ト思料セラル、ニ依リ其ノ不明確ナル如上ノ届書ハ戶籍法第五十三條後段ノ重要事項ノ記載ナキ爲メ受理シ得可カラサルモノトシテ甲村長ニ返送スヘキヤ或ハ既ニ甲村長受理ニ因リ效力ヲ生シタルモノトシテ本籍地不詳ノ儘受理ス可キモノナルヤト云フニ本籍不明ノ者ト雖モ其ノ旨ヲ記載シテ婚姻届ヲ爲スコトヲ得ヘキニ付本件届出ハ之ヲ受理スヘシ但シ夫ノ原籍カ分明ト爲リタルトキハ戶籍法第四十五條ノ規定ニ依リ其ノ届出ヲ爲サシムヘキモノトス(戶籍記載例五十三參照)

(大正四年十二月十一日唐津區裁判所判事問合) 大正五年二月三日民部第一八七八號法務局長回答

法定ノ推定家督相續人タル男養子ヲ有スル者力更ニ男養子ヲ爲スヘキ届出ヲ非本籍地ニ於テ受理シ其ノ届書ノ送付ヲ受ケタル場合ノ手續

1、非本籍地ニ於テ未成年者親權者ナキニ依リ裁判所ノ許可ヲ得親族會ノ同意ヲ得タル養子縁組届ヲ受理シ雙方ノ役場へ送付シタリ養父母ニハ既ニ(其ノ養子ヨリ年長ナル)養子アルヲ以テ養家ノ本籍地役場ヨリ返戻シ來レリ然レ共實家ノ役場ニ於テハ戶籍ノ記載ヲ了シタリ然ルトキハ其ノ養子タル本人ハ無籍者ノ如クナリタル次第ナリ此ノ場合ハ戶籍訂正ノ外ニ道

書ヲ本籍地ノ市町村長ニ再送スヘシ而シテ非本籍地市町村長ノ保存スル届書ハ受附帳備考欄ニ事由ヲ記載シ之ヲ届出人ニ差戻スヘシ

(大正四年十一月二十五日北海道空知郡岩見澤町長問) 大正五年三月二十三日民部第三一九號法務局長回答

意思能力ノ有無ノ判定

1、未成年者ニ對シテ意思能力ノ有無ヲ定ムルハ戶籍法上別ニ法文ナキヲ以テ市町村長ハ實際ニ就キ調査ヲ爲シ年齢如何ニ拘ハラズ意思能力ノ有無ヲ判斷シ總テノ書類ノ受理不受理ヲ決シ處分スヘキヤ尤モ或町村長ニ於テハ必ス年齢十五歳以上ニアラサレハ受理スルコトヲ得サルモノト誤解シ意思能力ノ有無ヲ調査セスシテ唯單ニ年齢十五年ヲ以テ動カスヘカラサル區分ト誤解スルモノアリテ往々書類受理上差支ヲ生ス然レトモ意思能力ノ有無ハ個々ノ人ニ付決定スヘキモノニシテ一概ニ決スルコトヲ得スト雖モ大體ニ於テ自己ノ爲ス事柄ヲ了知スルコトヲ得ヘキ程度ニ智能ノ發達シタル者ト認ムルコトヲ得ル場合ニ於テハ意思能力アル者ト認メテ取扱ヒ差支ナキモノトス

(大正五年三月十四日奈良縣生駒郡郡山町長問) 同年四月十九日民部第四八一號法務局長回答

女戸主ノ夫ノ養父カ夫ト共ニスル分家届ト不受理

1、女戸主ノ夫乙(女戸主ノ繼父丙ト婿養子縁組ヲ爲シ同時ニ婚姻シタルモノ)養父丙分家ニ際シ民法第七百四十三條二項ニ依リ分家ノ家族トシテ分家届出タリ該分家届ヲ受理スルモノトセハ女戸主ハ夫乙ニ隨ヒ分家ニ入ラサルヲ得ス從テ分家

第一編 戶籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第五十三條

ナキヤ法定ノ推定家督相續人タル男養子ヲ有スル者力更ニ男養子ヲ爲シタル場合ニ於テハ該縁組ハ非本籍地市町村長ニ於テ其ノ届出ヲ受理シタルニ因リ既ニ其ノ效力ヲ生シタルモノニシテ無効ノ縁組ニ非サルニ付届書ノ送付ヲ受ケタル養家ノ本籍地市町村長ニ於テモ之ヲ受理シ戶籍ノ記載ヲ爲スヘキモノニシテ戶籍ノ訂正ヲ爲スヘキモノニ非ス故ニ此ノ趣旨ヲ以テ届書再送相成可然但シ本件縁組ハ民法第八百五十四條ノ規定ニ依リテ其ノ取消ヲ請求スルコトヲ得ヘク而シテ取消ノ裁判カ確定シタル時ハ戶籍法第九十三條ノ届出ヲ爲スヘキモノトス

(大正五年一月二十六日栃木縣上郡賀部日光町長問) 同年三月七日民部第一三八號法務局長回答

戶籍法第八十二條、第二百二十五條、第二百二十七條乃至第二百二十九條ニ依リ届書ヲ過テ非本籍地ニ於テ受理シ届書ノ一通ヲ本籍地ニ送付シタルニ本籍地ヨリ返戻サレタル場合ノ手續

1、戶籍法第八十二條第二百二十五條第二百二十七條乃至第二百二十九條ニ依リ届書ヲ過テ非本籍地ニ受理届書ノ一通ヲ本籍地ニ送付セルニ本籍地ヨリ該條紙觸ノ理由ヲ以テ届書ヲ返戻セラレタルトキハ受付番號備考欄ニ事由ヲ付シ届書ヲ當事者ニ返付スヘキヤ將タ戶籍法第六十五條ニ依リ追完届ヲ爲サシムヘキヤ若シ後段ノ見解是ナリトセハ返戻届書ノ整理ハ如何ニスヘキモノナリヤト云フニ過テ非本籍地市町村長ニ差出シタル届書ト雖モ本籍地市町村長力其ノ送付ヲ受ケタルトキニ於テ届出ノ效力ヲ生シタルモノトシテ取扱フヲ便宜トスルヲ以テ届

實例判例文例人事法總覽

届ハ離婚ヲ爲スニアラサレハ受理スルヲ得サルモノトス若シ既ニ分家届ヲ受理セシトキハ夫妻其ノ家ヲ異ニシ置クヤ或ハ夫ナ分家ニ入レサルヤ將タ女戸主隨ヒテ分家ニ入ルヤト云フニ戸籍訂正ノ手續ニ依リ乙チ分家ヨリ除籍セシムヘシ

(大正三年七月九日若松區裁判所監督判事問合 同年四月二十八日民第一七九號法務局長回答)

◎轉籍届ニ家族ノ氏名ヲ記載シタルモノアルモ受理シ差支ナキヤ

1、轉籍届ニ家族ノ氏名年月日ヲ列記シタルモノハ絶對ニ受理スルコトヲ得サルヤト云フニ轉籍届書ニハ家族ノ氏名等ノ記載ヲ要セサルモ此等ノ事項ヲ記載シタル届書ヲ差出シタルトキハ其ノ儘受理スヘシ

(大正四年一月二十三日廣島縣比婆郡東城町長問合 同年二月十三日民第一七七號法務局長回答)

◎十五年未滿ノ者ノ縁組ニ付承諾者タル母死亡ノ旨ヲ記載シ届出タル後繼母アルコトヲ知りタル場合ノ手續

1、滿十五年未滿ノ者カ養子トナルニ付養子縁組届ニ養子ノ父カ之ヲ承諾セル旨及母死亡セル旨ヲ記載シ養子ノ父ト養親トニ於テ養親ノ本籍地ニ届出其地ノ村長ハ之ヲ受理シテ養子ノ本籍地ニ其ノ届書ノ一通ヲ送付セリ然ルニ養子ノ本籍地ニ於テ該養子ニ繼母アルコト發見セシ場合ニ於テハ之ヲ受理スルモノナリヤト云フニ既ニ養親ノ本籍地ニ於テ其ノ届書ヲ受理シタル上ハ除籍ノ取扱ヲ爲スヘキモノナリ

(大正五年三月二十四日舞鶴區裁判所判事問合 同年五月十一日民第四七五號法務局長回答)

◎父母ノ同意ヲ得ル能ハサルトキ又ハ行衛不明ナル場合届書ノ受

否

1、民法第八百三十七條ニ依リ戸主又ハ家族カ養子縁組ヲ爲ス場合ハ同法第八百四十四條ニ依リ其ノ家ニ在ル父母ノ同意ヲ得ルコトヲ要スルモ其ノ父母ト意思相違ノ爲メ同意ヲ得ル能ハス又其ノ父母行衛不明等ニテ絶對ニ同意ヲ得ル能ハサル場合ハ遂ニ自分ノ法定ノ推定家督相續人ヲ得サル次第ナルヲ以テ其ノ理由ヲ附シ届出タル場合ハ受理シ得ルヤ將タ同法第八百四十九條ニ依リ受理シ得サルモノナリヤト云フニ成年ノ子カ養子ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ家ニ在ル父母カ同意セサルトキハ届出ヲ受理スルコトヲ得サルヘク父母ノ生死分明ナラサル爲ノ同意ヲ得ルコト能ハサル場合ニ於テ其ノ事由ヲ附シタル届出ハ之ヲ受理スルコトヲ得

(大正五年四月七日岐阜縣稲葉郡島村長問合 同年五月十三日民第五三九號法務局長回答)

◎被認知者ヲ連記シタル認知届ヲ受理シ又ハ其ノ送付アリタル場合ノ手續

1、私生子認知届入籍届ハ被認知者入籍者毎ニ一通ノ届出ヲ差出サシムルヲ本則トスヘキモノナルモ若シ被認知者又ハ入籍者チ一ノ届書ニ連記シタル認知届又ハ入籍届書ヲ強テ差出シタルトキハ之ヲ却下スルコトヲ得ルヤト云フニ本籍ヲ同クスル私生子ニ付テハ一通ノ届書ニ依リ認知ヲ爲スコトヲ得

(大正四年四月十四日青森縣裁判所監督判事問合 同年五月十四日民第五〇八號法務局長回答)

2、前項ノ連記届書ヲ非本籍地市町村長ニ於テ受理シタル場合

明治五年拾貳月五日生 右ハ大正參年拾貳月拾五日方城炭坑内瓦斯爆發變災ノ際坑底ニ於テ其ノ當時死亡セル者ト認定候也 醫師 乙野 忠 藏

大正四年五月拾壹日

(大正四年五月二十二日廣島縣蘆品郡福相村助役問合 同年六月十二日民第七八四號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正四年四月九日福岡地方裁判所監督判事問合 同年六月二十四日民第四九五號法務局長回答)

◎父母ノ婚姻前ノ子ニ付父ノミヨリ長男トシテ爲シタル出生届ノ受理方

1、乙男丁女ノ婚姻前丁女カ分娩シタル戊男子ヲ乙男ノ長男ナリトシ爲シタル出生届書ハ如何ニ處分スヘキモノナルヤト云フニ出生届出人ニ差戻スヘキモノトス

(大正四年五月六日小樽區長問合 同年六月二十二日民第六五四號法務局長回答)

2、婚姻前出生シタル子チ婚姻後父ノミヨリ爲シタル出生届出ヲ受理シ戸籍記載ヲ爲シタル後母ヨリ認知届出ヲ爲シタルトキハ之ヲ受理スルモ差支ナキモノトス

(大正四年九月十三日四日市區裁判所判事問合 同年九月二十一日民第一五二三號法務局長回答)

3、父母婚姻前出生シタル子ヲ父ノミヨリナシタルトキハ嫡出子ノ記載ハ爲シ得サルヤ庶子トスレハ其ノ後母ヨリ認知届ヲ爲スニハ庶子認知ニテ可ナルヤト云フニ戸籍法第八十三條後段ノ場合ニ於テ父ノミヨリ爲シタル嫡出子出生届ハ受理スル

若クハ一方ノ市町村長カ戸籍記載ヲ爲シタル後ニ於テ他ノ市町村長カ届書ノ送附ヲ受ケタル場合ハ如何取扱フヘキヤト云フニ本籍地チ同クシ本籍ヲ同クセサル私生子ニ付テモ既ニ他ノ市町村長ニ於テ届書ヲ受理シ又ハ戸籍ノ記載ヲ爲シタル上ハ届書ノ送附ヲ受ケタル市町村長ハ其ノ儘戸籍ノ記載ヲ爲スヲ相當トス此ノ場合ニ於テハ届書ノ謄本ヲ作り各私生子ニ付之ヲ保存スルコトヲ要ス

(大正四年四月十四日青森縣裁判所監督判事問合 同年五月十四日民第五〇八號法務局長回答)

◎炭坑爆發ニ因リ死亡シタル者ニ付死體ヲ發見セサル場合ト死亡届ノ受理方

1、近時所々ニ於テ炭坑爆發ノ爲メ斃死者數多アリ何レモ死體發見セラレス如斯者ニ對シ別紙認定書ノ如キ書面ヲ添ヘ死亡届ヲ差出シタル場合受理シ差支ナキヤト云フニ死體ヲ發見セサルモ生死不明者ニ非スシテ全ク死亡者タルコトノ顯カニ確認セララルル場合ニ於テ戸籍法第九十九條ノ規定ニ依リ其ノ取調ヲ爲シタル官廳又ハ公署ヨリ死亡ノ報告アリタルトキハ之ニ基キ戸籍ノ記載ヲ爲スヘク醫師ノ認定書ノ如キ書面ヲ添附シタル死亡届ハ之ヲ受理スルコトヲ得ス

(別紙)

認定書

本籍 廣島縣芦品郡福相村大字福田

當時 福岡縣田川郡方城村三菱方城炭坑納屋滞在 甲野 義 太 郎

實例判例文例人事法總覽

コトヲ得ス若誤リテ其ノ届出ヲ受理シ之ニ基キ戸籍ニ嫡出子ノ記載ヲ爲シタルトキハ母ヨリ私生子認知ノ届出ヲ爲サシムヘシ

〔注意〕 以上回答ハ母ノ明ナル以上父ノミヨリ嫡出子出生届ヲ爲シ得ル趣旨ニ變更セラレタリ

(大正五年三月二十八日愛知縣寶藏郡蒲郡町長真伺
同年六月七日民第四六五號法務局長回答)

◎分家地ニ於テ分家届書ヲ受理シ本家地市町村長ニ送付シタルニ既ニ本家ノ相續届ヲ受理シタル場合ノ分家手續

1、分家地市町村長カ分家届ヲ受理シ本家地市町村長ニ届書ヲ送付シタル處本家地市町村長ハ該分家届書ヲ送付ヲ受ケタル前日ニ於テ本家ノ家督相續届ヲ受理シタル爲メ分家届ニ記載セル戸主ノ氏名戸主トノ續柄及ヒ分家ニ同意シタル戸主ニ相違ヲ來シタリ此ノ場合右分家届ハ如何ニ處理スヘキヤ右ノ場合本家地市町村長カ家督相續届ヲ受理シタル日カ分家地市町村長ノ分家届ヲ受理シタル日ノ前後又ハ同日ナルトキ各取扱ヲ異ニスヘキヤト云フニ本家ノ家督相續ノ届出ノ日附ノ如何ヲ問ハス其ノ相續ノ開始前又ハ之ト同時ニ分家地ノ市町村長カ分家届ヲ受理シタル場合ハ分家ハ有效ナリ從テ既ニ本家ノ家督相續届出後ニ於テ届書ノ送付ヲ受ケタルトキト雖モ之ヲ受理シ前戸主ノ除カレタル戸籍ニ其ノ記載ヲ爲スヘキ又本家ノ家督相續開始後ニ於テ分家地市町村長カ分家届ヲ受理シタル場合ニ於テハ新戸主ノ同意ナキ分家ハ無効ナルヲ以テ送付

ヲ受ケタル届書ハ之ヲ分家地ノ市町村長ニ返戻スヘシ

(大正五年十月四日靜岡縣裁判所監督判事問合
同年十一月十日民第一五〇五號法務局長回答)

◎復籍者ニ關スル届書ノ送付ヲ受ケタルトキハ復籍スヘキモノナルヤ否ヤヲ調査スルコトヲ受ケタルトキハ復籍スヘシ

1、甲村ヨリ乙村ヘ離婚若クハ離婚ニヨリ復籍スヘキ離婚届又ハ離婚届ヲ乙村ニ於テ甲村ヨリ送付ヲ受ケタルトキハ復籍スヘキ家ノ戸籍ニ就キ復籍スヘキ者カ其ノ資格ヲ有スルヤ否ヤヲ調査スルハ勿論ナルモ乙村ニ於テ保存スル戸籍又ハ除籍ニヨリ不明ナルトキハ甲村ノ調査ヲ信賴シ受理スヘキモノナルヤト云フニ復籍スヘキ家ノ戸籍又ハ届書ニ依リ復籍拒絶ノ届出アリタルコト明ナラサル以上復籍スヘキ資格アルモノトシテ乙村長ハ其ノ送付ヲ受ケタル届書ヲ受理スヘキモノトス

(大正五年十二月八日福井市長真伺
大正六年二月二十三日民第三七九號法務局長回答)

◎胎兒ニ關スル家督相續届出ノ受理方

1、母カ胎兒ノ爲メ家督相續届ヲ爲スニ際シ規定ニ遵ヒ醫師ノ診斷書ヲ添附シ居ルモ該診斷書中妊娠後ノ月數ヲ記載シ居リテ其ノ計算ニ依リハ胎兒ハ父母ノ婚姻ノ時ヨリ著シク前ニ懐胎シ居レルコト、爲レリ市町村長ハ斯ル場合ニ於テモ尙ホ其ノ届出ヲ受理スヘキモノナリト云フニ胎兒カ家督相續人ナルコト換言スレハ父ノ嫡庶兒ナルコトヲ明ニスル能ハサル限リ其ノ出生ヲ待テ相續ノ届出ヲ爲サシムルヲ可トス

例 大正五年七月二十五日婚姻シタル夫妻アリテ其ノ夫タ

ル戸主カ同年十二月二十日ニ死亡シタルニ因リ妻カ胎兒ノ爲メ本日家督相續届出ヲ爲シタリ而シテ其ノ届書ニ添付シタル診斷書ニハ妊娠九ヶ月ヲ證明セリ

(大正六年一月十五日兵庫縣津名郡洲本町長伺
同年三月十九日民第一二二號法務局長回答)

◎警察官ヨリ本籍分明ノ報告アリタル後戸籍法第二百二十二條第三項ニ依ル届出アリタル場合、同項ニ依ル死亡届出後ニ報告アリタル場合、航海中ノ出生ニ付出生届出後航海日誌ノ謄本ノ送付アリタル場合又ハ航海日誌ノ謄本ノ送付後出生届出アリタル場合ニ於ケル届書、報告、航海日誌ノ謄本等ノ受理方

1、警察官ヨリ本籍不明者ノ死亡報告アリタル後更ニ本籍氏名分明ノ報告アリタル場合其種類番號ハ其者カ本籍人ナルトキハ更ニ本籍人ノ種類番號ヲ附シ非本籍人ナルトキハ前第一回報告書ニ附シアル種類番號ヲ附シ且何レモ受附帳備考欄ニ交互參看ノ旨ヲ記スヘキヤ又警察官ヨリ本籍分明ノ旨第二回ノ報告アリタル後戸籍法第四十五條ノ届出アリタルトキ其届書ハ如何ニ處理スヘキヤ又警察官ノ報告ト戸籍法第四十五條ニ依ル届出ト其記載事項ニ相違ノ廉アリシトキハ如何ニ處理スヘキヤト云フニ警察官ヨリ死亡ノ報告アリタル後其ノ死亡者ヲ認識シタルニ於テハ戸籍法第二百二十二條第三項ノ手續ヲ爲スヘキト同第四十五條ノ届出ヲ爲スヘキモノニ非ス從テ若シ警察官ヨリ既ニ本籍分明ノ報告アリタル後同第二百二十二條第三項ニ依ル届出アリタルトキハ其ノ届書ハ届出ニ返戻スヘシ而シテ警察官ノ報告ニ基ク戸籍ノ記載ト同第二百二十二條第

三項ニ依ル届出ト其ノ記載事項ニ相違ノ點アルトキハ戸籍訂正ノ手續ヲ爲サシムヘシ

(大正六年五月八日靜岡縣志太郡津島町長真伺
同年六月十九日民第八八二號法務局長回答)

2、航海中出生アリタル時戸籍法第七十二條ニ依ル義務者ヨリ届出アリタル後第七十五條第二項ニ依リ航海日誌ノ謄本ノ送付ヲ受ケ又ハ送付ヲ受ケタル後義務者ヨリ届出アリタル場合ニ於テ前ニ受理シタル書類ニ依リ戸籍ノ記載ヲ完了シタルトキハ後ノ書類ハ受理ヲ要セサルモノナリ

(大正六年十一月十七日北海道根室郡根室町長代理助役伺
大正七年五月二十三日民第一一〇五號法務局長回答)

3、戸籍法第一百七條ニ依ル義務者ヨリ死亡ノ届出アルタル後第一百十九條ニ依リ報告ヲ受ケ又ハ報告ヲ受ケタル後義務者ヨリ届出アリタル場合ニ於テ前ニ受理シタル書類ニ依リ戸籍ノ記載ヲ完了シタルトキハ後ノ書類ハ受理ヲ要セサルモノナリ

(大正六年十一月十七日北海道根室郡根室町長代理助役伺
大正七年五月二十三日民第一一〇五號法務局長回答)

4、戸籍法第二百二十二條第二項ニ依リ報告ヲ受ケタル後同條第三項ニ依ル義務者ヨリ届出アリタル時又ハ届出アリタル後報告ヲ受ケタル場合ニ於テ前ニ受理シタル書類ニ依リ戸籍ノ記載ヲ完了シタルトキハ後ノ書類ハ受理ヲ要セサルモノナリ

(大正六年十一月十七日北海道根室郡根室町長代理助役伺
大正七年五月二十三日民第一一〇五號法務局長回答)

◎協議離婚ノ届書ヲ夫ヨリ届出ツル前妻ヨリ右届書ニハ署名捺印シタルモ自己ノ意思ニ反スルヲ理由トシテ市町村長ニ於テ受理

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第五十三條

セサル様申出アリタルトキト夫ヨリ届出アリタル場合ノ受理方
 1、協議離婚ノ届書ヲ夫ヨリ提出スル以前ニ妻ヨリ右届書ニハ署名捺印シタルモ該離婚ハ自己ノ本意ニ反スルモノニ付届出アルモ受理シ吳レサル旨口頭又ハ書面ヲ以テ申出アリタル後夫ヨリ該離婚届書ヲ提出シ來リタル時ハ市町村長ハ受理ス可カラサルモノナルヤト云フニ離婚ノ届書ニ妻カ署名捺印シタル以上市町村長ハ事實ノ如何ニ拘ハラズ之ヲ受理スヘキモノトス

(大正五年十二月五日福井縣大野郡藤山町長伺
 大正六年六月二十二日民第一〇四八號法務局長回答)

◎婚姻、縁組、出生、認知、分家等ノ届出ヲ爲シタル場合市町村長ニ於テ戸籍謄本ノ提出ヲ強要スルコトヲ得ス從ツテ之ヲ理由トシテ受理ヲ拒ムコトヲ得ス

1、他市町村ノ者ヨリ婚姻、養子縁組又ハ出生、認知、分家等ノ届出ヲ爲シタルトキハ市町村長ハ其届出人ヲシテ戸籍謄本ヲ提出セシメ之ニ依リ本籍出生年月日及民法其他ノ法令ニ反セサルヤ否ヲ調査ス可キ必要アルモ戸籍謄本ノ提出ヲ強フルコトヲ得ス從テ戸籍ニ記載スヘキ事項ヲ具ヘサル場合ノ外届出人カ戸籍謄本ノ提出ヲ拒ミタル理由トシテ其届出ヲ受理セサルコトヲ得ス

(大正五年十二月五日福井縣大野郡藤山町長伺
 大正六年六月二十二日民第一〇四八號法務局長回答)

◎民法第八百八十八條ニ規定セル利益相反スル行為ニ關スル届出ノ受理方

1、意思能力ヲ有スル未成年戸主カ親權ヲ行フ實母ヲ家督相續人ニ指定シ其ノ届出ヲ戸籍法第四十九條第一項ニ依リ被指定者ナル親權者ヨリ爲シタル場合ニアリテハ事實ノ如何ニ拘ラズ利益相反スル行為ト看做シ民法第八百八十八條ニ依リ特別代理人「親權ヲ行フ繼父嫡母ナル時ハ民法第九百十五條第四號ニ依リ親權監督人」ノ同意ナキ届出ハ絕對ニ受理スルコトヲ得サルヲ將又特別代理人ノ同意ノ要否ハ市町村長カ個々ノ事件ニ付キ認定シ受否ヲ決スヘキモノナリヤ或ハ特別代理人ノ同意ナキ届出ハ利益相反スルモノナリヤト云フニ民法第八百八十八條ニ規定セル利益相反スル行為ノ終局的ノ認定ハ裁判所之ヲ爲ス可ク市町村長ニ於テ之ヲ判斷スヘキモノニ非スト雖モ右ノ場合ニ於テハ市町村長ハ届書ニ特別代理人ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附セシメ又ハ同意ノ旨ヲ附記セシムヘク其ノ同意ナキ届出ハ之ヲ受理セサルヲ相當トス

(大正六年五月三十一日大阪市北區長伺
 同年六月二十六日民第一一三三號法務局長回答)

◎診断書ヲ得ルコト能ハサル場合ト死亡届ニ之ヲ添附セサル場合

1、露領勸察加西海岸所在某會社工場勤務中脚氣病ノ爲メ大正六年七月十二日午後五時三十分死亡ノ旨ヲ以テ會社ヨリ工場長ノ證明書送付來リタルモ同證明書ヲ以テ死亡ヲ確認スヘキ有力ナル證書ト認定スルハ穩當ナラサルモ同地ニハ醫師不在又官廳ノ證明ヲ得ル能ハズ從來ヨリ診断書ニ代ヘ工場長ノ證明ヲ用ユルコトトセリ此ノ場合ニハ實際診斷書ヲ得ルコト能

ハサルモノト認メ得ヘキヲ以テ診斷書ヲ添附セサル死亡届ト雖モ之ヲ受理スルヲ相當トス

(大正七年一月二十三日宮城縣刈田郡内田村長伺
 同年三月四日民第三二五號法務局長回答)

◎日本人ノ入夫ト爲リタル佛國人カ離婚ノ場合一家ヲ創立スヘキ届出

1、日本人タル女戸主ト佛蘭西共和國人タル男トカ内務大臣ノ許可ヲ經テ入夫婚姻ヲ爲シ入夫戸主ト爲ラサリシ處右夫婦協議離婚ヲ爲スニ當リ入夫ハ佛國民法第十八條ニ依リ離婚ノ結果以前ノ國籍ヲ回復セス且日本民法ニ依リ復籍スヘキ家ナキニ因リ婚家本籍ト同一場所ニ一家ヲ創立スヘキ離婚届出ヲ爲シタルトキハ右届出ハ受理シテ一家創立ノ手續ヲ爲シ差支ナキモノトス

(大正六年十二月二十四日廣島縣御調郡赤崎町長伺
 大正七年一月二十二日民第一一七號法務局長回答)

◎婚姻解消ノ日ヨリ六ヶ月内ニ出生セシ子ト再婚シタル他男ノ嫡出子トシテ届出

1、甲女乙男ト婚姻解消ノ日ヨリ六ヶ月内ニ出生セシ子ヲ六ヶ月以後丙男ト婚姻届出ト同時ニ丙男ノ嫡出子トシテ父母ヨリ届出タル場合ハ受理スヘキモノニアラス民法第八百二十條第二項ノ規定ニ依ルトキハ乙男ノ子ト推定サルヘキモノトス

(大正七年五月七日愛媛縣越智郡今治町長伺
 同年五月十四日民第一〇三〇號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正七年五月二十七日愛媛縣越智郡宮窪村助役伺
 同年七月二十二日民第一一九〇號法務局長回答)

◎外國在留邦人ノ婚姻届書ニ父母ノ同意書ノ添附ナキモノノ受否

1、民法第七百七十二條及同第七百七十六條ニ依レハ子カ婚姻ヲ爲スニハ其ノ家ニアル父母ノ同意ヲ得ルコトヲ要シ其同意ナキ婚姻届ハ戸籍吏ニ於テ之ヲ受理スルコトヲ得サル次第ナルモ在外本邦人間ニ於ケル婚姻ノ場合ニ婚姻届ニ父母ノ同意書ヲ添付スルコト能ハサルトキハ右同意書ハ本籍地ニ於テ之ヲ徵スルコトトシ婚姻届ハ其ノ儘之ヲ受理スルコトニ取扱フコトヲ得

(大正七年十二月二十八日外務省通商局長事務取扱照會
 大正八年二月五日民第一九號法務局長回答)

2、右父母ノ同意書ヲ添付セサル婚姻届ヲ領事館ニ於テ受理シ之ヲ本籍地ニ送りタルニ本籍地ニ於テ父母カ同意セサリシ場合ト雖モ該婚姻ハ依然有效ニシテ戸籍吏ハ婚姻ノ登録ヲ爲スヘキモノトス

(大正七年十二月二十八日外務省通商局長事務取扱照會
 大正八年二月五日民第一九號法務局長回答)

3、第一父母ノ同意ヲ得ル能ハサルコト明カナル婚姻ノ届出ハ之ヲ受理スヘカラサルモ届出人ニ於テ父母ノ同意ヲ得ル見込アルコトヲ申出ツル場合ハ同意書ハ本籍地ニ於テ徵スルコトトシテ婚姻届ヲ受理スルモ差支ナシ

(大正七年十二月二十八日外務省通商局長事務取扱照會
 大正八年二月五日民第一九號法務局長回答)

◎父母トシテ同意シ戸主トシテ同意セサル婚姻届書ト受理方

1、民法第七百七十二條第一項ニ依リ婚姻ニ同意スヘキ父又ハ母カ其家ノ戸主ナル場合婚姻届ニ父又ハ母トシテハ之ニ同意

實例判例文例人事法總覽

ナルモ戸主トシテハ不同意ナル旨ヲ明記シ届出アリタル場合
市町村長ハ同一人ニシテ一ノ資格ニ於テハ同意シナカラ一ノ
資格ニ於テハ不同意ヲ唱フルカ如キハ不穩當ナルニ付斯ル届
出ハ違法ノモノトシテ絶對ニ受理ヲ拒ミ差支ナキヤ將タ一應
注意スルモ當事者カ強テ届出ヲ爲サントスル時ハ若シ父母ト
戸主トカ同一ニアラサル場合ニ於テハ戸主ノ同意ナキモ民法
第七百七十六條但書ニ依リ婚姻ヲ爲シ得ル趣旨ニ依リ受理ス
ヘキモノナルヤ若シ受理スヘキモノトセハ戸主ハ民法第七百
五十條第二項ニヨリ離籍ヲ爲シ又ハ復籍ヲ拒ムコトヲ得ルヤ
ト云フニ子ノ婚姻ニ付父又ハ母トシテ同意ヲ爲シタルニ拘ラ
ス戸主トシテ同意ヲ爲ササルカ如キハ結局同意ヲ爲シタルモ
ノト認ムヘキヤ否ヤ明カナラサルヲ以テ其ノ届出ハ受理セサ
ルヲ相當トス而テ既ニ其ノ届出ヲ受理シタル後ニ於テ離籍又
ハ復籍拒絶ノ届出アリタル場合ニ於テモ之ヲ受理セサルヲ相
當トス

【参考】

(大正八年二月六日廣島縣賀茂郡東高屋村長稟伺
同年三月六日民第五三三號法務局長回答)
(明治三十四年六月十九日名古屋區裁判所監督判事問合
同年八月一日民判第六八七號民判局長回答)

◎戸主ノ行衛不明中家族カ婚姻ヲ爲ス場合ト戸主ノ同意ヲ得ス強
テ届出ツル場合ト一應親族會ノ同意ヲ得ヘキ旨ヲ届出人ニ注意
1、戸主行衛不明中家族カ他家へ婚姻ヲナス場合ニ於テ戸主行
衛不明ニ付キ同意ヲ得ル能ハサル旨附記スルトキハ民法第七

百五十一條ニ抵觸スルヲ以テ受理シ得ラレサルモ戸主ノ同意
ヲ得ス強イテ婚姻ヲ爲ス旨附記セル場合ハ村長トシテハ事實
ノ有無ヲ調査スヘキニ非サルニ付受理ヲ拒ムヲ得ス但シ戸主
カ所在不明ニシテ其ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ民法第
七百五十一條ニ定メタル者ノ同意ヲ得ヘキモノナルヲ以テ其
ノ旨ヲ一應届出人ニ注意スヘシ

(大正八年四月二十八日愛媛縣越智郡宮窪村長代理助役稟伺
同年五月三十一日民判第一二〇五號民判局長回答)

◎長女ノ私生子ヲ戸主ノ嫡出子トシテ虚偽ノ出生届ヲ爲シ戸籍訂
正ノ手續ヲ爲スニ先子更ニ長女ヨリ私生子トシテ出生ノ届出ヲ
爲シタル場合ト受理方

1、戸主ニ妻ト長女トアリテ長女カ出生シタル私生子ヲ戸主ノ
嫡出子トシテ虚偽ノ出生届ヲ爲シタルモノカ戸籍法第六十
四條ニ依リ戸籍訂正ノ手續ヲ爲スニ先子長女ヨリ更ニ自己ノ
私生子トシテ戸主ノ同意ヲ得テ出生届ヲ爲シタルトキハ假令
市町村長ニ於テ其ノ私生子ハ戸主ノ嫡出子トシテ出生届ヲ爲
シタルモノト同一人ナルコトヲ了知スル場合ト雖之ヲ受理ス
ヘキモノナリ

(大正八年四月四日大阪區裁判所監督判事問合
同年六月二十六日民判第八四一號民判局長回答)

◎外國人間ノ婚姻又ハ外國人ト日本人トノ婚姻ニ付市町村長ハ當
事者ヲシテ能力其他ノ要件ニ欠缺ナキコトヲ證明セシムルコト
ヲ得

1、外國人間ノ婚姻又ハ外國人ト日本人トノ婚姻届出アリタル

場合ニ市町村長ハ其ノ外國人ノ婚姻能力ノ有無同意ノ要否其
他實質上ノ要件ニ欠缺ナキヤ否ヤ其ノ本國法ヲ調査シタル上
ニアラサレハ受理スルヲ得サルヤ將タ戸籍法ノ規定ニ依リ届
書ノ形式ヲ具備スルニ於テハ其ノ儘受理シ差支ナキヤ若シ外
國法ノ調査ヲ要ストセハ當事者ヲシテ之カ證明ヲ爲サシムル
モ妨ケナキヤト云フニ民法第七百七十六條本文ノ規定ニ依リ
市町村長ハ外國人カ婚姻能力、同意其他實質上ノ要件ニ欠缺
ナキコトヲ認メタル後ニアラサレハ其ノ届出ヲ受理スルコト
ヲ得ス但シ當事者ヲシテ此等ノ事項ニ欠缺ナキコトヲ證明セ
シムヘシ

(大正八年四月四日大阪區裁判所監督判事問合
同年六月二十六日民判第八四一號民判局長回答)

◎内地ニ本籍ヲ有シ殖民地ニ住所ヲ有スル者カ住所地ニ於テ隱居
又ハ廢家ノ許可ヲ受ケ之ニ基キテ爲シタル届出ノ受理方

1、内地ニ本籍ヲ有シ朝鮮、臺灣、關東州、樺太等ニ住所ヲ有
スル者カ住所地ニ於テ隱居又ハ廢家ノ許可ヲ受ケ本籍地ヘ其ノ
届出ヲ爲シタルトキハ之ヲ受理スヘキヤト云フニ樺太在住者
ニ關スル場合ニ付テハ受理スヘキモ其ノ他ノ場合ニ付テハ非
訟事件手續法第二條第二項ノ規定ニヨリ内地ニ於ケル最後ノ
住所地ヲ管轄スル區裁判所ニ申請ヲ爲スヘキモノナルヲ以テ
此ノ如キ届出ハ之ヲ受理スルコトヲ得ス

(大正八年七月十一日高知縣土佐郡高坂村長稟伺
同年九月十三日民判第二七三七號民判局長回答)
(省議變更) 朝鮮、臺灣又ハ關東州ニ於ケル内地人ニ關スル

第一編 戶籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第五十三條

非訟事件ニ付其ノ地域ノ裁判所ノ裁判ハ内地ニ於テモ其ノ
效力ヲ有スルヲ以テ該裁判ニ基キ内地ニ於テ届出、申請等
ヲ爲シ得

◎廢家ノ届書ニ入ルヘキ家トシテ殖民地ノ住民ノ家ヲ記載シタル
モノト不受理

1、廢家届書中ニ其者ノ入ル可キ家ノ表示トシテ朝鮮、臺灣、關
東州、樺太等ノ住民ノ家ヲ記載シタルトキハ受理セサルモノ
ナリヤト云フニ内地ニ本籍ヲ有セサル者ノ家ニ入ルヘキ場合
ニ於テハ受理セサルヲ相當トス

(大正八年七月十一日高知縣土佐郡高坂村長稟伺
同年九月十三日民判第二七三七號民判局長回答)

◎前婚解消ノ日ヨリ三百日以内ニ生レタル子ニ付庶子若ハ私生子
又ハ後夫ヨリノ嫡出子出生届アリタル場合ノ取扱方

1、庶子若クハ私生子ノ出生届アリタルトキ又ハ婚姻成立後二
百日以内若クハ婚姻成立前ノ出生子ニ付嫡出子出生届アリタ
ルトキ市町村長ハ子ノ入ルヘキ家ノ戸籍面ニ於テ其ノ子カ母
ノ前婚解消ノ日ヨリ三百日以内ニ生レタルモノナルコト明ナ
ルニ於テハ右出生届ハ之ヲ受理セサルヲ相當トス若シ母カ他
家ヨリ入籍(他家カ他ノ市町村内ニアルト否ト問ハス)セシ
者ナルカ又ハ非本籍人ナルトキハ前婚解消後三百日以内ニ生
レタル子ナルカ否カノ調査ハ之ヲ爲スコトヲ要セスシテ出生
届ハ直ニ之ヲ受理スヘキヤト云フニ子カ母ノ前婚解消後三百
日以内ニ生レタルコト明ナルニ於テハ母ノ後夫ノ嫡出子トシ

實例判例文例人事法總覽

テノ出生届ハ之ヲ受理スルコトヲ得サルモノトス

(大正八年十月二十日山口縣吉敷郡陶村長伺
同年十月二十九日民事第四六八九號民事局長回答)

◎離婚ニ因リ實家ニ復籍スヘキ女ノ入籍届ト其ノ直系卑屬ノ引取入籍ノ届出カ同時ニ提出セラレタルトキト雖モ其ノ届書ニ實家ヘ戸主ノ同意ノ記載アル場合ニハ之ヲ受理スヘシ

◎妻カ婚姻ヲ爲スト同時ニ實家ニ在ル私生子ヲ婚家ニ引取ル場合婚姻及引取入籍ノ届出カ同時ニ提出セラレ其ノ届書ニ實家戸主ノ同意ノ記載アル場合亦同シ

1、婚姻ニ因リ他家ニ入りタル甲女カ夫死亡後實家ニ入籍セントスル入籍届ト婚家ニ於テ出生シタル未成年ナル直系卑屬丙男(家督相續人ニアラス)ヲ民法第七百三十八條第二項ニ依リ入籍届ト同時ニ除籍地市町村長ニ提出シタルトキノ取扱ハ母ノ入籍届ト子ノ入籍届ト同時ニ提出シタルトキト雖モ實際ノ取扱トシテハ先ツ母ノ入籍届ヲ受附ケタル上子ノ入籍届ヲ受理スルノ順序ト爲ルヘキニ付二個ノ届出ハ共ニ之ヲ受理スヘキモノトス

(大正八年十月十六日香川縣大川郡津田町長伺
同年十一月十日民事第四八四〇號民事局長回答)

2、妻カ婚姻ヲ爲スト同時ニ實家ニアル私生子ヲ婚家ニ引取ル場合モ前項同様取扱フヘキモノトス

(大正八年十月十六日香川縣大川郡津田町長伺
同年十一月十日民事第四八四〇號民事局長回答)

◎失踪ニ依リ死亡ト看做サレタル者未タ其ノ記載ヲ抹消セザル中婚姻縁組又ハ出生ノ届出ヲ爲シタル場合ト受理方

1、失踪宣告ノ判決ニ因リ戸籍ニ死亡ト看做サル旨記載セラレタル者現ニ生存スルニ拘ハラズ其ノ本人又ハ利害關係人カ失踪宣告取消ヲ請求セスシテ漫然經過スル場合市町村長ハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ右戸籍ノ記載ヲ抹消スルコトヲ得ルモノナリ

(大正八年十二月二日山口區裁判所監督判事伺
同年十二月十六日民事第五三五七號民事局長回答)

2、前項ノ死亡ト看做サレタル者カ未タ其記載ヲ抹消セラレサル中婚姻縁組又ハ自己ノ子女出生ノ届出ヲ爲シタル場合市町村長ハ之ヲ受理スヘカラサルモノトス

(大正八年十二月二日山口區裁判所監督判事伺
同年十二月十六日民事第五三五七號民事局長回答)

◎父ヨリ本籍地ニ嫡出子出生届ヲ爲シ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後母ヨリモ其ノ所在地タル非本籍地ニ同一ノ届出ヲ爲シタル場合

1、嫡出子出生ニ因リ父ヨリ本籍地ニ其ノ届出ヲ爲シ戸籍ノ記載ヲ了シタル以後ニ於テ尙母ヨリモ其ノ所在地タル非本籍地ニ重テ同一ノ届出ヲ(既ニ父ヨリ届出済ナルコトヲ知ラス)爲シ該届書ノ送付ヲ受ケタル場合本籍地市町村長ハ不用届書トシテ其ノ事由ヲ付シ之ヲ返付シ其ノ返付ヲ受ケタル非本籍地市町村長ハ届出人ニ返戻スヘキモノトス

(大正八年十二月十六日香川縣三豐郡比地二村長伺
同年十二月二十六日民事第五六七三號民事局長回答)

◎甲村ノ男ト乙村ノ女ト婚姻届出ヲ爲シ甲村ニ於テハ既ニ戸籍ノ記載ヲ了リ届書ヲ乙村ニ送付シタルニ乙村ノ妻ニ關スル事項ニ誤記アル爲其ノ届書ヲ甲村ニ返戻シタル場合ノ手續

1、甲村ノ男ト乙村ノ女ト婚姻シタルカ如ク一ノ届出ニシテ兩村ノ戸籍ニ記載セラルヘキ場合ニ甲村ハ已ニ戸籍ノ記載ヲ了リ届書ヲ乙村ニ送付シタルニ乙村ハ妻ノ番地又ハ生年月日等ノ如キ部分ニ誤記アル爲メ戸籍ノ記載ヲ爲スコト能ハストノ理由ヲ以テ届書ヲ甲村ニ返戻スルコト屢々アリ此ノ場合甲村ニハ已ニ戸籍ノ記載ヲ了リタリト雖モ乙村ノ記載ヲ了ラサルニ付事件ノ終局ニ至ラサルモノトシ追完届ニ依リ甲村戸籍ノ記載ヲ了リタル故戸籍訂正ノ手續ニ依リニアラサレハ訂正スルコトヲ得ス但シ妻ノ本籍地タル乙村長ハ妻ニ人違ナキコト明ナル以上甲村長ヨリ送付ヲ受ケタル届書ニ基キ直チニ妻ノ除籍ヲ爲スヘキモノナルヲ以テ届書ヲ乙村長ニ再送スヘシ

(大正四年六月十日島根縣邑智郡川本村長伺
同年七月七日民事第一〇〇八號法務局長回答)

◎日本人ト支那人トノ養子縁組届又ハ婚姻届ノ受理方

1、在留清國人カ日本人ヲ養子ト爲シ其縁組届出アルモ之ヲ受理スヘキモノニアラサル旨(函館區裁判所判事問合明治四十四年十月二日民事第八九二號民事局長回答)ナルニ神戸市戸籍吏ノ問合ニ對スル明治四十二年八月六日民事第六八五號民事局長回答ニハ清國人ト縁組シタル者ハ日本ノ國籍ヲ失ヒタルモノナルニ付キ國籍法第二十六條ニ從ヒ國籍ノ回復ヲ爲スコトヲ得ヘシトアリテ一面右養子縁組ハ適法トシタルモノノ如ク解セラルルヲ以テ之カ届出アリタル場合ハ市町村長ニ於テ受理差支ナキヤ又此ノ場合ニハ養子ニ付キ日本ノ國籍ハ

喪失スルモノナリヤト云フニ支那國籍法ニ於テ支那人ノ養子ト爲リタル外國人ノ國籍取得ニ關スル明文ナカリシ爲日本人カ支那人ノ養子ト爲リタル場合ノ國籍ニ付テハ箇々ノ事件ニ付決定シ來リシモ民國三年(大正四年)法律第二六號支那國籍法ニ於テ支那人ノ養子ト爲リタル者ハ支那國籍ヲ取得スヘキ旨ノ規定ヲ爲シタルヲ以テ本件縁組ノ届出ハ之ヲ受理シ日本ノ國籍ヲ失フモノトシテ取扱フヘキモノトス

(大正四年七月二日德島區裁判所監督判事問合
同年七月十三日民事第一〇七六號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正四年九月十五日靜岡區裁判所監督判事問合
同年九月十八日民事第一五三四號法務局長回答)

(同年十月二十五日廣島市長問合
同年十月二十五日民事第一六八三號法務局長回答)

2、帝國ニ寄留手續未済ナル夫タルヘキ支那人ト日本人タル女ト婚姻ヲ爲サントスヘキモ之カ明文ナク差掛リタル儀生シタルニ付テハ右婚姻ニ關スル手續方法ハ支那人タル男ト日本人タル女トノ婚姻ニ付テハ法例第十三條ノ規定ニ依リ婚姻成立ノ要件ハ各當事者ニ付其ノ本國法ニ依リテ定マリ其ノ方式ハ婚姻舉行地ノ法律ニ依ル而テ當事者カ戸籍法ノ規定ニ從ヒ婚姻ノ届出ヲナシタルトキハ先ツ市町村長ハ支那人タル男カ其ノ本國法ニヨリ婚姻能力、同意其ノ他實質上ノ要件ニ欠缺ナキコトヲ認メタル後ニ非ラサレハ其ノ届出ヲ受理スルコトヲ得ス從テ市町村長ハ當事者ヲシテ此等ノ事項ニ付欠缺ナキコ

第一編 戶籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第五十三條

實例判例文例人事法總覽

トヲ證明セシムヘシ次ニ支那人ノ妻ト爲リタル女ハ夫ノ國籍ヲ取得スルノ結果國籍法第十八條ノ規定ニヨリ日本ノ國籍ヲ失フヘキヲ以テ國籍喪失届出ヲ爲サシメタル上除籍ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

(大正八年七月四日北海道空知郡上富良野村長稟請) 同年七月三十一日民事第二六〇一號民事局長回答

◎本來受理スルコトヲ得サル届出ヲ受理シ其ノ送付ヲ受ケタル市町村長ト不受理

1、非本籍地ニ届出テタル出生、死亡届轉籍地ニ届出テタル轉籍届、事件本人ノ本籍カニケノ市町村ニ屬スル婚姻養子縁組届等ノ如キ甲乙市町村長ニ於テ取扱フヘキ届出ニ付キ甲市町村長カ既ニ其ノ届出ヲ受理シタル場合ニ届書ノ送付ヲ受ケタル乙市町村長カ其ノ届出ヲ受理セサルコトヲ得ヘキモノナリ

(大正四年七月二十日栃木區裁判所監督判事問合) 同年八月二日民事第一三三七號法務局長回答

◎書面ニ依ル届出力不適法ナル場合ハ特ニ事件却下ノ處分ヲ爲スコトナク直ニ其ノ届書ノ受理ヲ拒ムコトヲ得

1、書面ヲ以テ爲シタル届出力不適法ナル爲メ之ヲ受理シ得サル場合ニハ其ノ届書ハ之ヲ受取りテ事件却下ノ處分ヲ爲サスシテ其ノ届書ノ受理方ヲ拒ムヘキモノナリ

(大正四年七月二十日栃木區裁判所監督判事問合) 同年八月二日民事第一三三七號法務局長回答

◎重婚ノ故ヲ以テ返戻セラレタル届書ハ之ヲ届出人ニ差戻スヘシ

1、甲町甲男乙村乙女ノ婚姻届ヲ甲町ニ受理届書ノ一通ヲ乙村ニ送付セシニ乙女ハ丙村丙男ト數年前婚姻ニ因リ除籍セシモ

ノナリトノ理由ニヨリ届書ヲ返戻セリ此ノ場合右返戻ヲ受ケタル届書ハ如何處理スヘキヤト云フニ返戻セラレタル届書ハ之ヲ届出人ニ差戻スヘシ但シ甲男ノ戸籍ニ爲シタル婚姻ノ記載ハ戸籍訂正ノ手續ニ依リ之ヲ抹消スヘキモノトス

(大正六年三月二十日三重縣南牟婁郡入鹿村長稟請) 同年四月十八日民事第五八九號法務局長回答

2、甲村在籍者ニシテ米國加州ニ在住スル甲男同地ニ於テ乙村乙女ト婚姻ヲ爲シ其ノ届書ヲ同地領事ニ提出シ外務省ヲ經由シ甲村ヘ送付アリタルニ依リ甲男ノ戸籍ニ入籍ノ記載ヲ爲シ妻ノ本籍地ヘ届書送付セシ處乙女ハ明治三十八年一月二十日丙村丙男ト婚姻シタルニヨリ除籍シアルモノナル旨ヲ以テ届書返戻シ來レリ此ノ場合ニハ返戻セラレタル届書ハ之ヲ届出人ニ差戻スヘシ但シ甲男ノ戸籍ニ爲シタル婚姻ノ記載ハ戸籍訂正ノ手續ニ依リ之ヲ抹消スヘキモノトス

(大正八年五月十三日香川縣小豆郡坂手村長問合) 同年五月二十七日民事第一四〇二號民事局長回答

3、甲町甲男乙村乙女トノ婚姻届ヲ丙村ニ受理届書ノ一通ヲ當該村ニ送付セルニ乙村ニ於テハ乙女ノ戸籍記載ヲ了シタルモ甲町ニ於テハ甲男ハ重婚ナリトノ理由ニテ届書ヲ返戻セリ此場合當事者ハ民法第七百八十條ニヨリ婚姻取消ヲ裁判所ニ請求スヘキモノナリ

(大正四年八月十六日北海道空知郡岩見澤町長稟請) 同年九月二十日民事第一四二六號法務局長回答

4、前項ノ場合ニ於テ甲町ヨリ甲男重婚乙村ヨリ乙女本籍其他錯誤ノ理由ニヨリ届書ヲ返戻セラレタルトキハ甲乙何レノ町

村モ戸籍記載ヲ爲ササルニ付キ丙村ニ於テハ届書ニ理由ヲ附シ保存スヘキヤト云フニ假令戸籍ノ記載ヲ爲ササルモ婚姻ハ丙村長カ婚姻届ヲ受理シタルニ因リ其效力ヲ生シタルニ付甲乙各村ニ於テモ其儘戸籍ノ記載ヲ爲スヘキモノナルヲ以テ此趣旨ニ基キ届書ヲ甲乙丙各村ニ再送スヘシ而シテ其婚姻ハ民法第七百八十條ニ依リ之ヲ取消スコトヲ得ルモノトス次ニ届書ニ錯誤アル爲乙村ノ戸籍ニ記載スルコト能ハサル事項ハ戸籍法第六十五條ノ規定ニ依リ追完届ヲ爲サシメ之ニ因リテ其記載ヲ爲スヘシ

(大正四年八月十六日北海道空知郡岩見澤町長稟請) 同年九月二十日民事第一四二六號法務局長回答

◎戸主ト爲リタル養子ノ離縁届書ノ送付ヲ受ケタル場合ト不受理

1、法定ノ推定家督相續人タル養子甲ノ養父タル戸主乙死亡シ甲ハ家督相續ニ因リ戸主トナリタルモ相續届ヲ爲サス甲村養家ニ在ル乙ノ妻タル養母丙ト乙村養子實家ニ在ル養子甲間ニ離縁ノ協議ヲ爲シ乙村長ニ届出タルヲ受理シ復籍セシメタル上届書ノ一本ヲ甲村長ニ發送シタル場合ニ於テ甲村長ハ有効ノ離縁トシ受理スヘキヤト云フニ戸主ト爲リタル養子甲ノ離縁ハ無効ナルニ付其ノ届書ノ送付ヲ受ケタル甲村長ハ之ヲ受理スルコトヲ得ス乙村長カ爲シタル甲ノ離縁ニ付テノ戸籍記載ハ戸籍訂正ノ手續ニ依リ之ヲ訂正スヘシ

(大正四年十二月二日尾道區裁判所監督判事問合) 大正五年一月二十四日民事第一八三五號法務局長回答

第五十四條 届書ニハ本法其他ノ法令ニ定メタル事項ノ外戸籍ニ記載スヘキ事項ヲ明瞭ナラシムル爲メ必要ナルモノハ之ヲ記載スル

載スヘキ事項ヲ明瞭ナラシムル爲メ必要ナルモノハ之ヲ記載スル
コトヲ要ス

【實例】

◎離婚離縁等ノ届書ニ實家再興ノ旨、再興ノ場所ヲ記載シタルトキト第四百四十六條ノ届出及此ノ場合届書ト第十八條及第五十四條ニ依リ戸籍ニ記載スヘキ事項ヲ明瞭ナラシムル爲メ必要ナルモノノ記載

1、改正戸籍法第九十三條第二項第四號同第九十五條第五號同第九十八條同第二百二條同第四百四條第五號同第五百五條ニ依リ實家再興ノ旨及再興ノ場所ヲ記載シタルトキト雖モ同第四百四十六條ノ届出ヲ要スルヤト云フニ別ニ第四百四十六條ノ届出ヲ爲スヘキモノニ非ス但シ此ノ場合ニ於テ離縁・離婚等ノ届書ニ第十八條及第五十四條ニ依リ戸籍ニ記載スヘキ事項ヲ明瞭ナラシムル爲メ必要ナルモノハ之ヲ記載スルコトヲ要スルモノトス

【同趣旨】

(大正四年一月二十五日福井區裁判所監督判事問合) 同年二月十九日民第一〇〇號法務局長回答
(大正三年十二月五日名古屋區裁判所監督判事問合) 大正四年一月十四日民第一八〇五號法務局長回答

◎後見更迭届ト前任後見人ノ任務終了ノ年月日及終了ノ原因ノ記載

1、後見人更迭届(第一百十條)ニハ第九條準用上同條第二項第三號ハ「前後見人任務終了ノ原因及年月日」ヲ記載セシムヘキ趣旨ナルヤト云フニ第五十四條ノ規定ニ依リ前任後見人ノ任務終了ノ原因及年月日ノ記載ヲ要ス

【同趣旨】

(大正三年五月二十九日大阪市西區戸籍吏問合) 同年十二月二十八日民第一九七二號法務局長回答

◎父カ親權又ハ管理權ノ喪失ノ宣告ヲ受ケタル場合届書ノ記載方

1、改正戸籍法第七條ノ届出ハ父カ親權又ハ管理權ノ喪失ノ宣告ヲ受ケタル事項ノミニテ他ノ事項ノ必要ナキヤト云フニ第五十四條ノ規定ニ依リ了知セラルヘシ

◎離婚ト同時ニ實家ヲ再興セントスル場合届書ノ記載方

1、第九十五條實家ヲ再興スル場合其實家最終戸主ノ氏名及戸

◎入籍者ノ父母ノ氏名、續柄並ニ入籍セシムル者ト入籍者トノ續柄ト届書ニ記載

1、入籍者ノ父母ノ氏名及入籍者ト父母トノ續柄並ニ入籍セシムル者ト入籍者トノ續柄ハ第十八條第七號及第十一號ノ規定ニ依リテ戸籍ニ記載スルコトヲ要スルヲ以テ第五十四條ノ規定ニヨリ届書ニ之ヲ記載セシムルコトヲ要ス

◎離縁、離婚、縁組又ハ婚姻ノ取消ニ因リ一家創立又ハ實家再興アリタル場合ニ於ケル届書ノ記載事項

1、改正戸籍法第九十三條第二項第四號、第九十五條第五號及第四百四條第五號中「一家ヲ創立スルトキハ其旨及創立ノ原因並ニ場所但實家ヲ再興スルトキハ其旨及再興ノ場所」トアリ届書ニ之ヲ具體的ニ記載スルニハ第四百四十二條第二項第一號及第二號ニ該當スル事項ヲ記載スルモノナルヘク即チ換言セハ右第九十三條第二項第四號ト第四百四十二條第二項第一號及第二號トハ其行文同シカラスト雖モ其事項ノ趣旨ハ彼此相

同シキモノトス
(大正三年十二月三日山口區裁判所監督判事問合) 大正四年一月十一日民第一八〇〇號法務局長回答

◎轉籍ノ場合ニ於テ從前ノ戸籍ニ依リ父母ノ氏名及續柄其他ノ事項カ不明ナルトキハ届書ニ記載

1、戸籍法第五十八條第二項ノ規定ニヨリ他ノ市町村ニ轉籍スル場合ニ於テハ其ノ届書ノ二通ヘ戸籍簿本ヲ添附セシムヘキ趣旨ト解スルヲ相當トスレトモ原籍地ノ市町村長カ届出ヲ受理スル場合ニ於テハ轉籍地ニ送付スヘキ届書ニノミ戸籍簿本ヲ添附スルトキハ市町村長ハ其ノ謄本ト戸籍ノ原本トヲ對照シ誤ナキヲ期スルコトヲ得ヘク又新本籍地ニ於テ届出ヲ受理スル場合ニ於テモ市町村長カ戸籍簿ヲ記載ヲ爲シタル後戸籍簿ノ謄本ヲ添附シタル届書ヲ原籍地ニ送付スルニ於テハ届書ノ兩通ニ戸籍簿ノ謄本ノ添附ナキモ差支ナシ

(大正四年一月二十一日北海道小樽區長問合) 同年三月三日民第二五八號法務局長回答

2、轉籍地市町村長カ届書ニ基キ新ニ戸籍ヲ編製スル場合ニ於テモ轉籍者ノ父母又ハ續柄等戸籍簿本ニヨリテモ判明セサル場合戸籍法第五十四條ノ規定ニ依リ届書ニハ家族ノ氏名又父母ノ氏名續柄等不明ナル向ニ對シテハ届出人ヲシテ記載セシメ受理スルヲ得

(大正四年一月二十一日北海道小樽區長問合) 同年三月三日民第二五八號法務局長回答

3、轉籍届書ニ添附セル戸籍簿本カ舊戸籍法又ハ同法施行以前ノ戸籍ニ係リ戸主及家族ノ身分ニ關スル事項其他新戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ記載ノナキモノ又ハ記載ノ不備ナルモノ

實例判例文例人事法總覽

アラハ戸籍法第五十四條ニ依リ轉籍届書ニ記載セシメ之ニ依リテ記載ノ補充ヲ爲スヘク尙事實ノ知レサルモノアル場合ハ之カ記載ヲ省略スルコトヲ得
右ノ如ク記載ヲ省略シタル場合ニ於テハ知レサル事由ヲ記載シ之ニ市町村長認印スヘシ
(大正四年六月十六日愛媛縣越智郡今治町長伺
同年七月六日民第九八〇號法務局長回答)

○罹災地ト轉籍届ニ添附スヘキ證明書

1、轉籍届ニハ戸籍法第五十八條第二項ノ規定ニ因リ戸籍ノ謄本ヲ届書ニ添附スヘキハ勿論ナルニ因リ轉籍ヲ爲サントスル者ヨリ罹災地ノ市又ハ區役所ヘ謄本ヲ請求スルニ大正十二年九月一日火災ノ爲メ戸籍簿カ焼失シタルニ因リ謄本ノ作成ヲナス能ハサルカ如キ場合ニ轉籍ヲ爲ス者ノ届書ニ付テハ東京區裁判所ニ於テ同廳ニ保存スル戸籍ノ謄本及届書類ニ基キ便宜戸主及家族ノ身分事項ノ證明ヲ爲スニ付其ノ證明ヲ戸籍謄本ニ代ヘ届書ニ添附セシメ尙證明ヲ得ル能ハサル事項ニシテ戸籍ノ記載ヲ爲スニ付必要ナルモノハ戸籍法第五十四條ニ依リ其ノ事項ヲ届書ニ記載セシメタル上之ヲ受理スヘク横濱市ヨリ轉籍ヲ爲ス者ノ届書ニ付テハ届出人ヲシテ先ツ本年十月三日當省告示第二十六號ニ依リ申出ヲ同市ニ爲サシメ之ニ基キ記載シタル戸籍ノ謄本ヲ届書ニ添附セシメ尙必要ノ場合ニ於テハ前示戸籍法第五十四條ニ依リ事項ヲ届書ニ記載セシメタル上之ヲ受理スルヲ相當トス

○妻ヲ有スル者カ認知、縁組、親族入籍又ハ選定家督相續ニ因リ他家ニ入ル場合婚姻其ノ他身分ニ關スル事項ト届書ニ記載

1、妻ヲ有スル者認知、養子縁組、親族入籍若クハ選定ニ因ル家督相續ニ依リ他家ヘ入ル場合ニ於テハ婚姻其他ノ身分ニ關スル事項ヲ届書ニ記載セシメ其入ルヘキ家ノ戸籍ニ記載スヘキモノナルヤト云フニ之ヲ届書ニ記載スルコトヲ要セス
(大正四年四月二十二日福井縣裁判所監督判事問合
同年五月六日民第五六二號法務局長回答)

2、妻ヲ有スル者選定家督相續ニ因リ同一町村内ノ他家ニ入ル場合ニ於テハ婚姻其他身分ニ關スル事項ヲ届書ニ記載スルコトヲ要セストスルモ他ノ町村ナルトキハ細則第十四條第二項ニ依リテ記載ヲ要スルモノトス

○婚姻中夫カ妻ノ私生子ヲ認知シタル結果他ノ嫡出子ノ續柄ニ變更ヲ生シタル場合ノ訂正

1、婚姻中夫カ妻ノ私生子男ヲ認知シ其者カ嫡出子長男トナリタル場合他ノ嫡出子ニ對スル續柄ハ之ヲ訂正スルノ法文ナキニ依リ其儘ニ爲シ置クヘキヤト云フニ戸籍法第四十七條及第五十四條ニ依リ認知届書ニ他ノ嫡出子ノ續柄ノ變更ノ事由ヲ記載スヘキヲ以テ之ニ依リテ其ノ續柄ヲ訂正スヘキモノナルモ其ノ事由ニシテ届書及戸籍ニ依リ自然明ナル以上ハ強テ之ヲ届書ニ明記セシムルヲ俟タス届書ノ趣旨ニ依リテ戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得ヘキハ勿論ナリトス
(大正四年五月十四日大府區裁判所判事問合
同年五月二十一日民第七一三號法務局長回答)

戸二號 (八一)

正ヲ爲スコトヲ得ヘキハ勿論ナリトス

○出生届漏ノ者ニ付出生届アリタル場合他ノ者ノ續柄訂正

1、出生届漏ノ者ニ付出生届アリタルカ爲メ曾テ長二男女ト記載セラレアル者カ二三男女ト爲リタル場合戸籍中ノ他ノ家族又ハ戸主ノ父又ハ母ノ名或ハ戸主トノ續柄ハ市町村長限リ直チニ訂正スルコトヲ得ルヤト云フニ出生届漏ノ者ノ出生届ニ戸籍法第四十七條第二項及第五十四條ニ依リ他ノ嫡出子ノ續柄ノ變更ノ事由ヲ記載スヘキヲ以テ之ニ依リテ其ノ續柄ヲ訂正スヘキモノナルモ其ノ事由ニシテ届書及戸籍ニ依リ自然明ナル以上ハ強テ之ヲ届書ニ明記セシムルヲ俟タス届書ノ趣旨ニ依リテ戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得ヘキハ勿論ナリ
(大正四年五月十二日下關區裁判所監督判事問合
同年七月一日民第六九一號法務局長回答)

○第五十四條ニ依ル届書ノ記載事項ト其事由ノ記載

1、届書ニハ戸籍法第五十四條ニ依リ戸籍ノ記載ヲ明瞭ナラシムル爲必要ナル事項ヲ記載セシムルコトアルモ其ノ記載ハ届書ノ記載ニシテ之ニ依ル戸籍ノ記載ハ畢竟届出ニ因ル戸籍ノ記載ナルヲ以テ其ノ記載ハ普通届出ニ因ル場合ト異ナル所アルヘカラス同法第八十四條第一項但書ニ依リ身分登記ニ基キ記載シタル事項ニハ同法施行細則第二十三條ニ依リ「何々事項及届出人ノ資格並氏名ハ身分登記ニ依リ記載」ト記載スヘク又戸籍法施行細則第十四條第二項、第十五條及第十七條

ニ依リ基本タル戸籍ニ記載シタル事項ヲ移記シタル場合(記載例第八十及第九十九ヲ除ク)ハ其事項ノ文末ニ移記シタル事由ヲ附記スルコトヲ要セス
(大正四年三月十九日大阪區裁判所監督判事問合
同年七月六日民第四一六號法務局長回答)

○入夫婚姻ノ届書ノ記載方

1、入夫カ戸主トナラサル場合戸籍法第百條ニハ明文ナキモ同法第五十四條ニ依リ婚姻届書ニ其旨記載ヲ爲スコトヲ要スルニハアラサヤト云フニ戸主ト爲ラサル旨ノ記載ハ之ヲ必要トセサルモ明確ナ期スル爲メ特ニ之ヲ届書ニ記載スルコトヲ妨ケス
(大正四年七月二日島根縣瀨戶内郡八代村長伺
同年七月十五日民第一二二號法務局長回答)

○戸主ノ母カ戸主ノ亡父ノ弟タル叔父ト戸内婚姻ヲ爲シタル場合ニ於ケル戸主トノ續柄ノ訂正方

1、戸籍法第五十四條ノ規定ニ依リ戸主トノ續柄カ繼父ト爲ル旨ヲ婚姻届ニ記載セシメ之ニ依リテ其ノ續柄ヲ訂正スヘキモノナルモ其事由ニシテ届書及戸籍ニ依リ自然明ナル以上ハ強テ之ヲ届書ニ明記セシムルヲ俟タス届書ノ趣旨ニ依リテ戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得ヘク配偶者トノ續柄ニ至リテハ「繼父妻」ト記載スヘシ
(大正四年十一月一日山口區裁判所監督判事問合
大正五年三月十五日民第三八七號法務局長回答)

○婚姻、縁組等ノ届書ニ一般ノ届書ト同様事項ノ記載ト出生ノ場

所ノ記載

1、婚姻、養子縁組其他入籍スヘキ者ノ届書ニハ出生ノ場所届出年月日届出人ノ資格氏名ヲ記載スヘキモノニアラスト論スルモノアルモ戸籍法第五十四條ニ依リ記載セシムルヤト云フニ届出ノ年月日及届出人ノ資格、氏名及出生ノ年月日等ハ戸籍法第四十七條、第二十一條及第五十四條ニ依リ届書ニ之ヲ記載スルコトヲ要スルモ出生ノ場所ハ記載スルコトヲ要セサルモノトス

(大正六年六月二十二日北海道空知郡岩見澤町長伺
同年七月二日民第二二八二號法務局長回答)

入籍者ノ出生事項ト戸籍ニ記載

1、大正六年六月二十二日附北海道空知郡岩見澤町長ノ伺ニ對スル同年七月二日附法務局長回答ノ趣旨ハ届出ノ通則トシテ届出ノ年月日及届出人ノ資格氏名及出生年月日等ハ届書ニ之ヲ記載スルコトヲ要スルモ出生ノ場所及出生届出人ノ資格氏名並出生届出ノ年月日等ヲ記載スル必要ナク從テ入籍者ノ出生事項ハ戸籍ニ記載スル必要ナキモノトス

(大正六年八月十日北海道空知郡栗原村長伺
同年八月二十五日民第一六四七號法務局長回答)

長男ヨリ年長ノ私生子認知ノ結果長男ノ續柄ニ變更ヲ生シタル場合ト届書ノ記載方法及戸籍ノ訂正

1、(大正三年五月二十日大阪府北區戸籍吏伺
同年十二月二十八日民第一九四號法務局長回答) 第四十七條參照

第四十七條第二項ノ場合父母ノ氏名及父母トノ續柄ノ記載

1、改正戸籍法第四十七條第二項中父母ノ氏名及續柄ノ記載ノ

必要ナキヤト云フニ第十八條第七號及第五十四條ノ規定ニ依リ父母ノ氏名及父母トノ續柄ヲ記載スルコトヲ要ス

(大正三年四月三十日山口縣熊毛郡室積町戸籍吏代理助後伺
同年十二月二十八日民第八九三號法務局長回答)

第四十七條第二項ノ身分ニ變更ヲ生スル場合ト戸主ノ氏名ト記載

1、第四十七條身分ニ變更ヲ生スル場合例ヘハ父母ノ婚姻ニヨリテ他ノ市町村ニ在ル庶子カ嫡出子タル身分取得ノ場合ニ於テモ其本籍氏名ノミヲ記載シ戸主氏名ノ記載ヲ要セサルヤト云フニ戸主ノ氏名ヲ記載セサルトキハ本籍地市町村長ニ於テ戸籍ノ記載ヲ爲スコト能ハサルヘキニ付第五十四條ニ依リ之ヲ記載スヘキモノトス

(大正三年五月二十九日大阪府西區戸籍吏伺
同年十二月二十八日民第一九四二號法務局長回答)

第五十五條 第二十八條第一項及ヒ第三項ノ規定ハ届書ニ之ヲ準用ス

【實例】

届書及戸籍ノ記載ト「インキ」ノ使用

1、届書、戸籍又ハ戸籍ノ謄本若ハ抄本ノ記載ヲ爲スニハ「インキ」ヲ使用セシムヘカラス

(大正四年五月六日福井縣裁判所監督判事問合
同年七月七日民第六三八號法務局長回答)

【注意】

1、總テ「インキ」ヲ使用シ差支ナキコトニ省議變更セラレタリ(第四十六條參照)

外國在留人カ「インキ」ヲ以テ認メタル届書ト受理

1、市町村長カ外國在留邦人ノ爲シタル戸籍ニ關スル届書ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ届書カ「インキ」ヲ以テ記載セラレタルノ故ヲ以テ往々之ヲ返戻セララルル傾アルモ筆墨ノ用意ナキ外國在留者カ「インキ」ヲ使用スルハ已ムヲ得サルニ出タルモノニシテ「インキ」ヲ以テ記載シタル届書ト雖モ外國在留邦人ノ届出ニ係ルモノハ之ヲ受理スル様取計フモノトス

(大正七年四月二十四日外務省官照會
同年五月八日民第八八四號司法官回答)

「タイプライター」ヲ使用シテ作成シタル届書ト受理

1、邦文「タイプライター」ヲ使用シ作成シタル戸籍ニ關スル届書ハ其ノ受理ヲ拒ムヘキモノニアラス

炭酸紙ヲ使用シタル届書ノ受理方

1、戸籍ニ關スル届出ニ炭酸紙ヲ使用スルコトハ差許ササルモノトス

(大正七年十二月二日大阪府東成郡鶴橋町長真伺
大正八年一月十七日民第二八〇七號法務局長回答)

【注意】

1、内地ニ於テ届出ヲ爲ス場合タルト外國ニ於テ届出ヲ爲ス場合タルトヲ問ハス炭酸紙又ハ謄寫版ヲ用ヒタル届書(青色赤色ヲ除ク)カ文字鮮明ニシテ保存ニ耐ユルモノナルコトヲ認メ得ヘキトキハ之ヲ受理シ差支ナシ(省議變更)

届書ト炭酸紙謄寫版ノ使用

1、炭酸紙又ハ謄寫版ヲ用ヒタル届書カ文字鮮明ニシテ保存ニ耐ユルモノナルコトヲ認メ得ヘキ場合ニ於テハ之ヲ受理シ差支ナキモ青色赤色等ノ炭酸紙ヲ用ヒテ記載シタル字體ハ短日時ニ於テ其ノ痕跡ヲ留メサルニ至ルヘキニ依リ此等ノ炭酸紙ニヨリ記載シタル届書ハ受理セサルヲ相當トス

(先例變更) (大正九年五月十九日廣島縣御郡向島本村長伺
同年五月二十七日民第一七九四號民事局長回答)

實例判例文例人事法總覽

◎戶籍法ニ依ル屆書類ノ作成方

1、戶籍法ノ規定ニ依ル屆書類ノ作成ニ關シ炭酸紙又ハ謄寫版ヲ用ヒタル屆書モ文字鮮明ニシテ保存ニ耐ユルモノト認メ得ヘキ場合ニハ受理シテ差支ナキ旨先例變更ノ處市町村長ノ作成スヘキ戶籍又ハ除カレタル戶籍ノ謄本抄本ニ付キテモ文字鮮明ニ記載スルニ於テハ炭酸紙(赤色青色ヲ除ク)ヲ使用シテ差支ナキモノトス

(大正九年七月七日靜岡縣安宿郡長田村長何)
(大正十年三月三日民事第二四九一號民事局長何答)

◎戶籍記入事項ニ付一定ノ不動文字ノ印刷ノ使用

1、事務ノ簡捷ヲ圖ル爲メ戶籍記入事項ニ付一定ノ不動文字ノ印刷ヲ調製使用スルモ差支ナキモノトス

(大正五年二月九日福井縣裁判所監督判事問合)
(同年三月十五日民事第二二六號法務局長何答)

◎氏名記載方

1、戶籍ニ氏名ヲ記載スルニハ男子ハ總テ楷書ヲ用ウヘク女子ノ名ニ付テハ變體假名ヲ以テ屆書ノ記載ヲ爲シタルトキハ戶籍ノ記載モ亦變體假名ヲ用ウヘキモノトス但シ原戶籍ニ之ト異ル文字又ハ書體ヲ用ヒタルトキハ原戶籍ノ記載ニ從フヘキハ勿論トス

(大正七年六月七日山口區裁判所監督判事問合)
(同年九月七日民事第一九五四號法務局長何答)

◎縁組又ハ婚姻ノ屆書中訂正、挿入、削除ノ個所ニ捺印スヘキ者

1、養子縁組又ハ婚姻等ノ届出人數人アル屆書中訂正、挿入、削除シタル個所ノ捺印ハ届出人タル當事者及證人ノ全部ナル

コトヲ要ス

(大正六年一月十九日福井縣今立郡北日野村長何)
(同年四月二十六日民事第四〇八號法務局長何答)

◎民法第七百三十七條ニ依ル入籍届ハ未成年者本人ヨリ届出ツヘ

1、民法第七百三十七條ニ因ル入籍届出ハ義務者トシテノ届出ニ非サルヲ以テ戶籍法第四十九條ノ適用ナシ意思能力アル本人ノ届出ハ之ヲ受理スヘキモノトス

(大正七年五月二日愛知縣寶飯郡蒲郡町長何)
(同年五月三日民事第九六九號法務局長何答)

2、意思能力アル未成年者ノ民法第七百三十七條ニ依ル入籍届ハ其家族ト爲ラントスル未成年者自ラ之カ届出ヲ爲スコトヲ要スル旨大正七年七月十九日大阪區裁判所監督判事問合ニ對スル同年十一月二十六日民事第一六八五號回答アルモ右ハ其法定代理人ヨリノ届出ハ絶對ニ受理スヘキモノニアラス

(大正八年四月八日福岡地方裁判所長何)
(同年五月十七日民事第八八五號法務局長何答)

【文 例】

◎削除ノ場合ニ括弧ヲ附シテ記載スルノ例

.....
.....
出生ノ時 大正十年十一月(二十)五日午前七時
.....
.....

◎削除ノ場合欄外ニ削除ノ字數ヲ記載スルノ例

.....
.....
出生ノ時 大正十年十一月二十五日午前七時
.....
.....

二字削除

第五十六條

二箇所以上ノ市役所又ハ町村役場ニ於テ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ市役所又ハ町村役場ノ數ト同數ノ届書ヲ提出スルコトヲ要ス

本籍地外ニ於テ届出ヲ爲ストキハ前項ノ規定ニ依ルモノノ外尙ホ一通ノ届書ヲ提出スルコトヲ要ス

前二項ノ場合ニ於テ相當ト認ムルトキハ市町村長ハ届書ノ謄本ヲ作り之ヲ以テ届書ニ代フルコトヲ得

【學說】

◎他村ニ關スル戸籍ノ届出ト戸籍謄本ノ不添附

1、他村ニ關スル戸籍ノ届出ハ戸籍謄本ノ添附ナキモ之ヲ受理スヘキモノトス

(大正十二年十一月七日委員會) (第一科決議案(四)第一三四號)

【實例】

◎届書送付ノ途中紛失シタル場合ノ取扱方

1、市町村長カ其受付タル書類ヲ他ノ市町村長ニ送附スル途中

ニ於テ紛失セシ事ヲ發見セシ場合ニ於テハ戸籍法第五十六條第三項ニ依リ届書ノ謄本ヲ作りテ送付スルモ差支ナキモノト

ス若シ其届書類ヲ已ニ區裁判所ニ送付シタル後右紛失ノ事實ヲ發見シタルトキハ監督區裁判所ニ保存スル届書ニ付謄本ヲ作製シ之ヲ送付スヘシ

(大正四年十一月一日山口區裁判所監督判事問合) (大正五年三月十五日民第三八七號法務局長回答)

2、婚姻、離婚、縁組、離縁等ノ届書ヲ甲村ニ於テ受理シ戸籍ノ記載ヲナシ届書ノ副本ヲ乙村ニ郵送シタル途中紛失ノ爲乙村ノ戸籍ニ之レカ記載ナキコトヲ發見シタルトキハ身分登記簿ノ謄本ヲ送付シ乙村ハ之ニ基キ戸籍ノ記載ヲナスモノナリ又身分登記簿止後ハ大正三年十二月二十八日民第九九號法務局長ノ回答ニヨリ市町村長ヲシテ其ノ届書ノ謄本ヲ作ラシメ届書ニ代フルモノトス前記書類廢棄後ニ屬スルトキハ其ノ記載アル戸籍謄本ノ送付ヲ受ケ之ニ依リ記載スヘシ

(大正五年三月十七日高梁區裁判所判事問合) (同年四月二十六日民第四二〇號法務局長回答)

◎第五十六條第三項ノ「相當ト認ムルトキ」ノ解

1、第五十六條第三項ニ依レハ前二項ノ場合ニ於テ相當ト認ムルトキハ市町村長ハ届書ノ謄本ヲ作り之ヲ以テ届書ニ代フルコトヲ得ト規定アリ市町村長カ相當ト認ムヘキ場合ハ如何ナル場合ヲ謂フヘキヤト云フニ一概ニ其ノ場合ヲ限定スルヲ得サルモ例ヘハ届書カ他ノ市町村長ニ送付ノ途中紛失シ又ハ届出人カ法定ノ數ノ届書ヲ差出ササリシ場合等ニ於テ更ニ届出人ヲシテ届書ヲ提出セシムルノ煩ヲ避クルカ爲市町村長ヲシテ其ノ謄本ヲ作ラシメ之ヲ以テ届書ニ代フルノ趣旨ナリトス

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第五十六條

◎他ノ市町村長ノミカ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ場合及届書ヲ受理シタル市町村長並ニ他ノ市町村長カ本籍ノ轉屬ナクシテ其ノ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ場合ニ於ケル届書ノ通數

(大正三年五月十八日大阪市東區戸籍吏伺) (同年十二月二十八日民第九九九號法務局長回答)

1、改正戸籍法第三十一條ノ如キ二箇所以上ノ市町村長カ戸籍ノ記載ヲ爲ス可キ場合ニ關シテハ第五十六條ノ規定アルモ第三十二條ノ如キ單ニ他ノ市町村長ノミカ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ場合ニ關シテハ第五十六條ノ如キ規定ナシ右ハ第三十二條ノ場合又ハ第三十三條ニ依リ第三十二條ヲ適用スル場合ニ關シテモ第五十六條ヲ準用スヘキヤト云フニ第三十二條ハ單ニ他ノ市町村長ノミカ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ場合ヲ規定シタルモノニ非スシテ本籍ノ轉屬ナキ場合ニ於テ届書ヲ受理シタル市町村長及他ノ市町村長カ共ニ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキトキノ取扱方ヲ包含スルモノトス而シテ此ノ場合ニ於テハ第五十六條第一項及第三項ヲ適用スヘク其ノ他本籍地外ニ於テ届出ヲ爲シタル場合及問合書例示ノ場合ノ如ク他ノ市町村長ノミカ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキトキハ同條第二項及第三項ヲ適用スヘキモノトス

(大正三年十月十四日山口區裁判所監督判事代理判事問合) (同年十一月十七日民第一五九九號法務局長回答)

◎本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ノ届書ノ通數

1、本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ニ付受理シタル届書等ハ普通第四十五條、第三十三條及第二十二條ニ依リ戸籍ノ記

實例判例文例人事法總覽

載ヲ爲スヘキ事項ニ係リ戸籍ノ取扱手續完了ノ上ハ第三十六條ノ取扱ヲ爲スヘキモノナルヲ以テ第六十七條ニ依リ閱覽ヲ差許スヘク又其ノ書類ハ本籍人ニ關スルモノアリ非本籍人ニ關スルモノアルヘキハ當然ナリトス

(大正三年十二月十六日下關區裁判所監督判事問合)
(大正四年一月九日民第一九一八號法務局長回答)

◎本籍ヲ同クスル數人ノ私生子ヲ認知スル場合ノ届書ノ通數

1、私生子認知届入籍届ハ被認知者入籍者毎ニ一通ノ届書ヲ差出サシムルヲ本則トスヘキモノナルモ若シ被認知者又ハ入籍者ナ一ノ届書ニ連記シタル認知届又ハ入籍届書ヲ強テ差出シタルトキハ之ヲ却下スルコトヲ得サルヤト云フニ本籍ヲ同シクスル私生子ニ付テハ一通ノ届書ニ依リテ認知ヲ爲スコトヲ得

(大正四年四月十四日青森區裁判所監督判事問合)
(同年五月四日民第五〇八號法務局長回答)

◎入籍者數人アル場合入籍スヘキ家ノ本籍ヲ同クスル場合ト入籍届書ノ一通

1、入籍届ハ本籍ヲ同クスルモ一通ノ届書ニ數人ヲ記載スルコトヲ得サルヤト云フニ入籍スヘキ家ノ本籍ヲ同クスルトキハ一通ノ届書ニ依ルモ差支ナシ

(大正四年六月八日廣島縣廣品郡福相村助役問合)
(同年七月十三日民第九五二號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正五年二月九日福井區裁判所監督判事問合)
(同年三月十五日民第二二六號法務局長回答)

◎他ノ市町村長ニ送付シタル届書類カ途中紛失シ又ハ既ニ區裁判所ニ送付シタル場合ノ取扱方

1、市町村長カ戸籍ニ關スル届書ヲ他ノ市町村長ニ送付ノ途中紛失シタル場合ニ於テ其ノ一通ハ既ニ監督區裁判所ヘ送付シタル後ナルトキハ裁判所保管ノ届書ニ依リ謄本ヲ作成シ更ニ送付スヘキモノトス

(大正五年十二月九日敦賀區裁判所判事問合)
(大正六年一月二十日民第一九九七號法務局長回答)

◎添附書類ノ通數並ニ其ノ謄本

1、第五十六條ノ届書ニハ所要ノ添附書類ヲ各届書ノ各通ニ之レヲ添付スルコトヲ要ス

(大正三年六月二十二日九龍區裁判所監督判事問合)
(同年十一月十七日民第一一〇號法務局長回答)

2、戸籍謄本、裁判ノ謄本及醫師ノ診斷書ノ如キハ市町村長、裁判所書記又ハ醫師ノ作成セルモノヲ届書各通ニ添附セシムヘク其他ノ書類ハ一概ニ之ヲ決定スルコトヲ得ス

(大正三年六月二十二日九龍區裁判所監督判事問合)
(同年十一月十七日民第一一〇號法務局長回答)

3、第五十六條第三項ノ規定ニ依リ市町村長カ届書ノ謄本ヲ作ルヘキ場合ニ於テ添附書類モ亦市町村長ニ於テ謄寫シ差支ナキモノトス

◎大正十年七月一日以前ニ於ケル内地ノ女ト朝鮮人ノ婚姻ヨリ生シタル出生子ト其ノ就籍手續

1、大正十年七月一日以前ニ於テ内地ノ女カ朝鮮人トノ婚姻ニ依リ其ノ間ニ擧ケタル男子ヲ女ヨリ其ノ本籍地ニ出生届出ヲ爲シタルモ廣島區裁判所監督判事ニ對スル大正五年十二月十六日民第一八四六號回答ニ依リ戸籍ニ記載セラレスシテ無籍ト爲リ居レルモノアリ右出生子ハ前項同様出生届ヲ受ケ居レル村長ニ於テ該出生届書ノ謄本ヲ作り父ノ本籍地府尹又ハ面長ニ送付スヘキモノナリ

(大正四年五月六日福井區裁判所監督判事問合)
(同年七月七日民第六三八號法務局長回答)

(大正十一年六月五日日下關區裁判所監督判事問合)
(同年六月十三日民第二四四號民事局長回答)

◎第五十六條ノ場合届書ニ添附スヘキ裁判ノ謄本又ハ診斷書ノ作成及添附方

1、戸籍法第五十六條ノ届書ニ通以上ヲ要スル場合ニ於テ届書ニ添附スヘキ裁判ノ謄本又ハ醫師ノ診斷書ハ裁判所書記又ハ醫師ノ作成ニ係ルモノハ届書ノ一通ノミニ添附シ他ハ届出人ノ作成ニ係ル其謄本ヲ添附セシメ市町村長ニ於テ相違ナキコトヲ認メ之ヲ受理スルモ差支ナキモノトス但シ市町村長ニ於テ謄本ハ原本ト相違ナキコトハ附記スルヲ可トス

(大正四年五月六日福井區裁判所監督判事問合)
(同年七月七日民第六三八號法務局長回答)

2、前項ノ場合ニ於テ裁判所書記又ハ醫師ノ作成ニ係ル裁判ノ謄本又ハ診斷書ハ

- 一、死亡、廢家、隱居、廢除等ノ届書ヲ本籍地外ニ届出タルトキハ本籍地ニ送付スヘキ届書ニ添附ス
- 二、離縁、離婚等ノ届出ノ場合ニ養子又ハ妻カ他市町村ナルトキハ養親又ハ夫ノ本籍地ノ届書ニ添附ス

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第五十六條

第五十七條 口頭ヲ以テ届出ヲ爲スニハ届出人ハ市役所又ハ町村役場ニ出頭シ届書ニ記載スヘキ事項ヲ陳述スルコトヲ要ス

市町村長ハ届出人ノ陳述ヲ筆記シ届出ノ年月日ヲ記載シテ届出人ニ讀聞カセ且届出人ヲシテ其書面ニ署名捺印セシムルコトヲ要ス

届出人カ疾病其他ノ事故ニ因リ出頭スルコト能ハサルトキハ代理人ヲ以テ届出ヲ爲スコトヲ得

参考リ戸籍法一條、六條、四三條、四七條。

【實例】

◎口頭届出ノ筆記ト市町村長ノ署名捺印

1、第五十七條口頭届出筆記ノ場合市町村長ノ署名捺印ヲ要セサルモノナリ

(大正三年五月二十九日大阪市西區戸籍吏何
同年十二月二十八日民第一九九二號法務局長回答)

◎代理人ニ依リ口頭届出ヲ爲ス場合ト調書ニ其ノ氏名、本籍、出生ノ年月日ノ記載

1、代理人ヲ以テ口頭届出ヲ爲シタルトキハ代理人ハ第五十七條第二項後段ノ規定ニ依リ書面ニ其ノ氏名ヲ署スヘク其ノ本

籍及出生ノ年月日ハ第五十九條ノ規定ニ依リ之ヲ記載スヘキモノトス(第四十七條第一項第三號)

(大正三年五月二十日大阪市北區戸籍吏何
同年十二月二十八日民第一九九四號法務局長回答)

◎戸籍法第五十七條第三項後段ノ規定ニ依リ代理人出頭ノ場合ト委任狀ノ持參

1、戸籍法第五十七條第三項後段ノ規定ニ依リ代理人出頭ノ場合ハ委任狀持參者ニアラサレハ受理スルコトヲ得サルモノトス

戸二區(九一)

◎婚姻又ハ離婚ノ當事者ノ一方カ病氣ノ場合市町村長ニ對シ出張ヲ申出タルトキト市町村長ノ當事者ノ陳述ヲ錄取シ調書ノ作成

(大正五年三月二十八日愛知縣寶飯郡蒲郡町長稟何
同年六月七日民第四六五號法務局長回答)

1、婚姻又ハ協議離婚ノ當事者ノ一方カ病氣ノ爲メ署名ヲ爲スコト能ハサル爲メ書面ニ依リ届出ヲ爲スコトヲ得ス又口頭届出ノ爲メ市役所又ハ町村役場ニ出頭スルコトヲ得サル場合ニ於テ其ノ届出ヲ爲スタメ當事者ノ一方ヨリ病床ニ臨場方ヲ申出タルトキハ出張シテ當事者ノ陳述ヲ錄取シ調書ヲ作成スルノ取扱ヲ爲スコトヲ得ルモノナリ

(大正五年九月十九日福井縣坂井郡芦原村長稟何
同年十一月六日民第一四五〇號法務局長回答)

實例判例文人事法總覽

第五十八條 届出事件ニ付キ戸主、父母、後見人、親族會其他ノ者ノ同意、承諾又ハ承認ヲ要スルトキハ届書ニ其同意、承諾又ハ承認ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス但同意、承諾又ハ承認ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ其旨ヲ附記シ署名、捺印セシムルヲ以テ足ル

届出事件ニ付キ官廳ノ許可ヲ要スルトキハ届書ニ許可書ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

参考ニ民法七三七條、七三八條、七四一條、七四三條、七五〇條、七五一條、七五二條、七五三條、七五五條二項、八九五條。

【學說】

◎裁判所ノ許可ヲ得テ隠居ヲ爲ス場合ニ於ケル隠居者ト指定ノ家督相續人ノ承認書添附ノ要否

1、民法第七百五十三條但書ノ規定ハ隠居許可ノ申請要件ナルカ故ニ從テ非訟事件手續法第九十條第二項ノ規定ヲ存スルモノナリトス而シテ隠居ノ届出ニ付テハ戶籍法第五十五條所定ノ事項ヲ記載スルヲ以テ足ルヘク別ニ同法第五十八條ニヨリ承認ヲ證スル書面ヲ添附スルノ要ナシ普通隠居ノ場合ニ於テハ民法第七百五十二條第一、二號ノ要件ヲ具備スルニアラサレハ隠居ヲ爲スコトヲ得サルモ第七百五十三條ノ場合ニ於テハ裁判所ノ許可カ隠居ノ要件ニ外ナラサレハ戶籍法第五十八

條第二項ニヨリ許可書ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要スヘキモ普通隠居ノ場合ニ於ケル如ク相續人ノ承認ヲ證スル書面ノ添附ノ要ナキハ上述ノ如ク隠居ノ要件ト隠居許可ノ申請要件ノ差異アルニ依ルモノトス而シテ裁判所ノ許可ニヨル隠居ノ場合ニ於テハ相續人ハ民法第二十七條ノ期間内ニ單純又ハ限定ノ承認ヲ爲スコトヲ要スヘキハ勿論ナルモ隠居ノ許可ヲ申請スルニ當リ家督相續人タルヘキコトヲ承認シタルコトニヨリテ羈束セラルルモノナリトス

(大正七年七月六日法曹會議決議) (法曹記事二八卷九號三三頁)

【實例】

◎民法第七百三十七條及同第七百八十三條ニ依ル入籍ノ届出ヲ爲スヘキ者

1、民法第七百三十七條又ハ第七百三十八條ニ依ル届出ハ義務者トシテノ届出ニ非ス届出ニ因リテ效力ヲ生スヘキ事項ニ關スルヲ以テ届出義務者ニ關スル戶籍法第四十九條ヲ適用スヘキ限ニ在ラス從テ其ノ届出ハ第五十八條ニ依ル手續ヲ爲シ家族ト爲ラントスル者又ハ家族ト爲サントスル者ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

【同趣旨】

(大正四年三月九日北海道空知郡岩見澤町長稟伺) (同年四月二十三日民第三九二號法務局長回答)

(大正七年二月二十三日佐賀縣西松浦郡西山代村長伺) (同年三月二十一日民第四九二號法務局長回答)

(大正七年五月二日愛知縣寶飯郡蒲郡町長伺) (同年五月三日民第九六九號法務局長回答)

(大正七年七月十九日大阪區裁判所監督判事問合) (同年十一月二十六日民第一六八五號法務局長回答)

2、意思能力アル未成年者ノ民法第七百三十七條ニ依ル入籍届ハ其ノ家族ト爲ラントスル未成年者自ラ之カ届出ヲ爲スコトヲ要スル旨大正七年七月十九日大阪區裁判所監督判事問合ニ對スル同年十一月二十六日民第一六八五號ノ回答ノ趣旨ハ法定代理人ヨリノ届出ハ絕對ニ受理スヘキモノニアラストノ趣旨ナリトス

(大正八年四月八日福岡地方裁判所長問合) (同年五月十七日民事第八八五號民事局長回答)

第一編 戶籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第五十八條

3、前項入籍届ト同シク届出ニヨリテ效力ヲ生スル分家廢絶家再興家督相續人指定並轉籍届モ前項同一ノ結論ニ出ツヘキモノナリヤ大阪區裁判所監督判事問合ニ對スル同示ニ依レハ「未成年者モ自ラ此等ノ届出ヲ爲スコトヲ得ヘシ」トアリテ其文詞ヨリ觀ルルトキハ法定代理人ヨリモ亦之カ届出ヲ爲スコトヲ得ヘキ趣旨ナリヤト云フニ分家廢絶家再興家督相續人ノ指定轉籍ニ付テモ前項ノ趣旨ニ準シ其ノ届出ハ戶籍法第五十八條ニ依ル手續ヲ爲シ未成年者自ラ之ヲ爲スコトヲ要ス

(大正八年四月八日福岡地方裁判所長問合) (同年五月十七日民事第八八五號民事局長回答)

◎意思能力ナキ未成年戸主ハ法定代理人ニ依リ轉籍届ヲ爲スコトヲ得

1、法定代理人ハ意思能力ナキ有セサル戸主ニ代リテ轉籍届ヲ爲スコトヲ得

(省議變更) (大正五年五月十五日岐阜縣大野郡高山町長問合) (同年五月十五日民第一〇八二號法務局長回答)

【參照】

2、未成年戸主ニシテ意思能力ナキトキハ法定代理人ニ於テ轉籍届ヲ爲スコトヲ得ス

(大正四年六月八日愛媛縣西宇和郡八幡濱町長伺) (同年六月二十六日民第九四八號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正四年十月二十七日長岡縣裁判所監督判事問合) (同年十一月八日民第一七〇號法務局長回答)

◎添附書類ノ通數並ニ其ノ謄本

1、届書ノ添附書類ハ届書ノ各通ニ之ヲ添附セシムヘシ戸籍謄本、裁判ノ謄本及醫師ノ診断書ノ如キハ市町村長、裁判所書記又ハ醫師ノ作成セルモノヲ届書各通ニ添附セシムヘク其ノ他ノ書類ハ一概ニ之ヲ決定スルコトヲ得ス但シ第五十六條第三項ノ規定ニ依リ市町村長カ届書ノ謄本ヲ作ルヘキ場合ニ於テ添附書類モ又市町村長ニ於テ謄寫シ差支ナシ

(大正三年六月二十二日丸龜區裁判所監督判事問合) 同年十一月十七日民第一一〇號法務局長回答

2、戸籍法第五十六條ノ届書ニハ戸籍謄本、裁判ノ謄本及醫師ノ診断書ノ如キ添附書類ハ届書ノ各通ニ添附セシムヘキモノナルコト丸龜區裁判所監督判事ノ問合ニ對スル大正三年十一月十七日第一一〇號ヲ以テ回答ノ趣旨ハ其後變更セラレサルモノトス

(大正四年一月二十七日高松區裁判所監督判事問合) 同年二月十三日民第一七五號法務局長回答

◎第五十六條ノ場合届書ニ添附スヘキ裁判ノ謄本又ハ診断書ノ作成及添附方

1、戸籍法第五十六條ノ届書ニ通以上ヲ要スル場合ニ於テ届書ニ添附スヘキ裁判ノ謄本又ハ醫師ノ診断書ハ裁判所書記又ハ醫師ノ作成ニ係ルモノハ届書ノ一通ノミニ添附シ他ハ届出人ノ作成ニ係ル其ノ謄本ヲ添附セシメ市町村長ニ於テ相違ナキ

コトヲ認メタルトキハ之ヲ受理シ差支ナキモノトス但シ市町村長ニ於テ謄本ニ原本ト相違ナキコトヲ附記スルヲ可トス

(大正四年五月六日福井區裁判所監督判事問合) 同年七月七日民第六三八號法務局長回答

2、前項ノ場合ニハ裁判書記又ハ醫師ノ作成ニ係ル裁判ノ謄本又ハ診断書ハ左ノ方法ニ依リ届書ニ添附ス

- 一、死亡、廢家、隱居、廢除等ノ届書ヲ本籍地外ニ届出タルトキハ本籍地ニ送付スヘキ届書ニ添附ス
- 二、離縁、離婚等ノ届出ノ場合ニ養子又ハ妻カ他市町村ナルトキハ養親又ハ夫ノ本籍地ノ届書ニ添附ス

(大正四年五月六日福井區裁判所監督判事問合) 同年七月七日民第六三八號法務局長回答

◎第五十八條第二項ノ官廳ノ許可ニハ裁判ヲ包含ス

1、新法第五十八條第二項官廳ノ許可ニハ裁判所ノ裁判ヲモ包含スルモノナリ從テ裁判所ノ許可ヲ得テ廢家又ハ隱居ノ届出ヲ爲ス場合ニ裁判ノ謄本ヲ添附セシムヘキモノナリ

(大正三年七月二十九日長岡區裁判所監督判事問合) 同年十一月十七日民第一二七號法務局長回答

◎隱居届ニ添附スヘキ書類

1、新法第一百十五條隱居ヲ爲ス場合ニ舊法ハ第二百十條及同第二百一十一條ノ場合夫々謄本又ハ承認ノ證書等ヲ添附スヘク規定シタルモ新法ニ於テハ是等規定ヲ認メズ右ノ隱居ノ原因トシテ例ヘハ「裁判所ノ許可ヲ得テ云々」或ハ「家督相續人ノ承認ヲ得テ云々」ト記載セシメ別段謄本承認證書ヲ提出セシムルヲ要セサルモノナリヤト云フニ隱居ノ届書ニハ第五十八

意ニ關スル規定ヲ適用セシテ差支ナキモノトス

(大正五年十月十一日靜岡區裁判所監督判事問合) 同年十一月十三日民第一五六號法務局長回答

◎親族會員、特別代理人、後見監督人ヨリ届出ト其ノ資格ヲ證スル書面ノ添附

1、親族會員タルノ資格ヲ以テ届出人ト爲リ又ハ同意者ト爲リ或ハ選定者タル場合ノ届出事件ニハ其ノ親族會員タル資格ヲ證スル書面即チ裁判所ノ親族會員選定ノ裁判ノ謄本ヲ添附セシムヘキモノナリ

(大正五年十二月八日福井市長稟伺) 大正六年二月二十三日民第三七九號法務局長回答

2、特別代理人又ハ後見監督人タル資格ニ於テ前項同様ノ場合其ノ資格ヲ證スル爲メ親族會ノ選任證明書等ヲ添附セシムヘキモノナリ

(大正五年十二月八日福井市長稟伺) 大正六年二月二十三日民第三七九號法務局長回答

◎民法第八百八十八條ニ規定セル利益相反ノ行爲ノ届出ヲ爲ス場合ノ添附書類

1、意思能力ヲ有スル未成年戸主カ親權ヲ行フ實母チ家督相續人ニ指定シ其ノ届出ヲ戸籍法第四十九條第一項ニ依リ被指定者ナル親權者ヨリ爲シタル場合ニアリテハ事實ノ如何ニ拘ラズ利益相反スル行爲ト看做シ民法第八百八十八條ニ依リ特別代理人「親權ヲ行フ繼父嫡母ナル時ハ民法第九百十五條第四號ニ依リ親權監督人」ノ同意ナキ届出ハ絕對ニ受理スルコトヲ得サルヤト云フニ民法第八百八十八條ニ規定セル利益相反

◎民法第八百七十六條ニ依リ夫カ選擇ニ依リ離縁又ハ離婚ヲ爲ス場合ニ於ケル届書ノ添附書類

1、民法第八百七十六條ノ規定ニ依リ妻カ離縁ニ因リテ養家ヲ去ルヘキ場合夫カ其ノ選擇ニ依リテ離縁又ハ離婚ヲ爲スニハ夫ノ一方行爲ニ依リ爲スヘキモノト思考ス然ルトキハ其ノ届出ニ就テハ戸籍法第五十一條第五十八條第一項ノ證人又ハ同

條ノ規定ニ依リ裁判所ノ許可ノ謄本、關係人ノ承認書、同意書ヲ添附スヘキモノトス

(大正三年六月五日群馬縣利根郡利南村長伺) 大正四年一月九日民第一〇九號法務局長回答

2、指定家督相續人アルモノ裁判所ノ許可ヲ得テ隱居ヲ爲ス場合既ニ裁判所ニ對シ(民法第七五三條非訟第九〇條二項)相續承認ヲ爲シ居ルニ付市町村長ニ對シ重ネテ相續承認届ノ添附ヲ要セサルヤト云フニ隱居ノ届書ニハ戸籍法第五十八條ノ規定ニ依リ裁判所ノ許可ノ裁判ノ謄本及相續承認書ヲ添附スルコトヲ要ス

(大正五年九月十一日廣島縣產品郡福相村長代理助役伺) 同年十一月十一日民第一五二三號法務局長回答

◎禁治産及準禁治産ノ場合ニ於ケル後見及保佐人ノ就職届ニハ裁判ノ謄本ヲ添附セシムヘシ

1、禁治産ニ依ル後見開始準禁治産ニ依ル保佐人就職ノ各届出ニハ何レモ宣告裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要スルヤト云フニ裁判ノ謄本ヲ添附セシムヘシ

(大正五年九月十九日福井縣坂井郡蘆原村長稟伺) 同年十月二十一日民第一四四八號法務局長回答

實例判例文例人事法總覽

スル行爲ノ終局的ノ認定ハ裁判所之ヲ爲スヘク市町村長ニ於テ之ヲ判斷スヘキモノニ非スト雖モ問合書面ノ場合ニ於テハ市町村長ハ屆書ニ特別代理人ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附セシメ又ハ同意ノ旨ヲ附記セシムヘク其ノ同意ナキ届出ハ之ヲ受理セサルヲ相當トス

(大正六年五月三十一日大阪市北區長問合
同年六月二十六日民第一一三三號法務局長問合)

◎後見人カ被後見人タル法定ノ推定家督相續人ノ爲メノ家督相續届ト親族會ノ同意書ノ添附

1、法定ノ推定家督相續人ハ必ス家督相續ヲ爲ササルヲ得サルモノニシテ親族會ハ單ニ其ノ相續ノ單純若ハ限定ノ承認ニ對シテ同意ヲ爲スニ過キスシテ家督相續其ノモノノ許否ヲ決スルモノニ非サルヲ以テ親族會ノ同意ハ戶籍法第五十八條ノ所謂届出事件ニ付爲シタルモノト言フコトヲ得サルニ付從前ノ省議ハ戶籍法ノ改正ニ依リテ變更セラルルコトナシ又相續ノ登記ニ付テモ同一ノ理由ニ依リ親族會ノ同意證書ヲ提出セシムルコトヲ要セサルモノトス

(大正七年一月十九日青森地方裁判所長問合
同年二月二十日民第一四三號法務局長問合)

◎市町村長カ同意ノ欠缺セル屆書ヲ受理シタル場合ノ手續

1、市町村長カ左ノ各號ノ同意ノ欠缺セル届出ヲ誤テ受理シ戶籍記載ノ後其ノ欠缺セルコトヲ發見(屆書カ市町村役場ニ在ル間ト否トヲ問ハス)シタルトキハ同意ヲ爲スヘキモノカ事實上同意ヲ與ヘ居リシモノニテ其者ヨリ既ニ同意ヲ爲セシモ

ノナルコトノ書面ヲ徴シ得ヘキトキハ戶籍訂正手續ヲ爲スヘキモノニアラス

(イ) 庶子又ハ私生子ノ出生届ニ要スル入ルヘキ家ノ戸主ノ同意

(ロ) 私生子認知届ニ要スル入ルヘキ家ノ戸主ノ同意

(ハ) 分家他家相續又ハ廢絶家再興ノ届ニ要スル去ルヘキ家ノ親權者若クハ後見人又ハ戸主ノ同意

(ニ) 分家届ニ要スル十五年以上ノ直系卑屬ノ同意

(ホ) 民法第七百三十七條ノ入籍届ニ要スル戸主親權者又ハ後見人ノ同意

(ヘ) 同第七百三十八條ノ入籍届ニ要スル戸主親權者後見人配偶者又ハ養親ノ同意

(ト) 同第九百三十四條但書ノ届出ニ要スル親族會ノ同意

(大正六年十二月十三日山口縣厚狭郡須惠村長問合
大正七年五月十一日民第六一三號法務局長問合)

◎親權者ノ同意ヲ缺キタル未成年者ノ分家届ノ效力

1、甲町役場管内本籍人ニシテ未成年者タル丙某(明治三十一年十二月十二日生)乙村役場管内(分家スルニ當リ親權者ノ同意ヲ得スシテ自ラ届出ヲ爲シタリ)乙村長ハ違法ナル此届出ヲ受理シ分家ノ戶籍ヲ編製シ届書一通ヲ甲町役場ヘ廻送シタルニ甲町長ハ未成年者ノ分家届ナルニ親權者ノ同意ナキノ故ヲ以テ該届書ノ受理ヲ肯セス(未成年者ノ分家ニ關シテハ明治三十一年十一月十日民刑第一五五二號、大正二年八月十三

日民第四六六號回答)乙村長ノ取扱ハ固ヨリ不適法ナルモ一旦分家届ヲ受理シ戶籍ヲ編製シタル上ハ分家ハ其儘ニ致シ置キ届書ニ其ノ事情ヲ附シ甲町役場ニ廻送シ甲町長ハ右届書ヲ受理シ分家者除籍ノ手續ヲ爲シ差支無キヤ又ハ假令届書ヲ受理シ戶籍ヲ編製スルニ至リタルモ元來違法ノ届出ナルニ因リ甲町長ハ乙村長ヨリ廻送ノ届書ヲ受理シテ除籍ノ手續ヲ爲スヲ得ス從テ乙村長ハ監督裁判所ノ許可ヲ得テ已ニ編製シタル分家ノ戶籍ヲ抹消スヘキモノナルヲ云フニ親權者チシテ届書ニ同意ノ旨ヲ追記セシメ又ハ其ノ同意證書ヲ追徴シタル上先ニ返戻セラレタル届書ヲ甲町長ニ再送スヘク同町長ハ之ニ基キ丙某除籍ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

(大正七年七月十六日大田原區裁判所判事問合
同年九月十六日民第一五九七號法務局長問合)

◎意思能力ヲ有スル未成年戸主ノ入籍、轉籍、廢家、家督相續人ノ指定ト法定代理人ノ同意書ノ添附

1、民法第七百三十七條ニヨル届出ハ義務トシテノ届出ニ非ス届出ニ因リテ效力ヲ生スヘキ事項ニ關スルヲ以テ届出義務者ニ關スル戶籍法第四十九條ヲ適用スヘキ限ニ在ラス從テ其ノ届出ハ第五十八條ニヨル手續ヲ爲シ家族ト爲ラムトスル者ヨリ之ヲ爲スコトヲ要スルコトニ省議決定シ居レリ

(大正七年七月十九日大阪區裁判所監督判事問合
同七年十一月二十六日民第一六八五號法務局長問合)

2、民法第七百三十七條ニ依ル入籍ニ付未成年者自ラ届出ヲ爲スヘキモノトセハ未成年者ノ分家廢絶家再興又ハ未成年戸主

第一編 戶籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第五十八條

◎未成年者入籍届ト法定代理人ノ届出

1、意思能力アル未成年者民法第七百三十七條ニ依ル入籍届ハ其ノ家族ト爲ラントスル未成年者自ラ之カ届出ヲ爲スコトヲ要スル旨(大正七年七月十九日大阪區裁判所監督判事問合ニ對スル同年十一月二十六日民第一六八五號)ノ回答ノ趣旨ハ其ノ法定代理人ヨリノ届出ハ絕對ニ受理スヘキモノニアラス

(大正八年二月二十一日廣島縣安佐郡山本村長問合
同年三月二十八日民第七一〇號法務局長問合)

ノ家督相續人指定ノ届出モ未成年者自ラ爲スヘキモノナルヤ又ハ親族入籍ノ届出ハ未成年者ト雖モ自ラ爲スヘキモノナルニ於テハ親族入籍ト同シク届出ニ因リ效力ヲ生スル轉籍届出モ亦未成年者本人ヲシテ爲サシムヘキヤ或ハ法定代理人チシテ爲サシムヘキヤト云フニ意思能力アル未成年者ノ分家、廢絶家再興家督相續人ノ指定、轉籍ノ如キ届出ニ付テハ未成年者自ラ此等ノ届出ヲ爲スコトヲ得ヘシ

(先例變更) (大正七年七月十九日大阪區裁判所監督判事問合
同年十一月二十六日民第一六八五號法務局長問合)

3、意思能力ヲ有スル未成年ノ戸主カ轉籍廢家家督相續人ノ指定ヲ爲スニ法定代理人ノ同意ヲ要ス規定ナキニ付キ此等ノ届書ニハ右ノ同意書ハ添附スルコトヲ要セサルヤト云フニ未成年者ノ爲ス行爲ニ付テハ原則トシテ法定代理人ノ同意ヲ得ルコトヲ要スルモノナルヲ以テ例示ノ如キ行爲ニ付テモ法定代理人ノ同意ヲ得ルコトヲ要スヘク從テ其ノ届書ニハ同意書ノ添附ヲ要ス

2、右入籍届ト同シク届出ニヨリテ效力ヲ生スル分家廢絶家再興家督相續人指定並轉籍届モ前項同一ノ趣旨ニ準シ戶籍法第五十八條ニ依ルヘキモノトス

(大正八年四月八日福岡地方裁判所長問合
同年五月十七日民事第八八五號民事局長回答)

◎利益相反スル行為ト特別代理人ノ同意

1、左記(ロ)ノ場合ヲ除クノ外ハ利益相反スル行為トシテ特別代理人ノ同意ヲ要ス

(イ)未成年者戸主ノ甲ニ親權ヲ行フ母乙カ戸主甲ノ弟ニシテ十五年未滿ノ丙ノ養子縁組ヲ代リテ承諾スル場合戸主甲カ爲スヘキ縁組ノ同意

(ロ)前項丙カ滿十五年以上ノ未成年者ニシテ母乙カ縁組ノ同意ヲ爲ス場合ニ於ケル戸主ノ縁組ノ同意

(ハ)未成年者戸主ノ親權ヲ行フ母ノ私生子出生届出ニ爲スヘキ戸主ノ同意

(大正九年七月七日福岡縣安部郡長田村長稟問
大正十年三月三日民事第二四九一號民事局長回答)

◎未成年者戸主ノ親權者タル母ノ私生子ノ入籍ト利益反スルヤ否

1、未成年者戸主ニ對シ親權ヲ行フ母カ自己ノ私生子ノ出生届ヲ爲シ戸主ノ家ニ入籍セシムルニ付戸主ニ代リテ同意ヲ爲ス

【判例】

◎戸主カ家族ノ婚姻届出ニ豫メ同意ト其ノ效力

1、戸主カ家族ノ婚姻ノ届出ニ付キ豫メ同意ヲ爲シタル時ハ婚姻ノ届出以前ニ於テ一家ノ維持發達ニ悖戻スル重大ノ事由カ

場合戸主ト母トノ利益相反スルニ於テハ民法第八百八十八條ノ適用アルコトハ當省議ノ決定スル處ナルモ利益相反スルヤ否ヤハ專ラ事實問題ニ屬スルヲ以テ各事案ニ付事實關係ヲ審査シテ之ヲ決スルコトヲ要ス然モ市町村長カ其ノ決定ヲ爲スハ事實困難ナルヘキヲ以テ親權者タル母ノ同意書ニ重ナル親族又ハ縁故者カ連署シタル同意ノ書面ヲ提出セシメタル上届出ヲ受理スルヲ相當トス從テ稟伺ノ場合ニ於テモ此ノ趣旨ニ基キ重ナル親族又ハ縁故者ノ同意書ヲ追徴シタル上之ヲ添附シ届書再送スヘキモノトス

(大正十一年五月三十日前橋市長稟問
同年六月五日民事第二二八號民事局長回答)

◎内地ノ女ト朝鮮ノ男トノ離婚ノ場合夫ノ戸主カ父母等ノ同意ノ要否

1、内地人ノ女ト朝鮮人ノ男トノ離婚ノ場合ニ於テ夫ノ戸主カ父母等ノ同意ノ要否ニ付テハ朝鮮ノ慣習ニ依ルヘキモノトスルモ之等不明ナルトキハ大正八年六月二十日大阪區裁判所監督判事問合ニ對スル回答第十六項ノ趣旨ニ依リ當事者ヲシテ欠缺ナキコトヲ證明セシメ受理スヘキヤト云フニ離婚ニ關スル朝鮮ノ慣習ハ當事者ヲシテ之ヲ證明セシムルカ又ハ市町村長職權ヲ以テ之ヲ調査ヲ爲シタル上受理スヘシ

(大正十三年一月三十一日伊丹區裁判所判事稟問
同年三月五日民事第二三三號民事局長回答)

婚姻合意者ニ發生シタル場合ニ非サル限り濫リニ其ノ同意ヲ取消スコトヲ得サルモノトス

(大審院大正十二年十二月二十七日判決
法律評論一三卷民法一八七頁)

第五十九條 届書ニ關スル規定ハ第五十七條第二項及ヒ前條第一項ノ書面ニ之ヲ準用ス

參考ハ戶籍法五七條、五八條。

【實例】

◎代理ニ依リ口頭届出ヲ爲ス場合ト調書ニ其ノ氏名、本籍、出生年月日ノ記載

1、代理人ヲ以テ口頭届出ヲ爲シタルトキハ代理人ハ第五十七條第二項後段ノ規定ニ依リ書面ニ其ノ氏名ヲ署スヘク其ノ本籍及出生ノ年月日ハ第五十九條ノ規定ニ依リ之ヲ記載スヘキモノトス(第四十七條第一項第三號)

(大正三年五月二十日大阪市北區戶籍吏問
同年十二月二十八日民事第一九九四號法務局長回答)

◎口頭届出ノ筆記ト市町村長ノ署名捺印

1、第五十七條口頭届出筆記ノ場合市町村長ノ署名捺印ヲ要セサルモノナリ

(大正三年五月二十九日大阪市西區戶籍吏問
同年十二月二十八日民事第一九九二號法務局長回答)

◎南洋諸島在留者ト南洋廳長ニ於テ受クル戶籍ニ關スル届書類

1、日本政府ニ於テ管理ヲ爲ス南洋諸島在留者ニシテ南洋廳長ニ於テ受ケタル戶籍ニ關スル届書類ノ送附ヲ受ケタルトキハ

第一編 戶籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第五十九條

朝鮮臺灣在住者ト同一ニ取扱ヲ爲スヘキモノトス

(大正十一年七月二十八日福岡地方裁判所長問合
同年八月七日民事第三〇五七號民事局長回答)

◎數人ノ届出人ヨリ爲シタル届書ニ欠缺アル場合

1、婚姻又ハ養子縁組ノ如キ數人ノ届出人ヨリ爲シタル届書ニ欠缺アル場合ノ追完届ハ其ノ届出人ノ全員ヨリ爲サシムヘキモノナルヤ將タ届出人一人ヲシテ爲サシムヘキヤト云フニ婚姻又ハ養子縁組ノ效力ニ影響ヲ及ホスヘキ事項ノ欠缺ニ付テハ總テノ届出人ヨリ其ノ追完ヲ爲スヘク其ノ他ノ事項ノ欠缺ニ付テハ届出人一人ヲシテ爲サシムヘキモノトス

(大正八年六月二十六日大阪區裁判所監督判事問合
民事局長回答)

第六十條

外國ニ在ル日本人ハ本法ノ規定ニ從ヒ其國ニ駐在スル

日本ノ大使、公使又ハ領事ニ届出ヲ爲スコトヲ得

参考ニ國籍法一條、三條、四條、五條、一三條。

【實例】

◎在外邦人カ歸國後證書ノ謄本ヲ直接市町村長ニ差出シタルトキト之カ受理方

1、外國ニ在ル日本人カ其國ノ方式ニ從ヒ届出事件ニ關スル證書ヲ作ラシメタル場合ニ於テ其國ニ駐在スル日本ノ大使公使又ハ領事ニ其證書ノ謄本ヲ差出サス日本ニ歸リタル後本籍地市町村長ニ其證書ノ謄本ヲ提出スルコトヲ得ルヤト云フニ日本ノ大使、公使又ハ領事カ其國ニ駐在スルトキハ之ニ證書ノ謄本ヲ提出スルコトヲ要シ若大使、公使又ハ領事カ其國ニ駐在セサルトキハ本籍地ノ市町村長ニ證書ノ謄本ヲ發送スルコトヲ要スルモ既ニ本人カ此ノ手續ヲ爲サスシテ歸國ノ上證書ノ謄本ヲ直接市町村長ニ差出シタルトキハ其儘之ヲ受理スヘキモノトス

(大正三年四月三十日山口縣熊毛郡室積町戸籍吏代理助役何
同年十二月二十八日民第八九三號法務局長回答)

第六十一條

外國ニ在ル日本人カ其國ノ方式ニ從ヒ届出事件ニ關スル證書ヲ作ラシメタルトキハ一个月内ニ其國ニ駐在スル日本ノ大使、公使又ハ領事ニ其證書ノ謄本ヲ提出スルコトヲ要ス

大使、公使又ハ領事カ其國ニ駐在セサルトキハ一个月内ニ本籍地ノ市町村長ニ證書ノ謄本ヲ發送スルコトヲ要ス

市町村長ニ證書ノ謄本ヲ發送スルコトヲ要ス

【實例】

◎在米人間ノ婚姻ニ付駐在領事ヨリ米國官憲ノ婚姻許可書ト牧師ノ婚姻證書ヲ本籍地市町村長ヘ送付アリシ場合ノ手續

1、在米邦人間ノ婚姻ニ付米國官憲ノ婚姻許可證ト牧師ノ婚姻證明書トヲ其國ニ駐在スル領事ニ提出シ同領事ヨリ之ヲ當事者ノ本籍地ノ市町村長ヘ送付シ來レリ市町村長ハ該書面ニ基キ戸籍ノ記載ヲ爲シ得ヘキヤト云フニ米國ハ或州ヲ除ク外婚

姻ニ付テハ法律婚宗教婚擇一主義ヲ採レル趣ナルヲ以テ我邦人ト雖モ彼ノ地ニ於テ婚姻スル場合ハ法令第十三條但書ノ規定ニヨリ法律婚タルト宗教婚タルトヲ問ハス彼ノ地ノ方式ニ從テ婚姻シタル場合其ノ婚姻ハ有效ニ成立スヘキニヨリ當事者カ宗教婚ヲ擇ヒ彼ノ地ノ方式ニ則リ宗教上ノ婚禮ノ儀式ヲ

擧ケタル場合ニ於テ其ノ儀式ノ行ハレタルコトヲ見ルニ足ルヘキ證明書ノミ提出セハ婚姻關係ヲ戸籍ニ登載スヘキ筋合ナルヲ以テ本件ノ如キ場合ニ於テモ宗教婚ノ完全ニ行ハレタルモノトシテ該書面ニ基キ直ニ登載ノ手續ヲ爲スモ可ナリトス
(大正八年五月十六日愛媛縣溫泉郡雄群村長稟何
同年六月四日民事第一三八八號民事局長回答)

第六十二條 大使、公使又ハ領事ハ前二條ノ規定ニ依リ受理シタル書類ヲ一个月内ニ外務大臣ニ發送シ外務大臣ハ十日内ニ之ヲ本人ノ本籍地ノ市町村長ニ發送スルコトヲ要ス

參考 戶籍法六〇條、六一條。

第六十三條 届出期間ハ届出事件發生ノ日ヨリ之ヲ起算ス
 裁判確定ノ日ヨリ期間ヲ起算スヘキ場合ニ於テ裁判カ送達又ハ交付前確定シタルトキハ其送達又ハ交付ノ日ヨリ之ヲ起算ス

參考 戶籍法六四條。

【實例】

◎期間ノ末日カ一般ノ休日ナルトキハ其ノ翌日ヲ以テ期間満了ノ日トス

1、改正法第六十三條第一項ハ届出事件ノ發生ノ日ヨリ之ヲ起算ストアルモ若シ終日カ一般休日ナル場合ハ其ノ翌日ヲ以テ期間満了ノ日トナスモノトス

(大正三年七月十八日香川縣三豊郡和田村戶籍吏伺
 同年十一月十七日民第一二三三號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正三年十二月三日山口區裁判所監督判事問合
 大正四年一月十一日民第一八〇號法務局長回答)

2、改正法第六十三條ノ規定ハ現行法第六十二條ト同一ナリ從テ届出期間満了ノ日カ一般休日又ハ祭日ニ當ルモ其ノ日ヲ以テ満了ノ日ト爲スヘキコトハ明治三十一年八月十九日滋賀縣甲賀郡三雲村戶籍吏伺同年九月五日民刑第一一四號民刑局長回答ナリシモ今後ハ届出期間満了ノ日カ一般休日ニ當ルトキハ其ノ翌日ヲ以テ期間満了ノ日ト爲スヘシ

【省議決定】

(大正三年十二月五日名古屋區裁判所監督判事問合
 大正四年一月十四日民第一八〇五號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正三年十一月二十六日青森區裁判所監督判事問合
 大正四年一月十五日民第一七五七號法務局長回答)

◎新戶籍法施行前ニ發生シタル届出事件ノ期間計算方

1、戶籍法施行以前ニ發生シタル届出事件ニ付テハ施行ノ日ヨリ起算シ戶籍法所定ノ期間ヲ經過スルモ届出ヲ爲サ、ルトキハ同法ノ催告及罰則ヲ適用スヘキヤ(舊戶籍法罰則ノ適用ニ關シ明治三十一年八月一日沖繩縣八重山間切戶籍吏ノ伺ニ對スル同年九月三十日民刑第一一九五號民刑局長回答)ハ施行以前ニ發生シタル届出事件ハ其ノ届出ヲ忘ルモ之ヲ罰スルトコトヲ得サルニ因リ通知ニ及ハストアリ)新法施行ニ當リ如何ニ取扱フヘキヤト云フニ戶籍法施行前舊法ニ依ル届出期間ヲ經過シタル場合ハ舊法ニ依リ否ラサル場合ハ事件發生ノ日ヨリ起算シ新法所定ノ期間満了ノ後催告及處罰ノ手續ヲ爲スヘシ

實例判例文例人事法總覽

2、戸籍法施行以前ニ發送シタル戸籍ニ關スル一切ノ届書(從前ノ規則ニテハ届出人所在地ノ村事務所ニ届出ツルヲ以テ本籍ヲ取扱フ間切役場ニ差出シタルモノト看做セリ)ニシテ本籍施行後戸籍役場ニ到達シタル場合ハ本法ニ規定セル事項悉ク記載セサルモ該届書ハ規則ニ適合シタルモノナレハ戸籍法ニ適合セサルモノアルモ之ヲ受理シテ登記ヲ爲シ其ノ不明ノ箇所ハ記入スルニ及ハサルモノナリヤト云フニ此ノ場合ハ登記上差支アルヲ以テ却下スヘキモノトス

(明治三十一年八月一日沖繩縣八重山郡間切戸籍吏伺
同年九月二十日民事第一一九五號民事局長回答)

3、前項届書受理ノトキ既ニ届出期限經過セシモノアル場合ハ直ニ管轄區裁判所ヘ通知スヘキヤト云フニ戸籍法施行以前ニ發生シタル届出事件ハ其届出ヲ怠ルモ之ヲ罰スルコトヲ得サルニ因リ區裁判所ニ通知スルニ及ハス

(明治三十一年八月一日沖繩縣八重山郡間切戸籍吏伺
同年九月二十日民事第一一九五號民事局長回答)

【同趣旨】

(大正三年十一月十九日廣島區裁判所監督判事代理判事問合)
(大正四年一月十三日民事第一七三五號法務局長回答)
(大正四年一月十五日山口區裁判所監督判事問合)
(同年一月十八日民事第七九號法務局長回答)
(大正四年一月十八日茨城區裁判所判事問合)
(同年四月四日民事第一〇八號法務局長回答)
(大正三年六月九日大阪區裁判所監督判事問合)
(大正四年一月十四日民事第一〇二〇號法務局長回答)
(大正四年一月十四日根室區裁判所監督判事問合)
(大正四年一月二十八日民事第一二二號法務局長回答)

◎舊法ニ規定ナキモノ(親權、保佐)ニシテ戸籍法施行前ニ發生シタル事件ノ届出期間

1、改正法施行前父カ親權又ハ管理權喪失ノ宣告ヲ受ケ母權利ヲ行フ場合及準禁治産ノ宣告ヲ受ケ保佐人就職アルモノハ施行後十日内ニ本法ノ規定ニヨリ届出ヲ要スルヤト云フニ届出ヲ要スルモ期間ノ定ナキニ付第六十四條ニ依リ届出ヲ催告スヘシ

(大正三年五月二十日大阪市北區戸籍吏伺
同年十二月二十八日民事第一九九四號法務局長回答)

【同趣旨】

◎舊法ニ依ル届出ノ期間カ新舊法ニ涉リテ完成スルトキハ其ノ期間ヲ通算ス

1、新戸籍法實施前ニ生シタル戸籍過忘事件ハ戸籍法施行前既ニ舊法ニ依ル届出期間ヲ經過シタル場合ハ舊法ニヨルヘシ

(大正四年一月十二日山口區裁判所監督判事問合)
同年一月十四日民事第七七號法務局長回答)

2、右過忘事件ノ期間カ新舊兩法ニ涉リテ初メテ完成セルトキハ其ノ期間ヲ通算スヘキヤ或ハ新法施行後ニ經過セル期間ノミヲ過忘期間トスヘキヤト云フニ其ノ期間ヲ通算スヘキモノトス

(大正四年二月九日豊橋區裁判所判事問合)
同年二月二十日民事第二三一號法務局長回答)

【判例】

◎出生届卜期間計算法

1、戸籍法第六十九條第一項ノ出生届出期間ノ計算法ハ届出事件發生即チ出生ノ日ヨリ起算スルヲ要スルコト同法第六十三條第一項ノ規定ニ依リ明ニシテ同規定ハ民法第三百三十八條ノ所謂別段ノ定メアル場合ニ該當スル特別法規ナルヲ以テ出生届出期間ハ民法ノ通則ニ從ヒ其ノ翌日ヨリ起算スヘキモノニ非ラス

(大審院大正十一年四月十日判決)
法律新聞一九八五號二二頁)

第六十四條

市町村長カ届出ヲ怠リタル者アルコトヲ知リタルトキハ相當ノ期間ヲ定メ届出義務者ニ對シ其期間内ニ届出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス

届出義務者カ前項ノ期間内ニ届出ヲ爲ササルトキハ市町村長ハ更ニ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲スコトヲ得

第三十九條第二項ノ規定ハ前二項ノ催告ヲ爲スコト能ハサル場合及ヒ催告ヲ爲スコト届出ヲ爲ササル場合ニ同條第三項ノ規定ハ裁判所其他ノ官廳、檢事又ハ吏員カ届出ヲ怠リタル者アルコトヲ知リタル場合ニ之ヲ準用ス

参考ニ戸籍法六三條。

【實例】

◎本籍分明ナラス又本籍ナキ死亡者ニ付死亡ノ届出ヲ爲シタル届出人モ亦死亡シタル後死亡者ノ本籍分明ト爲リタル場合ノ取扱方

1、戸籍法第四十五條ニ依レハ本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ニ付キ届出アリタル後其者ノ本籍カ分明トナリタルトキ云々トアリ死亡ノ如キハ届出人ノ外本籍ニ依リ届出ツルヲ得

サレハ届出人死亡後ハ譬ヘ死亡者ノ親族ニ於テ本籍ヲ確認スルモ届出ノ途ナシ(殖民地ノ如キハ此例尠カラス)右ノ場合ハ利害關係人ノ届書ヲ假ニ受理シ置キ之ニ基キ戸籍法第六十四條第三項ノ規定ニ依リ監督區裁判所ノ許可ヲ受ケタル上職權ヲ以テ戸籍ノ記載ヲ爲スヘシ

(大正四年十一月二十五日北海道空知郡岩見澤町長伺)
(大正五年三月二十三日民部第一九四號法務局長回答)

◎催告ノ方法

1、第六十四條ノ催告ハ書面ノ送達ニ付テハ郵便葉書、配達證明郵便又ハ使送其ノ他市町村長ニ於テ便宜ト認ムル方法ニヨリ爲スコトヲ得

(大正三年五月二十日大政市北區戸籍吏伺)
(同年十二月二十八日民部第一九四號法務局長回答)

◎届出催告ハ届出義務者ノ所在地市町村長ニ於テ爲スコトヲ得

1、改正戸籍法施行前大正二年二月十五日甲區裁判所管内甲村戸籍吏ニ於テ其ノ村在留者タル乙區裁判所管内乙町ニ本籍ヲ有スル戸主死亡跡未定ノ家族ノ私生子出生届ヲ受付其ノ當時身分登記ヲ爲シ届書ヲ乙町ニ送付シタル處届書ニ戸主ノ同意ナク又一家創立ノ者及創立ノ原因竝ニ創立ノ場所記載ナク又戸主ノ本籍地ノ記載中幾分ノ相違アルコトヲ發見シタル場合ニ届出催告ハ孰レノ市町村長ニアリヤト云フニ此ノ場合ニ戸籍法第六十五條、第六十四條、第三十九條ニ所謂市町村長トハ戸籍ノ存スル地ノ市町村長ヲ指スコト勿論ナルモ所在地其ノ他本籍地外ノ市町村長届出ヲ怠リタル者アルコトヲ知リタルトキハ第六十四條第三項末段ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年五月十二日下關區裁判所監督判事問合)
(同年七月一日民部第六九一號法務局長回答)

2、第六十四條ノ催告ハ届出人ノ所在地ノ市町村長ニ於テ爲スコトヲ得サルヤト云フニ届出ノ催告ハ届出義務者ノ所在地ノ市町村長ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

(大正五年二月十四日廣島縣青島郡福相村長代理助役伺)
(同年三月十八日民部第二二二號法務局長回答)

◎其ノ事件發生ノ日ヨリ起算シ其ノ期間内ニ届出ヲ爲サ、ル者ト市町村長ノ取扱方

1、改正戸籍法第六十四條第一項ニ市町村長カ届出ヲ怠リタルモノアルコトヲ知リタルトキハ云々トアルノ所假令ハ死亡、家督相續又ハ離籍ニ因ル一家創立ノ如キ其ノ事實ヲ知リタル日ヨリ法定ノ期間内ニ届出ヲ爲スヘキコトヲ要スルモノニ付テモ市町村長ハ其ノ事件ノ發生ノ日ヨリ起算シテ法定期間内ニ届出ヲ爲ササルモノアルコトヲ知リタルトキハ届出ヲ怠リタルモノトシテ取扱フコトヲ得

(大正三年六月二十六日山口區裁判所監督判事問合)
(同年十二月二十八日民部第一二二五號法務局長回答)

◎舊法ニ規定ナキモノ(親權、保佐)ニシテ戸籍法施行前ニ發生シタル事件ノ届出方

1、改正法施行前父カ親權又ハ管理權喪失ノ宣告ヲ受ケ母權利ヲ行フ場合及準禁治産ノ宣告ヲ受ケ保佐人就職アルモノハ施行後十日内ニ本法ノ規定ニヨリ届出ヲ要スルヤト云フニ届出ヲ要スルモ期間ノ定ナキニ付第六十四條ニ依リ届出ヲ催告スヘシ

(大正三年五月二十日大政市北區戸籍吏伺)
(同年十二月二十八日民部第一九四號法務局長回答)

◎甲戸主死亡後乙長男相續届出前死亡ト丙孫ノ相續届ト乙丙ノ戸籍ノ編成並ニ其ノ記載例

1、甲戸主死亡後乙長男相續届出前死亡ト丙孫カ相續ノ届出ヲ爲シタル場合ニハ市町村長ハ戸籍法第六十四條第三項ニ依リ監督區裁判所ノ許可ヲ得其ノ職權ヲ以テ乙長男ノ戸籍ヲ編成

實例判例文例人事法總覽

シタル後更ニ丙孫ノ相續届ニ基キ其ノ戸籍ヲ編成スヘキモノナリヤト云フニ(四日市區裁判所判事ノ問合ニ對スル大正四年九月二十一日付民第一五二三號法務局長回答)此ノ場合ニ於テモ丙孫ヨリ乙及丙ノ相續届ヲ爲サシメ之ニ基キ乙丙ノ各戸籍ヲ編成スルモ差支ナシ

(大正八年十二月二十日廣島縣警務部志和村長伺
大正九年一月二十日民事第五六五九號民事局長回答)

2、前項ノ場合ノ戸籍記載例ハ左ノ如シ

乙戸籍記載例

「何年何月何日前戸主何某死亡ニ因リ家督相續ヲ爲シタルモ其ノ届出ヲ爲サス死亡シタルニ付キ何年何月何日何某家督相續届出何年何月何日受附」

丙戸籍記載例

「何年何月何日前戸主何某死亡ニ因リ家督相續届出何年何月何日受附」

(大正八年十二月二十日廣島縣警務部志和村長伺
大正九年一月二十日民事第五六五九號民事局長回答)

◎戸籍法上届出義務者カ届出期間内未成年者ナル場合

1、戸籍法上届出義務者カ届出期間内未成年者ナルトキハ其者カ成年ニ達シタル後届出ヲ爲スモ之ヲ處罰スヘカラス若シ此ノ場合親權者有ルトキハ其ノ親權者ノミヲ處罰スヘキモノトスルモ明治三十七年二月二十五日金澤區裁判所監督判事問合同年三月十六日民刑第二〇二號民刑局長回答ハ之ニ相反シタルモノナリ同回答ハ今尙維持セララルヤト云フニ別紙舞鶴區

裁判所判事問合ニ對スル大正四年七月八日民第一〇二一號法務局長回答ニ依リテ了知アルヘシ

(大正十一年五月三十日天草區裁判所判事問合
同年六月七日民事第二二五六號民事局長回答)

別紙

戸籍法上届出ヲ爲スヘキ者カ未成年者ニシテ其ノ法定代理人無之爲メニ届出期間ヲ經過シタル後其ノ者カ成年ニ達シタル場合ニ於テハ其ノ成年ニ達シタル日ヨリ起算シ届出期間經過後自ラ届出ヲ爲シタル時ハ尙其ノ者ヲ懈怠ノ責任者トシテ處罰スヘキ旨明治三十七年二月二十五日金澤區裁判所監督判事ノ問合ニ對シ同年三月十六日民刑第二〇二號民刑局長ノ回答趣旨ハ戸籍法改正ノ今日ト雖モ尙維持セララルヤト云フニ當時右等ノ事實アルトキハ現行戸籍法第六十四條ニ依リ市町村長ニ於テ相當期間ヲ定メ催告シ猶之ヲ怠リタル場合ニ限り處罰ヲ爲スヘキモノナリ

(大正四年六月二十一日舞鶴區裁判所判事問合
同年七月八日民第一〇二一號法務局長回答)

◎届出義務者カ其ノ裁判ノ送達又ハ交付ノ申請ヲ爲ササル間ハ第六十四條ノ催告ヲ爲ス

1、戸籍法第六十三條第二項ニ依リ届出期間ヲ起算スヘキ場合ニ於テ届出義務者カ其ノ裁判ノ送達又ハ交付ノ申請ヲ爲ササル間ハ(職權送達ノ場合ヲ除ク)第六十四條ノ所謂届出ヲ怠リタルモノニアラスト雖モ相當ノ期間ヲ過キ届出テサルモノニ對シテハ尙同條ニ依リ催告スルコトヲ得

戸籍法第六十四條

◎市町村長カ職權ヲ以テ出生、死亡等ノ記載ヲ爲スニ當リ知レサル事項アルトキハ其ノ記載ヲ省クコトヲ得

(大正三年十一月十二日熊本區裁判所監督判事問合
大正四年一月十五日民第一七七一號法務局長回答)

1、新法第六十四條第三項ニヨリ市町村長カ裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍ニ登載スル事ヲ得ルトセハ出生死亡等ノ如キ場合ニ市町村長カ事實發生ノ日時等ヲ知ラサルトキハ如何ニシテ調査ヲ爲スヘキヤ又是等ノ場合ハ凡テ市町村長ノ認定ニヨリ決シテ差支ナキヤト云フニ第六十四條第三項ノ規定ニ依リ市町村長カ監督區裁判所ノ許可ヲ得職權ヲ以テ出生又ハ死亡等ノ記載ヲ爲ス場合ニ於テ調査ヲ爲スモ知レサル事項アルトキハ届出ニ因ル場合ト同様其ノ記載ヲ省クコトヲ得

(大正三年十一月十二日熊本區裁判所監督判事問合
大正四年一月九日民第一〇〇九號法務局長回答)

◎第六十四條第三項ニ依ル職權記載後届出アリタル場合ノ手續

1、戸籍法第三十九條第二項ニ因ル職權訂正ハ固ト便宜上ノ處分ニ過キサルカ故ニ其ノ訂正ヲ爲シタル後他ノ市町村長ヨリ正當届出人カ提出シタル訂正申請書ノ送付ヲ受ケタルトキハ直チニ之ヲ受理シ且ツ職權訂正ト訂正申請書ノ記載ト符合セサルトキハ申請書ニ基キ更ニ訂正ヲ施スヘキモノナリ

(大正三年七月七日福岡地方裁判所長問合
大正四年一月十六日民第一一八四號法務局長回答)

◎戸主死亡シ戸籍法第十七條ノ届出義務者ナキ場合

1、戸主死亡シ其ノ届出ニ付キ戸籍法第十七條ニ該當スル届出義務者ナキ場合ニ於テ家籍ヲ同クスル親族ニシテ其ノ附近ニ別居スル者アリ此ノ者ハ其ノ届出ヲ爲シ得サルモ此ノ場合

ニ於テ市町村長ハ戸籍法第六十四條第三項ノ規定ニ依リ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職權ヲ以テ戸籍ノ記載ヲ爲スヘシ

(大正四年六月十四日福岡區裁判所監督判事問合
同年七月七日民第九四二號法務局長回答)

◎本籍ヲ定メ居住セシ土地カ收用セラレ鐵道線路ト爲リ其ノ居住者ハ他ニ移轉セルモ轉籍ノ届出ヲ爲ササル場合ノ手續

1、本籍ヲ定メ居住セシ所ノ土地カ數年前收用セラレ鐵道線路ト爲リ其ノ居住者ハ悉皆他ニ移轉(本町内)シタルニ付テハ各其ノ現住所ヘ本籍移轉ノ届出ヲ爲スヘキモノナルニ未タ其ノ手續ヲ爲ササルモノアリ右ハ戸籍法上轉籍届ヲ強要スルノ規定ナキヲ以テ戸籍法第三十九條及第六十四條ニ準依シ職權ヲ以テ各其ノ現住所ニ轉籍ノ戸籍記載ヲ爲シ得ルヤト云フニ職權ヲ以テ轉籍ノ記載ヲ爲スコトヲ得

(大正四年七月十二日岡山縣小田郡笠岡町長伺
同年七月二十一日民第一一八二號法務局長回答)

2、前項中若シ現今他市町村ニ全戸寄留スルモノアルトキハ直チニ其ノ寄留所ヘ轉籍ノ戸籍記載ヲ爲スコト(戸籍記載許可書體本ヲ添附シ寄留地(即チ輕便地)ノ市町村長ニ送付シ該市町村長ハ之ニ依リ轉籍ノ取扱ヲ爲シ且其ノ本人ニ通知ス)ヲ得ルヤ又ハ此ノ場合ニ於テハ本町内ニ本籍ヲ移轉セシムヘキ場所ナキヲ以テ已ムヲ得ス其者ノ戸籍ノ本籍欄中地番號ノ記載ヲ抹消シ無番ト爲シ之ヲ戸籍簿ノ末尾ニ編綴スヘキヤト云フニ職權ヲ以テ轉籍ノ記載ヲ爲スコトヲ得スト雖可成住所ニ轉籍セシメ本籍ヲ無意義ニ了ラシムルナキヲ期スヘシ

(大正四年七月十二日岡山縣小田郡笠岡町長伺
同年七月二十一日民第一一八二號法務局長回答)

實例判例文例人事法總覽

◎水難者ノ死體不明ナル場合證明書ヲ添附シテ死亡ノ届出アリタル場合ト戸籍ノ記載

1、水難者死體不明ナル場合ニ於テ別紙寫ノ如キ證明書ヲ添テ死亡届出義務者ヨリ死亡届出ヲ爲シタルトキハ大正四年二月十九日外務省通商局長ノ照會ニ對スル法務局長回答ノ趣旨ニヨリ該届書受理スルモ差支ナキヤト云フニ戸籍法第百十九條ニ依リ遭難ノ取調ヲ爲シタル官廳又ハ公署ヨリ死亡ノ報告アリタルトキハ之ニ基キテ戸籍ノ記載ヲ爲スヘク證明書ヲ添附シタル死亡届ハ之ヲ受理スルコトヲ得サルモ此ノ場合死亡ノ事實ヲ確實ナリト認ムルニ於テハ戸籍法第六十四條ニ依リ第三十九條第三項ノ手續ヲ爲シタル上區裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキモノトス

證明書

千葉縣安房郡白濱村乙濱

第六號西德丸乗組員 船長 甲野義太郎

二十九年

以上乗組員記載省略

當地方ニ於テ數十年來絶ヘテ見聞セサル本月八日ノ大時化ニ際シ専ラ心ヲ海ニ注キ四方警戒中ノ處該船ハ正午港外七十間許リ三ツ石沖ニ方リ航行シ來リタルモ風浪ニ防ケラレ之カ救護ニ手ヲ下スノ術ナク船體顛覆ト共ニ漸次沈没シタルヲ目撃シ未タ其ノ死體ヲ捜査シ得サルモ如上ノ事實ニ判定シ確カニ

一同溺死シタルモノナリト認ム
右證明候也
大正五年五月二十日

何町長 何 某
何派出張所巡查部長 何 某

◎戸籍法上届出義務者ノ期間懈怠ト未成年者ノ場合

1、戸籍法上届出義務者カ届出期間内未成年者ナルトキハ其者カ成年ニ達シタル後届出ヲ爲スモ之ヲ處罰スヘカラス若シ此ノ場合親權者アルトキハ其ノ親權者ノミヲ處罰スヘキモノトス

(大正十一年五月三十日大草區裁判所判事問合)
(同年六月七日民事第二一五七號法務局長回答)

【參照】

2、戸籍法上届出ヲ爲スヘキモノカ未成年者ニシテ其ノ法定代理人無之爲メニ届出期間ヲ經過シタル後其者カ成年ニ達シタル場合ニ於テハ其ノ成年ニ達シタル日ヨリ起算シ届出期間經過後自ラ届出ヲ爲シタル時ハ尙其者ヲ懈怠ノ責任者トシテ處罰スヘキヤト云フニ當時右等ノ事實アルトキハ現市町村長ニ於テ相當期間ヲ定メ催告シ猶之ヲ怠リタル場合ニ限り處罰ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年六月二十一日舞鶴區裁判所判事問合)
(同年七月八日民事第一〇二二號法務局長回答)

◎戸籍法第三十九條第二項中「申請ヲ爲ス者ナキトキ」トアルハ

「申請ヲ爲ササル」場合ヲ包含ス
1、戸籍法第三十九條第二項中ノ通知ヲ爲シタルモ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ス者ナキトキトアルハ通知ヲ爲シタルモ訂正ノ申請ヲ爲ササル場合ヲモ包含スルモノトス

(大正四年四月十二日愛知縣額田郡岡崎町長問合)
(同年四月二十一日民事第五〇三號法務局長回答)

◎第三十九條ニ所謂市町村長ト戸籍ノ存スル地ノ市町村長

1、戸籍法第六十五條、第六十四條、第三十九條ニ所謂市町村長トハ戸籍ノ存スル地ノ市町村長ヲ指スモノニシテ所在地其他本籍地外ノ市町村長届出ヲ怠タル者アルコトヲ知りタルトキハ第六十四條第三項末段ノ手續ヲ爲スモノトス

(大正四年五月十二日下關區裁判所監督判事問合)
(同年七月一日民事第六九一號法務局長回答)

◎裁判所、檢事其他ノ吏員カ法律上許スヘカラサル戸籍ノ記載ヲ知りタルトキト市町村長ニ其ノ通知

1、裁判所其他ノ官廳、檢事又ハ吏員カ戸籍ノ記載ニ錯誤遺漏アルコトヲ知りタルトキハ第三十九條末項ニ其旨ヲ市町村長ニ通知スヘキ旨規定セラレアルモ戸籍ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノナルコトヲ知りタルトキニ就テノ通知ニ關シ何等規定ナキモ裁判所若シクハ檢事其他ノ吏員カ知りタルトキモ亦錯誤遺漏ノ場合ニ準シ通知ヲ爲スヘキモノトス

(大正三年七月七日福岡地方裁判所長問合)
(大正四年一月十六日民事第一一八四號法務局長回答)

◎裁判所カ戸籍ノ記載ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタル場合ニ於ケル手續

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第六十四條

1、大正四年五月十二日下關區裁判所監督判事問合ニ對スル同年七月一日民事第六九一號回答ノ許可ハ必ラス書面ニ依ルコトヲ相當トス

(大正七年六月二十一日宇都宮區裁判所監督判事問合)
(同年十一月十一日民事第一三八九號法務局長回答)

◎第三十九條第二項ノ監督區裁判所ノ許可ト行政監督上ノ許可ト並ニ許可ノ申請書ト印紙ノ貼用

1、第三十九條第二項ノ監督區裁判所ノ許可ハ非訟事件手續法ニ依ル裁判ヲ以テスル許可ニ非ラスシテ行政監督上ノ許可ナリトス故ニ同項ニ依ル許可ノ申請書ニハ印紙ヲ貼用スヘキモノニ非ラス

(大正三年四月三十日新島區裁判所監督判事問合)
(同年五月十九日民事第七九三號法務局長回答)

◎市町村長カ戸籍ノ記載ニ錯誤遺漏アル旨ノ通知ヲ爲スモ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ササル場合ノ手續

1、市町村長ハ戸籍ノ記載ニ錯誤遺漏アルコトヲ發見シ届出人又ハ届出事件ノ本人ニ其旨ヲ通知スルモ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ササルトキハ第三十九條第二項ノ規定ニ依リ市町村長ハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ職權ヲ以テ戸籍ノ訂正ヲ爲スヘク許可ノ裁判ヲ受クヘキモノニ非ス而シテ其ノ許可ハ戸籍ノ記載ニ錯誤若ハ遺漏アルコトヲ明ナラシムル爲メ關係書類及戸籍ノ寫等ヲ添ヘテ之ヲ求ムヘシ

(大正三年五月十八日大阪市東區戸籍吏問合)
(同年十二月二十八日民事第九九九號法務局長回答)

◎職權訂正ヲ爲スヘキ場合ノ例示

實例判例文例人事法總覽

1、左記(イ)及(ホ)ハ戶籍法第三十九條ニ所謂法律上許スヘカラサルモノ(ニ)ハ寧ロ錯誤ト解スヘク(ハ)中第一例ハ本則ハ民法第九百六十六條ノ家督相續回復ノ裁判ニ因リ回復ノ届出ヲ爲スヘキ場合ニ該ルモ相續届出人自カラ訂正ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ錯誤ニ付シ第二例ハ法律上許スヘカラサル記載(ト)ノ場合ハ第六十五條ニ依ルヘク(チ)ノ場合ハ取消ノ判決ニ基キ第六十七條ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

(イ)規定ナキ届出ニ基ク記載

例 父カ子ニ對スル親權ニ關スル事項ノ記載

家督相續人選定ニ關スル事項ノ記載

(ロ)規定上必要ノ記載

例 被指定者ノ戶籍ニ爲シタル家督相續人指定ニ關スル事項ノ記載

胎兒認知ニ關スル事項ノ記載

(ハ)届出ニ基カサル記載

例 婿養子縁組届ノミニヨリ爲シタル婿養子婚姻ニ關スル事項ノ記載

離婚届ノミニ因リ編製シタル絶家再興ノ戶籍ノ記載

(ニ)虚偽ノ届出ニ基ク記載

例 他人ノ子ヲ自己ノ子トシテ出生届ヲ爲シタルニ基ク記載

死亡セサル者ノ死亡届出ヲ爲シタルニ基ク記載

(ホ)無効ノ届出ニ基ク記載

死亡セサル者ノ死亡届出ヲ爲シタルニ基ク記載

(ホ)無効ノ届出ニ基ク記載

死亡セサル者ノ死亡届出ヲ爲シタルニ基ク記載

(ホ)無効ノ届出ニ基ク記載

例 届出義務者ニアラサル者カ爲シタル届出ニ基ク記載

偽造變造ノ届出ニ基ク事項ノ記載

(ハ)違法ノ届出ニ基ク記載

例 正當相續人ニアラサル者カ届出ニ爲シタル家督相續ニ關スル事項ノ記載

裁判所ノ許可ヲ受ケスシテ爲シタル届出ニ基ク廢家ニ關スル事項ノ記載

(ト)届出ニ因リ效力ヲ生スヘキ行爲ニ關シ無効ノ行爲ニ基キ届出ヲ爲シタルニ因ル記載

例 人違ノ婚姻又ハ縁組ニ關スル事項ノ記載

法定推定家督相續人アル者ノ家督相續人指定ニ關スル事項ノ記載

(チ)届出ニ因リ效力ヲ生スヘキ行爲ニ關シ取消シ得ヘキ行爲ニ基キ届出ヲ爲シタルニ因ル記載

例 重婚又ハ年長者ヲ養子トスル縁組ニ關スル事項ノ記載

裁判所ノ許可ヲ受ケスシテ爲シタル隠居ニ關スル事項ノ記載

(大正三年七月七日福岡地方裁判所長問合)

(大正四年一月十六日民第一八四號法務局長問合)

2、市町村長限戶籍訂正ヲ爲シ得ヘキ事項ニ關シテハ大正六年十二月十三日山口縣厚狭郡須惠村長問合大正七年五月十一日民第六一三號回答アルモ此外仍ホ左記ノ如キ市町村長ノ過誤ニ出テタル戶籍記載ノ錯誤又ハ遺漏ヲ發見シタル場合訂正ヲ爲スコトヲ得

趣旨ニ變更セラレタリ

(大正十一年五月十六日民事第二五〇一號民事局長問合)

◎第三十九條第二項ニ依ル職權訂正

1、戶籍法第三十九條第二項ニ因ル職權訂正ハ固ト便宜上ノ所分ニ過キサルカ故ニ其ノ訂正ヲ爲シタル後他ノ市町村長ヨリ正當届出人カ提出シタル訂正申請書ノ送附ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ受理シ且ツ職權訂正ト訂正申請書ノ記載ト符號セサルトキハ申請書ニ基キ更ニ訂正ヲ施スヘキモノナリ

(大正三年七月七日福岡地方裁判所長問合)

(大正四年一月十六日民第一八四號法務局長問合)

◎親權ニ服スル子カ成年ニ達シタルトキ市町村長職權ヲ以テ其ノ記載ヲ抹消

1、戶籍法第七條ノ規定ニ依ル届出ニ基キ親權事項ヲ戶籍ニ記載セラレアル者カ成年ニ達シタルトキハ市町村長ヲシテ戶籍法第三十九條ニ依リ職權訂正ノ手續ニ從ヒ隨時其ノ記載ヲ抹消セシムル趣旨ナリ

(大正四年一月二十日大阪區裁判所監督判事問合)

(同年一月二十三日民第一一六號法務局長問合)

◎父ノ家ニ入ラサル私生子ノ認知届出アリタルニ誤テ除籍ノ手續ヲ爲シタル爲無籍者ト爲リタル者ノ訂正

1、父ノ家ニ入ルコトヲ得サルニヨリ母ノ家ニ在籍ノ儘私生子ノ認知届アリタルニ誤テ私生子除籍ノ手續ヲ爲シタル爲目下無籍ノ状態トナリタリ此ノ場合ニ於テハ職權訂正ノ手續ヲ要スルハ勿論ナルモ既ニ除籍セラレタルモノナレハ復活ノ手續

第一編 戶籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第六十四條

3、前項例示ノ場合ハ戶籍法第三十九條第一項但書及同第二項後段ノ場合ニ該當スルヲ以テ市町村長ハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職權ヲ以テ戶籍ノ訂正ヲ爲スヘキモノトス

(大正七年十一月七日山口縣豐浦郡豐田中村長問合)

(大正八年四月七日民第八三五號法務局長問合)

〔注意〕

1、前項例示(ハ)ノ場合ハ市町村長限リ訂正ヲ爲スコトヲ得ル

ヲ要スヘク而シテ復活ノ方法ハ被除籍者ノ戸籍記載ヲ轉記シ
事項欄ニ何某家籍ニ入籍ノ記載ハ過誤ニ付「何年何月何日附
何區裁判所ノ許可ニ因リ何月何日認知ノ記載中除籍ニ關スル
記載抹消①」ト記載スヘシ

(大正四年五月六日五條區裁判所監督判事問合)
同年五月二十二日民第六五三號法務局長回答)

◎轉籍届ニ添附セル戸籍謄本ノ記載ニ錯誤アル爲新戸籍ノ記載カ
原戸籍ノ記載ト符合セサル場合ノ手續

1、戸籍法第五十八條第二項ノ場合ニ於テ新本籍地ノ市町村
長カ轉籍届ニ添附シタル戸籍ノ謄本ニ基キ戸籍ヲ編製シタル
ニ其ノ戸籍謄本ノ記載ニ錯誤アリタル爲メ原本籍地ノ戸籍ノ
記載ト符合セサル戸籍ノ記載ヲ生シタル場合ニハ新本籍地ノ
戸籍ニ付キ戸籍法第六十四條ノ規定ニ依リ戸籍訂正ノ手續
ヲ爲スヘキモノナルモ其ノ錯誤カ戸籍法施行細則第十五條ニ
依リ記載シタル死亡婚姻其他ノ事由ニ依リ戸籍ヲ除カレタル
者ニ關スルモノト雖モ尙該規定ニ依リ戸籍訂正ノ手續ヲ爲スヘ
キモノナリ面シテ此ノ場合ニ於テ戸籍訂正ノ手續ヲ爲スヘ
キモ利害關係人ナキカ爲第三十九條第二項ノ通知ヲ爲スコト
能ハストセハ市町村長ハ區裁判所ノ許可ヲ得職權ヲ以テ訂正
ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年三月二十三日大阪區裁判所監督判事問合)
同年六月二十四日民第四二八號法務局長回答)

◎甲家ノ戸主ノ死亡届ヲ受理シ市町村長ノ過誤ニ依リ乙家ノ戸主
ノ事項欄ニ死亡事項ヲ記載シ且抹消シタル場合ノ訂正

2、大正四年五月十二日下關區裁判所監督判事問合ニ對スル同
年七月一日民第六九一號回答ノ許可ハ必ス書面ニ依ルコトヲ
要ス

(大正七年六月二十一日宇都宮區裁判所監督判事問合)
同年十一月十一日民第一三九八號法務局長回答)

3、前項書面ニ依ル戸籍ノ訂正ヲ爲シタル場合ニ於テハ他ノ市
町村長モ亦同一ノ訂正ヲ爲ス必要アルトキハ書面ノ一通又ハ
其ノ謄本ヲ他ノ市町村ニ送附スヘキモノナリ

(大正七年六月二十一日宇都宮區裁判所監督判事問合)
同年十一月十一日民第一三九八號法務局長回答)

◎現戸籍ノ記載カ除カレタル戸籍ニ依リ誤記ノ顯カナル場合ノ訂
正

1、現戸籍ノ記載カ除カレタル戸籍ニ依リ誤記ノ顯カナル場合
ニハ戸籍法第三十九條第二項後段ノ規定ニ依リ市町村長ハ監
督區裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職權ヲ以テ戸籍ノ訂正ヲ爲スヘ
シ

(大正四年六月十四日福井區裁判所監督判事問合)
同年七月七日民第九四二號法務局長回答)

◎繼子ト記載スヘキ者ヲ長男ト記載シ以下二、三男ト記載シタル
モノノ訂正ト職權

1、入夫ト妻ノ先夫ノ子又ハ養子トハ長二男女ト爲スヘキコト
ハ明治三十六年一月十日民刑第七三四號埼玉縣成田村ニ對ス
ル回答ナレトモ其後明治四十一年五月二日民刑第一五六二號
廣島地方裁判所長ニ對スル回答ニ依リ繼子男女ト稱スルコト

1、甲家ノ戸主ノ死亡ノ届出ヲ受理シナカラ市町村長ノ過誤ニ
因リ乙家ノ戸主ノ事項欄ニ死亡事項ヲ記載シ且ツ其ノ戸主ノ
氏名ヲ抹消シタル場合ニ於テ之カ戸籍訂正ノ手續ヲ爲サント
スルニハ當該市町村長ヨリ戸籍訂正許可ノ請求ヲ爲スヘキモ
ノナルモ之カ許可ヲ受ケ抹消セラレタル乙家ノ戸主ノ氏名ヲ
回復スルニハ如何ナル方法ニ依ルヘキモノナルヤト云フニ乙
家戸主ノ事項欄ニ爲シタル死亡ニ關スル記載ハ市町村長ニ於
テ戸籍法第三十九條第二項但書ノ許可ヲ得テ同法施行細則第
二十一條ニ依リ抹消スヘク別ニ新戸籍ヲ編成シ又ハ戸主ヲ戸
籍ノ末尾ニ記載スヘキモノトス

(大正四年三月二十三日大阪區裁判所監督判事問合)
同年六月二十四日民第四二八號法務局長回答)

◎戸籍ノ記載ニ市町村長ノ過誤ニ因ル錯誤遺漏ノアルコトヲ發見
シタル場合ノ訂正手續

1、市町村役場ヨリ監督區裁判所ニ送付ノ戸籍法第三十七條ノ
届書、戸籍副本又ハ親族會召集申請書等ニ添附ノ戸籍謄本ニ
依リ或ハ戸籍事務監督ノ爲メ監督判事又ハ監督書記ノ市町村
役場巡回等ニ因リテ戸籍ノ記載ニ市町村長ノ過誤ニ因ル錯誤
遺漏アルコトヲ發見スル場合決シテ尠カラス而シテ此ノ場合
戸籍法第三十九條末項ノ通知ハ之ヲ訂正ノ要件ト爲ササルニ
付監督判事又ハ單獨判事ハ同條第三項ノ許可ヲ與ヘ訂正ヲ爲
サシムルコトヲ得ヘキハ勿論ナリ

(大正四年五月十二日下關區裁判所監督判事問合)
同年七月一日民第六九一號法務局長回答)

ニ省議變更セラレタリ爾後ハ該省議ニ變更ナシ而シテ明治四
十一年以前ニ於テ繼子長男ト記シ以上順次夫妻間所生ノ子ヲ
二男三男ト記載シタル戸籍ヲ今日訂正セントスルニハ戸籍法
第三十九條第二項後段ノ場合ニ準シ職權訂正ノ手續ニ依ラシ
ムルヲ相當トス

(大正四年八月二十三日大森區裁判所監督判事問合)
同年九月十六日民第一四二九號法務局長回答)

◎監督區裁判所ノ許可ヲ得スシテ爲スコトヲ得ル職權訂正

1、左ノ場合ニ於テハ市町村長限リ戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得
ル旨省議決定セリ

- 一、同村内ノ甲家ヨリ乙家ニ入りタルモノニシテ乙家ノ戸籍
ニ誤記アルモノ
- 二、同村内ノ甲家ヨリ乙家ニ入りタルモノニシテ一方ノ戸籍
ニ記載アルモノ他ノ一方ニ記載ヲ脱漏シタルモノ
- 三、右二項カ甲村ヨリ乙村ニ入籍シタル場合ニ係リ村長カ他
ノ村長ヨリ正シキ記載アル戸籍謄本ヲ送附ヲ受ケタル場合

(大正十一年五月十六日民事第二五〇一號民事局長回答)

◎身分登記ニ誤記ナキモ其ノ登記ニ基ク戸籍ノ記載ニ誤記アル場
合ノ訂正

1、從來ノ身分登記ニハ誤記ナキモ其ノ身分登記ニ基ク戸籍ノ
記載ニ誤記アルトキハ市町村長限リ戸籍ノ訂正ヲ爲シ得ルモ
ノトス

(大正三年六月九日大阪區裁判所監督判事問合)
大正四年一月十四日民第一〇二〇號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正四年六月八日廣島縣蘆品郡福相村代理助役何
同年七月十三日民第九五二號法務局長回答)
(大正四年一月十一日青森地方裁判所長問答)
(同年一月十九日民第六九號法務局長回答)

◎認知セラレサル私生子ヲ父母ノ婚姻ニ因リ嫡出子ノ身分ヲ取得
スルモノトシテ記載シタル届出ニ基キ戸籍ノ記載ヲ爲シタル場
合届出人ニ通知ヲ爲スコト能ハサルトキノ手續

1、甲村ノ甲男ト乙村ノ乙女トノ婚姻届出書ヲ (該婚姻届書ニ
ハ乙女ノ實家ニ在ル乙女ノ私生子丙ヲ父母ノ婚姻ニ依リ嫡出
子タル身分ヲ取得スル庶子トシテ記載シアリ) 甲村戸籍吏ニ
提出シタルヲ以テ甲村戸籍吏ハ右届書ニ基キ乙及ヒ丙ノ入籍
手續ヲ爲シ届書副本及入籍通知書ヲ乙村戸籍吏ニ送付セシ所
丙ハ甲ヨリ認知セラレ居ラストノ理由ニテ返戻セラレタルヲ
以テ甲男ニ錯誤ノ通知ヲ爲シタルモ甲男ハ補正ノ手續ヲ爲サ
サル前死亡シ乙女ハ所在不明トナリ何人ヨリモ補正ノ手續ヲ
爲サス届書ハ正副共ニ紛失セリ斯ル場合ニ於テハ甲村長ハ職
權ヲ以テ丙ノ入籍事項ノ記載ヲ訂正スヘク而テ乙村長ハ甲村
長ヨリ婚姻届出事項ノ記載アル戸籍副本ノ送付ヲ受ケ之ニ基
キテ戸籍ノ記載ヲ爲スコトヲ得

(大正五年五月三日平戸區裁判所判事問合
同年十月二十五日民第七〇九號法務局長回答)

第六十五條 市町村長カ届出ヲ受理シタル場合ニ於テ届書ニ欠缺ア
ル爲メ戸籍ノ記載ヲ爲スコト能ハサルトキハ届出義務者ヲシテ其
追完ヲ爲サシムルコトヲ要ス此場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

参考ニ戸籍法六四條。

【實例】

◎他家ニアル庶子カ父母ノ家ニ入籍ヲナス場合ト戸籍訂正手續

1、舊戸籍法施行中庶子數人ヲ有スル他家ニ在ル者ト父ノ家ニ
アルモノトアリ父カ庶子ノ母ト婚姻届出ノ際届書中嫡出子ノ
身分ヲ取得スル記載ヲ脱漏シタル結果戸籍ハ其儘庶子トナリ
居リ婚姻後ノ出生子長男二男ト記載セラレアル戸籍アリ右ノ
場合前庶子ヲ嫡出子ト訂正スルニハ戸籍法第六十四條ノ手
續ヲ爲スコキハ勿論ノ事ナレトモ他家ニアル庶子カ父母ノ家
ニ入籍ヲ爲ス場合其ノ他家督相續轉籍等ニヨリ戸籍ノ改寫ヲ
爲スヘキ場合ハ戸籍法第六十五條ヲ援用シ其ノ届書ニ追完事
項トシ附記セシメ之ニ依リ戸籍ノ記載ヲ改ムヘキモノトス

(大正五年五月二十五日北海道札幌區長問答)
(同年十月二十六日民第八五九號法務局長回答)

◎戸籍ニ關スル届書ノ一通ヲ本籍地ニ送付後錯誤遺漏ノ追完届ヲ
追送シタルニ既ニ戸籍ノ記載後ナルヲ以テ訂正手續ニ依ルヘキ
モノトシ追完届ヲ返戻サレタル場合ノ取扱方

1、戸籍ニ關スル届書ヲ非本籍地ニ受理届書ノ一通ヲ本籍地ニ

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第六十五條

◎違法ノ届出ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テ受理スヘカラサル届出
ト受理スヘキ届出トノ例示

1、受理スルコトヲ得サル届出トハ届出ニ因リ效力ノ生スル行
爲ニ關スルモノニ付テ謂ヘハ假令ハ左ノ如キモノヲ指シ從テ
其ノ届書ヲ一方ノ甲市町村カ受理シ戸籍ノ記載ヲ了シテ乙市
町村長ニ其ノ一通ヲ送付シタル場合乙市町村長ハ絶對ニ之ヲ

(大正四年十一月二十五日北海道空知郡岩見澤町長問答)
(大正五年三月二十三日民第三二九號法務局長回答)

送付後(前届書受理ノ日乃至翌日)前届ニ對スル錯誤遺漏ノ追
完届ヲ受理追送セルニ本籍地ニ於テハ既ニ戸籍記載ヲ了シタ
レハ戸籍訂正ノ手續ヲ履行セシムヘキ旨ヲ以テ届書ヲ返戻セ
ラレタルトキハ返戻届書ノ整理ハ如何ニスヘキヤト云フニ遺
漏ノ事項ニ付テハ追完ノ記載ヲ爲ス外戸籍ノ記載ヲ更正スル
必要ナキ限ハ追完ノ手續ヲ爲スヘク其ノ他訂正ノ手續ヲ爲ス
コトヲ要スル場合ニ於テハ追完届ハ之ヲ届出人ニ差戻スヘシ

受理スルコトヲ得サルナリ

甲 法定ノ推定家督相續人ヲ離籍シタル届出

乙 法定ノ推定家督相續人カ分家、他家相續、廢絶家再興又ハ親族入籍ヲ爲シタル届出

丙 戸主又ハ法定代理人ノ同意ヲ缺ク分家、廢絶家再興又ハ親族入籍ノ届出

丁 當事者カ届出ノ當時既ニ死亡シ居リタルコトノ明ナル分家廢絶家再興等ノ届出

2、養子縁組婚姻離縁又ハ離婚ニシテ違法ナルモ民法上無効ト爲ラサルモノ、取消スコトヲ得ヘキ規定ナキモノ又ハ訴追ニ依リ取消スコトヲ得ヘキモノニ係ル届出ハ推定家督相續人タル者カ他家ノ養子ト爲リ又ハ婚姻ニ因リ他家ニ入り又ハ戸主ハ父母若クハ後見人及親族會ノ同意ヲ要スルモノニシテ其ノ同意ヲ缺ク婚姻縁組ノ如キハ本來受理スルコトヲ得サル届出ナルモ已ニ一方ノ市町村長カ之ヲ受理シテ戸籍ノ記載ヲ了シ他方ノ市町村長ニ送付シタル場合送付ヲ受ケタル市町村長ハ其儘之ヲ受理スルノ外ナシ

(大正四年十月十九日下關區裁判所監督判事問合)

(大正五年三月二十三日民部第四一三號法務局長回答)

◎出生ノ届出ナキ私生子ニ付キ誤テ認知ノ届出ヲ爲シタル場合ニ於ケル手續

1、現行戸籍法施行前甲地ニ本籍ヲ有スル家族乙男カ丙地ニ本

ノ記載ハ失踪宣告取消ノ判決ニ基キテ之ヲ抹消スヘシ

(大正六年十月二十五日宇都宮區裁判所監督判事問合)

(大正七年五月三十一日民部第一一四八號法務局長回答)

【届出受理ノ點同趣旨】

(大正七年十一月十九日札幌區裁判所監督判事問合)

(同年十一月二十六日民部第二五九號法務局長回答)

◎離籍セラレタル者カ一家創立前出生届ヲ非本籍地ニ爲シ本籍地ニ於テ其ノ送付ヲ受ケタル場合ノ手續及離籍セラレタル者カ一家創立前死亡シタル場合ノ手續

1、離籍セラレタル者カ一家創立届出前出生ノ届出ヲ非本籍

地ニ爲シ非本籍地ニ於テハ之ヲ本籍地ニ送付シタル處其ノ届

出人ハ既ニ離籍セラレタル旨ヲ以テ出生届ヲ返戻セラレタリ

此ノ場合出生届ハ本籍ナキ者ノ届出ニ該當スルヲ以テ本籍ノ

定マルヲ待テ届書ヲ處理スヘシ而テ被離籍者カ一家創立ノ手

續ヲ爲ササルトキハ本籍地市町村長ニ於テ監督區裁判所ノ許

可ヲ得テ職權ヲ以テ一家創立ニ因ル新戸籍ヲ編成シタル上非

本籍地市町村長ヨリ出生届書ヲ再送テ受ケテ出生ノ記載ヲ爲

スヘシ又被離籍者若クハ妻カ一家創立前ニ死亡シタル場合ニ

於テハ新戸籍ヲ編成シタル上記載ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

(大正六年十月二十五日宇都宮區裁判所監督判事問合)

(大正七年五月三十一日民部第一一四八號法務局長回答)

◎本籍地ニハ地所家屋ヲ所有セス多年他ノ町村ニ居住セルモノヨリ家督相續届ヲ爲シタルニ届書ニ本籍地番號ノ記載ナキモノノ處理方

1、本籍地ニハ地所家屋ヲ所有セス多年他ノ町村ニ居住セルモ

籍ヲ有スル家族丁女ト婚姻前同棲中丁女カ分姓シタル戊男子ヲ乙男丁女ノ婚姻前其ノ長男ナリトシテ乙男ノ戸主ノ同意ヲ得シテ出生届出ヲ爲シタルニヨリ甲地戸籍吏ヨリ婚姻前ノ届出ナル理由ヲ以テ返戻サレタルニヨリ當時舊戸籍法第四十條ノ規定ニ依リ届出人ニ通知ヲ爲シタルモ未タ其ノ訂正ノ手續ヲ爲サス然ルニ乙男ハ本年二月二十五日戸主ノ同意ヲ得テ單身本區ニ分家届出ヲ爲シ更ニ前陳ノ理由ニ依リ未就籍ノ戊男子ヲ丁女ノ戸籍内ニ在ルモノト誤信シテ丁女ノ私生子ヲ認知シタルカ如キ届書ヲ作製シ同日本籍ニ届出ヲ爲シタルモ在籍セサルヲ以テ該届書返戻セラレタリ此ノ場合ニ於ケル取扱ハ乙男ヲシテ庶子出生ノ届出ヲ爲サシメ之ニ因リテ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年三月十五日北海道小樽區長稟伺)

(同年四月二十八日民部第四〇五號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正四年四月二十四日福岡區裁判所監督判事問合)

(同年五月七日民部第五八九號法務局長回答)

◎失踪宣告ノ届出ヲ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後其者ノ死亡届出アリタル場合ノ受理

1、失踪宣告ノ届出ヲ受理シテ戸籍ニ記載ヲ爲シタル後其者ノ

死亡届出アリタルトキハ之ヲ受理シテ戸籍ニ記載ヲ爲シ前ノ失

踪宣告ニ關スル記載ニ付テハ戸籍訂正ノ手續ニ依リ抹消スヘ

キモノナリヤ又受理シタル死亡届ハ如何ニ處理スヘキヤト云

フニ死亡ノ届出ハ之ヲ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲スヘシ但シ失踪

ノヨリ家督相續届ヲ爲シタルニ本籍地番號ノ記載ナシカカ記載ヲ要スル旨ヲ以テ届出ヲ返戻シタルニ届出人ハ本籍地トシテ大字迄ハ記載シタルモ本籍地番號迄ハ之ヲ定メストテ再送セリ受理差支ナキヤト云フニ前戸主ノ戸籍ニ本籍地番號ノ記載アルヘキニ付家督相續届ニ其ノ記載ナシト雖モ新戸籍ノ記載ヲ爲スニ差支ナキヲ以テ再送セラレタル家督相續届ハ之ヲ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲スヘシ

(大正六年十一月十三日廣島縣蘆品郡福相村長代理助役伺)

(大正七年六月十五日民部第一三三三號法務局長回答)

◎夫カ米國ニ渡航中妻カ他男トノ間ニ出生シタル子ヲ他男カ認知シタル届出ハ受理スルコトヲ得ス

1、甲男乙女ノ夫婦アリ此間ニ二子ヲ擧ケタル後甲男ハ米國ニ

渡航シ以來二三年間ハ妻子ノ許ニ音信シ多少ノ送金モ爲シ來

リシモ其後ハ絶テ音信不通トナリ妻子ハ生活ニ困難シ途ニ他

ノ丙男ト同棲スルニ至リ其ノ丙男トノ間ニ三子ヲ擧ケ既ニ十

三ケ年間甲男ヨリノ音信ナシ丙男トノ間ニ生シタル三子ハ就

學其他差支不尠ヲ以テ丙男ハ乙女ニ對シ民法第八百二十條第

一項ノ規定アル以上ハ一ト先ツ甲男乙女間ノ嫡出子トシテ乙

女ヨリ出生届出可ク申シ迫ルモ乙女ニ於テハ甲男ノ戸籍ニ入

ルルチ肯セス出生届ヲ爲サス故ニ丙男ハ右三子ヲ甲男ノ妻乙

女ノ私生子トシテ無籍ノ儘認知セントス該認知届ヲ受理スル

ハ差支ナキヤト云フニ出生子ハ甲男ノ嫡出子ナルヲ以テ乙女

ヨリ嫡出子出生ノ届出ヲ爲サシムヘク丙男ヨリ爲シタル私生

實例判例文例人事法總覽

子認知ノ届出ハ之ヲ受理スルコトヲ得ス

(大正七年六月六日福岡市長伺
同年七月四日民第一二九六號法務局長回答)

◎十五年未滿者ノ縁組ニ付他家ニ在ル父母カ代リテ承諾ヲ爲シタル場合ノ取扱方

1、養子ト爲ルヘキ者カ十五年未滿ナル養子縁組ノ届出人トシテ他家ニ在ル父母カ代リテ其ノ承諾ヲ爲シ署名捺印シタル届書ヲ甲村長ヨリ送付ヲ受ケタル乙村長ハ右届出人タル父母カ養子ノ家ニ在ラサル事由ヲ付シテ其ノ届書ヲ甲村長ニ返戻シタル處甲村長ハ其ノ届書ニ右養子ノ後見人及親族會カ代リテ其縁組ノ承諾ヲ爲ス旨ヲ記載シ各署名捺印シタル書面ヲ添付シテ乙村長ニ再送シタルトキハ乙村長ハ便宜上其ノ届書類ヲ受理シ右後見人及親族會ノ差出セシ書面ノ甲村長ノ受理シタル日ヲ縁組届出ノ日トシ戸籍ノ記載ヲ爲スモ差支ナキヤ又ハ此ノ場合ハ最初養子ノ父母ヨリ爲シタル届出カ全然無効ノモノナルニ付該届書類ハ再ヒ之ヲ甲村長ニ返戻シ甲村長ハ戸籍訂正ノ手續ニ依リ戸籍ノ記載ヲ抹消スヘキモノナルヲ云フニ養親ノ本籍地市町村長(甲村長)カ訂正シタル届書ニ基キ戸籍ノ記載ヲ訂正シタル上其ノ届書ヲ再送シタルニ於テハ乙村長ハ之ヲ受理スヘシ

(大正七年六月七日山口區裁判所監督判事問合
同年九月七日民第一九五四號法務局長回答)

◎夫ノ所在不明ノ爲離婚ノ判決ヲ受ケ其ノ届出ヲ爲スト同時ニ他男トノ婚姻届出ヲ爲シタルトキノ受理方

婚姻ノ届出アリタルトキハ受理スルモ差支ナキヤ明治十年八月三十日太政官達第六十號ニ依レハ廢家ハ他家ニ入ルコトヲ條件トシテ許可セラルモノナレハ其ノ當時ニ於テハ廢家届ト入籍届ト同時ニ爲ササレハ廢家届ハ無効ナリト解スルヲ至當ト爲スヘキモ大正五年三月三十日附長崎區裁判所監督判事問合第一項ニ對スル同年九月十一日附民第四八五號回答ニ依レハ廢家届ト入籍届トハ各別ニ時ヲ異ニシテ爲スモ差支ナキコト明ナルヲ以テ此ノ趣旨ニ準シテ婚姻届ヲ受理シ妨ナキヤト云フニ民法施行前戸籍ニ廢家ノ記載アル者カ其ノ當時入籍ノ届出ヲ爲ササリシ場合ニ於テハ結局廢家ハ無効ト爲ルヘキヲ以テ今日ニ至リテ婚姻ノ届出ヲ爲スモ之ヲ受理スルコトヲ得サルモノトス

(大正十年六月二十八日大阪區裁判所監督判事問合
同年九月十六日民第二〇一三號法務局長回答)

2、左記戸籍面ニ於テ妹丙カ分家ヲ爲スニ際シ其ノ私生子男丁ヲ分家ノ家族ト爲スニハ戸主ノ同意ヲ得ル外丁ノ養父乙ノ同意ヲモ求ムヘキモノナルヲ以テ同意ナキ分家届ハ受理セサルコトヲ得

戸主	甲
弟	乙
妹	丙
母丙私生子男	丁
養父丙養子	
甥	

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第六十五條

1、民法第八百十三條第九號ノ規定ニ該當スルモノトシテ離婚ノ判決ヲ受ケタル女カ其ノ判決確定後離婚ノ届出ヲ爲スト同時ニ他ノ男子ト婚姻ノ届出ヲ爲ストキハ其ノ婚姻届ハ受理スヘキモノナリ

(大正七年七月二十二日大阪府東成郡黒江村長伺
同年九月十三日民第一七三五號法務局長回答)

◎親權者ノ同意ヲ缺キタル未成年者ノ分家届ノ處理方

1、甲町役場管内本籍人ニシテ未成年者タル丙某(明治三十一年十二月十二日生)乙村役場管内ヘ分家スルニ當リ親權者ノ同意ヲ得スシテ自ラ届出ヲ爲シタル乙村長ハ違法ナル此ノ届出ヲ受理シ分家ノ戸籍ヲ編成シ届書一通ヲ甲町役場ヘ廻送シタルニ甲町長ハ未成年者ノ分家届ナルニ親權者ノ同意ナキノ故ヲ以テ該届書ノ受理ヲ肯セス此ノ場合ニハ親權者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ追記セシメ又ハ其ノ同意證書ヲ追徴シタル上先ニ返戻セラレタル届書ヲ甲町長ニ再送スヘク同町長ハ之ニ基キ丙某除籍ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

(大正七年七月十六日太田區裁判所監督判事問合
同年九月十六日民第一五九七號法務局長回答)

◎民法施行前ニ廢家シタル女戸主カ他家ニ入ルヘキ婚姻届ト不受

理
◎分家ヲ爲ス者ノ直系卑屬ニシテ養親アル者ニ付養親ノ同意ヲ得スシテ之ヲ分家ノ家族ト爲スヘキ届出ト不受理

1、單身女戸主ノ戸籍事項欄ニ「明治二十六年八月十六日願濟廢家」ト記載シタル戸籍アリ右女戸主ハ廢家者トシテ他家ニ

3、前項乙ノ同意ヲモ必要ト爲スニ於テハ丁カ成年者ナル場合ニ於テモ同様ナリ

(大正七年六月二十八日大阪區裁判所監督判事問合
同年九月十六日民第二〇一三號法務局長回答)

◎内地人女ト婿養子縁組ヲ爲シタル臺灣人ト離婚、離縁ニ因リテ内地ニ一家ノ創立

1、臺灣人甲男(明治三十二年四月二十八日長崎區裁判所監督判事問合ニ對スル民刑局長ノ回答及大正三年四月十七日高田市戸籍吏請訓ニ對スル法務局長回答ニ依リ)内地人乙女ト大正三年五月十一日婿養子縁組婚姻ヲ爲シタル然ルニ今回甲男婿養子離縁及乙女ト離婚ノ上戸籍法第九十五條第五號ニ依リ内地ニ一家創立セントス(臺灣ニテハ戸口調査上已ニ抹消セラレ甲男ハ臺灣ノ者ニアラス)右届書ヲ受理シ差支ナキモノトス

(大正七年八月三十日新潟縣中頸城郡旭村長問合
同年九月十九日民第一九八三號法務局長回答)

◎郵送ニ係ル認知届ヲ受理シ戸籍記載後認知者死亡シタル場合、郵送ニ係ル家督相續人指定届ヲ受理シ戸籍記載後戸主ノ死亡届出アリタル場合ニ於テ死亡ノ日カ其ノ届書郵送後ニシテ受理ノ前日ナルトキノ取扱方及婚姻届、縁組等ニ付同一ノ場合ニ於ケル取扱方

1、郵送ニ係ル認知届ヲ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後認知者ノ死亡届ヲ受理シタルニ付キ取調タルニ其ノ死亡ノ日ハ認知

實例判例文例人事法總覽

届郵送後ニシテ受理ノ前日ナリ該認知届ハ有效ニシテ受理ヲ拒ムコトヲ得ス

(大正七年八月一日大阪市東區長問合 同年十月十日民第一七九一號法務局長回答)

2、甲戸主ヨリ家督相續人指定届ヲ郵送シ來リタルニ因リ之ヲ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲シタル後甲戸主ノ死亡届出アリタル處其死亡ノ日ハ指定届郵送後受理ノ前日ナリ其後被指定者カ甲戸主ノ指定家督相續人トシテ相續届出アリタルトキハ受理スヘキモノナリ

(大正七年八月一日大阪市東區長問合 同年十月十日民第一七九一號法務局長回答)

3、前項ノ届出ノ效力ハ市町村長カ其ノ届出ヲ受附ケタル時ニ生スルモノナリ

(大正八年九月二十三日廣島縣安藝郡矢野町長問合 大正八年十月二十日民第四四四九號民事局長回答)

4、前項指定家督相續人ノ家督相續届ヲ受理スヘキモノト爲スニ於テハ婚姻届、離婚届、養子縁組届、離縁届ヲ郵送シタル後其ノ届書受理前當事者ノ一方若クハ雙方カ死亡シタルトキ又ハ其ノ事件ノ證人ノ一人若クハ全員カ死亡シタル場合ニ於テモ總テ適法ノ届書トシテ受理處分ヲ爲スヘキナリ

(大正八年九月二十三日廣島縣安藝郡矢野町長問合 大正八年十月二十日民第四四四九號民事局長回答)

5、甲ニ對スル私生子認知届書ハ父乙死亡前ニ於テ郵送シタルモノナルモ戸籍吏ノ受附入籍シタルハ父ノ死亡後ニアリ此ノ場合ニ於ケル認知届出ハ有效ノモノト認ム

◎養子カ其ノ實家ニ在ル庶子ヲ養家ニ入籍セシムル入籍届ノ受理方
(大正八年十一月十五日陸軍省人事局長問合 同年十一月二十二日民第五〇八三號民事局長回答)

大正 年 月 日 婚姻
右養子丙實家ニアル庶子丁(母乙トノ間ニ生ル)養家ニ入籍致スニ付入籍届取扱ヒハ左記(甲)ニ依リ取扱フモノトス
從ツテ返戻セラレタル届書ハ乙役場ニ之ヲ再送スヘキモノトス
戸主 甲
長女 乙
養子長女乙 丙
夫

(甲)當入籍届ハ實家ニアル自己ノ直系卑屬養家ニ入籍セシムルニ付父丙ヨリ兩家戸主ノ同意ヲ得テ届出ヲ爲スヘシ(民法第七百三十八條ニ依ル)
(乙)當入籍届ハ養子丙長女乙ノ間ニ生レタル子即戸主甲ノ孫ナルニ付親族入籍ニヨリ入籍者ヨリ届出ヲ爲スヘシ(民法第七百三十七條ニ依ル)

◎戸主死亡ノ場合同居者タル妻ヨリ爲シタル届書ノ受理方
(大正七年十月十九日宮城縣名取郡長問合 同年十月三十日民第二三〇四號法務局長回答)

戸主 甲
妻 乙

◎「タイプライター」ヲ使用シタル届書ト受理方
1、邦文「タイプライター」ヲ使用シ作成シタル戸籍ニ關スル届書ハ之ヲ受理スヘシ

(大正七年十二月二日大阪府東成郡鶴橋町長問合 大正八年一月十七日民第二八〇七號法務局長回答)

◎未成年者カ親權者ノ同意ヲ得スシテ分家届ヲ爲シタル後成年者ト爲リタル場合ニ於ケル届書ノ取扱方

1、分家者ヨリ分家届アリ乙村長ハ之ヲ受理シ戸籍ノ記載ヲ了シ届書一通ヲ原籍地タル甲町役場ヘ送付シタルニ同町長ハ分家戸主トナルヘキ者未成年者ナルニ親權者之ニ同意ナキノ故ヲ以テ届書返戻セラレタリ依テ乙村長ハ親權者ノ同意ヲ求ムヘキ手續ヲ執ラシメタルニ親權者ハ同意ヲ拒ミタリ(分家戸主タルヘキ未成年者ハ明治三十一年十二月十三日出生ニシテ大正七年十二月成年ニ達シタリ)此ノ場合ニ於テモ届書提出當時未成年者ナルヲ以テ親權者之ニ同意ナキノ分家ハ無効トシテ取扱フヘキヤト云フニ分家ハ成年ニ達シタル後本人カ追認シタルトキハ有效ノモノトシテ取扱フヲ相當トスヘキナリ以テ分家者本人ノ追認書ヲ徴シタル上其ノ書面及前ニ爲シタル分家届ニ基キ本家戸籍ノ除籍ノ手續ヲ完了スヘキモノトス

(大正八年一月二十七日太田原區裁判所判事問合 同年二月二十七日民第三八五號法務局長回答)

◎外國裁判所ノ爲シタル判決ニ基ク離婚ノ届出ト之カ受理方

1、外國ニ出稼中ノ夫婦カ外國裁判所ニ於テ離婚ノ判決ヲ受ケタルモ外國裁判所ノ判決ニ基キテハ離婚ノ届出ヲ爲スコトヲ

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第六十五條

養女 丙
右ノ如キ戸籍ニ在ル戸主(甲)大正七年十月六日午前十一時甲地ニ於テ死亡セリ然ルニ其ノ届書ニ付テハ從來左記(甲)ニヨリ届書受理來リタルニ今般(乙)ノ如キ届書ヲ甲地役場ヨリ送付シ來リ受理差支ナキモノナルヤト云フニ

(甲) 何縣何郡何町何番地戸主何職

死亡ノ時(略)

死亡ノ場所(略)

届出人同居者妻

甲

乙

(乙) 何郡何町何番地戸主丙養父何職

死亡ノ時(略)

死亡ノ場所(略)

右戸主丙養母甲妻

届出人同居者

甲

乙

死亡届書ノ記載方ニ付テハ(甲)ヲ可トスヘキモ乙ノ如キ届書ト雖モ戸籍ノ記載ヲ爲スニ差支ナキ限之ヲ受理スルヲ相當トス

(大正七年十一月十一日佐賀縣藤津郡鹿島町長問合 同年十一月二十日民第二四七四號法務局長回答)

實例判例文例人事法總覽

得サルヤト云フニ外國裁判所ノ爲シタル判決ニ基ク離婚ノ届出ハ之ヲ受理シ妻ヲ復籍セシメタル上婚姻證書ニ基キ更ニ妻ヲ新夫ノ家ニ入籍セシムヘキモノトス

(大正八年六月十六日廣島縣安佐郡山本村長伺
同年八月二十八日民事第三七七三號民事局長回答)

◎民法第七百四十四條第一項ノ規定ニ違背シタル婚姻ト雖モ市町村長其ノ届出ヲ受理シタル上ハ效力ヲ生ス

1、甲家ノ法定ノ推定家督相續人タル女子カ乙家ノ男子ト婚姻ノ届出ヲ爲シ戸籍吏ハ該婚姻カ民法第七百四十四條ニ違背スルモノナルコトヲ知ラスシテ其儘受理シ乙家ニ入籍ノ手續ヲ爲シタル後甲家ノ戸主死亡シ家督相續ヲ開始シタル場合ニ其家督相續人ハ何人ナルヤ前記婚姻ハ民法第七百四十四條ニ違背シ無効ナレハ縱令婚姻ノ爲メ除籍スルモ戸籍訂正ノ手續ヲ爲シ其女子ヲ以テ家督相續人トシテ取扱フヘキヤ或ハ民法第七百四十四條ニ違背シタル婚姻ト雖モ戸籍吏カ届出ヲ受理スルトキハ其ノ效力ヲ生スルモノトシ次順位ノ者ヲ家督相續人トシテ取扱フヘキモノナルヤト云フニ民法第七百四十四條第一項ノ規定ニ違背シタル婚姻ト雖モ市町村長其ノ届出ヲ受理シタル上ハ其ノ效力ヲ生スヘキヲ以テ次順位ノ者ヲ家督相續人トナスヘキモノトス

(大正四年七月十日大阪區裁判所監督判事問合
同年七月二十日民事第一五五號法務局長回答)

◎戸籍ノ記載ヲ要セサル事項、日本ノ國籍ヲ有セサル者ニ關スル事項ニ付受理シタル書類ノ記載カ法律上許ス可カラサルモノ又

用スヘキモノトス而シテ市町村長カ欠缺アル届書ヲ受理シタルトキハ先ツ之ニ基キ欠缺ノ儘爲シ得ル戸籍ノ記載ヲ完了シ置キ其他ノ記載ハ追完アリタルトキ之ヲ爲スヘク若シ追完ノ催告ヲ爲スモ届出義務者カ遂ニ追完ヲ爲ササル場合ニ於テハ第六十四條第三項ニ依リ市町村長ハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ職權ヲ以テ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキモノトス

(大正三年四月三十日新潟區裁判所監督判事問合
同年五月十九日民事第七九三號法務局長回答)

◎他ノ市町村ヨリ送付ヲ受ケタル届書ニ欠缺アル場合ニ於ケル追完ノ催告ヲ爲スヘキ市町村長ノ解

1、大正二年二月十五日甲區裁判所管内甲村戸籍吏ニ於テ其村在留者タル乙區裁判所管内乙町ニ本籍ヲ有スル戸主死亡跡未定ノ家族ノ私生子出生届ヲ受付其當時身分登記ヲ爲シ届書ヲ乙町ニ送付シタル處届書ニ戸主ノ同意ナク又一家創立ノ旨及創立ノ原因竝ニ創立ノ場所記載ナク又戸主ノ本籍地ノ記載中幾分ノ相違アルコトヲ發見シ(尤モ届書ノ末尾ニハ入ルヘキ家ノ戸主ノ届書ヲ同町戸籍吏ヨリ甲村戸籍吏ニ返戻シ來リタリ此ノ場合ニ追完ノ催告ハ届出地又ハ本籍地ノ市町村長ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ルモノナリ)

(大正四年五月十二日下關區裁判所監督判事問合
大正四年七月一日民事第六九一號法務局長回答)

2、戸主ノ同意ナク又一家創立ノ旨及其ノ原因竝ニ創立ノ場所記載ナキ私生子又ハ庶子ノ出生届ヲ非本籍地市町村長カ受付其ノ本籍地市町村長ニ送付シタル場合本籍地市町村長ハ戸主

ハ其ノ記載ニ錯誤、遺漏アル場合ト其ノ訂正

1、戸籍ノ記載ヲ要セサル事項ニ付受理シタル書類及日本ノ國籍ヲ有セサル者ニ關スル事項ニ付受理シタル書類ノ記載カ法律上許スヘカラサルモノナルトキ又ハ其ノ記載ニ錯誤若クハ遺漏アルトキハ如何ニスヘキヤ又タ是等書類ノ記載ハ恰モ身分登記ト同一ノ效力ヲ有スルモノナルカ故ニ第三十九條ニ準シ通知又ハ訂正ヲ爲スヲ相當トスヘキヤト云フニ之等ノ場合訂正ヲ要セス

(大正三年七月七日福岡地方裁判所長問合
大正四年一月十七日民事第一八四號法務局長回答)

◎届書受理後ナルモ未タ戸籍ニ記載前ト届書ノ不備ノ訂正

1、届書受理後ナルモ未タ戸籍ニ記載前ナレハ便宜届書ノ不備ノ點ヲ訂正セシメ差支ナキモノトス

(大正四年六月八日廣島縣蘆品郡福相村助役伺
同年七月十三日民事第九五二號法務局長回答)

◎他ノ市町村長ヨリ届書ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於ケル追完、欠缺アル届書ニ基ク戸籍ノ記載方及追完届ヲ爲ササル場合ニ於ケル職權記載

1、市町村長カ改正戸籍法第六十五條ニ依リ届書ノ欠缺ニ付追完ヲ爲サシムル場合ハ該市町村長ニ於テ直接届書ヲ受理シタルトキニ限り他ノ市町村長ヨリ送付ヲ受ケタルトキハ適用シ得サルヤ又追完ノ催告スルモノ之ニ應セサル場合ニハ其儘記載シタル後戸籍訂正申請ノ手續ヲ爲スヘキヤト云フニ他ノ市町村長ヨリ届書ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テモ第六十五條ヲ適

又ハ戸主ニ代ルヘキ親族會ノ同意書ヲ徵スルコトヲ得ルトキハ之ヲ徵シ若シ之ヲ徵スルコト能ハサルトキハ戸主又ハ亡戸主ノ本籍ト同一ノ場所ニ一家ヲ創立スルモノト見做シ其儘之ヲ受理シテ戸籍記載ヲ爲シ又ハ一家創立ノ戸籍ヲ編成スヘキヤト云フニ此ノ場合ニハ追完ノ手續ヲ爲サシムヘク其ノ手續ヲ爲ササルトキハ戸籍法第六十五條及第六十四條ニ依リ本籍地ヲ定ムヘシ

(大正四年五月十二日下關區裁判所監督判事問合
同年七月一日民事第六九一號法務局長回答)

3、戸籍法第六十五條第六十四條第三十九條ニ所謂市町村長トハ戸籍ノ存スル地ノ市町村長ヲ指スモノトス但シ所在地其ノ他本籍地外ノ市町村長届出ヲ怠リタル者アルコトヲ知りタルトキハ第六十四條第三項末段ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

(大正四年五月十二日下關區裁判所監督判事問合
同年七月一日民事第六九一號法務局長回答)

4、本籍地市町村長カ出生届又ハ死亡届ヲ他ノ市町村長ヨリ受ケタル時或ハ婚姻又ハ離婚ノ如キ當事者ノ一方ノ本籍カ他ノ一方ノ本籍ニ轉スヘキ届書ヲ當事者中何レノ本籍地ニモアラサル他ノ市町村長ヨリ送付ヲ受ケタルトキ届書ニ欠缺アリテ其ノ送付ヲ受ケタル本籍地ノ市町村長カ戸籍ノ記載ヲ爲スコト能ハサル場合ニハ届出人又ハ事件ノ本人カ何レノ地ニアルヲ問ハス届書ハ之ヲ届出地ノ市町村長ニ返戻スルコトヲ送付ヲ受ケタル本籍地市町村長ニ於テ直接ニ追完手續ヲ爲スヘキヤト云フニ前項ノ例ニ依ルモノトス但婚姻離縁ノ如キ當事

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第六十五條

實例判例文例人事法總覽

者ノ一方ノ本籍カ他ノ一方ノ本籍ニ轉スヘキ屆書ヲ其ノ一方ノ本籍地甲市町村長カ受付之ヲ他ノ一方ノ本籍地乙市町村長ニ送付シタル場合ニ於テ送付ヲ受ケタル乙市町村長カ甲市町村長ノ已ニ爲シタル戸籍ノ記載ニ錯誤遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ錯誤遺漏ノ訂正ハ戸籍記載後ナルヲ以テ追完ノ手續ニ依ルコトヲ得スト思考スルニ付キ乙市町村役場ニ存スル戸籍ノ記載ニ付追完手續ヲ要スル場合ナルト否トヲ問ハス乙市町村長ハ戸籍法第三十九條末項ノ通知ヲ爲スヘキナリ

(大正四年五月十二日下關區裁判所監督判事問合) 同年七月一日民第六九一號法務局長回答

5、所在地市町村長ヨリ本籍地市町村長ニ屆書ヲ送付シタル場合屆書ニ不備若クハ不完全ノ點アルトキハ所在地ニ返付シテ訂正セシムルヤ又ハ本籍地ハ戸籍法第六十四條同第六十五條同第三十九條ニ依リ處理スヘキモノナルヲ云フニ屆書ニ欠缺アル爲メ戸籍ノ記載ヲ爲スコト能ハサル場合ナルニ於テハ屆出地ニ返付シ追完ノ手續ヲ爲サシムヘキモノトス但シ本籍地市町村長ニ於テ直接ニ屆出義務者ニ催告シ追完ノ届出ヲ爲サシムルコトヲ妨ケス

(大正三年五月二十九日島根縣島智郡川本村長稟伺) 同年十一月十一日民第一四〇一號法務局長回答

6、乙村長カ甲村長ヨリ屆書ヲ送付ヲ受ケタル場合ニ於テ屆書ノ記載ニ戸籍ノ記載ト符合セサルモノアリテ追完手續ヲ要スルモノナルトキハ甲村戸籍ノ記載ニ關係アル場合ト否ト又屆出義務者カ何レノ地ニ在ルトヲ問ハス乙村長ニ於テ其手續ヲ

爲シ若シ其ノ結果甲村ノ戸籍ノ訂正ヲ要スルモノナルトキハ相當ノ通知ヲ爲セハ足ルヘシ

(大正三年六月二十六日山口區裁判所監督判事問合) 同年十二月二十八日民第一二二五號法務局長回答

7、戸籍法施行細則第四十一條ニ依ル追完催告狀ハ戸籍記載ヲ要セサル非本籍地市町村長ノ爲スヘキモノニアラスシテ戸籍記載ヲ爲スヘキ市町村長ノ爲スヘキ手續ナルヲ縱ヘハ非本籍地ニ於テ受理シタル屆書ヲ本籍地ニ送付シ戸籍ニ對照シテ錯誤アルモ戸籍記載ニ差支ナキ限リハ是ヲ非本籍地ニ返付セス其儘處理シ亦戸籍記載ニ差支アルモノト雖モ非本籍地市町村長カ受理シタルモノナレハ錯誤欠缺アルヲ知リタル上ハ受理ノ後ニ發見シタルモノト看做シ差支ナキヤト云フニ追完ノ催告ハ屆出地又ハ本籍地ノ市町村長ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ルモノナレトモ催告ヲ爲ス便宜ノ爲返戻アリタル屆書ニ付テハ返戻ヲ受ケタル地ニ於テ催告ノ手續ヲ爲サチ相當トス

(大正五年十二月十五日秋田縣鹿角郡大湯村長稟伺) 大正六年一月十八日民第一二二號法務局長回答

第六十五條ノ追完ヲ爲サシムヘキ場合

1、改正戸籍法第六十五條ニ屆書ニ欠缺アル爲メ戸籍ノ記載ヲ爲スコト能ハサルトキハ云々トアルノ所右ハ戸籍ニ記載ヲ要スル事項ニシテ屆書ニ其ノ記載ナキカ爲メ之ヲ記載スルコト能ハサルトキハ外屆書ニ記載アルモ其ノ記載カ戸籍ノ記載ト符合セサルモノアル場合ニハ其ノ記載カ戸籍ニ記載ヲ要スルモノナルト否トヲ問ハス總テ本條ノ適用アルヤ

但出生死亡ノ如キ他家ノ戸籍ニ關係ナキ事件ニ付テハ屆書ノ記載ニ戸籍ノ記載ト符合セサルモノアル場合ト雖モ父母ノ氏名及父母トノ續柄又ハ届出人ノ氏名ノ如キ戸籍ニ記載ヲ要スルモノニ不適合ナキ限リ本籍ノ地番號戸主ノ氏若クハ名又ハ戸主ト届出人トノ續柄ノ如キ或ハ届出人ノ生年月日又ハ死亡者ノ名ノ如キ戸籍ニ記載シアルモノニ付不適合ノ點アルモ屆書總體ノ記載ニ依リ市町村長ニ於テ其人違ナキコトヲ認定シ得ル場合ニハ追完ノ手續ヲ要セサルヤト云フニ屆書ニ戸籍ニ記載スヘキ事項ヲ記載セサル場合及之ヲ記載セルモ其ノ記載カ戸籍ト符合セサルカ爲メ戸籍ノ記載ヲ爲スコト能ハサル場合ハ總テ追完ヲ爲サシムヘキモノナルモ其他ニ付テハ人違ナキコト確實ナル上ハ追完ヲ爲サシムルニ及ハス

(大正三年六月二十六日山口區裁判所監督判事問合) 同年十二月二十八日民第一二二五號法務局長回答

2、他ノ市町村長ヨリ送付シタル屆書中證人ノ本籍又ハ戸籍記載ヲ要セサル同意者ノ名出生年月日(人違ニアラサルコトヲ認定シ得ヘキ死亡者本人、出生死亡ノ届出人亦同シ)ノ相違等ハ戸籍ノ記載ニ差支ナキヲ以テ本條ヲ適用スルヲ要セサルヤト云フニ記載ノ相違ニ依リ届出事項ノ效力ニ影響スヘキ場合ハ戸籍ノ記載ニ差支アリトス

(大正三年五月二十日大阪市北區戸籍吏伺) 同年十二月二十八日民第一九四號法務局長回答

3、戸籍法第六十五條ニ所謂屆書記載ノ欠缺トハ脱漏ノ意味ニ

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第六十五條

第六十五條ノ「届出義務者」ハ現實ニ届出ヲ爲シタルモノニ限ラス

1、戸籍法第六十五條ニ所謂届出義務者トハ現實ニ届出ヲナシタルモノノミヲ指シタルモノナルヤ又ハ戸籍法第七十二條同法第七十七條等ノ規定ニヨル届出義務者ヲモ包含スルヤト云フニ總テノ届出義務者ヲ包含スルモノトス

(大正三年十二月十五日愛媛縣西宇和郡千丈村戸籍吏伺) 同年十二月二十八日民第一九六二號法務局長回答

法定代理人タル届出義務者ト追完ノ催告

1、戸籍法第六十五條ニヨル追完ノ催告ハ戸籍法第四十九條但書ノ規定ニヨリ未成年者又ハ禁治産者カ爲シタル届出ト雖モ其ノ法定代理人タル届出義務者ニ對シ之ヲ爲スヘキモノトス

(大正三年十二月十五日愛媛縣西宇和郡千丈村戸籍吏伺) 同年十二月二十八日民第一九六二號法務局長回答

市町村長カ欠缺アル屆書ヲ受理シタル場合ノ手續

實例判例文例人事法總覽

1、市町村長カ欠缺アル届書ヲ受理シタルトキハ先ツ之ニ基キ欠缺ノ儘爲シ得ル戸籍ノ記載ヲ完了シ其ノ届書ハ監督區裁判所ニ送付シ置キ其他ノ記載ハ追完アリタルトキ之ヲ爲スヘク若追完ノ催告ヲ爲スモ届出義務者カ遂ニ追完ヲ爲ササル場合ニ於テハ第六十四條第三項ノ規定ニ依リ職權ヲ以テ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキモノトス

(大正三年六月五日群馬縣利根郡南村長伺
大正四年一月九日民第一〇九號法務局長回答)

◎届書ニ本籍、氏名、年齢等戸籍ト相違アルモ人違ニ非サルコト明ニシテ戸籍ノ記載ヲ要スル事項ニ付欠缺ナキ場合ノ手續

1、市町村長カ届出ヲ受理シ又ハ届書ノ送付ヲ受ケタル後其ノ届書ニ本籍、氏名、年齢等戸籍ト不符合ノ點ヲ發見シタルモ戸籍上明カニ其ノ本人ナルコトヲ認ムルニ足リ且戸籍ノ記載ヲ要スル事項ニ付別段欠缺アラサルトキハ之レカ追完ヲ爲サシムルコトヲ要セス其儘戸籍ノ記載ヲ爲スヘキモノナリ

(大正三年十一月十二日熊本區裁判所監督判事問合
大正四年一月十五日民第一七七號法務局長回答)

【参照】

2、戸籍法第六十五條届書欠缺ノ追完ニ對シ大正三年六月二十一日山口區裁判所監督判事問合同年十二月二十八日民第一二二號法務局長回答戸籍ノ記載ヲ爲スコト能ハサル場合ハ總テ追完ヲ爲サシムヘキモ死亡者氏名ノ戸籍ト符合セサルモ人違ナキコトノ確實ナル上ハ追完ヲ爲サシムルニ及ハサルヤト云フニ届書ノ記載カ戸籍ト符合セサルカ爲戸籍ノ記載ヲ爲ス

コト能ハサル場合ハ追完ノ手續ヲ爲サシムヘキモ右ノ如ク死亡者ノ名續柄等カ戸籍ト符合セサルモ市町村長ニ於テ其ノ死亡者ニ付人違ナキコトヲ確認スル上ハ追完ヲ爲サシムルニ及ハサルモノトス

(大正五年七月十五日北海道空知郡岩見澤町長伺
同年八月二十二日民第一二六九號法務局長回答)

◎子ノ名未定ナル出產届出ノ追完並ニ命名權者

1、大正三年十月九日江差區裁判所判事問合同年十二月九日民第一六八四號法務局長回答名未定ノ儘出生届ヲ爲ス場合ハ戸籍法第七十二條第三項ノ届出義務者ヨリ届出ツル場合ニシテ第七十二條第一項又ハ第二項ノ義務者ヨリ届出ツル場合ハ同第五十三條但書ニヨリ必ス其ノ氏名ヲ記載スヘク若シ記載ナキ届書ヲ提出シタルトキハ之ヲ受理セサルモ差支ナキヤト云フニ子ノ名ノ追完ヲ爲サシムヘキ場合ハ戸籍法第七十二條第三項ノ届出義務者ヨリ届出ヲ爲シタル場合ニ限ルヘキモノニ非ス其他ノ届出義務者ヨリ届出ヲ爲シタル場合ト雖モ子ノ名ノ記載ナキ届出ヲ受理シタル上ハ等シク追完ノ手續ヲ爲サシムヘキモノトス但シ子ノ名ノ記載ナキ届書ハ之ヲ受理セサルコトヲ得

(大正四年一月六日愛媛縣西宇和郡真穴村長伺
同年一月二十日民第五四三號法務局長回答)

2、命名ハ出生子ノ親權者又ハ後見人ノ有スル權利ト思考スルモ爰ニ精神病者ニシテ教育所ニアル者私生子ヲ分娩シタルモ自ら届出ヲ爲スコト能ハサル状態ニアルヲ以テ戸籍法第七十

六條ニ依リ其ノ教育所ノ長ヨリ名不存ノ旨ヲ記載シ出生届出ヲ爲シタルモノアリ然ルニ命名權者カ其ノ命名追完前死亡シタル場合出生子ノ名ハ如何ナル方法ニ依リ追完セシムルヤト云フニ從來ノ慣例ニ從ヒテ子ノ命名ヲ爲シタル追完届ハ出生届出義務者ヨリ之ヲ爲サシムヘキモノトス

(大正六年五月十八日長野區裁判所監督判事問合
同年八月二十五日民第九二四號法務局長回答)

3、戸籍法第七十六條ニ依リ届出義務者カ父又ハ母ナラザリシ場合出生子ノ名存セサル旨記載シタル届書ヲ受理シタルトキハ後ニ父又ハ母ヨリ追完セシムヘキヤ若シ追完セシムヘキモノトスルモ其ノ追完届出前死亡シタルトキハ如何ナル方法ニ依リ追完セシムルヤト云フニ從來ノ慣例ニ從ヒテ子ノ命名ヲ爲シタル上其ノ追完届出ハ出生届出義務者ヨリ之ヲ爲サシムヘキモノトス

(大正六年五月十八日長野區裁判所監督判事問合
同年八月二十五日民第九二四號法務局長回答)

◎届出事項ノ重要ナルモノニ欠缺アル場合ハ其ノ届出ヲ受理スヘカラサルモ一旦之ヲ受理シタル上ハ戸籍ノ記載ニ支障ナキ限り其ノ追完ヲ要セス

1、届出ノ追完ニ關スル山口區裁判所監督判事問合ニ對スル回答ハ市町村長ハ受理シタル届書ノ記載中戸籍ニ記載ヲ要セサル事項ハ縱令戸籍ト符合セサルモノアルモ人違ナキコトノ事實ヲ確認シ得ルニ於テハ届出ノ追完ヲ爲サシムルコトヲ要セストノ趣旨ニ有之而テ稟伺ニ係ル事例ハ届出事項ノ重要ナル

モノニ欠缺アル場合ニ該ルヲ以テ市町村長ハ届出ヲ受理スヘカラサルモ一旦之ヲ受理シタル以上ハ戸籍ノ記載ニ支障ナキ限り届出ノ追完ヲ要セサルモノトス

(大正四年二月二十六日福岡縣福岡市長伺
同年三月十二日民第三七四號法務局長回答)

◎離縁、離婚、縁組又ハ婚姻ノ届書ニ實家再興ニ關スル記載ヲ爲ササル場合ハ當然一家ヲ創立スヘキモノナレハ追完ヲ爲スヲ要セス

1、廢絶家再興ハ届出ニ因リテ其ノ效力ヲ生スヘキモノナルヲ以テ離縁若ハ離婚又ハ縁組若ハ婚姻ノ取消ノ届書ニ再興ニ關スル記載ヲ爲ササル限リハ其ノ者ハ當然一家ヲ創立スヘク(民法第七百四十條本文)此ノ場合ニ於テ戸籍法第六十五條ヲ適用スルコトヲ得サルモノトス

(大正四年三月八日福岡縣河添郡坂下町長伺
同年六月二十三日民第三七四號法務局長回答)

◎非本籍地ニ於テ婚姻届ヲ受理シ之ヲ夫妻雙方ノ本籍地ニ送付シタルニ夫ノ本籍地ニ於テハ之ニ基キ戸籍ノ記載ヲ爲シタルモ妻ノ本籍地ニ於テハ其ノ届書ニ欠缺アリトシテ返戻シタル場合ト之カ更正方ハ妻ノ本籍地ニ對スル分ニ付テノ追完届

1、非本籍地市町村ニ於テ婚姻届ヲ受理シ之ヲ夫妻雙方ノ本籍地市町村ニ送付シタルニ夫ノ本籍地市町村ニ於テハ之ニ依リ戸籍ノ記載ヲ了シタルモ妻ノ本籍地ヨリ其届出ニ欠缺アル爲メ戸籍ノ記載ヲ爲シ能ハストシ返付シ來リタルトキハ之カ更正方ハ妻ノ本籍地ニ對スル分ニ付テハ追完届出ヲ爲サシメ既

實例判例文例人事法總覽

ニ戸籍ノ記載ヲ了シタル夫ノ本籍地ニ對スル分ニ付テハ戸籍
訂正ノ手續ヲ爲サシムヘキモノナリ

(大正四年五月五日國權區裁判所監督判事問合)
同年六月二十四日民第五九四號法務局長回答)

◎戸籍法第六十五條ノ適用並ニ追完届ノ形式

1、戸籍法第六十五條ハ届書中一部分ノ欠缺「例セハ出生届ノ
出生ノ時間出生ノ場所ノ地番、母ノ職業缺ケタル如キ場合」
アル場合ニノミ適用セラレヘキモノナルヤ又本籍其他一般ニ
錯誤遺漏アリタル場合ニモ準用セラレ可キヤト云フニ戸籍ニ
記載スヘキ事項ニ付届書ニ欠缺アル爲戸籍ノ記載ヲ爲スコト
能ハサル以上ハ其ノ欠缺カ如何ナル事項ニ關スルヲ問ハス戸
籍法第六十五條ヲ適用スヘキモノトス

但シ事項ノ一般ノ遺漏ハ想像スルコトヲ得サルヘク總テノ事
項ニ錯誤アル届書ニ關シテハ之ヲ受理スルモ届書ノ效力ナカ
ルヘキニ付第六十五條ヲ適用スヘキ限ニ在ラサルハ勿論トス

(大正四年四月十日北海道札幌區長何
同年六月二十六日民第五一九號法務局長回答)

2、若シ一項前段ノ如クナリトセハ本法施行前ニ非本籍地ニ於
テ受理シタル身分ニ關スル届書ニシテ錯誤遺漏アリシ爲メ本
籍ヨリ返戻セラレ舊法第四十條ノ通知ヲ爲スモ規定ノ手續ヲ
爲ササリシ爲メ非本籍役場ニ保管シアル届書ノ補完方法ハ如
何ニ爲ス可キヤ

又現行法ニ於テモ本籍ヨリ錯誤遺漏アル爲メ返戻セラレタル
場合届書類ノ市町村役場ニ保管シアル間ハ便宜届出人ヲシテ

訂正セシムルコトヲ得ルモ區裁判所ニ納付後ナル場合ノ補完
方法ハ如何ニ爲ス可キヤト云フニ此ノ場合ニ於テハ非本籍地
市町村長ハ届書ヲ本籍地市町村長ニ再送スヘク同市町村長ハ
之ニ基キ欠缺ノ儘爲シ得ル戸籍ノ記載ヲ完了シ其他ノ記載ハ
戸籍法第六十五條ノ規定ニ依リ追完ヲ爲サシメタル上之ヲ爲
スヘシ若追完ノ催告ヲ爲スモ届出義務者カ追完ヲ爲ササルト
キハ第六十四條第三項ノ規定ニ依リ職權ヲ以テ戸籍ノ記載ヲ
爲スヘキモノトス

後段追完ハ別ニ届出テシムヘク前ニ受理シタル届書ヲ訂正セ
シムヘキモノニ非ス

(大正四年四月十日北海道札幌區長何
同年六月二十六日民第五一九號法務局長回答)

3、追完ハ届出申請何レノ形式ニ依ルヘキヤト云フニ届出ノ形
式ニ依ルヘシ

(大正四年四月十日北海道札幌區長何
同年六月二十六日民第五一九號法務局長回答)

◎分家ノ家族ト爲ルヘキモノノ内十五年以上ノ直系卑屬アル場合
其者ノ同意ナキ場合ノ追完並ニ届出人カ其ノ追完ニ應セサル場
合ノ手續

1、分家届ヲ分家地ニ於テ受理シタル所分家ノ家族ト爲ルヘキ
モノノ内十五年以上ノ直系卑屬アリ然ルニ其者ノ同意ナキ場
合ニ於テハ戸籍法第六十五條ニ依リ追完セシムヘキモノニシ
テ其儘戸籍ノ記載ヲ爲スヘキモノニアラス

(大正四年六月二十四日高松區裁判所監督判事問合)
同年七月八日民第一〇三三號法務局長回答)

2、前項届出人カ追完催告ニ應セサルトキハ監督區裁判所ノ許
可ヲ得テ届書中同意ナキ直系卑屬ヲ除キ戸籍ノ記載ヲ爲スコ
トヲ得ヘキヤ又ハ許可ヲ得テ同意ナキ儘戸籍ノ記載ヲ爲シ戸
籍法第三十九條第一項ノ通知ヲ爲スヘキモノナルヤト云フニ
此ノ場合市町村長ニ於テ直系卑屬ノ同意ヲ徵スヘク若之ヲ得
ルコト能ハサルトキハ前段ノ通り取扱フモノトス

(大正四年六月二十四日高松區裁判所監督判事問合)
同年七月八日民第一〇三三號法務局長回答)

◎錯誤ニ依ル届書ノ欠缺ヲ一ノ市町村長カ戸籍ノ記載ヲ爲ササル
前發見シタル場合及他ノ市町村長カ既ニ戸籍ノ記載ヲ爲シタル
場合ノ追完ト訂正

1、錯誤ニヨル戸籍ノ欠缺ニシテ一ノ市町村長カ戸籍ノ記載ヲ
爲ササル前發見シタルトキハ追完ノ手續ヲナサシムルコトヲ
得ルヤ若シ得ルトセハ已ニ戸籍ノ記載ヲ爲シタル市町村長モ
之ニ基キ直ニ訂正ヲ爲スコトヲ得ルヤト云フニ前段ハ欠缺ア
ル届書ニ基キ其ノ儘爲シ得ル戸籍ノ記載ヲ完了シ置キ其他ノ
記載ハ追完届ヲ爲サシメテ之ヲ爲スヘク後段ハ戸籍訂正ノ手
續ヲ爲サシムヘシ

(大正四年六月十二日愛媛縣西宇和郡千丈村長何
同年七月十六日民第九八四號法務局長回答)

【同趣旨】

(大正四年七月十七日小樽區長何
同年七月二十九日民第二二七號法務局長回答)

◎轉籍届ヲ轉籍地ニ於テ受理シ届書ノ一通ヲ原籍地ニ送付シタル
ニ原籍地ニ於テ届書添附ノ戸籍謄本ニ一名ノ記載漏アルコトヲ

發見シタル場合ハ追完ノ手續ニ依ル

1、轉籍届ヲ轉籍地ニ於テ受理シ届書ノ一通ヲ原籍地ニ送付シ
タルニ原籍地ニ於テ届書ニ添附シタル戸籍謄本ニ一名ノ記載
脱漏アリタルコトヲ發見シタルトキハ追完ノ手續ニ依ルヘキ
モノトス

(大正五年二月九日福井區裁判所監督判事問合)
同年三月十五日民第二六號法務局長回答)

2、大正五年二月九日福井區裁判所監督判事問合同年三月十五
日民第二二六號回答第一項ノ追完手續ヲナスハ原籍市町村長
ノ除籍手續ノミニ關スルモノニシテ轉籍地市町村長ハ戸籍訂
正手續ニ依ルヘキ趣旨ナリヤ若シ然ラストセハ右回答第二項
ト手續ヲ異ニスル理由如何ト云フニ第一項ハ轉籍地ノ戸籍ニ
脱漏シタル家族ヲ記載スヘキ場合ニ於テモ追完届ニ基キ其ノ
記載ヲ爲スヘシトノ趣旨ナリ而シテ同回答第一項ト第二項ト
其ノ手續ヲ異ニセルハ第一項ノ場合ハ既ニ爲シタル戸籍ノ記
載ニ變更ヲ來スコトナキモ第二項ノ場合ハ子ノ續柄ヲ訂正ス
ルノ必要アルヲ以テナリ

(大正七年十一月七日山口縣豐浦郡豐田村長何
大正八年四月七日民第八三五號法務局長回答)

◎戸籍ニ關スル届書ノ一通ヲ本籍地ニ送付後錯誤遺漏ノ追完届ヲ
追送シタルニ既ニ戸籍ノ記載後ナルヲ以テ訂正手續ニ依ルヘキ
モノトシ追完届ヲ返戻セラレタル場合ノ手續

1、戸籍ニ關スル届書ヲ非本籍地ニ受理届書ノ一通ヲ本籍地ニ
送付後(前届書受理ノ日乃至翌日)前届ニ對スル錯誤遺漏ノ追
完届ヲ受理追送スルニ本籍地ニ於テハ既ニ戸籍記載ヲ了シタ

實例判例文例人事法總覽

レハ戶籍訂正ノ手續ヲ履行セシムヘキ旨ヲ以テ届書ヲ返戻セラレタリ届書ノ整理ハ如何ニスヘキヤト云フニ遺漏ニ付テハ追完ノ記載ヲ爲ス外戶籍ノ記載ヲ更正スル必要ナキ限ハ追完ノ手續ヲ爲スヘク其他ハ貴見ノ通但シ訂正ノ手續ヲ爲スコトヲ要スル場合ニ於テハ追完届ハ之ヲ届出人ニ差戻スヘシ

(大正四年十一月二十五日北海道空知郡岩見澤町長伺) (大正五年三月二十三日民第三一九號法務局長回答)

◎婚姻成立後二百日以内ノ出生子ニ付非本籍地ニ於テ父一人ヨリ爲シタル嫡出子出生ノ届書ノ送付ヲ受ケタルトキノ追完方

1、婚姻成立後二百日以内ノ出生子ニ付嫡出子ノ届出ヲ爲サントスルニハ舊戶籍法時代ノ取扱ト異リ必ス其ノ父母運署ヲ以テ届出ヲ爲スヘク若シ父一人ヨリナシタル嫡出子出生届ヲ受理シ戶籍ノ記載ヲ了シタル上ハ更ニ母ヨリ認知届ヲ爲サシムヘキモ父一人ヨリノ届書ヲ非本籍地ヨリ送付ヲ受ケタル本籍地市町村長ハ其ノ事由ヲ付シ届書ヲ返戻スヘキヤ將其儘受理スヘキヤ受理スルモノトセハ庶子ト認メ之カ記載ヲ爲シタル上母ヨリ認知届ヲ爲サシメ嫡出子ト訂正スヘキヤト云フニ追完ノ手續ヲ爲サシメタル上戶籍ノ記載ヲ爲スヘシ

(大正五年四月二十日山田區裁判所判事問合) (同年十月二十一日民第六二六號法務局長回答)

【参考】

2、三重縣志摩郡磯部村長伺ニ對スル大正四年十二月二十四日民第一八號回答久留米區裁判所監督判事問合ニ對スル大正五年二月三日民第一八〇三號回答九七號回答

【注意】

1、父ノミヨリ爲シタル嫡出子出生届ハ追完ヲ爲サス其ノ儘受理スヘキコトニ省議變更セラレタリ

◎戶籍法第八十三條後段ニ依ル出生届ヲ受理シ戶籍ノ記載前父母ノ未婚ナルコトヲ知りタル場合ハ庶子出生届ニ追完セシム

1、戶籍法第八十三條ノ規定ニ依ル嫡出子出生届ヲ受理シ戶籍ノ記載前ニ父母ノ未婚者ナルヲ發見シタル場合ハ庶子出生届ニ追完セシメ戶籍ノ記載ヲ爲スヘキモノトス

(大正六年五月九日小倉市長伺) (同年六月八日民第九〇三號法務局長回答)

◎非本籍地市町村長ヨリ父ヨリ爲シタル嫡出子出生届ノ送付ヲ受ケタルニ婚姻後二百日以内ノ出生ナルコトヲ知りタル場合ノ追完方

1、非本籍地市町村長ヨリ父ヨリ爲シタル嫡出子出生届書ノ送付ヲ受ケ本籍地乙市區町村長ハ届出人ノ戶籍簿ト對照スルニ其子ハ父母婚姻成立後二百日以内ノ出生子ナルヲ以テ戶籍法第八十三條後段ニ依リ父母ヨリ届出ツヘキモノナルコトヲ發見シタリ此ノ場合ニ於テ本籍地乙市區町村長ハ之ヲ受理スヘキヤト云フニ追完ノ届出ヲ爲サシメ又ハ一旦出生届ヲ差戻シ之ヲ訂正セシメタル上戶籍ノ記載ヲ爲スヘシ

(大正六年五月二十四日名古屋市中區長伺) (同年六月二十六日民第九五九號法務局長回答)

【注意】

1、父ノミヨリ爲シタル嫡出子出生届ハ受理スヘキコトニ變更

セラレタリ

2、現戶籍法施行後單ニ父ヨリ嫡出子出生届ヲナシ既ニ戶籍ニ記載ヲ爲シタルモノナルトキハ更ニ母ヨリ認知届ヲ爲サシム

(大正四年十二月十四日久留米區裁判所監督判事問合) (大正五年二月三日民第一八〇三號法務局長回答)

【参考】

(大正五年三月十三日靜岡區裁判所監督判事問合) (同年六月五日民第三九二號法務局長回答)

◎養父カ行衛不明ナルニ不拘普通ノ離縁届ヲ爲シタル場合ト養母ヨリ其ノ追完届

1、明治三十二年十月二十七日宮城縣刈田郡福岡村戶籍吏代理助役伺同年十一月八日民刑第一九四四號回答ハ左記ノ如ク配偶者ノ一方カ虚偽ナル養子離縁届出ノ場合ニ於ケル時ニモ適用スヘキヤ又ハ配偶者ノ一方ノ離縁シタルモノト看做シ養子ハ其家ニ止マルヘキモノナルヤト云フニ養父カ行衛不明ナル場合ニ於テハ民刑第一九四四號回答ノ趣旨ニ依リ取扱フヘシ

養父 甲

但シテ捺印ノ上届出タルモノニテ全ク虚偽ノモノ

養母 乙

養子 丙

(大正六年七月十二日廣島市長代理助役伺) (同年八月二十五日民第一五〇〇號法務局長回答)

2、前項ノ場合ニ於テ追完届ヲ爲サシムルニ當リ養子ハ離縁届

第一編 戶籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第六十五條

出後行衛不明トナリタル場合ハ養母ノミノ追完届ヲ爲サシムヘシ

(大正六年七月十二日廣島市長代理助役伺) (同年八月二十五日民第一五〇〇號法務局長回答)

【参照】

3、協議ヲ以テ養子ヲ離縁セントスルニ當リ配偶者ノ一方カ其ノ意思ヲ表示スルコト能ハサルトキハ縁組ノ例ニ依リ他ノ一方ハ雙方ノ名義ヲ以テ離縁ヲ爲スコトヲ得

(明治三十二年十月二十七日宮城縣刈田郡福岡村戶籍吏伺) (同年十一月八日民刑第一九四四號法務局長回答)

◎轉籍後追完届ヲ爲スヘキ役場

1、甲村ヨリ乙村へ轉籍シ本人ハ既ニ乙村ニ現住シ居ル者其ノ轉籍届書ニ欠缺アリテ追完ヲ要スル場合ハ大正三年五月二十九日島根縣邑智郡川本村長問合同年六月二十六日山口區裁判所監督判事問合ニ對スル回答ノ趣旨ニ依リ轉籍届ノ送付ヲ受ケタル乙村役場ニ於テ追完ヲ爲サシムヘシ

(大正七年四月十七日青森市長伺) (同年五月三日民第八四〇號法務局長回答)

◎市町村長カ同意ノ欠缺セル届書ヲ受理シタル場合ノ手續

1、市町村長カ左ノ各號ノ同意ノ欠缺セル届出ヲ誤テ受理シ戶籍記載ノ後其ノ欠缺セルコトヲ發見(届書カ市町村役場ニ在ル間ト否トヲ問ハス)シタルトキハ同意ヲ爲スヘキ者カ事實上同意ヲ與ヘ居リシモノニシテ其者ヨリ既ニ同意ヲ爲セシモノナルトキハ書面ヲ徴シ得ルニ付キ戶籍訂正手續ヲ爲スヘキ

實例判例文例人事法總覽

ニアラス

- (イ) 庶子又ハ私生子ノ出生届ニ要スル入ルヘキ家ノ戸主ノ同意
- (ロ) 私生子認知届ニ要スル入ルヘキ家ノ戸主ノ同意
- (ハ) 分家他家相續又ハ廢絶家再興ノ届ニ要スル去ルヘキ家ノ親權者若クハ後见人又ハ戸主ノ同意
- (ニ) 分家属ニ要スル十五年以上ノ直系卑屬ノ同意
- (ホ) 民法第七百三十七條ノ入籍届ニ要スル戸主親權者又ハ後见人ノ同意
- (ヘ) 同第七百三十八條ノ入籍届ニ要スル戸主親權者後见人配偶者又ハ養親ノ同意
- (ト) 同第九百三十四條但書ノ届出ニ要スル親族會ノ同意

(大正六年十二月十三日山口縣厚狹郡須惠村長伺
大正七年五月十一日民第六三三號法務局長回答)

2、甲村ニ於テ實父繼母カ民法第八百四十三條第二項ノ規定ニ反シテ親族會ノ同意ヲ得スシテ承諾ヲシタル十五年未滿ノ養子縁組届ヲ過テ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲シタル上養子ノ本籍地タル乙村ヘ届書ノ一通ヲ送付シタルニ繼母ノ承諾ニ親族會ノ同意ヲ得サルハ無効ノ縁組ニ付除籍ヲナスコトヲ得サル旨ヲ以テ届書ヲ甲村ニ返戻シタリ此ノ場合ニ於テ甲村ハ該縁組ハ民法上無効トスヘキ規定ナキヲ以テ乙村ヘ再送スヘキモノナリヤト云フニ繼母ノ承諾ニ付親族會ノ同意ヲ得タル旨ヲ届書ニ追完セシメ又ハ其ノ同意證書ヲ追徴シタル上先ニ返戻

セラレタル届書ヲ乙村長ニ再送スヘク乙村長ハ之ニ基キテ除籍ノ手續ヲ爲スヘシ

(大正七年十月二十一日靜岡縣小笠原郡掛川町長臨時代理稟伺
同年十一月二十日民第二三三六號法務局長回答)

3、右養子縁組ニ付尙繼母ノ承諾ヲ落シタル場合其ノ縁組ハ無効ナリヤト云フニ養子縁組ニ付繼母ノ承諾ヲ得サリシ場合ニ於テモ前項ニ準シ其ノ追完ヲ爲サシムヘシ

(大正七年十月二十一日靜岡縣小笠原郡掛川町長臨時代理稟伺
同年十一月二十日民第二三三六號法務局長回答)

◎婿養子縁組婚姻ヲ爲シタルニ誤テ婚姻届ノミニ因リ入除籍ノ手續ヲ爲シタルモノノ追完手續

1、婿養子縁組婚姻ヲ爲シタルニ誤テ婚姻届ノミニ因リ入除籍ノ手續ヲ爲シタル場合ハ縁組届ヲ追完セシムルノミニテ足レリヤ又ハ戸籍訂正ノ手續ニ依リ婿養子ノ實家ノ戸籍ヲ復活シ普通婚姻ニ訂正シタル後更ニ養子縁組届ヲ爲サシムヘキモノナルヤ又婚姻届ヲ受理シ未タ戸籍ニ記載ヲ爲ササル場合ナルニ於テハ縁組届ヲ追完セシメ差支ナキヤト云フニ婚姻届出ニ婿養子縁組ナル旨ノ記載ナキニ於テハ之ヲ追完セシメ同時ニ縁組届出ノ追完ヲ爲サシメ之ニ基キ戸籍ノ訂正又ハ戸籍ノ記載ヲ爲スヘシ

(大正六年十月二十五日京都府區裁判所監督判事問合
大正七年五月三十一日民第一一四八號法務局長回答)

◎戸籍上母不詳ト記載アルモノニ付名カ分明シタル場合ノ追完方法

1、戸籍上父母トノ續柄欄ニ母不詳ト記載アルモノ多クアリ其

母ノ名カ分明シタル場合之ヲ更正スルニハ戸籍訂正ノ手續ニ因ル可キハ無論ノ處婚姻其他ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テ(新ニ戸籍ヲ編成スル場合ニアラス)届出人カ其母ヲ届書ニ追完記載シタル場合ハ之ニヨリ母不詳トアルヲ某ト市町村長限リ變更記載シ差支ナク又母不詳トアルヲ未詳ト某ト記入シ事項欄ニ「母不詳トアルヲ某ト變更何ノ届出ニ依リ追完ス」ト記載スヘキナリ

(大正七年九月十二日福岡市長問合
同年十月十六日民第二〇三一號法務局長回答)

◎離婚又ハ離婚届ニ復籍者ノ出生ノ日ニ誤記アルモ實家ノ戸籍ニ依リ其ノ誤記タルコト明ナル場合ニ於ケル取扱方

1、他ノ市町村長ニ於テ受理送付シタル離婚又ハ離婚ノ届ニ復籍スヘキモノノ生日五日後記載アルモ實家ノ戸籍中其者ニ關スル記載ニハ十五日トアルトキハ追完届ヲ待ツテ記載スルヲ本則トスルモ婚家又ハ養家ノ戸籍謄本等ニ依リ入籍後訂正ヲナシタル形跡ナク全ク養家又ハ婚家ノ戸籍ニ誤記セシモノナルコト顯カナルニ於テハ本年五月十一日宇都宮區裁判所監督判事ニ對スル民第五九七號回答ノ趣旨ニ依リ實家ノ戸籍ニ直チニ正シキ生日ヲ記載シ別ニ事由ヲ記載セサル取扱ヲ爲スモ差支ナシ

(大正七年九月三十日大阪府西區區長問合
同年十月十八日民第二八九號法務局長回答)

◎相續人カ死亡戸主ノ名義ヲ以テ轉籍シタル場合ノ取扱方

1、甲戸主死亡未タ其ノ届出ヲ爲ササル前乙相續人カ甲戸主

義ニテ爲シタル轉籍届ハ實質上ノ戸主カ届出ヲ爲シタルモノナルヲ以テ有效ナリヤ又ハ形式ノ點ヨリ無効ト爲スヘキヤト云フニ相續人カ轉籍ヲ爲スニ付キ死亡戸主ノ名義ヲ用ヒタルハ錯誤ニ出テタルモノト認ムヘク隨ツテ其ノ轉籍ハ強イテ無効トスヘキニ非サルヲ以テ届出人ヲ相續人名義ニ追完セシムヘシ

(大正七年十月十六日若松區裁判所監督判事問合
同年十一月二十一日民第二二八三號法務局長回答)

2、前項ノ場合ニ相續届出ヲ要スヘキモ轉籍即チ新本籍地ニ相續届ト追完届トヲ届出テタルノミニテ可ナルモノニシテ原籍地ニ相續届ヲ届出テ新タニ編成シタル戸籍ノ謄本ヲ添附シ追完届ヲ爲スヘキモノトス

(大正七年十一月二十六日若松區裁判所監督判事問合
同年十二月二日民第二六六八號法務局長回答)

◎婚姻又ハ縁組ノ如キ數人ノ届出人アル届出ニ付追完ノ届出ヲ爲スヘキ者

1、婚姻又ハ養子縁組ノ如キ數人ノ届出人ヨリ爲シタル届書ニ欠缺アル場合ノ追完届ハ其ノ届出人ノ全員ヨリ爲サシムヘキモノナルヲ將タ届出人ノ一人ヲシテ爲サシムルモ差支ナキヤト云フニ婚姻又ハ養子縁組ノ效力ニ影響ヲ及ボスヘキ事項ノ欠缺ニ付テハ總テノ届出人ヨリ其ノ追完ヲ爲スヘク其ノ他ノ事項ノ欠缺ニ付テハ後段ノ通り届出人一人ヲシテ届出ヲ爲サシムルモノナリ

(大正八年四月四日大阪府區裁判所監督判事問合
同年六月二十六日民事第八四一號民事局長回答)

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第六十五條

◎戸籍記載前ニ追完届ヲ爲シタル場合ト前ノ欠缺アル届ト一括シテ完全ナル届書トシテ一事項中ニ記載

1、戸籍記載前ニ追完届ヲ差出シタル場合ハ前ノ欠缺アル届ト後ノ追完届トハ之ヲ合併シ一ツノ完全ナル届書ト看做シ一事項中ニ記載スルコトヲ妨ケサルモノトス

(大正五年四月十八日廣島縣蘆田郡長代理助後問合) 同年十月二十一日民第六二九號法務局長回答

2、戸籍ノ記載ニ必要ナル事項ノ欠缺アル届書ト其ノ欠缺ノ追完届書トヲ同時ニ送付ヲ受ケタル市町村長ハ包括シテ一個ノ完全ナル届書ノ送付ヲ受ケタルモノトシ受附及戸籍ノ記載ヲ爲スヘキモノナリ

(大正五年十二月九日政務廳裁判所判事問合) 大正六年一月二十日民第一九七號法務局長回答

3、婚姻届ヲ入籍地ニ於テ受理シタル後其戸籍記載前入籍者ノ原籍地番號又ハ氏名生年月日ニ錯誤アルコトヲ發見シ其ノ追完届出ヲ爲サシメタル上戸籍記載ヲ爲スニハ其ノ追完届出ノ事項ヲモ記載スルコトヲ要スルヤト云フニ婚姻ノ届出ヲ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲ササル前追完ノ届出アリタルトキハ婚姻届ト追完届トヲ合シテ一ツノ完全ナル届出アリタルモノトシ之ニ基キテ戸籍ノ記載ヲ爲スヘク別ニ追完事項ノ記載ヲ要セス

右ノ場合ニ於テ除籍地カ他町村ナルトキ婚姻届及追完届ヲ同時ニ送付ヲ受ケタル場合ハ單ニ婚姻ニ因ル除籍事項ノミヲ記載セハ足り追完事項ヲモ記載スルコトヲ要セス

◎庶子アル父母ノ婚姻届ニ庶子ノ記載ヲ脱漏シタルモノノ訂正ト追完ノ手續

(大正六年一月二十三日福井縣吉田郡松岡村長伺) 同年三月六日民第一九七號法務局長回答

1、本年二月九日附福井區裁判所監督判事問合「婚姻届ニ嫡出子ノ身分ヲ取得スル庶子ノ記載ヲ遺漏シタルコトヲ戸籍記載完了後發見シタル場合ニ於テハ追完手續ニ依ルコトヲ得ヘキヤ」ニ對シ同年三月十五日民第二二六號ヲ以テ「戸籍訂正ノ手續ナサシムヘシ」トノ回答ハ追完届ヲ爲スヘキ者ナキ場合ニ關スルモノナリヤ然ラサル場合ニ於テハ追完手續ニ依ルモ妨ケナキヤト云フニ戸籍ノ記載ヲ完了シタル後其ノ記載ヲ訂正スルニ非スシテ遺漏シタル事項ヲ補記スル場合ニ限り追完ノ手續ニ依ルコトヲ得

(大正五年五月三十一日大阪區裁判所監督判事問合) 同年十一月九日民第九〇六號法務局長回答

2、舊戸籍法施行中庶子アル父母カ婚姻届出ノ際嫡出子身分取得ノ記載ヲ脱漏シタル場合之ヲ訂正スルハ戸籍法第六十四條ノ手續ヲ爲スヘキモノナルモ他家ニアル庶子カ父母ノ家ニ入籍ヲ爲ス場合其他家督相續轉籍等ニヨリ戸籍ノ記載ヲ爲ス可キ場合ハ戸籍法第六十五條ヲ援用シ其ノ届書ニ追完事項トシテ附記セシメ之ニ依リ戸籍ノ記載ヲ改メ差支ナキコトハ大正五年五月二十五日札幌區長伺同年十月二十六日民第八五九號法務局長回答ナリ右ハ舊戸籍法施行中ノモノニ限ラス現行法施行後ノ分モ同様ノ取扱ヲ爲シ差支ナキヤト云フニ庶子アル父母カ婚姻届書ニ嫡出子タル身分取得ノ記載ヲ脱漏シタル場合ハ追完ノ手續ニ依ルコトヲ得ルハ勿論其他他家ニ在ル庶子カ父母ノ家ニ入籍スル届出又ハ家督相續、轉籍等ノ届出ニ基キ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ場合ニ於テモ脱漏シタル嫡出子身分取得事項ヲ其ノ届書ニ記載セシメテ追完スルコトヲ得ヘシ

(大正七年六月六日福岡市長伺) 同年七月四日民第二九六號法務局長回答

【文 例】

◎追完届ノ例

追 完 届

本 籍 東京市麴町區平河町一丁目四番地戸主
甲野義太郎長男

禮 太 郎

右大正何年何月何日名未定ノ儘出生届出
右子ノ名追完及御届候也

大正何年何月何日

東京市麴町區長 何 某殿

届 出 人 父 甲 野 義 太 郎
明治十年六月七日生

第六十六條 届出期間經過後ノ届出ト雖モ市町村長ハ之ヲ受理スル

コトヲ要ス

◎子ノ名未定ナル出生届出ト子ノ名ノ追完

1、大正三年十月九日江差區裁判所判事問合同年十二月九日民第一六八四號法務局長回答名未定ノ儘出生届出ヲ爲ス場合ハ戸籍法第七十二條第三項ノ届出義務者ヨリ届出ツル場合ニシテ第七十二條第一項又ハ第二項ノ義務者ヨリ届出ツル場合ハ同第五十三條但書ニヨリ必ス其ノ氏名ヲ記載スヘク若シ記載ナキ届書ヲ提出シタルトキハ之ヲ受理セサルモ差支ナキヤト云フニ子ノ名ノ追完ヲ爲サシムヘキ場合ハ戸籍法第七十二條第三項ノ届出義務者ヨリ届出ヲ爲シタル場合ニ限ルヘキモノニ非ス其他ノ届出義務者ヨリ届出ヲ爲シタル場合ト雖モ子ノ名ノ記載ナキ届出ヲ受理シタル上ハ等シク追完ノ手續ヲ爲サシムヘキモノトス但シ子ノ名ノ記載ナキ届書ハ之ヲ受理セサルコトヲ得

(大正四年一月六日愛媛縣西宇和郡真穴村長何同年一月二十日民第五四號法務局長回答)

◎法令ニ定メタル以外ノ事項ヲ記載シタル届書ト受理方

1、戸籍法ニ因ル届出ニシテ法令ニ定メタル以外ノ事項ヲ記載シタル場合ニ於テモ受理差支ナキヤト云フニ若シ却下スヘキモノトセハ届出市役所又ハ町村役場所在地外ニ居住スル者ヨ

リ届書ヲ郵送セラレタルトキハ之カ削除ノタメ往復ニ日數ヲ要シ届出期間ヲ經過スル場合尠カラサルカ故ニ右ハ戸籍法第五十四條ノ解釋上受理差支ナキモノトス

(大正三年十二月二十六日釧路區裁判所監督判事問合同年一月二十八日民第六號法務局長回答)

◎民法施行前戸主ノ弟カ相續人ニ指定セラレタル後戸主カ養子ヲ爲シタル場合ニ於ケル右弟ノ分家届ノ受理方

1、別紙戸籍寫(略)ノ通戸主甲ハ民法施行前即チ明治三十一年七月十三日願濟ノ上分家戸主タル弟乙ノ家名ヲ廢シ家督相續人トシテ入籍シタル後民法實施後去ル大正三年四月二十二日戸主ハ丙女ト養子縁組ヲ爲シタルニ付テハ此時ニ於テ法定ノ推定家督相續人アルニ至リタルヲ以テ民法第九百七十九條ノ規定ニ依リ乙ノ指定家督相續人タル效力ハ之ヲ失ヒタルモノナル而已ナラス戸主ハ更ニ本月二十日他家ヨリ丁男ノ養子トシテ入籍シタルモノナルニヨリ今日ニ於テハ養子丁男カ法定ノ推定家督相續人ト爲リ今般元指定家督相續人タリシ弟乙分家届出ヲ爲サント欲スルニ付テハ既ニ家督相續權ヲ失ヒタルモノナルカ故ニ此ノ儘分家届書ヲ受理スルモ何等差支ナキヤ(明治三十六年五月十二日愛媛縣西宇和郡二本生村戸籍吏何

同年六月二十八日民刑局長回答ニハ舊戸籍法第四百五條ニ準シ戸籍記載抹消ノ申請ヲ爲サシムルヲ相當トス)又タ乙ノ事項欄指定家督相續人ノ記載ヲ抹消申請ヲナシタル上ニアラサレハ分家届ヲ受理スヘカラサルヤト云フニ戸籍法施行細則第十九條第二項ノ手續ヲ爲シタル上其ノ分家届ヲ受理スヘキモノトス

(大正六年七月二十六日愛媛縣越智郡今治町長何同年九月三日民第一六一〇號法務局長回答)

【注意】 右回答ハ左記參照ノ趣旨ニ變更セラレタリ

【參照】

2、福島縣田村郡夏井村大字鹽庭字茄子坂百二十五番地

戸主捨吉

長男 友吉
弟相續人 捨吉

明治十三年十月二十一日生
文久二年十一月十五日生

右本村在籍者中前記々載ノ戸籍ノモノアリ長男友吉ト弟相續人捨吉トニ就テ何レカ相續權ヲ有スルカヲ調査スルニ弟相續人捨吉ハ明治何年ニ於テ弟相續人トナリタルヤ明治十年一月改正ノ舊戸籍簿ヲ閱スルモ其ノ記載ナク其ノ時期ヲ知ルニ由ナシト雖モ友吉ノ出生以前ナルコトハ明瞭ナリ然ラハ民法施行後ニ開始スヘキ相續ニ就テハ民法施行前ニ相續人ヲ定メ後法定ノ推定家督相續人アルニ至リタルトキハ其ノ效力ヲ失フ

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第六十六條

モノト謂ハサル可ラス但シ民法施行前弟相續人ト定ムル届出ヲナシタル場合其ノ實之ヲ養子ト爲シタル者ト認ムヘキトキハ其後實子出生シ又ハ養子ヲ迎フル以前ニナシタル相續人ノ定メハ其ノ效力ヲ失ハサルヘシト雖モ町村制實施以前ヨリ戸籍事務ニ從事シ其ノ實驗ニ徵スルニ民法施行以前ニアリテハ兄弟姉妹ヲ養子ト爲スコトヲ得サル規定ナルカ故ニ之ヲ相續人ト定メタル届出ヲ爲ス場合ニ於テ養子ヲ爲シタルト認ムルコトヲ得ス隨ツテ民法施行以前兄弟姉妹ヲ相續人ト定メタル後實男子出生シ民法施行ノ今日ニ於ケル相續ニ就テハ民法ノ規定ヲ適用シ其ノ順位ヲ定メサルヘカラス民法ノ規定ニヨレハ指定相續人ハ法定ノ家督相續人アラサル場合ニ限リ相續スヘキ者ナルニヨリ弟相續人捨吉ハ相續ヲ爲スヘキ權利ナキヤト云フニ捨吉ヲ以テ相續人トナスヘキモノトス

(大正七年一月四日福島縣田村郡夏井村長何同年三月四日民第三六三號法務局長回答)

◎領事ノ認證セル船客ノ死亡報告書ヲ添附セル左ノ死亡届ハ之ヲ受理シ差支ナシ

1、 何町何番地戸主 甲 弟 乙

明治貳拾四年拾壹月七日生
右ノ者何丸遭難ノ際死亡ノ趣ニテ戸主甲左記寫ノ書面ヲ持參シ死亡届出ノ手續ヲ爲サントス
左記

實例判例文例人事法總覽

死亡届

氏名職業年齢

元何丸石炭夫

乙 年 月 日生

本籍

右者大正六年五月三十一日北緯四十九度十五分西經九度〇分ニ於テ某會社汽船何丸遭難ノ際第五號救命艇ニ移乗後凍死シ某國驅逐艦ニ死體收容水葬ス右及御届候也

證人 元 何丸

三等運轉士 何 某

火夫 同 何 某

元何丸船長 何 某

大正六年六月八日

在某地

帝國總領事館御中

右認證ス

大正六年六月十一日

某地日本總領事館

附規

證人三名ハ自署ナルカ如シ

總テ捺印ナシ

英領加奈陀ニ在任セル日本人ニシテ同地ノ義勇兵ト爲リテ斃死シタル者ノ死亡届

(大正六年九月十七日靜岡縣志太郡島田町長同答)

シタル者ノ死亡届

1、豫テ英領加奈陀ニ在留シ同地ノ義勇兵トナリ歐洲戰地ニ臨ミタル帝國人カ職死シタル旨ヲ以テ在晚香港坡加奈陀日本人會々長タル帝國人カ「オッタワ」軍務局副官ヨリ加奈陀日本人會ヘ宛タル戰死公報ヲ添附シ同會長タル資格ニテ其ノ死亡届出ヲ爲シタルヲ同地駐在帝國領事ニ於テ之ヲ受理シ外務省經由死亡者ノ本籍町村役場ニ送附シ來リタルトキハ該届書ニハ診斷書檢案書又ハ檢視調査ノ添附ナク又届出人タル者ハ戶籍法上届出義務者ニアラサルモ便宜其儘受理シ戶籍ノ記載ヲ爲シ差支ナシ

(大正六年九月二十一日產根區裁判所判事問合)

2、前項戶籍上右死亡届出人ノ資格ハ届出記載ノ通り加奈陀日本人會々長ナルモノハ届出義務者ニ非サルヲ以テ其ノ届書ハ假令領事ニ於テ受理送付シタルモノナルモ之ハ無効ト看做シ其ノ本籍地ニ於テ其ノ戶主又ハ家族アル場合ニハ是等ノ者ヨリ届出ヲ爲サシメ若シ是等ノ者ナキトキハ大正五年三月二十三日附北海道岩見澤町長ニ對スル民第三一九號回答ノ趣旨ニ準シ當該町村長ヲシテ戶籍法第六十四條第三項前段ノ規定ニ依リ戶籍記載ノ許可ヲ受ケシムヘキモノトス

(大正六年九月二十一日產根區裁判所判事問合)

(同年十月八日民第一九二四號法務局長同答)

女方法定ノ推定家督相續人タル場合ニ於ケル婚姻届ノ受理

1、夫ノ本籍地タル甲村長婚姻届ヲ受理シ妻ノ本籍地タル乙村長ニ届書ヲ送付シタルニ推定家督相續人タルノ故ヲ以テ届書返戻シ甲村長ハ一旦受附ケタル以上婚姻ハ有效ナルモノトシ妻ノ本籍地タル乙村長ニ届書ヲ再送シタルニ乙村長ハ大正四年七月二十日栃木區裁判所監督判事問合同年八月二日民第一二三七號法務局長回答ノ趣旨ニ基キ再ヒ返戻シタリ此ノ場合ニハ甲村長既ニ受理シタル届書ナルヲ以テ乙村長モ受理スルヲ相當トス(但シ戶主ノ同意書ハ雙方共添附シアリ)

(大正六年十二月十九日北海道南龍郡秩父別村長同答)

(大正七年一月十日民第二五二一號法務局長同答)

甲男乙女ノ離婚後三ヶ月ニシテ丙男ヨリ乙女ノ胎兒認知ノ届出ヲ爲シタル場合ト之カ受理

1、甲男乙女離婚後三ヶ月ニシテ丙男ハ乙女ノ胎兒認知届出ヲ爲シタリ之ヲ受理スヘキヤ否ヤト云フニ胎兒認知ノ届出ハ之ヲ受理スルヲ相當トス而シテ後日子カ婚姻解消後三百日前ニ生レ前夫ヨリ届出子出生ノ届出アリタルトキハ丙男ヨリ爲シタル庶子出生ノ届出ニ基ク戶籍ノ記載ニ付テハ戶籍法第六十四條ノ規定ニ從ヒ戶籍訂正ノ手續ヲ爲サシムヘキモノトス

(大正七年二月五日舞鶴區裁判所判事問合)

(同年三月二十日民第三六四號法務局長同答)

夫カ英國ニ歸化シタル後妻カ日本ニ於テ分娩シタル子ニ付母ヨリ届出子出生ノ届出アリタルトキハ受理スヘシ

1、戶主タル身分ヲ有スル本邦人ノ夫ノミ許可ヲ得テ英國ニ歸

朝鮮人ト内地人トノ婚姻又ハ縁組ニ關スル届出ノ受理方

1、朝鮮婦人ト内地人トノ婚姻ヲ爲シ得ヘキコトハ熊本縣他託郡古町村戶籍吏何ニ對スル大正二年七月十日附回答ニ依リ明瞭ナルモ朝鮮人タル男子カ内地人ノ女戶主ト入夫婚姻ヲ爲シ入夫戶主ト爲リ或ハ内地人ノ家女ニ婚養子縁組ニ因ル婚姻届出タル場合受理スルモ差支ナシ

(大正四年五月二十八日大阪市西區長同答)

(同年七月六日民第八二二號法務局長同答)

2、朝鮮人(男)トノ婚姻届ハ之ヲ受理シ女ノ戶籍記載ヲ爲スニ止メ除籍ノ手續ヲ爲スコトヲ得ス子ノ出生届アリタル場合ニ於テモ之ヲ受理スヘク届書ノ送付ヲ爲スコトヲ要セス

(大正五年四月七日岐阜縣稲葉郡島村長同答)

(同年五月十三日民第五三九號法務局長同答)

第一編 戶籍法規

第四章 届出 第一節 通則

第六十六條

實例判例文例人事法總覽

【同趣旨】

（大正五年六月二十八日唐津區裁判所判事問合）
（同年七月十二日民第一〇六一號法務局長回答）

3、朝鮮人男下内地人女トカ婚姻ヲ爲シ朝鮮人所管ノ面長ニ届出ヲ爲シタルニ依リ面長ヨリ入籍通知書ヲ送付セリ（婚姻届ノ送付ナシ）妻ノ實家地村長ハ之ニ基キ妻ノ戸籍ヘ婚姻事項ノミヲ記載シ除籍ハナササルモノナリヤ將タ全然戸籍ノ記載ヲ要セサルモノナルヤト云フニ戸籍法ノ規定ニ依リ内地ノ市町村長ニ婚姻届出ヲ爲スニ非ラサレハ内地ニ於テ其ノ婚姻ヲ有效ナルト認ムルコトヲ得サルニ付入籍通知ニ基キ戸籍ノ記載ヲ爲スコトヲ得ス

（大正五年三月一日廣島縣宇佐郡長東村長稟伺）
（同年十一月六日民第三五五號法務局長回答）

◎複寫紙、炭酸紙ヲ使用シタル届出ノ受理方

1、戸籍ニ關スル届書ニ通以上ヲ要スル場合ニ於テ複寫紙ヲ使用シタルモノト雖トモ文字鮮明ナルニ於テハ受理シ差支ナキヤト云フニ複寫紙ヲ使用シテ記載シタル届書ハ之ヲ受理セサルヲ相當トス但シ他ノ市町村長ヨリ送付ヲ受ケタルモノハ其儘受理スヘシ

（大正四年六月十四日福井區裁判所監督判事問合）
（同年七月七日民第九四二號法務局長回答）

2、戸籍ニ關スル届書ニ炭酸紙ヲ使用スルコトハ差許ササルモノニシテ唯一且受理シタル届書ニ至リテハ其ノ送付ヲ受ケタル原籍地役場ニ於テ之ヲ受理セサルヘカラサルハ不得己ルモ領事館ニ於テモ右ノ趣旨ニ炭酸紙ヲ使用シタル届書ハ之ヲ受理セサルヲ可トス

【判例】

◎戸籍法第六十九條第一項ノ出生届出期間ノ計算法

1、戸籍法第六十九條第一項ノ出生届出期間ノ計算法ハ届出事件發生即チ出生ノ月ヨリ起算スルヲ要スルコト戸籍法第六十三條第一項ノ規定ニ依リ明カニシテ同規定ハ民法第三百三十八條ノ所謂別紙ノ定メアル場合ニ該當スル特別規定ナルヲ以テ出生届出期間ハ民法ノ通則ニ從ヒ其ノ翌日ヨリ起算スヘキモノニアラス

（大審院大正十一年四月十日判決）
（法律評論二卷七號諸法八六頁）

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第六十六條

理セサルヲ可トス

（大正五年九月四日外務省通商局長問合）
（同年九月十三日民第一三三〇號法務局長回答）

【注意】

1、内地ニ於テ届出ヲ爲ス場合タルト外國ニ於テ届出ヲ爲ス場合タルトヲ問ハス炭酸紙又ハ謄寫版ヲ用ヒタル届書（青色赤色ヲ除ク）カ文字鮮明ニシテ保存ニ耐ユルモノナルコトヲ認メ得ヘキトキハ之ヲ受理シ差支ナキコトニ省議變更セラレタリ尙複寫紙ニ付テモ同様ナリト心得ラルヘシ

◎届出者ト「インキ」ノ使用

1、戸籍ニ關スル届書又ハ申請書ハ萬年筆用「インキ」ヲ用ヒテ作製シタルモノヲ受理シ差支ナシ

（大正十一年六月十六日靜岡縣靜岡市長稟伺）
（同年七月五日民事第三三九號民事局長回答）

◎絶家者ノ戸籍喪失シタルモ位牌、墓標等ニ依リ其家ノ存在ヲ證明シ得ヘキトキト其家ノ再興届ノ受理方

1、絶家アリトシテ再興セントスルモノ該村役場ハ曾テ火災ニ罹リシ爲メ該家ノ戸籍存在セサルニ付キ果シテ絶家シタルモノナルヤ否ヤ及絶家以前該家ノ存否並ニ絶家ノ年月日等ヲモ分明ナラサルヲ以テ右再興届ハ受理スヘカラサルヤ或ハ位牌墓標等ニ依リ該家ノ存在ヲ證明スル場合ハ之ヲ受理シ差支ナキヤト云フニ位牌墓標等ニ依リ其家ノ存在ヲ證明シ得ルニ於テハ再興ノ届出ヲ受理シ差支ナシ

（大正四年十二月十四日脇町區裁判所監督判事問合）
（大正五年一月二十四日民第一八八七號法務局長回答）

第六十七條 届出人ハ届出ノ受理又ハ不受理ノ證明書ヲ請求スルコトヲ得但受理ノ證明書ヲ請求スル場合ニ於テハ手数料ヲ納付スルコトヲ要ス

利害關係人ハ手数料ヲ納付シテ第三十六條ノ書類ノ閱覽ヲ請求シ又ハ書類ニ記載シタル事項ニ付キ證明書ヲ請求スルコトヲ得
第十四條第二項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス
利害關係人ハ特別ノ理由アル場合ニ限り第三十七條ノ書類ノ閱覽ヲ請求スルコトヲ得

参考ニ戸籍法八條。

【實例】

◎親族會ノ選定ニ依リ他家ヲ相續シタル者ニ對シ相續回復ノ裁判確定シ其ノ届出アリタル場合ノ取扱方

1、親族會ノ選定ニヨリ他家ノ家督相續ヲ爲シタルモノニ對シ家督相續回復ノ裁判確定シ其ノ回復ノ届出アリタルトキハ戸籍法第二十三條ニ因リ新ニ戸籍ヲ編製スヘキモノナレハ此ノ場合ニ戸主ノ名義ヲ有セシモノヲ實家ヘ復籍セシメントスルニハ戸籍法第六十七條ニヨリ相續回復裁判ノ謄本ヲ添ヘ直

チニ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ヘキモノナルヤ相續回復セラレタル結果戸主ノ名義ヲ有セシモノハ當然實家ヘ復籍スヘキモノナレハ回復届出ノミニ依リ直チニ實家ヘ復籍セシムル方法ナキヤト云フニ相續回復ノ届書ニ戸籍法第四十七條第二項ノ規定ニ從ヒ實家ニ入ルヘキモノノ氏名等必要ナル事項ヲ記載セシメ之ニ基キ復籍セシムルコトヲ得ルモノトス
(大正五年九月十三日宮崎區裁判所監督判事問合)
(同年九月二十二日民第一三九號法務局長回答)

◎婚姻縁組等ノ届書ニハ一般ノ届書ト同様ノ事項ヲ記載スヘク出生ノ場所ハ之ヲ記載スルニ及ハス

1、婚姻養子縁組其他入籍スヘキ者ノ届書ニハ出生ノ場所届出年月日届出人ノ資格氏名ヲ記載スヘキモノニアラスト論スルモノアルモ戸籍法第五十四條ニ依リ記載セシムヘキヤト云フニ届出ノ年月日及届出人ノ資格、氏名及出生ノ年月日等ハ戸籍法第四十七條、第二十一條及第五十四條ニ依リ届書ニ之ヲ記載スルコトヲ要スルモ出生ノ場所ハ記載スルコトヲ要セザルモノトス
(大正六年六月二十二日北海道空知郡岩見澤町長伺)
(同年七月二日民第一二八一號法務局長回答)

◎第六十四條第四項ニ依リ利害關係人カ爲ス閱覽請求ト印紙ノ貼用

1、改正戸籍法第六十七條第四項ノ閱覽請求ニ對シテハ民事訴訟用印紙法第十六條ニ依リ印紙ヲ貼用セシムヘキヤト云フニ印紙ヲ貼用セシムヘキモノニアラス
(大正三年四月三十日新潟區裁判所監督判事問合)
(同年五月十九日民第七九三號法務局長回答)

◎利害關係人カ第三十七條ノ書類ヲ閱覽スルニハ手数料ヲ要セス

1、利害關係人カ第六十七條第四項ニ基キ第三十七條ノ書類ヲ閱覽セントスルニハ手数料ヲ要セスシテ其ノ書類ヲ保管スル監督區裁判所ニ請求スルコトヲ得ルモノトス
(大正三年八月十八日八代區裁判所監督判事問合)
(同年十二月二十八日民第一三二六號法務局長回答)

◎官吏公吏カ職務上閱覽ヲ求ムルトキハ手数料ヲ要セス

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第一節 通則 第六十七條

◎工場法第十六條ニ依リ戸籍ニ關スル證明ヲ與フル場合ハ手数料

【同趣旨】

(大正三年十一月十二日熊本區裁判所監督判事問合)
(大正四年一月十五日民第一七一七號法務局長回答)

◎本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ニ付受理シタル書類ノ閱覽

1、本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ノ死亡届若クハ死亡報告書又ハ婚姻届書ノ如キ書類ハ改正戸籍法第三十六條第一、二項中ニ包含セサルモノナルヤ若シ然リトセハ右届書及書類ハ改正戸籍法中明文ナキヲ以テ閱覽ヲ許ササルモノナルカ或ハ同第三十六條第一項ノ非本籍人ニ關スルモノノ中ニ包含スルモノトスルカ本籍分明ナラサル者又ハ本籍ナキ者ニ付受理シタル届書等ハ普通第四十五條、第三十三條及第二十二條ニ依リ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキ事項ニ係リ戸籍ノ取扱手續完了ノ上ハ第三十六條ノ取扱ヲ爲スヘキモノナルヲ以テ第六十七條ニ依リ閱覽ヲ差許スヘク又其ノ書類ハ本籍人ニ關スルモノアリ非本籍人ニ關スルモノアルヘキハ當然ナリトス
(大正三年十二月十六日下關區裁判所監督判事問合)
(大正四年一月九日民第一九一八號法務局長回答)

ヲ徵收セス受理ノ證明書又ハ戶籍ノ謄抄本ノ交付ヲ爲ス場合ハ
手数料ヲ徵收ス

- 1、明治四十四年法律第四十六條工場法第十六條ニ職工徒弟、職工徒弟タラントスル者若クハ工業主又ハ其ノ法定代理人ハ職工徒弟又ハ職工徒弟タラントスルモノノ戶籍ニ關シ戶籍吏ニ對シ無償ニテ證明ヲ求ムルコトヲ得トアルヲ以テ戶籍ニ記載シタル事項ニ付證明ヲ求ムル場合竝ニ戶籍法第六十七條ノ届出受理ノ證明書及届書類ニ記載シタル事項ニ付證明書ヲ請求セシ場合ハ無償交付スヘキモノニシテ戶籍法第十四條戶籍ノ謄本若クハ抄本ノ交付ニ付テハ手数料ヲ徵收スヘキモノナルヤト云フニ市町村長カ職工徒弟又ハ職工徒弟タラントスル者ノ戶籍ニ關シ證明ヲ與フルトキハ手数料ヲ徵スルコトヲ得サルモ届出受理ノ證明書又ハ戶籍ノ謄本若クハ抄本ノ交付ヲ爲ス場合ニハ手数料ヲ徵スヘキモノトス

(大正五年二月十八日長崎市長
同年三月七日民部第二八四號法務局長回答)

◎大正六年司法省訓令第一號亞米利加合衆國ニ在住スル本邦人ト婚姻シタル者カ同國ニ渡航スル爲メ婚姻届書ノ認證謄本ノ交付ヲ請求スル場合ノ取扱方

- 1、亞米利加合衆國ニ在住スル本邦人ト婚姻シタル者カ同國ニ渡航スル爲メ婚姻届書ノ認證謄本ノ交付ヲ市町村長ニ請求シタルトキハ市町村長ハ戶籍法施行細則第三十九條ニ定メタル書式ノ證明書ニ代ヘ届書ノ認證謄本ヲ交付スヘシ但シ監督區裁判所ニ於テ保存スル届書ニ付テハ請求書ヲ區裁判所ニ送付シ

區裁判所ニ於テ届書ノ認證謄本ヲ作り之ヲ市町村長ニ廻送スヘシ

(大正六年五月三十日司法大臣、訓令第一號)

〔注意〕

- 2、訓令第一號亞米利加合衆國ノ中ニ「ハワイ」ヲ含ムモノト見テ差支ナキヤト云フニ訓令第一號亞米利加合衆國中ニハ「ハワイ」ヲ包含ス

(大正六年六月二日富山區裁判所監督判事問合
同年六月二日民部第一〇六一號法務局長回答)

- 3、司法省訓令第一號ニ依リ婚姻届書ノ認證謄本ノ交付ニ付テハ戶籍手数料規則第三條ニ依リ手数料ヲ徵スヘキヤ又ハ監督區裁判所ヨリ謄本ノ廻送ヲ受ケタル場合ニ於テモ市役所又ハ町村役場ニ於テ手数料ヲ徵スヘク市町村長カ婚姻届書ノ認證謄本ヲ作ル場合ニ於テハ戶籍手数料規則第三條ニ依リテ手数料ヲ徵スヘク監督區裁判所ニ於テ其ノ謄本ヲ作ル場合ニ於テハ民事訴訟用印紙法第十六條第一項及第三項ノ精神ニ從ヒ二十錢ノ印紙ヲ貼用セシムルヲ相當トス

(大正六年五月三十日福岡區裁判所監督判事問合
同年六月四日民部第一〇三三號法務局長回答)

- 4、亞米利加合衆國ニ在住スル本邦人ト婚姻シタル者カ同國ニ渡航スル爲メ婚姻届書ノ謄本ヲ市町村長ニ請求シタル場合ニ

於ケル取扱方ニ關シ本年五月三十日附訓令ノ取扱方ニ關シ市町村長カ監督區裁判所ヨリ届書謄本ノ送付ヲ受ケタルトキハ其ノ送付ヲ受ケタル謄本ヲ本人ニ交付スヘキモノニシテ其ノ認證謄本ニ基キ更ニ市町村長ニ於テ謄本ヲ複製スヘキモノニアラス

(大正六年六月十五日安濃津區裁判所監督判事問合
同年七月十四日民部第一八八九號法務局長回答)

- 5、市町村長カ届書謄本ヲ下附スルニ付テハ送付ニ要スル實費ノ外手数料ヲ徵收スルコトヲ得サルモノトス

(大正六年六月十五日安濃津區裁判所監督判事問合
同年七月十四日民部第一八八九號法務局長回答)

- 6、前項訓令中「請求書ヲ區裁判所ニ送付シ」トアルハ謄本ノ請求者ヨリ其ノ書面ヲ徵シ廻送スルモノニシテ該書面ハ監督區裁判所ニ保存スヘキモノナリ

(大正六年六月十五日安濃津區裁判所監督判事問合
同年七月十四日民部第一八八九號法務局長回答)

◎簡易生命保險取扱官廳ハ無手数料ニテ證明書、戶籍謄本ヲ請求スルコトヲ得

- 1、被保險者カ契約後一年以内ニ死亡シタル場合ニ於テ簡易生命保險取扱官廳ハ戶籍法第六十七條第二項ノ規定ニヨリ利害關係人トシテ届書類ニ記載シタル事項ニ付市町村長ノ證明書ヲ無手数料ニテ請求スルコトヲ得ヘク戶籍謄本ニ付テモ同様手数料ヲ要セスシテ其ノ請求ヲ爲シ得ルモノトス

(大正七年七月九日富津貯金局長問合
同年七月十二日民部第一三七五號法務局長回答)

第六十八條

届出人其他ノ者カ署名捺印スヘキ場合ニ於テ印ヲ有セサルトキハ署名スルヲ以テ足ル署名スルコト能ハサルトキハ氏名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル署名スルコト能ハス且印ヲ有セサルトキハ氏名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル

【實例】

婚姻ノ届書ニハ當事者ハ必ス自署スルコトヲ要シ代書シタル書面ニテ届出ヲ爲スコトヲ得ス

1、戸籍法第六十八條中「署名スルコト能ハス且印ヲ有セサルトキハ氏名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル」ハ民法第七百七十五條及第八百十一條ニ依ル婚姻及離婚届ニモ適用シ得ルモノナリヤト云フニ婚姻養子縁組離婚及養子縁組等ノ如ク民法ニ於テ特ニ署名アル書面ニ依ルコトヲ必要トシタル届出ハ代書シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

(大正五年三月二十八日愛知縣寶飯郡蒲郡町長稟伺) 同年六月七日民第四六五號法務局長回答

2、前項代署捺印ヲ不可トセハ自署不能者ハ口頭届出ニ依ラサルヲ得ス婚姻又ハ離婚其他ノ届出ニ際シ當事者ノ一人ハ書面

一人ハ口頭届出ニテ差支ナキヤト云フニ一ノ届出ヲ爲スニ當リ當事者ノ一人ハ口頭他ハ書面ニ依ルカ如ク形式ヲ二様ニスルコトヲ得ス (大正五年三月二十八日愛知縣寶飯郡蒲郡町長稟伺) 同年六月七日民第四六五號法務局長回答

【第一項ト同趣旨】

(大正七年十二月二十八日倉吉區裁判所判事問合) 大正八年一月十五日民第一六六號法務局長回答

届書ニ自署スルコトヲ必要トスル届出ニ付自署シタルモノト認

メ其ノ届出ヲ受理シタル上ハ自署ニ非サルコト後日明ニ爲リタルトキト雖モ其ノ送付ヲ受ケタル市町村長ハ之ヲ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲スヘシ

1、書面ヲ以テ夫ノ本籍地ニ届出タル婚姻届ヲ當事者ノ署名シタルモノト認メ之ヲ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲シ届書ノ一通ヲ妻ノ原籍地町長ニ送付セシ處本人ノ署名シタルモノトハ認メ難シ代署セシメタルモノハ戸籍法第六十八條末項ノ理由ヲ附記セシメヨトノ附箋ニテ届書ヲ返戻シ來レリ故ニ民法第七百七十五條第二項ノ規定アルカ故代書ニ關スル戸籍法第六十八條ノ規定ニ依ルコト能ハサル旨ニテ再送セシ處戸籍法ニ依ラサル届出ハ不適法ナリトシ其ノ受理ヲ拒ミ届書ヲ返戻セルモ本件ノ如キ場合ハ届書ノ送付ヲ受ケタル妻ノ本籍地町長ニ於テ其ノ署名ニ付詮索スルコトナク其儘受理スヘキモノトス

(大正五年九月二十二日北海道高島郡高島村長伺) 同年十月五日民第一四四五號法務局長回答

2、婚姻其他届出ニ因リ效力ヲ生スヘキ届書ニ關シ甲村長ニ於テ當事者證人等自署シタルモノト認メ受理シ乙村長ニ送付シタル場合乙村長ハ更ニ自署ナルヤ否ヤニツキ審査スルノ權限ヲ有スヘキヤ又審査スルノ權限アリトセハ甲乙其ノ所見ヲ異ニシタル場合如何處理スヘキヤト云フニ婚姻、養子縁組、離

婚及養子縁組等ノ如ク民法ニ於テ特ニ其ノ届書ニ自署スルコトヲ必要トシタル届出アリタルトキハ市町村長ハ自署ナルヤ否ヤヲ確メタル後受理スヘキモノナルモ既ニ甲村長ニ於テ自署シタルモノト認メ一旦其ノ届出ヲ受理シタル上ハ假令自署ニ非サルコト後日明ニ爲リタルトキト雖モ其ノ婚姻ハ民法第七百七十八條第二號ノ規定ニ從ヒ其ノ效力ヲ妨ケララルコトナキヲ以テ其ノ届書ノ送附ヲ受ケタル乙村長ニ於テモ之ヲ受理シ戸籍ノ記載ヲ爲スヘキモノトス

(大正五年十月二十五日北海道雨龍郡北上龍村長伺) 同年十一月十三日民第一六六三號法務局長回答

婚姻、縁組、離縁等ト代署シタル書面ノ届出

1、民法第七百七十五條婚姻届ハ口頭ニテ又ハ自署シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要シ代理人ヲ以テ口頭届出若クハ代署書面ヲ以テ届出ツルコトヲ許ササルナリ戸籍法第六十八條ハ書面ニテ婚姻届ノ場合ニ適用スヘキモノニ非スシテ口頭届出ノ場合ニ適用スヘキモノトス

(大正四年十二月二日北海道雨龍郡秩父別村長稟伺) 大正五年二月四日民第一八五一號法務局長回答

【判例】

◎戸籍届書ノ様式ト效力

1、戸籍法第四十七條第六十八條ハ其ノ規定ヲ遵守セサル届書ヲ絶對ニ無効トシテ戸籍吏カ之ヲ受理シテ爲シタル登記ヲモ當然無効ニ歸セシムル法意ニアラス

(宇都宮地方裁判所大正七年七月十三日判決)
法律新聞一四七六號一九頁

第二節 出生

第六十九條 出生ノ届出ハ十四日內ニ之ヲ爲スコトヲ要ス
届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 子ノ氏名及ヒ男女ノ別
- 二 子カ私生子又ハ庶子ナルトキハ其旨
- 三 出生ノ年月日時及ヒ場所
- 四 父母ノ氏名、本籍及ヒ職業
- 五 子ノ入ルヘキ家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍
- 六 子カ一家ヲ創立スルトキハ其旨及ヒ創立ノ原因竝ニ場所
- 七 日本ノ國籍ヲ有セサル者ノ子ナルトキハ其旨

参考ニ戸籍六三條。

【學說】

◎出生兒ノ名ト前ノ届書ト異名ヲ記載シタル届出

1、前ノ出生届ヲ適法ノ手續ニヨリテ抹消セル以上更ニ出生届ヲナス場合ニハ其ノ出生兒ノ名前前ノ届書ニ記載シタルトコロト異ルヲ妨ケス

(大正十三年七月九日法曹會決議)

◎出生ノ時ヨリ十四日內ニ父ノ認知ト戸籍法第七十六條ノ責任

1、出生ノ時ヨリ十四日內ニ父カ認知シタル事實アレハ父カ戸籍法第七十六條ノ責任ヲ負擔スヘク十四日後ニ認知シタル場合ハ父ニ責任ナクシテ母ニ責任アリ

(大正十一年五月三十日法曹會決議)

【實例】

◎戸籍ニ關スル届書ニ「インキ」使用ノ可否

1、戸籍ニ關スル届書ニ「インキ」ヲ使用セシムルコトヲ得サル旨(大正四年七月七日民第六三八號法務局長回答)然ルニ近來萬年ペン流行シ來リ郵送シ來ル届書及他人ヲ以テ提出スル届書等「インキ」ヲ使用スルモノ益々多ク之カ受理ヲ拒ム時ハ或ハ爲メニ届出期間ヲ失シ過料ノ處分ヲ受クルノ不幸ニ陷ルモノアリ從テ後ニ汚損ヲ來ス虞ナキ程度ノ「インキ」ヲ用ヒテ記載シタル届書其他ノ書類ハ之ヲ受理スルコトヲ妨ケスト雖モ永ク保存スルヲ要スル場合アルヲ以テ特ニ注意スルコトヲ要ス

(先例變更)

(大正十一年五月二十三日福岡縣福岡市長伺
同年十二月二十七日民事第二四四九號民事局長回答)

◎婚姻離婚出生及死亡届書ト職業ノ種類ノ詳細記載方

1、戸籍法ノ規定ニ依リ婚姻離婚出生及死亡等ノ届書ニ職業ヲ記載セシムルハ統計上ノ必要ニ出テタルモノニシテ從來其ノ記載カ簡略ニ流レ單ニ農工商ノ汎稱又ハ會社員職工等ノ略稱ヲ記載スルモノ多ク從テ職業分類上支障ヲ來タス趣ヲ以テ内閣書記官長ヨリ照會有之爾後職業ノ種類ノ記載ハ大正九年十二月二十四日内閣訓令第一號職業分類中小分類ニ分類シ得ル程度ニ詳細記載セシムルコトニ勵行スヘシ

(大正十三年八月七日地方裁判所宛民事第六七〇〇號民事局長通牒)

◎女子ノ名ニ漢字ヲ用ヒタル場合ニ傍訓ノ要否

1、女子ノ名ニ漢字ヲ用フル場合ニ傍訓ヲ附スヘキコトハ法令ニ何等規定スル所ナシト雖モ明治三十一年八月十六日福岡縣筑上郡角田村戸籍吏伺ニ對スル同年十月二十七日民刑第一一三二號回答ノ趣旨ニ依レハ必ス傍訓ヲ附セサルヲ得サルカ如ク思料セラルルモ右回答ハ今ニ尙ホ維持セラレ居ルヤト云フニ女子ノ名ニ漢字ヲ用キタル場合ニ於テ強テ之ニ傍訓ヲ附セシムルコトヲ要セス届書ノ記載ニ基キテ戸籍ノ記載ス爲スヘキ趣旨ニ省議決定セラレタリ

(大正七年六月六日鹿兒島縣鹿兒島郡伊敷村長伺
同年六月二十二日民第一三三三號法務局長回答)

◎出生兒ノ届書ト名ヲ外國文字ニテ記載シ片假名ノ傍訓ヲ附シタル場合

1、出生兒ニ出生兒ノ名ヲ外國文字ニテ記載シ片假名ノ傍訓ヲ附シ(例ハ JUMERU SHIZU HIROSHI 等ノ如シ)届出タルトキハ受理シ差支ナキヤ否ヤト云フニ戸籍ノ記載ヲ爲スニハ外國ノ文字ヲ使用セサルヲ相當トスヘキニ付氏名ノ記載ニ羅馬字ノミヲ使用シタル届書ハ之ヲ受理セサルヲ相當トスルモ例示ノ如ク羅馬字ト片假名ト併用シテ其ノ記載ヲ爲シタル届書ハ之ヲ受理シ戸籍ハ片假名ヲ以テ氏名ノ記載ヲ爲スヘキモノトス

(大正十三年一月二十四日京都府區裁判所監督判事問合
大正十三年二月六日民事第三二八號民事局長回答)

◎子ノ名未定ナル出生兒ノ受理方ト子ノ名ノ追完

1、名未定ノ儘出生兒ヲ爲ス場合ハ戸籍法第七十二條第三項ノ届出義務者ヨリ届出ツル場合ニシテ第七十二條第一項又ハ第二項ノ義務者ヨリ届出ツル場合ハ同第五十三條但書ニヨリ必ス其氏名ヲ記載スヘク若シ記載ナキ届書ヲ提出シタルトキハ之ヲ受理セサルモ差支ナキヤト云フニ子ノ名ノ追完ヲ爲サシムヘキ場合ハ戸籍法第七十二條第三項ノ届出義務者ヨリ届出ヲ爲シタル場合ニ限ルヘキモノニ非ス其他ノ届出義務者ヨリ届出ヲ爲シタル場合ト雖モ子ノ名ノ記載ナキ届出ヲ受理シタル上ハ等シク追完ノ手續ヲ爲サシムヘキモノトス但シ子ノ名ノ記載ナキ届書ハ之ヲ受理セサルコトヲ得

(大正四年一月六日愛媛縣西宇和郡真穴村長伺
同年一月二十日民第五四號法務局長回答)

◎婚姻後二百日以内ニ出生シタル子ヲ出生届出ノ期間經過後父母ヨリ届出タルトキト戸籍法第六十四條ノ届出義務者

1、婚姻後二百日以内ニ出生シタル子ヲ戸籍法第六十九條ニアル届出期間經過後ニ父母ヨリ出生届ヲ爲シタルトキハ同第六十四條ノ届出義務者ハ妻タル母ナリ

(大正六年十月十五日福岡縣福岡市長伺
大正七年五月三十日民第一二五九號法務局長回答)

◎出生届漏者ニ付出生届アリタル場合他ノ者ノ續柄訂正

1、出生届漏ノ者ニ付出生届アリタルカ爲メ曾テ長二男女ト記載セラレアル者カ二三男女ト爲リタル場合ハ同戸籍中ノ他ノ家族又ハ戸主ノ父又ハ母ノ名或ハ戸主トノ續柄ハ市町村長限リ直チニ訂正スルコトヲ得ルヤト云フニ出生届漏ノ者ノ出生

届ニ戸籍法第四十七條第二項及第五十四條ニ依リ他ノ嫡出子ノ續柄ノ變更ノ事由ヲ記載スヘキヲ以テ之ニ依リテ其ノ續柄ヲ訂正スヘキモノナルモ其ノ事由ニシテ届書及戸籍ニ依リ自然明ナル以上ハ強テ之ヲ届書ニ明記セシムルヲ俟タス届書ノ趣旨ニ依リテ戸籍ノ訂正ヲ爲スコトヲ得ヘキハ勿論ナリ

(大正四年五月十二日下關區裁判所監督判事問合
同年七月一日民第六九一號法務局長回答)

◎雙子出生後間モナク二男死亡ト死亡届ト共ニ出生届ヲ爲シ數日ヲ經テ長男ノ出生届ヲ爲ス場合ト届書ノ事由ノ記載

1、雙子出生後間モナク二男死亡シタルヲ以テ戸籍法第七十七條ニ依リ死亡ノ届出ト共ニ出生ヲ届出テ其後數日ヲ經テ長男ノ出生届ヲ爲サントスル場合ニハ死亡届ノ關係上長男ノ出生届ニ先チ二男ノ出生届ヲ爲シタル場合ハ届書ニ其ノ事由ヲ記載セシメテ之ヲ受理スルコトヲ得ルモノトス

(大正十三年四月二十三日笠岡區裁判所判事問合
同年五月十四日民事第六九三三號民事局長回答)

◎届出漏ノ長男ノ出生届又ハ長女ヲ長男ト訂正ノ結果他ノ者ノ續柄ニ變更ヲ生シタル場合ノ記載例

1、届出漏ノ長男ノ出生届又ハ長女ヲ長男ト訂正ノ申請書ニ戸籍法第四十七條第二項ニ依リ二男以下ノ續柄即チ身分ニ變更ヲ生スル者ノ記載アル場合戸籍ノ記載ハ左ノ振合ニ依ル
(イ)大正年月日長男某ノ出生届ニ因リ同日父母トノ續柄ヲ二男ト訂正ス
(ロ)大正年月日長女某ノ父母トノ續柄ヲ長男ト訂正ニ因リ同日二男ト訂正ス

實例判例文例人事法總覽

◎戸主未定中ト戸主トノ續柄ノ記載
(大正五年六月三十日福井縣吉田郡岡保村長稟例
同年八月二十六日民部第一四九號法務局長回答)

1、戸主死亡シ其ノ法定相續人アルモ届出ヲ爲ササル内ニ家族ノ出生、死亡等ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テ届書ニ記載スヘキ戸主トノ續柄ハ「戸主亡何某何男」トスヘキヤ將タ「戸主何某(相續人)弟」ト記載スヘキヤト云フニ戸主トノ續柄ハ之ヲ記載スルコトヲ要セス

(大正五年五月十八日福井縣裁判所監督判事問合
同年十月二十五日民部第七〇九號法務局長回答)

◎甲家ノ法定推定家督相續人カ其ノ妻ノ懷胎中ニ廢除セラレ胎兒出生前ニ家督相續開始シ胎兒ノ相續届ヲ爲シタル後乙家ニ入りテ胎兒出生シタル場合

1、甲家ノ法定推定家督相續人タル男子其妻ノ懷胎中ニ廢除セラレ胎兒出生前ニ家督相續開始シ胎兒ノ家督相續届出アリタル後妊婦ヲ從ヘ乙家ニ入りテ胎兒出生シタル場合其子ハ出生前既ニ甲家ノ家督相續ヲ爲シ居ルヲ以テ父ノ家即チ乙家ニ入ラス甲家ノ戸主トシテ入籍スヘキモノナリ然ルトキハ其ノ出生届書ニ戸籍法第六十九條第二項第五號ノ記載ヲ爲スニハ「何年何月何日何市町村何番地前戸主何某(甲家ノ前戸)死亡ニ因リ何年何月何日母氏名胎兒ノ爲メ家督相續届出」ト書シ可然哉ト云フニ届書中子ノ入ルヘキ家ノ表示ハ「何市何町何番地戸主(甲家ナリ)」ノ例ニ依リ記載スヘシ

(大正六年五月五日小倉市長問
同年六月八日民部第九〇三號法務局長回答)

◎戸主未定又ハ戸主ノ所在不明ナル場合其ノ家族ノ庶子又ハ私生子ノ出生届書ニ同意ノ表示方

1、戸主未定又ハ戸主ノ所在不明者ノ家族ニシテ庶子及私生子出生届出ニ付キ戸主ニ對シ出生子ノ入籍同意ヲ求ムル能ハサルヲ以テ民法第七百五十一條ノ規定ニ因リ親族會ノ同意ヲ求メサルヲ得サルモ其ノ手續ノ後出生届出ツル時ハ大半届出期間經過シ失期トナル嫌ヒ有之且ツ又其等ノ者ハ十中八九迄貧民ニシテ親族會員選定招集申請スルノ費用出來得サル者ニ付遂ニ出生届出ヲ怠ルモノ尙又愚ニシテ他人ニ依頼シ他人ノ嫡出子トシテ虚偽ノ届出ヲ爲シタル例モアリ故ニ正確ナル届出ヲ爲サシムルニハ右等ノ出生届書ニハ届出人ヲシテ戸主未定又ハ戸主ノ所在不明ニ付キ同意ヲ求ムル能ハスト附記シ署名捺印セシメ受理スヘキヤト云フニ例示出生子ノ入籍ニ付親族會ノ同意ヲ得ルコト能ハサルニ於テハ一家創立ヲ爲サシムヘク單ニ同意ヲモ求ムルコト能ハサル旨ヲ届書ニ記載セシメ其ノ届出ヲ受理シ出生子ヲ入籍セシムルコトヲ得ス但シ親族會ノ同意ヲ求ムルカ爲届出期間ヲ經過スルモ此ノ場合ニ於テハ届出ヲ怠リタルモノト云フヲ得サルヲ以テ可成親族會ノ同意ヲ求メシムルヲ相當トス

(大正六年六月六日三重縣宇治山田市長問
同年六月二十一日民部第一一五三號法務局長回答)

◎庶子ノ父母婚姻シタル場合ニ於テハ其ノ庶子ハ之ヲ長男ト訂正ス其後出生シタル嫡出子ハ二三男トシテ記載スヘキモノトス

フニ出生届ハ届出人ニ差戻スヘキモノトス

(大正四年五月六日小樽市長問
同年六月二十二日民部第六五四號法務局長回答)

◎數年前出生シタル長男ノ出生届ヲ爲ササル前ニ二男出生ト其ノ届出方

1、數年前出生シタル長男ノ出生届出ヲ爲ササル前ニ二男出生ノ届出ヲ爲ス場合ハ長男ノ出生届ヲ爲サシメタル上ニ二男ノ出生届ヲ受理スヘキモノトス

(大正十三年四月二十三日笠岡區裁判所判事問合
同年五月十四日民部第六九三三號法務局長回答)

◎甲村ニ於テ非本籍人嫡出子出生届ト死亡届トヲ受理シ乙本籍地ニ送付シタルニ乙村ニ於テハ未婚者タル場合ト甲村ニ於テ届出人既ニ出生シ追完不能ノ場合ニ於ケル戸籍ノ記載方

1、甲村ニ於テ非本籍人戸主ノ嫡出子出生届ト死亡届ト同時ニ受理シ之ヲ乙本籍地ヨリ右出生子ノ父母ハ未タ婚姻セサル場合ニ甲村ニ於テ右届出人ニ對シ追完セシメントスルモ届出人ハ一時ノ滞在者ナルヲ以テ既ニ他ニ出生シ所在不明追完ノ途ナキトキハ大正四年六月九日行橋區裁判所監督判事問合ニ對スル同年六月十八日民部第九一五號法務局長回答ノ趣旨ニ準シ届書ヲ乙村ニ送付シ乙村ニ於テハ右届出人ニ追完方催告シ若シ届出人本籍地ニ歸リ來ラス催告ノ途ナキ時ハ右届書ト相待テ母本籍及氏不明庶子出生ノ記載ト右庶子死亡ノ記載(死亡ノ事實ノ診斷書ニヨリ明カナリ)ヲナスノ外ナキモノトス

(大正十三年五月二日福井縣裁判所判事問合
同年五月十九日民部第一七四〇號法務局長回答)

◎父母ノ婚姻前ノ子ニ付父ノミヨリ長男トシテ爲シタル出生届ノ受理方

1、乙男丁女ノ婚姻前丁女カ分娩シタル戊男子ヲ乙男ノ長男ナリトシ爲シタル出生届書ハ如何ニ處分スヘキモノナルヤト云

◎乙家ヨリ更ニ丙家ニ婚姻シタル場合ト實家ニ於ケル私生子ヲ丙家ニ入籍セシムル爲メノ出生届ノ受理方
1、甲家ノ女乙家ニ婚姻シ夫死亡後更ニ丙家ニ婚姻シタルニ其夫モ死亡シタル後甲家在籍中出生シタル私生子ヲ戸主ノ同意ヲ得テ丙家ニ入籍スル私生子出生届ハ受理スヘキヤト云フニ私生子ハ出生當時ノ母ノ家即チ甲家ニ入ルヘキモノナルニ付丙家ニ入籍スル私生子出生届ハ受理スルコトヲ得サルモノトス

(大正七年十二月十六日岡山縣久米郡福岡村長問合
大正八年十一月十七日民部第二八八九號法務局長回答)

(大正十四年一月二十八日民部第九一六號民事局長通牒)

◎母ノ家ニ入ルヲ得サル私生子カ出生届出前死亡シタル場合ノ手續

1、母ノ家ニ入ルコトヲ得サル私生子カ出生届出前死亡シタルトキハ一家創立ノ出生届ヲナシタル上死亡届ヲ爲スヘキヤ又

ハ無籍者トシテ死亡届ヲ爲スヘキヤト云フニ戸籍法第七十七條ノ規定ニ依リ死亡届ト共ニ同第六十九條第二項第六號ノ事項ヲ記載シタル出生届ヲ爲スヘシ

(大正四年五月二十二日福島縣福島市長伺
同年六月二十六日民第七八〇號法務局長回答)

【判例】

◎出生届下期間計算法

1、戸籍法第六十九條第一項ノ出生届出期間ノ計算法ハ届出事件發生即チ出生ノ日ヨリ起算スルヲ要スルコト同法第六十三條第一項ノ規定ニ依リ明ニシテ同規定ハ民法第三百三十八條ノ所謂別段ノ定メアル場合ニ該當スル特別法規ナルヲ以テ出生届出期間ハ民法ノ通則ニ從ヒ其ノ翌日ヨリ起算スヘキモノニアラス

(大審院大正十一年四月十日判決
法律新聞一九八五號二二頁)

◎母ノ私生子出生届ト認知ノ效力

1、父カ庶子出生ノ届出ヲ爲シタルトキハ其ノ届出ハ認知届出ノ效力ヲ有スルモノナルコトハ戸籍法第八十三條前段ノ規定スル所ニシテ母カ自ラ私生子出生ノ届出ヲ爲シタル場合ニ於テ私生子認知届ノ效力ヲ有スルモノナルヤ否ヤニ付テハ戸籍法上何等規定スル所ナキモ右兩者ヲ比較シテ考フルニ均シク出生届出ニシテ前者ハ其ノ届出ト同時ニ認知届出ノ效力ヲ生スルニ拘ラス後者ノミ其ノ届出ト同時ニ認知届出ノ效力ヲ生

セサルモノト認ムヘキ何等ノ理由ヲ發見スルコトヲ得サルカ故ニ既ニ父カ爲シタル庶子出生ノ届出ニシテ同時ニ庶子認知届出ノ效力ヲ生スルモノト認メタル規定アル以上ハ母カ爲シタル私生子出生ノ届出モ亦同時ニ私生子認知届出ノ效力ヲ生スルモノト認メタルノ法意ナリト解スルニ難カラス而シテ本件記録ニ添附セル被告ノ戸籍謄本ニ徴スレハ訴外杉山ふじカ自己ノ私生子トシテ被告上告人ノ出生届出ヲ爲シタルモノナルコト明白ナルカ故ニ其ノ届出ニ因リ杉山ふじハ之ト同時ニ自己ノ私生子トシテ被告上告人ヲ認知スルノ届出ヲ爲シタルモノト謂ハサルヲ得ス從テ右戸籍謄本ニ依リ被告上告人ト其ノ家ヲ同クセルモノト認メ得ヘキ杉山ふじハ被告上告人ニ對シ親權ヲ行フ者ナルコトヲ推知スルニ足ルヲ以テ杉山ふじカ大正九年九月出生シタル被告上告人ノ法定代理人トシテ本訴ヲ提起シタルハ固ヨリ當然ノ事柄ニシテ之ヲ不適法ト謂フコトヲ得

(大審院大正十二年三月九日判決
法律新聞二一六號一六頁)

【文例】

◎本籍ニ於テ出生シタル嫡出子ニ付戸主タル父ヨリ本籍地市町村長ニ届出ツル場合ノ例

出生届	本籍 東京市麹町區平河町一丁目四番地戸主官吏
出生子	父 甲野義太郎
出生ノ時	母 無職業 梅子
出生ノ場所	長男 禮太郎
右嫡出子出生及御届候也	
大正何年何月何日	届出人 父 甲野義太郎
東京市麹町區長 何 某殿	明治十八年六月二十一日生

備考 本例ニ依ル届書ハ一通ヲ差出セハ可ナリ

實例判例文例人事法總覽

◎本籍ニ於テ出生シタル嫡出子ニ付家族タル父ヨリ本籍地市町村長ニ届出ツル場合ノ例

出生届	本籍 東京市麴町區平河町一丁目四番地戸主甲野義太郎弟會社員
出生子	父 甲野義二郎 母 無職業 松江 長男 義一
出生ノ時	大正何年何月何日午前何時
出生ノ場所	本籍
右嫡出子出生及御届候也	
大正何年何月何日	
届出人	父 甲野義二郎 印
東京市麴町區長	何 某殿
	明治二十一年五月五日生

戸二號(二五九)

◎庶子カ父ノ家ニ入ル場合ノ例

出生届	本籍 神奈川縣橋樞郡橋村十番地戸主甲野仁吉弟農
出生子	父 甲野義助 母 神奈川縣橋樞郡橋村五番地戸主丙野音吉長女裁縫業 庶子男 仁太郎
出生ノ時	大正何年何月何日午後何時
出生ノ場所	母橋子本籍
右庶子出生及御届候也	
大正何年何月何日	
届出人	父 甲野義助 印
何々縣何々郡何村長	何 某殿
右仁太郎ノ入家ニ同意致候	
戸主	甲野仁吉 印
	明治二十年八月五日生

備考

- 一、本書式ハ家族タル父ヨリ庶子出生ノ届出ヲ爲ス例ヲ示ス
- 二、胎兒認知ヲ爲シタル庶子ノ出生届モ戸籍法第八十三條前段ノ規定ニ依ル庶子出生届モ共ニ本書式ニ依リ同様ニ作製スヘシ但シ胎兒中認知セラレタル庶子ノ出生届書ニハ胎兒認知アリタルコトヲ明ニスル爲本書式中出生ノ場所ノ次行ニ「右仁太郎出生前ニ認知セラレ」ト記載スルヲ市町村役場及届出人相互ノ便トスヘシ
- 三、本例ハ本籍地ニ於テ出生シタル子ニ付本籍地ニ届出ツル場合ナルヲ以テ届書一通ヲ差出スヲ以テ足ル

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第二節 出生 第六十九條

○庶子カ父ノ家ニ入ルコト能ハサルニ因リ母ノ家ニ入ル場合ノ例

出生届	本籍 神奈川縣橋樹郡橋村十番地戸主甲野仁吉弟 父 農 甲野義助	届出人 父 甲野 義 助	明治二十年八月五日生
出生子	本籍 神奈川縣橋樹郡橋村五番地戸主丙野音吉長女 母 裁縫業 丙野檀子	母ノ家ノ戸主 丙野 音 吉	明治十五年五月二日生
出生ノ時	大正何年何月何日午後何時	届出人 父 甲野 義 助	明治二十年八月五日生
出生ノ場所	母檀子本籍	母ノ家ノ戸主 丙野 音 吉	明治十五年五月二日生
子ノ入ルヘキ家	父家ノ戸主ノ同意ヲ得ルコト能ハサルニ因リ母ノ家ニ入ル	届出人 父 甲野 義 助	明治二十年八月五日生
右庶子出生及御届候也		届出人 父 甲野 義 助	明治二十年八月五日生
大正何年何月何日		届出人 父 甲野 義 助	明治二十年八月五日生
何々縣何々郡何村長	何 某殿	届出人 父 甲野 義 助	明治二十年八月五日生
右仁太郎ノ入家ニ同意致候		届出人 父 甲野 義 助	明治二十年八月五日生

備考 一、同上備考参照

○庶子カ父母ノ家ニ入ルコト能ハサルニ因リ一家ヲ創立スル場合ノ例

出生届	本籍 神奈川縣橋樹郡橋村十番地戸主甲野仁吉弟 父 農 甲野義助	届出人 父 甲野 義 助	明治二十年八月五日生
出生子	本籍 神奈川縣橋樹郡橋村五番地戸主丙野音吉長女 母 裁縫業 丙野檀子	届出人 父 甲野 義 助	明治二十年八月五日生
出生ノ時	大正何年何月何日午後何時	届出人 父 甲野 義 助	明治二十年八月五日生
出生ノ場所	母檀子本籍	届出人 父 甲野 義 助	明治二十年八月五日生
右秋子入家ニ付父母ノ家ノ戸主ノ同意ヲ得ルコト能ハサルニ因リ神奈川縣橋樹郡橋村四番地ニ一家創立		届出人 父 甲野 義 助	明治二十年八月五日生
丁野氏ヲ稱ス		届出人 父 甲野 義 助	明治二十年八月五日生
右庶子出生及御届候也		届出人 父 甲野 義 助	明治二十年八月五日生
大正何年何月何日		届出人 父 甲野 義 助	明治二十年八月五日生
何々縣何々郡何村長	何 某殿	届出人 父 甲野 義 助	明治二十年八月五日生

備考 一、庶子カ他ノ市町村ニ一家ヲ創立スルトキハ尙一通ノ届書ヲ差出スコトヲ要ス

二、一家創立者ノ氏ハ任意ニ之ヲ定ムルコトヲ得ルモノトス

◎私生子カ母ノ家ニ入ルコト能ハサルニ因リ一家ヲ創立スル場合ノ例

出生届	本籍 東京市下谷區竹町十一番地戸主山田義一妹
出生子	母 無職業 山田夏子
出生ノ時	私生子女 春子
出生ノ場所	母夏子本籍
右春子入家ニ付戸主ノ同意ヲ得ルコト能ハサルニ因リ東京市下谷區竹町九番地ニ一家創立山田氏ヲ稱ス	
右私生子出生及御届候也	
大正何年何月何日	届出人 母 山田夏子
東京市下谷區長 何 某殿	明治三十年八月七日生

備考 一、本例ハ一家創立地ト届出地トカ同一ナルニ付届書一通ヲ差出スヲ以テ足ル

◎子ノ名未定ノ儘母ヨリ届出ヲ爲ス場合ノ例

出生届	本籍 東京市麴町區平河町一丁目四番地戸主官吏
出生子	父 甲野義太郎
出生ノ時	母 無職業 梅子
出生ノ場所	名未定
右嫡出子出生及御届候也	
大正何年何月何日	父不在届出ヲ爲スコト能ハサルニ付
東京市麴町區長 何 某殿	届出人 母 甲野梅子
	明治二十三年六月一日生

備考

一、本例ハ本籍ニ於テ出生シタル子ニ付本籍地ニ届出ツル場合ナルヲ以テ届書一通ヲ差出スヲ以テ足ル
二、本例ニ依ル届書ヲ差出シタル後子ノ名力定マリタルトキハ追完届ヲ差出スヘシ

◎名未定ノ子ノ出生届出後ニ於テ名ノ追完ヲ届出ツル場合ノ例

追完届

本籍 東京市麴町區平河町一丁目四番地戸主

父 甲野義太郎

母 梅子

長男

禮太郎

右大正何年何月何日名未定ノ儘出生届出

右子ノ名追完及御届候也

大正何年何月何日

届出人 父 甲野義太郎

明治二十年四月十日生

東京市麴町區長 何 某殿

備考 一、本例ハ本籍地ニ届出ツル場合ナルニ付届書ハ一通ヲ差出スヘシ

第七十條 出生ノ届出ハ出生地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

参考 戸籍法四三條。

【實例】

◎離籍セラレタル者カ一家創立前出生届ヲ非本籍地ニ爲シ本籍地ニ於テ其ノ送付ヲ受ケタル場合ノ手續

1、離籍セラレタル者カ一家創立前出生子ノ届出ヲ非本籍地ニ爲シ本籍地ニ於テハ之ヲ本籍地ニ送付シタル處其ノ届出人ハ既ニ離籍セラレタル旨ヲ以テ出生届ヲ返戻セラレタリ

此ノ場合ノ處理方ハ出生届ハ本籍地ナキ者ノ届出ニ該當スルヲ以テ本籍ノ定マルヲ待テ届書ヲ處理スヘシ而シテ被離籍者カ一家創立ノ手續ヲ爲ササルトキハ本籍地市町村長ニ於テ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ職權ヲ以テ一家創立ニ因ル新戸籍ヲ編成シタル上非本籍地市町村長ヨリ出生届再送ヲ受ケテ出生ノ記載ヲ爲スヘシ被離籍者若クハ妻カ一家創立前ニ死亡シタル場合ハ職權ヲ以テ被離籍者ノ新戸籍ヲ編成シタル上戸籍ノ記載ヲ爲スヘキモノナリ

見シ追完届ヲ爲シタル場合ノ手續

1、非本籍人トシテ出生届ヲ爲シタルモノ後日本籍人ナルコトヲ發見シ追完届ヲ爲シタルトキハ更ニ出生ニテ受附本籍出生ノ種類番號ヲ附シ前ノ受附備考欄ニ追完届ニ依リ第何號受附參照ト記載シ取扱フヘキモノナルヤト云フニ追完届ノ種類番號ハ

戸籍法施行細則第九條第二項ニ依リテ定メタル種目ノ番號ヲ附スヘク其他ノ取扱方ハ後段ノ通りナリ

2、右ニ關スル戸籍事項欄ノ記載方ハ左ノ例ニ依ルヘク

「何郡何村何番地ニ於テ出生父何某届出大正何年何月何日受附父何某本籍追完届出大正何年何月何日受附入籍」

3、届書ノ整理方法ニ付テハ前ニ受理シタル出生届及追完届ハ

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第二節 出生 第七十條

◎非本籍人トシテ出生届ヲ爲シタルモノ後日本籍人ナルコトヲ發

(大正六年十月二十五日宇都宮區裁判所監督判事問合)

(大正七年五月三十一日民第一一四八號法務局長回答)

第一編 戸籍法規 第四章 届出 第二節 出生 第七十條

(大正四年八月十日小倉區裁判所監督判事問合)

(同年九月四日民第一三八四號法務局長回答)

實例判例文例人事法總覽

戶籍法第三十六條第一項ノ規定ニ依リ戶籍編綴ノ順序ニ從ヒテ之ヲ編綴スヘシ

(大正四年八月十日小倉區裁判所監督判事問合) 同年九月四日民第一三八四號法務局長回答

朝鮮人タル男ト内地人タル女ノ間ニ生レタル子ノ出生ノ記載

1、朝鮮人(男)本村ニ住居シ本村ノ女ト婚姻セント届出タルモ未タ戶籍法ヲ施行セサル朝鮮人トノ婚姻ハ始メテニテ不案ニ付キ岐阜區裁判所ニ伺ヒタル處入夫、婿養子婚姻ノ外受理スヘキモノニアラストノ回答ヲ得タルモ朝鮮ニハ戶籍法ヲ施行セサルニシテモ何等カ婚姻出生ニ關スル規定アルヘク又規定等ナクトモ是ト同一ナル資格ヲ有スルモノアルヘキニ付キ朝鮮人ノ婚姻出生ニ付テハ如何ナル手續ヲ爲サシムヘキヤト云フニ婚姻届ハ之ヲ受理シ女ノ戶籍記載ヲ爲スニ止メ除籍ノ手續ヲ爲スコトヲ得ス子ノ出生届アリタル場合ニ於テモ之ヲ受理スヘク届書ノ送付ヲ爲スコトヲ要セス

(大正五年四月七日岐阜縣稻葉郡島村長稟伺) 同年五月十三日民第五三九號法務局長回答

2、本年三月一日付當區裁判所管内安佐郡長束村長ノ問合ニ對シ本月八日附民第三五五號ヲ以テ内地人女ト朝鮮人男トカ戶籍法ニ依リ婚姻ヲ爲シタル後子女ヲ擧ケタルトキハ女ノ本籍地市町村長ニ嫡出子出生届ヲ爲スヘキ旨ノ回答ナレトモ女ノ

本籍地市町村長カ該届出ヲ受理シタルトキハ女ノ戶籍ニ嫡出子出生ノ記載ヲ爲スヘキモノナルヤ將タ戶籍法第三十六條第二項ノ手續ヲ爲シ置クヘキモノナルヤ若シ前段ノ通トセハ民法第七百三十三條ノ規定ニ抵觸スヘシ理由如何ト云フニ女ノ本籍地ニ於テ嫡出子出生ノ届出アリタル場合ハ市町村長ハ其ノ届出ヲ受理スルニ止メ母ノ戶籍ニ嫡出子出生ノ記載ヲ爲サス戶籍法第三十六條第二項ノ手續ヲ爲スヘシ

(大正五年十一月十四日廣島區裁判所監督判事問合) 同年十二月十六日民第一八四六號法務局長回答

【文 例】

◎所在地ニ於テ出生シタル嫡出子ニ付戶主タル父ヨリ所在地市町村長ニ届出ツル場合ノ例

出生届	本籍 東京市麴町區平河町一丁目四番地戶主官吏
父	甲野義太郎
母	無職業 梅子
長男	禮太郎
出生子	
出生ノ時	大正何年何月何日午前何時
出生ノ場所	東京市神田區錦町二丁目地
右嫡出子出生及御届候也	
大正何年何月何日	
東京市神田區長 何 某殿	所在 東京市神田區錦町二丁目六番地
	届出人 父 甲野義太郎
	明治二十年四月十日生

備考

- 一、本届書ハ二通ヲ差出スコトヲ要ス
- 二、所在地カ寄留地ナルトキハ其ノ旨ヲ記載スヘシ即チ「所在」ノ下ニ括弧ヲ附シ「(住所寄留)又ハ(居所寄留)」ノ例ニ依リ記載スヘシ

◎所在地ニ於テ出生シタル嫡出子ニ付家族タル父ヨリ所在地市町村長ニ届出ツル場合ノ例

出生届	本籍 東京市麴町區平河町一丁目四番地戸主甲野義太郎弟會社員
出生子	父 甲野義二郎
出生ノ時	母 無職業 松江
出生ノ場所	長男 義 一
右嫡出子出生及御届候也	
大正何年何月何日	
東京市神田區長 何 某殿	所在 東京市神田區錦町二丁目六番地
	届出人 父 甲野義二郎
	明治二十一年五月五日生

備考 一、本届書ハ二通ヲ差出スコトヲ要ス
二、同上備考ニ參照

第七十一條 汽車又ハ航海日誌ヲ備ヘサル船舶中ニテ出生アリタル
場合ニ於テハ到着地ニ於テ届出ヲ爲スコトヲ得

第七十二條 嫡出子出生ノ届出ハ父之ヲ爲シ父カ届出ヲ爲スコト能ハサル場合又ハ民法第七百三十四條第一項第二項但書ノ場合ニ於テハ母之ヲ爲スコトヲ要ス

庶子出生ノ届出ハ父之ヲ爲シ私生子出生ノ届出ハ母之ヲ爲スコトヲ要ス

前二項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スヘキ者カ届出ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ左ニ掲ケタル者ハ其順序ニ從ヒ届出ヲ爲スコトヲ要ス

- 第一 戸主
- 第二 同居者
- 第三 分娩ニ立會ヒタル醫師及ヒ産婆
- 第四 分娩ヲ介抱シタル者

【學說】

◎出生届出義務者ノ責任ハ出生ノ時ヨリ十四日内ニ父カ認知シタルヤ否ヤニヨリテ異ナル

1、父カ庶子出生届ヲ期間經過後ニ届出タル場合戸籍法第七百七十六條ノ責任ハ父母何レニアリヤト云フニ父ハ私生子ノ認知

ヲ爲スニヨリテ始メテ届出義務發生スルモノニシテ父ニシテ認知セサルニ限り私生子ハ母ニ於テ適法ノ期間内ニ出生届ヲ爲サル可カラス從テ戸籍法上出生ノ届出期間タル十四日内ニ父カ認知セル事實アルニ拘ラス右期間内ニ庶子出生届ヲ出

サ、ルトキハ父ニ於テ戸籍法第七十六條ノ責任ヲ負擔セサル可カラスト雖モ既ニ右ノ十四日ヲ經過シタル後ニ至リ始メテ認知シ以テ庶子出生ノ届出ヲ爲シタルトキハ出生届出ノ懈怠ノ責任ハ母ニアリト云ハサル可カラス

(大正十一年五月三十日法曹會議決議)

◎出生兒ノ名前ノ届書ト異名ヲ記載シタル届出

1、前ノ出生届ヲ適法ノ手續ニヨリテ抹消セル以上更ニ出生届ヲナス場合ニハ其ノ出生兒ノ名前前ノ届書ニ記載シタルトコロト異ルヲ妨ケス

(大正十三年七月九日法曹會議決議)

【實例】

◎第七十二條ノ後順位ノ届出義務者カ届出ヲ爲ス場合ト先順位者カ届出ヲ爲スコト能ハサル事由ヲ届書ニ記載

1、戸籍法第七十二條ニヨリ届出義務者ノ後ノ順位ノ者ヨリ届出ツル場合ニ於テハ先順位者カ届出ツルコト能ハサル事由ヲ届書ニ記載セシムヘキナリ

(大正四年一月二十五日福井區裁判所監督判事問合) 同年二月十九日民第二〇號法務局長回答

◎同居者ノ解

1、同居者ノ範圍ニ付テハ一概ニ之ヲ決定スルヲ得サルモ同居ノ家族ノ間、世帯ヲ同クスル寄留者ノ間ハ第七十二條及第七百十七條ノ届出義務ヲ負フモノトス其ノ他ノ場合ハ實際ノ事件ニ付更ニ問合アルヘシ

(大正三年六月二十二日九區區裁判所監督判事問合) 同年十一月十七日民第一一一〇號法務局長回答

◎第七十二條第三項ノ第一、二届出義務者ノ解

1、改正戸籍法第七十二條第三項第一及第二ノ義務者ハ事實發

2、離婚ニヨリ妻カ實家ニ復籍後三百日内ニ出生シタル子ニ付夫タリシ者ニ對シ出生シタル旨ヲ通知シタルニ故ラニ之カ届

(大正四年五月十二日愛媛縣西宇和郡真穴村長伺) 同年六月十二日民第七〇四號法務局長回答

生當時ノ戸主又ハ同居者ニ限ルモノニシテ届出當時ニ現在スル(事實發生當時ノ戸主)又ハ同居者ニアラス)戸主又ハ同居者迄ハ包含セス

(大正五年四月三十日山口縣熊毛郡實積町戸籍吏代理助役伺) 同年十二月二十八日民第八九三號法務局長回答

◎婚姻解消後三百日内ニ出生シタル者ニ付父カ出生届ヲ爲ササル場合ノ手續

1、婚姻解消後三百日内ニ出生シタル者ノ出生届ヲ離婚セシ推定ノ父カ嫡出子ニアラサル事由ニヨリ其ノ届出ヲ爲ササル場合ハ便宜母及其ノ他ノ義務者ヨリ届出ヲ爲サシメ差支ナキヤト云フニ父カ子ノ出生前ニ離婚ニ因リテ其家ヲ去リタル場合ニ於テハ戸籍法第七十二條第一項後段ノ規定ニ依リ當然母ニ於テ出生届ヲ爲スヘキモノトス